

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第344集

# 似内遺跡発掘調査報告書

東北横断自動車道釜石―秋田線建設工事関連遺跡発掘調査

(財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財発掘調査報告書第344集  
 似内遺跡発掘調査報告書正誤表

頁	行・No.	誤	正
38	24	第25号陥し穴状遺構	25号陥し穴状遺構
65	9	黒褐色土主体土層	黒褐色土主体の土層
148～188 の図版		遺物の縮尺はすべて 1/3 になっているが、同 頁内に縮尺が異なるも のがある。 (スケール入れ忘れ)	・原寸大 … 389 ・1/2 … 12, 25, 34～36, 77～79, 169 ～171, 202, 255, 287, 290, 326, 350, 352～356, 388, 390 391, 393, 394, 397, 411 ・1/4 … 5, 197, 235, 236, 240, 248, 309 310, 325, 349, 367, 370, 372, 379, 384, 387, 405, 412 ・1/5 … 385, 386
191(遺物 観察表内)	No.251	口径 20.8	なし(空欄)
195(遺物 観察表内)	No.389	計測値なし	長さ1.3 幅0.5 厚さ0.2
198(遺物 観察表内)	No.351	幅 1.5	幅 6.7
	No.462	計測値なし	長さ(12) 幅 6.9
	No.463	長さ 7.2 幅 1.0	長さ(10) 幅 6.9
	No.464	長さ 5.4 幅 1.1	長さ 12.9 幅 12.9
	No.465	長さ 22.1 幅 7.5	長さ 2.2 幅 1.5

# 似内遺跡発掘調査報告書

東北横断自動車道釜石－秋田線建設工事関連遺跡発掘調査

## 序

岩手県には縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地を有しており、平成11年度の岩手県教育委員会のまとめでは10,500箇所を超えております。先人たちの残した文化財を保護し、保存していくことは私たち県民に課せられた重大な責務であります。

一方、本調査の原因となりました東北横断自動車道路建設事業を例にあげるまでもなく、現代社会を豊かにし、快適な生活をおくるための地域開発もまた県民の切実な願いであります。埋蔵文化財の保護・保存と地域開発事業という相容れない要素を持つ事業の調和のとれた施策が今日的な課題となっております。

当財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、埋蔵文化財保護の立場にたつて、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡について発掘調査を行い、その記録を残す処置をとってまいりました。

本書は、日本道路公団東北支社による東北横断自動車道路建設事業に関連して平成10・11年度に行われた花巻市似内遺跡の発掘調査結果をまとめたものであります。本遺跡は、北上川右岸の河岸段丘上に立地し、調査の結果、平安時代の集落跡に伴う多量の遺物や遺構が発見され、貴重な資料を提供することができました。この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成に御協力と御援助を賜りました日本道路公団東北支社や花巻市教育委員会をはじめとする多くの関係諸機関・関係各位に衷心より感謝申し上げます。

平成12年10月

財団法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 千葉浩一

## 例 言

1. 本報告書は、岩手県花巻市上似内第10地割66-1ほかにある似内遺跡の発掘調査の結果を収録したものである。
2. 本遺跡の岩手県遺跡登録台帳の遺跡番号と調査略号は次のとおりである。  
ME16-2299・NN-98 (99)
3. 本遺跡の調査は、東北横断自動車道路建設事業に伴う緊急発掘調査である。調査は、岩手県教育委員会事務局文化課の調整を経て、花巻市の委託を受けた財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
4. 野外調査の期間と調査面積・調査担当者は次のとおりである。

H10年度調査	発掘調査期間	平成10年8月7日～11月13日
	室内整理期間	平成10年11月1日～12月31日
	発掘調査面積	2,560㎡
	調査担当者	金子昭彦・松川由次・布谷義彦
H11年度調査	発掘調査期間	平成11年4月14日～10月7日
	室内整理期間	平成11年11月1日～3月31日
	発掘調査面積	7,853㎡
	調査担当者	溜浩二郎・熊谷佳恵

5. 座標原点の測量および空中写真撮影は、次の機関に委託した。  
座標原点の測量——慶長測量設計株式会社、協進測量設計株式会社  
空中写真撮影——東邦航空株式会社
6. 本報告書の執筆は以下のとおりである。  
Ⅳ. 検出された遺構 溜浩二郎・金子昭彦・熊谷佳恵・松川由次（分担執筆により文末に執筆者を記載）  
上記以外の執筆・編纂は溜浩二郎が行った。
7. 発掘調査において次の機関の協力を得た。  
日本道路公団東北支社・花巻市教育委員会
8. 本遺跡の調査に関わる記録、遺物等の資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。
9. 実測図の凡例は12頁に記載した。

# 目 次

## 序

### 例題

I. 調査に至る経過	3
II. 遺跡の立地と環境	3
1. 遺跡の位置	3
2. 地形・地質	3
3. 基本土層	5
4. 周辺の遺跡	5
III. 野外調査と整理方法	10
1. 野外調査	10
2. 室内整理	12
IV. 検出された遺構	13
1. 陥し穴状遺構	13
2. 土坑	26
3. 竪穴住居跡	36
4. 須恵器埋設遺構	97
5. 焼上遺構	98
6. 竪穴状遺構	102
7. 墓塚	105
8. 溝状遺構	106
9. 掘立柱建物跡・柱穴列	111
V. 遺構外出土遺物	147
VI. まとめ	199
(1)遺構	199
(2)遺物	202
(3)おわりに	207

## [図版目次]

第1図 遺跡位置図	1	第11図 19~24号陥し穴	18
第2図 遺跡周辺の地形図	2	第12図 25~30号陥し穴	19
第3図 遺跡周辺の地形分類図	4	第13図 31~36号陥し穴	20
第4図 基本土層	5	第14図 37~42号陥し穴	21
第5図 周辺の遺跡分布図	9	第15図 43~48号陥し穴	22
第6図 グリッド配置図	11	第16図 49~55号陥し穴	23
第7図 実測凡例図	12	第17図 56~61号陥し穴	24
第8図 1~6号陥し穴	15	第18図 62~67号陥し穴	25
第9図 7~12号陥し穴	16	第19図 1~5号土坑	28
第10図 13~18号陥し穴	17	第20図 6~11号土坑	29

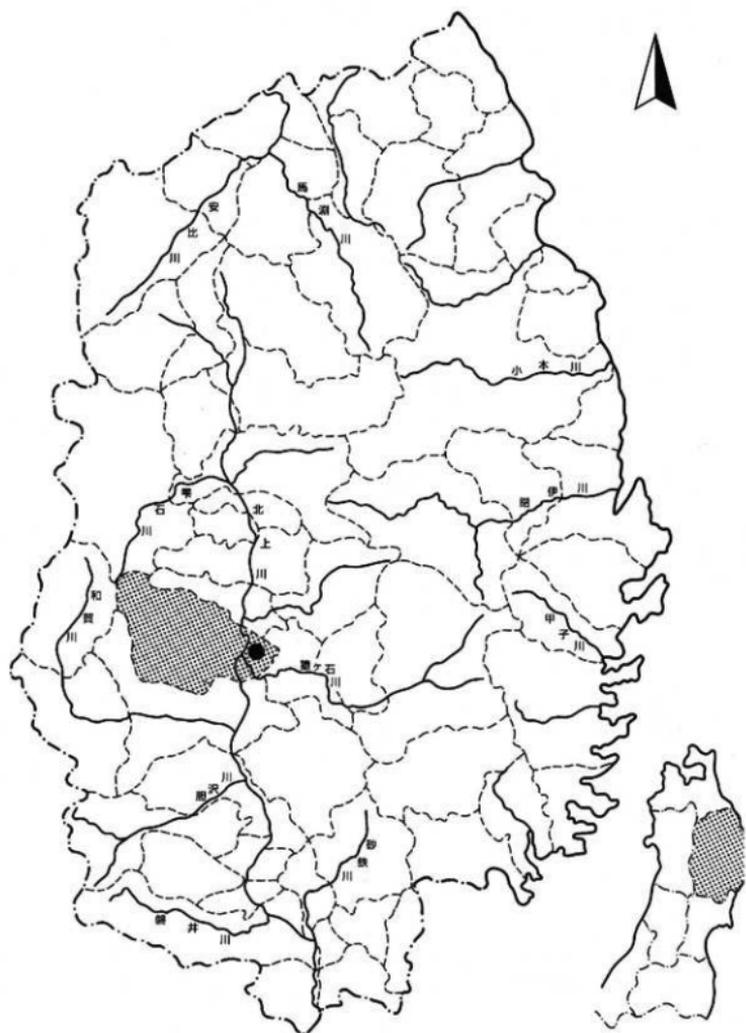
第21图	12~16号土坑	30	第59图	22号住居跡	78
第22图	17~20号土坑	31	第60图	23号住居跡	80
第23图	21~26号土坑	32	第61图	23号住居跡	81
第24图	27~31号土坑	33	第62图	24号住居跡	83
第25图	32~36号土坑	34	第63图	24号住居跡	84
第26图	37~41号土坑	35	第64图	25号住居跡	86
第27图	1号住居跡	37	第65图	25号住居跡	87
第28图	1号住居跡	38	第66图	26号住居跡	88
第29图	2号住居跡	39	第67图	27号住居跡	89
第30图	3号住居跡	41	第68图	27号住居跡	90
第31图	4号住居跡	42	第69图	28号住居跡	92
第32图	5号住居跡	45	第70图	29号住居跡	93
第33图	6号住居跡	46	第71图	29号住居跡	94
第34图	7号住居跡	47	第72图	30号住居跡	95
第35图	8号住居跡	49	第73图	31号住居跡	96
第36图	8号住居跡	50	第74图	須惠器埋設遺構	97
第37图	9号住居跡	51	第75图	1~3号焼土	100
第38图	10号住居跡	52	第76图	4~11号焼土	101
第39图	10号住居跡	53	第77图	12~14号焼土	102
第40图	11号住居跡	54	第78图	1号竪穴状遺構	103
第41图	12号住居跡	56	第79图	2号・3号竪穴状遺構	104
第42图	12号住居跡	57	第80图	1号・2号墓壇	105
第43图	13号住居跡	58	第81图	1~4号溝跡	107
第44图	14号住居跡	60	第82图	5~10号溝跡	108
第45图	14号住居跡	61	第83图	11~13号溝跡	109
第46图	15号住居跡	63	第84图	溝跡(断面)	110
第47图	15号住居跡	64	第85图	1~4号掘立柱建物跡	124
第48图	16号住居跡	66	第86图	5~8号掘立柱建物跡	125
第49图	16号住居跡・17号住居跡	67	第87图	9~12号掘立柱建物跡	126
第50图	17号住居跡	68	第88图	13~16号掘立柱建物跡	127
第51图	18号住居跡	69	第89图	17~20号掘立柱建物跡	128
第52图	19号住居跡	70	第90图	21号掘立柱建物跡-9~12号柱穴列	129
第53图	19号住居跡	71	第91图	13~15号柱穴列	130
第54图	20号住居跡	72	第92图	柱穴群(1)	131
第55图	20号住居跡	73	第93图	柱穴群(2)	132
第56图	20号住居跡	74	第94图	柱穴群(3)	133
第57图	21号住居跡	75	第95图	柱穴群(4)	134
第58图	22号住居跡	77	第96图	遺構配置圖(調査区西側)	144

第97図 遺構配置図(調査区東側) ……145・146	第119図 住居内出土遺物(22) ……169
第98図 住居跡内出土遺物(1) ……148	第120図 住居内出土遺物(23) ……170
第99図 住居跡内出土遺物(2) ……149	第121図 住居内出土遺物(24) ……171
第100図 住居跡内出土遺物(3) ……150	第122図 住居内出土遺物(25) ……172
第101図 住居跡内出土遺物(4) ……151	第123図 住居内出土遺物(26) ……173
第102図 住居跡内出土遺物(5) ……152	第124図 住居内出土遺物(27) ……174
第103図 住居跡内出土遺物(6) ……153	第125図 住居内出土遺物(28) ……175
第104図 住居跡内出土遺物(7) ……154	第126図 住居内出土遺物(29) ……176
第105図 住居跡内出土遺物(8) ……155	第127図 住居内出土遺物(30) ……177
第106図 住居跡内出土遺物(9) ……156	第128図 住居内出土遺物(31) ……178
第107図 住居跡内出土遺物(10) ……157	第129図 住居内出土遺物(32) ……179
第108図 住居跡内出土遺物(11) ……158	第130図 住居内出土遺物(33) ……180
第109図 住居跡内出土遺物(12) ……159	第131図 住居内出土遺物(34) ……181
第110図 住居跡内出土遺物(13) ……160	第132図 住居内出土遺物(35) ……182
第111図 住居跡内出土遺物(14) ……161	第133図 住居内出土遺物(36) -
第112図 住居跡内出土遺物(15) ……162	須惠器埋設遺構 ……183
第113図 住居跡内出土遺物(16) ……163	第134図 土坑内出土遺物(1) ……184
第114図 住居跡内出土遺物(17) ……164	第135図 土坑内出土遺物(2) ……185
第115図 住居跡内出土遺物(18) ……165	第136図 土坑内(3)・溝跡(1)出土遺物 ……186
第116図 住居跡内出土遺物(19) ……166	第137図 溝跡(2)・遺構外出土遺物(1) ……187
第117図 住居跡内出土遺物(20) ……167	第138図 遺構外出土遺物(2) ……188
第118図 住居跡内出土遺物(21) ……168	

## [写真図版目次]

写真図版1 空中写真① ……217	写真図版13 49～53号陥し穴 ……229
写真図版2 空中写真② ……218	写真図版14 54～58号陥し穴 ……230
写真図版3 基本土層 ……219	写真図版15 59～63号陥し穴 ……231
写真図版4 1・2・4～6号陥し穴 ……220	写真図版16 3・16・37・64～67号 陥し穴 ……232
写真図版5 7～11号陥し穴 ……221	写真図版17 1号住居跡 ……233
写真図版6 12～15・17号陥し穴 ……222	写真図版18 2号住居跡 ……234
写真図版7 18～22号陥し穴 ……223	写真図版19 3号住居跡 ……235
写真図版8 23～27号陥し穴 ……224	写真図版20 4号住居跡 ……236
写真図版9 28～32号陥し穴 ……225	写真図版21 5号住居跡 ……237
写真図版10 33～36・38号陥し穴 ……226	写真図版22 5号住居跡 ……238
写真図版11 39～43号陥し穴 ……227	写真図版23 6号住居跡 ……239
写真図版12 44～48号陥し穴 ……228	

写真图版24	7号住居跡	240	写真图版64	3~6号焼土	280
写真图版25	8号住居跡	241	写真图版65	7~10号焼土	281
写真图版26	9号住居跡	242	写真图版66	11~14号焼土	282
写真图版27	10号住居跡	243	写真图版67	須芯器埋設遺構、1号溝	283
写真图版28	11号住居跡	244	写真图版68	5~8号溝	284
写真图版29	12号住居跡	245	写真图版69	2・3・11号溝、1・2号墓壇	285
写真图版30	13号住居跡	246	写真图版70	遺構内出土遺物(1)	286
写真图版31	14号住居跡	247	写真图版71	遺構内出土遺物(2)	287
写真图版32	15号住居跡	248	写真图版72	遺構内出土遺物(3)	288
写真图版33	15号住居跡	249	写真图版73	遺構内出土遺物(4)	289
写真图版34	16号住居跡	250	写真图版74	遺構内出土遺物(5)	290
写真图版35	17号住居跡	251	写真图版75	遺構内出土遺物(6)	291
写真图版36	17号住居跡	252	写真图版76	遺構内出土遺物(7)	292
写真图版37	18号住居跡	253	写真图版77	遺構内出土遺物(8)	293
写真图版38	19号住居跡	254	写真图版78	遺構内出土遺物(9)	294
写真图版39	20号住居跡	255	写真图版79	遺構内出土遺物(10)	295
写真图版40	21号住居跡	256	写真图版80	遺構内出土遺物(11)	296
写真图版41	21号住居跡	257	写真图版81	遺構内出土遺物(12)	297
写真图版42	22号住居跡	258	写真图版82	遺構内出土遺物(13)	298
写真图版43	23号住居跡	259	写真图版83	遺構内出土遺物(14)	299
写真图版44	23号住居跡	260	写真图版84	遺構内出土遺物(15)	300
写真图版45	24号住居跡	261	写真图版85	遺構内出土遺物(16)	301
写真图版46	25号住居跡	262	写真图版86	遺構内出土遺物(17)	302
写真图版47	26号住居跡	263	写真图版87	遺構内出土遺物(18)	303
写真图版48	27号住居跡	264	写真图版88	遺構内出土遺物(19)	304
写真图版49	28号住居跡	265	写真图版89	遺構内出土遺物(20)	305
写真图版50	29号住居跡	266	写真图版90	遺構内出土遺物(21)	306
写真图版51	30号住居跡	267	写真图版91	遺構内出土遺物(22)	307
写真图版52	31号住居跡	268	写真图版92	遺構内出土遺物(23)	308
写真图版53	1号竪穴状遺構	269	写真图版93	遺構内出土遺物(24)	309
写真图版54	1~4号土坑	270	写真图版94	遺構内出土遺物(25)	310
写真图版55	5~8号土坑	271	写真图版95	遺構内出土遺物(26)	311
写真图版56	9・10・13・14号土坑	272	写真图版96	遺構内出土遺物(27)	312
写真图版57	15~18号土坑	273	写真图版97	遺構内出土遺物(28)	313
写真图版58	19・20・22・23号土坑	274	写真图版98	遺構内出土遺物(29)	314
写真图版59	24・27~29号土坑	275	写真图版99	遺構内出土遺物(30)	315
写真图版60	30~33号土坑	276	写真图版100	遺構内出土遺物(31)	316
写真图版61	34・37~39号土坑	277	写真图版101	遺構内出土遺物(32)	317
写真图版62	11・12・36・40・41号土坑	278	写真图版102	遺構内出土遺物(33)	318
写真图版63	21-25-26-35号土坑、1-2号焼土	279	写真图版103	遺構内・遺構外出土遺物(34)	319



第1圖 遺跡位置圖



第2図 遺跡周辺の地形図

## I. 調査に至る経過

平成9年9月18日付東北支北工第695号岩手県教育委員会委員長宛「平成10年度以降における埋蔵文化財調査事業計画」の回答書を提出し、平成9年10月17日付東北支北工第745号により、岩手県教育委員会事務局に「東北横断自動車道釜石～秋田線（東和～花巻間）の建設に伴う埋蔵文化財試掘について」（依頼）し、岩手県教育委員会事務局文化課は猿沢Ⅱ遺跡を平成9年11月25・26日、似内遺跡を平成9年12月5日、高松寺遺跡を平成9年12月9・11日、上駒板遺跡を平成9年12月22日、平成10年2月2・3日で調査した結果、平成10年1月27日付文教第898号により上記の区間に対し調査対象（範囲および調査）総面積30,700㎡と決定した。それを受け、当公団と岩手県教育委員会事務局文化課と（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターと平成9年12月22日に4遺跡の現地調査をし、その後、（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターと工事工程および発掘調査工程等の打ち合わせを重ね、平成10年4月からの埋蔵文化財発掘調査を確認した。

そして似内遺跡の調査を平成10年8月7日～11月13日、平成11年4月14～10月7日まで行った。

## II. 遺跡の立地と環境

### 1. 遺跡の位置

遺跡の立地する花巻市は岩手県内陸部中央のやや南に位置する。市域は東西29.5km・南北27.5kmで、北西から南東に長いほぼ楕円の地形をなす。北は岩手郡雲石町・稗貫郡石鳥谷町、東は和賀郡東和町、南は北上市・和賀郡江釣子村、西は和賀郡和賀町・沢内村に接し、総面積は387.73km<sup>2</sup>である。

似内遺跡は、JR花巻駅から北東に約3.5km、花巻市北部の北上川中流域右岸に位置する。

発掘調査前の遺跡の状況は民家跡、畑跡などで、遺跡の標高は75m前後、北上川よりの東側の低位段丘面より2～5mほど高い所に立地している。

### 2. 地形・地質

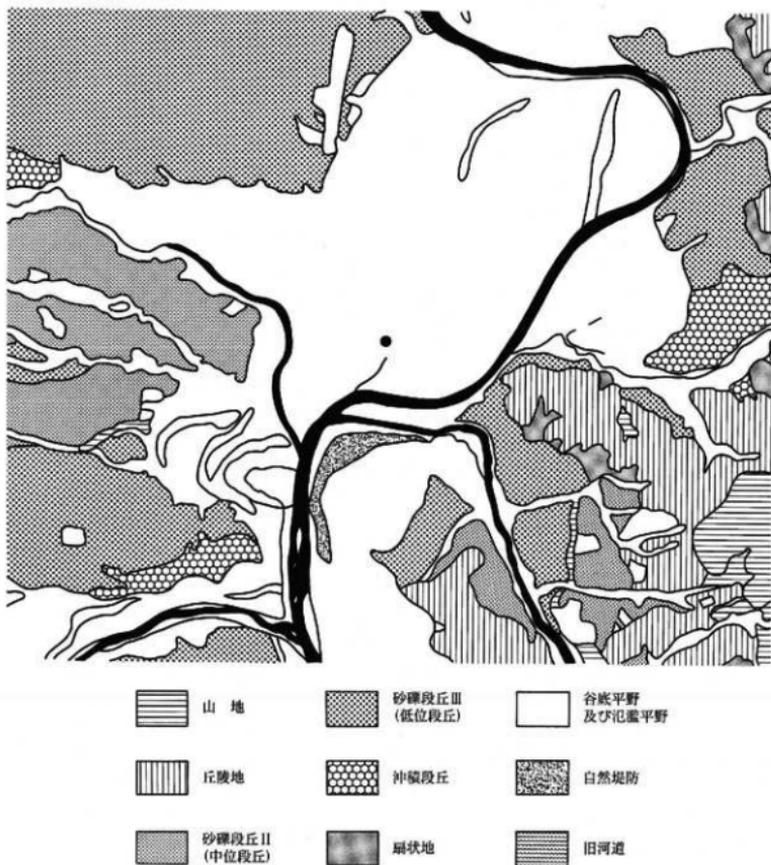
地形的には、市域東半中央には北上川が大きく蛇行して南流し、西には松倉山や円森山など標高200～900m級の山地が連なる急峻で起伏の大きな奥羽山系の支脈をなす山地からなる。東には比較的勾配が緩やかな標高150～250m前後の北上山地西麓の小丘陵や山地が張り出し、西縁に載る高松丘陵には宮沢賢治ゆかりの胡四千山を望む。市域の北西、塚瀬森に源を発する台川は、阿弥陀ヶ倉の渓谷をうかがい釜淵の滝となって流下し、六郎山に源を発して沿線に台・花巻の温泉を湧出し、緒ヶ瀬の滝となる濁ノ沢を合流、さらに鍋割川を合わせ瀬川となって東流し、流域には扇状地を発達させ、遺跡の南西1.8km地点で北上川と合流する。

地質は西側の奥羽山系には主に新第三紀中新世のグリーンタフ活動による安山岩質～流紋岩質が砂岩や礫岩・頁岩を伴い分布するほか、更新世や第四紀の岩盤層が分布する。さらに、東側の北上山系には泥岩お

よびチャートよりなる古生代二疊紀の地層や中生代の花崗岩類、斑レイ岩類、蛇紋岩類、さらに中新世の安山岩類と鮮新世の炭層をはさむ砂岩、頁岩層が分布している。

(参考文献)

岩手県花巻市教育委員会 1997「花巻市埋蔵文化財包蔵地分布図 (H9年度版)」

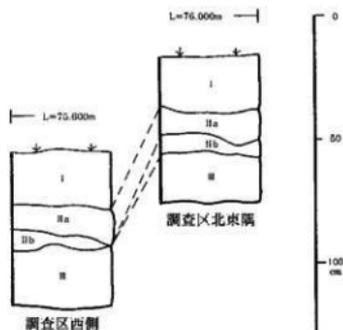


第3図 遺跡周辺の地形分類図

### 3. 基本土層

調査区内の高低差は南北方向で約20cm、東西方向で約100cmである。遺構検出面までの深さは浅いとこ  
ろで15~20cm、深いところで100cmにおよび、場所により検出面の標高は大きく異なる。第4図は調査  
区西側(80グリッド)及び、北東(24Jグリッド)の単面に深掘りを行ったもので、これを遺跡の基本  
土層とした。

- 第Ⅰ層：10YR2/3 黒褐色土 粘性なし しまりあり  
植物根多く含む。現表土。層厚は16~28cm。
- 第Ⅱa層：10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり しまり  
あり 暗褐色土(10YR3/3) 1~2%含む。8~14cm。
- 第Ⅱb層：10YR3/3 暗褐色土 粘性なし しまりあり  
層厚は0~9cm。(遺構検出面)
- 第Ⅲ層：10YR3/4 暗褐色土 粘性あり しまりややあ  
り(地山土)



第4図 基本土層

### 4. 周辺の遺跡

似内遺跡から南東に望む胡四王山には平安時代及び中世の遺跡である胡四王山館跡があり、また本遺跡と  
同じ、北上川西岸段丘上には北東方向2kmに平成9~10年に埋文センター、花巻市教育委員会によって調  
査が行われている平安時代の集落である庫理遺跡、北西1.5kmには平成10~11年に埋蔵文化財センターで  
調査を行っている石持1遺跡、南西に平安時代の下似内遺跡、南東に隣接して上似内遺跡と周辺には平安期  
の遺跡が多数確認されている。

似内遺跡の調査は平成4年に花巻市教育委員会で最初に行われ、今回が3回目になり、調査区は遺跡の北  
端部にあたる。また、今回の調査に先立ってH9年に行われた花巻市教育委員会の2回日の調査では堅穴住  
居跡2棟を検出し、うち1棟から土鏝353点が出土する成果があがっている。

#### (参考文献)

岩手県 1976 「北上山系開発地域 土地分類基本調査 花巻」

岩手県花巻市教育委員会 1998 「花巻市内遺跡発掘調査報告書」(久保野Ⅱ遺跡・本館Ⅱ遺跡・似内遺跡)

周辺の遺跡

No	遺跡名	時代	種別	遺物・遺構
1	小森林館	中世	城館跡	土器、埴、二郭、縄文土器
2	江曾	縄文	散布地	縄文土器
3	古館	中世	城館跡	土器、埴
4	黒沼館	中世	城館跡	土器、埴、井戸
5	堀の内	中世	城館跡	堀
6	江曾一筆塚	近世	一筆塚	
7	江曾館	中世	城館跡	土器、埴、井戸
8	柳館	中世	城館跡	古井戸、郭、土器、堀
9	関口北船場館	中世	船着き場	
10	関口館	中世	城館跡	堀、古井戸
11	関口南船場館	中世	船着き場	
12	関口南館	中世	城館跡	郭
13	大西	縄文	散布地	縄文土器
14	葛船場	近世	渡し場跡	
15	七ツ森古墳群	縄文・古墳	散布地・古墳群	古墳、縄文土器、土師器
16	貝の器Ⅰ	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器
17	七ツ森	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器
18	猪鼻	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器
19	貝の器Ⅱ	縄文	散布地	縄文土器
20	下館	中世	城館跡	
21	関口西	中世	城館跡	
22	関口Ⅳ	中世	城館跡	
23	関口Ⅴ	中世	城館跡	土器
24	猪鼻館	中世	散布地・城館跡	井戸、空堀、主郭
25	見山古墳群	古墳	古墳群	古墳
26	見山	縄文・古墳	散布地・古墳	縄文土器
27	馬場田	縄文	散布地	縄文土器
28	稲荷	縄文	集落跡	縄文土器
29	新田	縄文	散布地	縄文土器
30	反町	縄文・古墳	古墳群・祭祀跡	縄文土器、古墳、住居跡
31	大西橋	縄文	散布地	縄文土器
32	宿	縄文・古代	集落跡	縄文土器、土師器
33	宿館	中世	城館跡	土器、埴
34	蛇蛭館	平安	散布地	土師器
35	光勝寺本堂	中世	寺院跡	塚
36	光勝寺鐘楼	中世	寺院跡	礎石
37	沢流	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器
38	安堵屋敷	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器
39	長沢Ⅱ	縄文	散布地	縄文土器
40	長沢Ⅲ	縄文	散布地	縄文土器
41	寺場古塚	縄文	散布地	縄文土器
42	藤沢工	縄文	散布地	縄文土器
43	隅っこ館	中世	城館跡	堀、土器
44	高畑	縄文	集落跡	縄文土器
45	長沢Ⅰ	縄文	散布地	縄文土器
46	長沢Ⅳ	縄文	散布地	縄文土器
47	佐渡川古墳群	古墳	古墳群	円墳21基以上、土師器
48	宮野目方八丁	平安	城館跡	堀穴住居跡、土師器、須恵器、鉄器、磁石、二重土器、堀
49	上ノ山	縄文・古代	散布地	縄文土器
50	上ノ山館	縄文・古代～中世	城館跡・散布地	堀、縄文土器(前・中期)、石器、土師器、須恵器

No	遺跡名	時代	種別	遺物・遺構
51	山の神	縄文	散布地	縄文土器(前期)、石器、土偶片
52	源明I	平安	散布地	須恵器
53	橋	縄文・平安	散布地	縄文土器、土師器
54	西宮野目	縄文	散布地	縄文土器(前・後・晩期)
55	新屋			
56	先風	縄文・近世	散布地・城館跡	縄文土器、石鏡、石核
57	十三塚		集落跡	埴、古銭
58	三岳	古代	散布地	土師器
59	石持II	古代	散布地	土師器
60	馬立I	平安	散布地	土師器
61	柏葉城	近世	散布地・城館跡	
62	田力中野	縄文・平安	散布地	縄文土器、土師器
63	馬立II	平安	散布地	土師器
64	本館III	中世	城館跡	郭、堀
65	石持I	縄文・平安	集落跡	竪穴住居跡、溝とし穴、土師器、須恵器
66	似内	縄文・平安・近世	集落跡	竪穴住居跡、溝とし穴、土師器、須恵器、土鏡、鉄器、金粒
67	古館(仮内題)	中世	城館跡	
68	麻理	縄文	散布地	縄文土器、土師器
69	環市古墳群	古墳	古墳群	
70	添市館		城館跡	
71	東野袋	古代	散布地	土師器
72	矢沢古堂	古代	集落跡	土師器、須恵器、鉄製鏃
73	上野々	縄文	散布地	石斧、石器
74	添市	縄文・弥生	散布地	縄文土器(前?・中・晩期)、弥生土器(後期)、石鏡
75	陣ヶ森	中世	城館跡	堀、土塁
76	上館	縄文・古代	集落跡	竪穴住居跡、石器、縄文土器
77	下館	古代・平安	散布地	竪穴住居跡、土師器、須恵器
78	本館I	縄文	散布地	縄文土器(晩期)、石器
79	本館II	縄文	集落跡	溝とし穴状遺構
80	下似内	古代	散布地	土師器、須恵器
81	下東	古代	散布地	土師器、須恵器
82	上似内	古代	散布地	土師器、須恵器
83	槻ノ木II	縄文	散布地	縄文土器、石鏡
84	槻ノ木I	縄文・弥生	散布地	縄文土器(晩期)、弥生土器
85	花巻城	中世～近世	城館跡	堀
86	堀袋II	古代	散布地	土師器、須恵器、土鏡
87	高松I	縄文	散布地	縄文土器(中期)
88	高松II	縄文・弥生・平安	散布地	縄文土器(晩期)、弥生土器(谷起鳥)
89	高松III	縄文・弥生	散布地	縄文土器、弥生土器、石器
90	蒼前堂	縄文	散布地	縄文土器
91	上台I	縄文	散布地	縄文土器
92	古館(高小古館)	中世～近世	城館跡	堀
93	サイノ神	縄文	散布地	縄文土器(中期)
94	環袋I	縄文・古代	散布地	縄文土器、石器、土師器
95	安野I	縄文	散布地	縄文土器(後期)
96	上台III	縄文・古代	集落跡	縄文土器、石器、土師器
97	久用野I	縄文	散布地	埴土遺構、縄文土器、スクレイパー
98	上台II	縄文	埴	縄文土器
99	高木四神社		集落跡	埴、白磁甎
100	久田野II	縄文	城館跡	竪穴住居跡、縄文土器(中期)
101	絹四上山館	平安	城館跡	空堀、二道空堀、竪穴住居跡、縄文土器、土師器、須恵器、古銭、硯石

No	遺跡名	時代	種別	遺物・遺構
102	榎ノ木Ⅲ	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器、須恵器、石器
103	矢沢八幡	平安・江戸	集落跡・城跡跡	堀穴住居跡、竪立柱建物跡、溝、土師器、須恵器、古銭、陶磁器、石器
104	経塚森	古代	経塚	土師器
105	寺場	古代	集落跡	堀穴住居跡、土師器、須恵器
106	明ヶ沢	縄文	散布地	縄文土器(中期)、石器
107	高松寺跡		廃寺跡	古碑
108	安野Ⅱ	弥生	集落跡	弥生土器、石斧
109	安野Ⅲ	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器、石器
110	中野C	縄文・古代	集落跡	焼土、土坑、縄文土器、石器、土製耳栓、土師器、石鏃
111	中野B	縄文	散布地	縄文土器(後期)、弥生土器、石器
112	中里一里塚	近世	一里塚	塚之基
113	中野D	縄文・古代	散布地	土坑、縄文土器(前・中・後期)、弥生土器、(中期)、石器、土偶片、土師器
114	中野A	縄文	散布地	縄文土器、(中?)、土師器、石器、須恵器(?)
115	高松山経塚	平安・近世	経塚・廃寺跡	経塚、堀穴状遺構、白磁器、常滑瓦
116	綱森		塚	塚之基
117	桜町			
118	不動Ⅱ	縄文	集落跡	縄文土器(後・晩期)石器
119	不動Ⅲ	古代	散布地	土師器、須恵器、古銭(寛永通宝)
120	桜町窯跡	近世	窯跡	陶磁器、瓦片
121	上船	中世・近世	城跡跡	
122	高木中館	縄文・古代	散布地	縄文土器
123	長根Ⅲ	古代	散布地	
124	長根Ⅱ	古代	散布地	土師器
125	八ツ森	縄文・古代	集落跡	堀穴住居跡ほか、縄文土器、石器、土師器
126	山ノ神Ⅳ	縄文	散布地	縄文土器
127	外台河原	古代	散布地	土師器
128	二丁目城	縄文・中世	城跡跡	堀、土塚、縄文土器(早期)
129	長根Ⅰ	古代	散布地	土師器
130	荒塚敷	古代	集落跡	焼土、土師器
131	小森	古代	散布地	土師器
132	大沢Ⅱ	縄文・中世	散布地	縄文土器、土師器、須恵器
133	大沢Ⅰ	古代	集落跡	土師器、須恵器
134	山ノ神Ⅲ	縄文	散布地	縄文土器
135	山ノ神Ⅱ	縄文	散布地	縄文土器
136	山ノ神Ⅴ	縄文	散布地	縄文土器
137	山ノ神Ⅰ	縄文	散布地	縄文土器
138	沖	古代	散布地	土師器
139	宿内	縄文	散布地	縄文土器
140	一丁目中村	古代	散布地	土師器
141	栗原館	中世	城跡跡	郭、堀
142	長根坂	縄文	散布地	縄文土器(晩期)、石器
143	中	平安	散布地	土師器
144	平良木館		城跡跡?	堀
145	明戸Ⅰ	縄文	集落跡	縄文土器(後期)、石器
146	明戸Ⅱ	縄文・平安	集落跡	土師器、縄文土器、石器
147	明戸Ⅳ	縄文	散布地	縄文土器、土師器
148	長田田	縄文	散布地	縄文土器
149	明戸Ⅲ	縄文・古代	散布地	縄文土器、土師器、石器
150	臥牛	縄文	散布地	縄文土器(中・後・晩期)、須恵器、土偶
151	五増館	中世	城跡跡	带状護郭、堀
152	長根	縄文	散布地	縄文土器



第5図 周辺の遺跡分布図

### Ⅲ. 野外調査と整理方法

#### 1. 野外調査

##### (1) グリッドの設定と遺構名

グリッドの設定にあたっては平面直角座標第X系、 $X = -65,700.000$ 、 $Y = 26,800.000$ を調査原点座標とし、原点とした。調査で使用した基準点の成果は次のとおりである。

基1 ( $X = -65,800.000$   $Y = 27,000.000$ )

基2 ( $X = -65,800.000$   $Y = 27,020.000$ )

原点から東方向へは1～25の数字を付し、南方向へはA～Yを与え、これを組み合わせて、1A、2Bのように表示した。1グリッドの大きさは $10 \times 10$ mで、遺構外の遺物の取り上げに際しては、4分割した小グリッドを用いた。遺構名は種別ごとに1号竪穴住居跡、2号土坑のように任意に名称を付した。

##### (2) 掘削

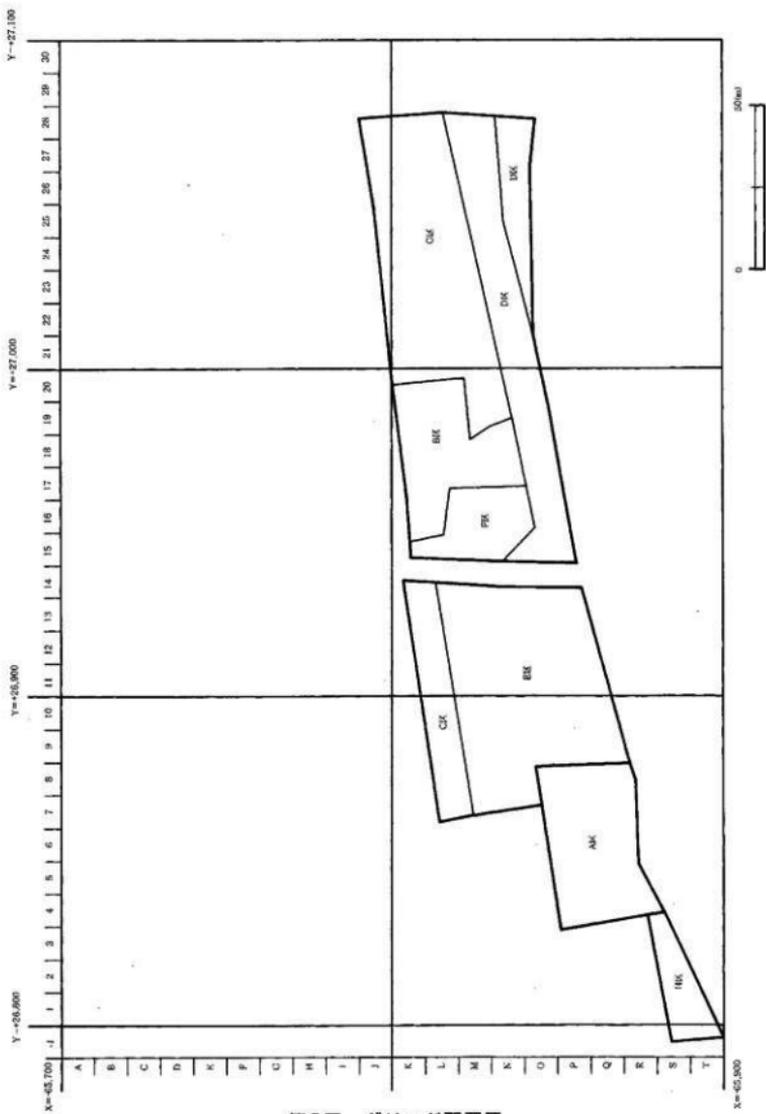
本調査に先立って岩手県教育委員会文化課が行った試掘調査によって今回の調査対象部分については遺構の粗密や層序・遺物の状況がある程度把握されていた。試掘の人らない所には人力によるトレンチを設定して、細部の状況を確認した。これにより遺構が検出するレベルまで遺物が少ないこともあり、重機によって、表土を除去し、その後人力による遺構検出を行った。

##### (3) 遺構の精査と実測・遺物の取り上げ

検出された遺構は、竪穴住居跡・竪穴状遺構は4分法で精査を実施し、遺構の平面図・断面図は20分の1の縮尺で実測を行った。一部竪穴住居跡のカマド・炉の平面・断面については10分の1で実測している。溝跡や堀跡については平板測量で40分の1の平面図を作成した。なお断面図は20分の1である。その他の遺構については2分法で精査を実施し、基本的には平面図・断面図ともに20分の1の縮尺で実測したが、例外的に10分の1で実測を行った遺構もある。遺構内出土の遺物については、埋土上層に基づいて取り上げ、必要に応じて写真撮影・図面作成後に取り上げた。遺構外出土の遺物については、前述のとおり、調査区ごとに出土した層位を記して取り上げた。

##### (4) 写真撮影

野外調査での写真撮影は、 $6 \times 7$ cm判カメラ(モノクロ)を1台、35mm判カメラ(モノクロ、カラー・リバーサル)を2台、この他にボラロイドカメラ1台をメモ的な用途として使用した。撮影に当たっては、撮影状況を記した「撮影カード」を事前に写し、整理時の混乱を防止した。また、調査終了にあたり調査現場の航空写真撮影を実施している。



第6図 グリッド配置図

## 2. 室内整理

### (1) 作業手順

遺構については調査現場で作成した実測図の点検、合成、第2原因の作成、トレース図版作成の順に進めた。遺物については、接合、復原を行った後、仕分け・登録と併行して実測図の作成、トレース、写真撮影、図版作成を順に進めた。また、これらの作業と併行して原稿執筆をした。

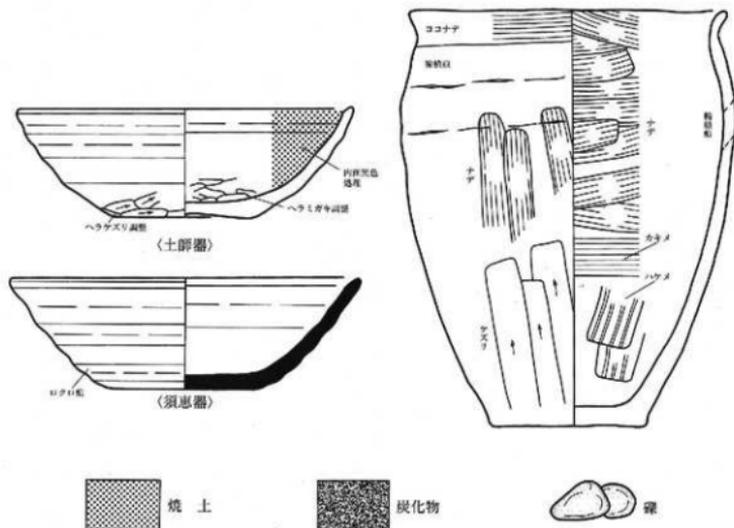
### (2) 遺構

遺構図面の縮尺は竪穴住居跡・竪穴状遺構については平面図・断面図ともに50分の1、カマドの各部断面図は25分の1、溝状遺構は平面図100分の1、断面図40分の1、土坑・陥し穴状遺構は平面図・断面図ともに50分の1を原則として掲載したが、遺構の規模によって一部変更もあり、図面にはそれぞれスケール・縮尺率を付した。遺構写真の縮尺については不定である。

### (3) 遺物

土器の実測図は原則として、反転実測が可能なものに限ったが、一部平面実測を行ったものもある。遺物写真の縮尺については実測図に準じている。遺物の実測図に付している番号は遺物写真図版に付した番号と同一である。拓本図版・写真図版掲載遺物の縮尺率は下記の通りである。

土器・陶磁器・礫石器・・・1/3 大型の土器・・・1/4 剥片石器・土製品・古銭・鉄製品・・・1/2  
図版中の土器はP、礫はS、木片はWと表している。



第7図 実測凡例図

## IV. 検出された遺構

### 1. 陥し穴状遺構

陥し穴状遺構は67基検出された。平面形のほとんどが溝型で細長楕円形の形状を呈している。平面形で最大のは開口部径486×25cmで最小のものは159×47cmであり、多くは開口部径約270×40cmの規模を持つ。また、最も深いもので116cm、浅いもので9cmを割り、約80～90cmの深さを持つものが大半を占める。

各陥し穴状遺構の位置・規模等については観察表に記載した。

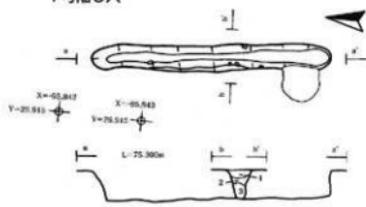
(熊谷)

陥し穴状遺構観察表

遺構名	位置	平面形	開口部径	底部径	深さ	真方位	埋土	検出状況・重層関係	図版	写真
1号陥し穴	120	溝型	290×31	268×10	35	N-7°-W	全体が黒色土主体である。	柱穴と重複	8	4
2号陥し穴	16N	溝型	306×35	283×8	56	N-22°-W	黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		8	4
3号陥し穴	120	溝型	263×24	255×13	27	N-70°-W	上位は黒色土、下位は黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		8	16
4号陥し穴	21M 22M	溝型	279×31	261×10	85	N-51°-W	黒色土主体で中位に褐色土混じる。		8	4
5号陥し穴	22M	溝型	268×45	316×11	74	N-29°-W	上位は黒色土、下位は黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。	柱穴と重複	8	4
6号陥し穴	24L	溝型	228×48	214×11	77	N-28°-E	上位は黒色土、下位は黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		8	4
7号陥し穴	24L 25L	溝型	295×43	296×15	82	N-85°-E	黒色、黒褐色土と暗褐色土がほぼ交互に堆積。		9	5
8号陥し穴	23L	溝型	275×43	268×10	81	N-68°-E	上位は黒褐色土、下位は黒色土主体で褐色混じる。		9	5
9号陥し穴	23K	溝型	298×35	289×12	78	N-70°-W	黄褐色土が黒色土に挟まれて堆積。		9	5
10号陥し穴	22L 23L	溝型	332×61	331×12	110	N-76°-W	上位は黒色土、下位は黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。	柱穴と重複	9	5
11号陥し穴	23K	溝型	288×56	324×15	88	N-90°-W	黄褐色土が黒褐色土上に挟まれて堆積。		9	5
12号陥し穴	23K 24K	溝型	406×61	374×15	77	N-68°-E	黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		9	6
13号陥し穴	22K	溝型	259×46	253×9	79	N-71°-W	黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		10	6
14号陥し穴	22K	溝型	293×33	284×11	84	N-81°-E	全体が黒色土主体で上位は1号型穴状の埋土。	1号型穴状と重複し これより古い。	10	6
15号陥し穴	24K	溝型	278×61	307×11	87	N-67°-E	上位は黒色土、下位は褐色土が黒褐色土に挟まれて堆積。		10	6
16号陥し穴	24J 24K	溝型	(290×44)	299×12	102	N-75°-R	暗褐色土と黄褐色土が交互に堆積。		10	16
17号陥し穴	24L 25L	溝型	302×61	333×9	101	N-70°-E	上位は黒褐色土、下位は褐色土と黄褐色土が交互に堆積。	柱穴と重複	10	6
18号陥し穴	24L 25L	溝型	288×65	300×13	98	N-68°-E	上位は黒褐色土、下位は黄褐色土が暗褐色土に挟まれて堆積。	柱穴と重複	10	7
19号陥し穴	25L 26M	溝型	250×61	311×24	98	N-78°-E	褐色土と黒色、暗褐色土がほぼ交互に堆積。		11	7
20号陥し穴	24M	溝型	213×54	226×14	110	N-85°-W	上位は黒褐色土と暗褐色土が交互に、下位は黄褐色土が堆積。		11	7
21号陥し穴	23L	溝型	254×61	306×13	94	N-59°-E	黒色土と暗褐色土がほぼ交互に堆積。		11	7
22号陥し穴	21L	溝型	(151×29)	(163×14)	78	N-70°-E	黒褐色土が黒色土に挟まれて堆積。	東部段石により不明	11	7
23号陥し穴	24K	溝型	312×18	370×5	116	N-86°-E	全体が黒褐色土を主体とし、下位で黄褐色土が混じる。	7号位併し重複し、 これより古い。	11	8
24号陥し穴	18K	溝型	284×41	263×7	71	N-73°-W	黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。 上位は黄褐色土層土を挟む。		11	8
25号陥し穴	25L	溝型	222×56	235×34	81	N-59°-W	上位は黒褐色土、下位は黄褐色土を左右で挟む。	2号位併し重複し、 これより古い。	12	8
26号陥し穴	17N	溝型	230×50	211×12	80	N-75°-W	黄褐色土と黒褐色土が交互に堆積。 上・下層は暗褐色土が堆積。		12	8
27号陥し穴	17N	溝型	193×52	200×9	89	N-77°-W	全体が黒褐色土を主体とする堆積。		12	8
28号陥し穴	16L	溝型	257×35	267×11	88	N-75°-E	黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		12	9
29号陥し穴	16M	溝型	236×42	291×10	88	N-5°-E	ほぼ全体が黒褐色土、下層に黄褐色土が堆積。		12	9
30号陥し穴	17K	楕円形	275×74	314×10	90	N-87°-E	上位は黒色土、下位は黒褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		12	9

遺構名	位置	平面形	開口形状	底面径	深さ	長軸方向	埋土	検出状況・重複関係	図版	写真
31号陥し穴	12L	溝型	171×30	164×15	55	N-87°-W	黄褐色土層が黒褐色土層に挟まれて堆積。		13	9
32号陥し穴	12L	楕円形	159×47	170×18	86	N-87°-W	黄褐色土層が暗褐色土層に挟まれ堆積。中心には黒褐色土を含む。		13	9
33号陥し穴	9N	溝型	365×32	349×18	77	N-76°-W	黄褐色土層が黒褐色土層に挟まれ堆積。		13	10
34号陥し穴	8N	溝型	265×57	246×22	74	N-52°-W	褐色土層が黒褐色土層に挟まれ堆積。		13	10
35号陥し穴	7M	溝型	168×30	184×6	79	N-66°-E	上位は黒褐色土、下位には暗褐色土層が堆積。		13	10
36号陥し穴	7N 8N	溝型	269×53	265×12	115	N-82°-W	上位は黒褐色土、下位には黄褐色土が暗褐色土に挟まれて堆積。		13	10
37号陥し穴	15L	溝型	273×28	314×7	64	N-62°-E	全体がほぼ黒褐色土の単層。	28号住居と重複し、これより古い。	14	16
38号陥し穴	7N	溝型	203×42	179×5	94	N-78°-E	黄褐色土層が黒褐色土層と暗褐色土層に挟まれて堆積。		14	10
39号陥し穴	15N	溝型	261×19	263×10	51	N-41°-W	上位は黒色土、黒褐色土、下位には褐色土が堆積。		14	11
40号陥し穴	20O	溝型	273×31	265×8	76	N-35°-W	上位は黒色土と黒褐色土が交互に下位には褐色土が堆積。		14	11
41号陥し穴	21N	溝型	311×28	317×13	91	N-54°-W	黄褐色土が黒色土に挟まれて堆積。中心には黒褐色土を含む。		14	11
42号陥し穴	24M 25M	溝型	311×44	326×16	81	N-84°-E	上位は黒色土、下位には暗褐色土、黒褐色土が堆積。		14	11
43号陥し穴	23M	溝型	234×47	224×15	93	N-4°-W	全体がほぼ黒褐色土、暗褐色土で中心に褐色土が堆積。		15	11
44号陥し穴	17O	溝型	(332×64)	336×14	81	N-73°-W	黒色土と黒褐色土が交互に堆積。中心には黒褐色土を含む。		15	12
45号陥し穴	23N	溝型	(323×24)	(303×6)	77	N-58°-E	黒色土と黒褐色土が交互に堆積。	1号土坑と重複	15	12
46号陥し穴	24N 25N	溝?	285×67	276×16	82	N-72°-W	上位は黒色土、下位には黒褐色土、暗褐色土、黒色土が堆積。	25号住居と重複し、これより古い。	15	12
47号陥し穴	24M 25M	溝?	252×68	372×15	81	N-81°-E	上位は黄褐色土が黒色系に挟まれて堆積。	2号土坑と重複し、これより新しい。	15	12
48号陥し穴	27M	溝型	256×16	252×10	9	N-84°-W	暗褐色土、黒色土、にぶい黄褐色土が順に堆積。		15	12
49号陥し穴	26M	溝型	272×31	233×20	11	N-82°-E	黒褐色土、黒色土の順に堆積。黒色土は薄く入る。		16	13
50号陥し穴	26M	溝型	318×21	308×15	20	N-89°-W	黒褐色土、にぶい黄褐色土、黒色土の順に堆積。		16	13
51号陥し穴	26M	溝型	486×25	465×11	37	N-78°-W	にぶい黄褐色土が暗褐色土、黒色土に挟まれて堆積。		16	13
52号陥し穴	26N	溝型	397×21	373×13	28	N-67°-W	上位は暗褐色土、下位にはにぶい黄褐色土が薄く堆積。		16	13
53号陥し穴	25N	溝型	288×74	284×27	93	N-81°-W	にぶい黄褐色土が黒色系に挟まれて堆積。		16	13
54号陥し穴	25N 25N	溝型	343×50	331×19	95	N-68°-W	黒色土ににぶい黄褐色土が交互に堆積。		16	14
55号陥し穴	16O	溝型	215×15	182×12	102	N-51°-W	黒褐色土が堆積。	20-21号住居と重複、これより古い。	16	14
56号陥し穴	17O	溝型	351×56	354×11	79	N-79°-W	暗褐色土とにぶい黄褐色土がほぼ交互に堆積。		17	14
57号陥し穴	12L	溝型	408×39	385×19	87	N-30°-E	黒褐色土と暗褐色土がほぼ交互に堆積。		17	14
58号陥し穴	13K	溝型	361×40	349×16	87	N-3°-E	上位は黒褐色土、下位には黒色系と褐色土が交互に堆積。		17	14
59号陥し穴	17O	溝型	215×44	273×11	113	N-70°-E	黒色土とにぶい黄褐色土がほぼ交互に堆積。		17	15
60号陥し穴	12L	溝型	198×40	222×23	61	N-82°-E	にぶい黄褐色土が黒褐色土に挟まれ堆積。		17	15
61号陥し穴	12L	溝型	208×44	247×22	91	N-84°-E	黒色系と褐色土が交互に堆積。		17	15
62号陥し穴	11L	長方形	228×45	205×15	81	N-75°-E	にぶい黄褐色土が黒色系に挟まれ堆積。		18	15
63号陥し穴	10L	溝型	241×31	255×17	46	N-87°-E	上位は黒色土、下位には褐色土と暗褐色土が交互に堆積。		18	15
64号陥し穴	23M	溝型	358×16	343×10	55	N-74°-W	上位は褐色土、下位には褐色土と黒褐色土が交互に堆積。	30号住居跡と重複し、これより古い。	18	16
65号陥し穴	24N	溝型	202×21	192×13	26	N-4°-E	黒褐色土の単層。	25号住居跡と重複し、これより古い。	18	16
66号陥し穴	22N	溝型	(310×21)	(268×11)	31	N-72°-E	黒褐色土が褐色土に挟まれて堆積。	23号住居跡と重複し、これより古い。	18	16
67号陥し穴	23N 24N	溝型	304×16	241×6	21	N-77°-W	上位は25号住居跡土、下位には黒褐色土と暗褐色土が堆積。	24号住居跡と重複し、これより古い。	18	16

### 1号陥し穴

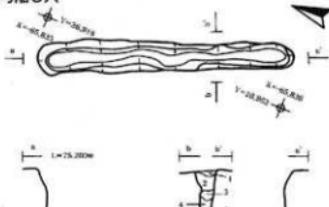


#### 1号陥し穴

b-b'

1. 10YR1.7/1 黒色土 粘りなし L&Rあり 腐葉土混 (10YR3/3) 1%含む。
2. 10YR2/1 黒色土 粘性ややあり L&Rあり 腐葉土混 (10YR2/3) 1%含む。
3. 10YR2/1 黒色土 粘性あり R&Rあり 腐葉土混 (10YR2/3) 5%含む。

### 2号陥し穴

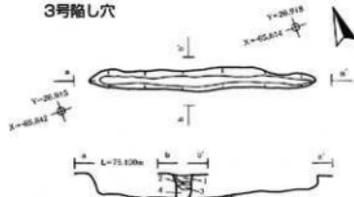


#### 2号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり L&Rあり 腐葉土混 (10YR5/6 腐30mm) 70%含む。
2. 10YR2/4 黒褐色土 粘性ややあり L&Rあり 腐葉土混 (10YR4/3 腐5-10mm) 70%含む。
3. 10YR2/3 黒褐色土 粘性ややあり L&Rあり 腐葉土混 (10YR4/6 腐5-10mm) 70%含む。
4. 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり L&Rややあり 腐葉土混 (10YR4/6 腐3-20mm) 70%含む。
5. 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり L&Rややあり 腐葉土混 (10YR4/6) 25%含む。

### 3号陥し穴

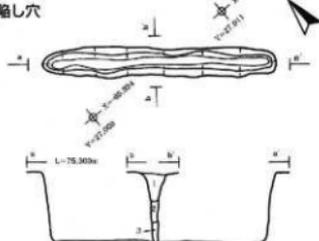


#### 3号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/4 黒褐色土 粘性あり L&Rあり 腐葉土混 (10YR4/6) 1%含む。
2. 10YR2/4 黒褐色土 粘性あり L&Rなし。
3. 10YR3/4 暗褐色土 粘性ややあり L&Rなし。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘性ややあり L&Rなし。

### 4号陥し穴

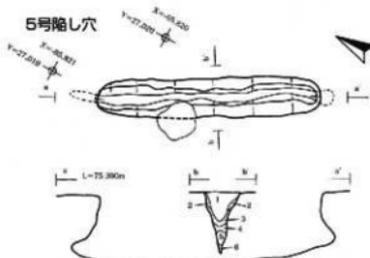


#### 4号陥し穴

b-b'

1. 10YR1.7/1 黒色土 粘性ややあり L&Rあり 腐葉土混 (10YR4/6) 1%含む。
2. 10YR2/1 黒色土 粘性ややあり L&Rややあり 腐葉土混 (10YR4/6) 20%含む。
3. 10YR2/1 黒色土 粘性ややあり L&Rややあり。

### 5号陥し穴

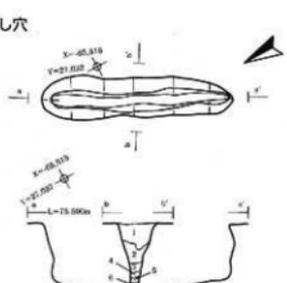


#### 5号陥し穴

b-b'

1. 10YR1.7/1 黒色土 粘性なし L&Rあり 腐葉土混 (10YR3/3) 1%含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし L&Rあり。
3. 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり L&Rあり。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり L&Rあり 腐葉土混 (10YR4/6) 1%含む。
5. 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり L&Rあり 腐葉土混 (10YR4/6) 1%含む。
6. 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり L&Rあり。

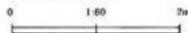
### 6号陥し穴



#### 6号陥し穴

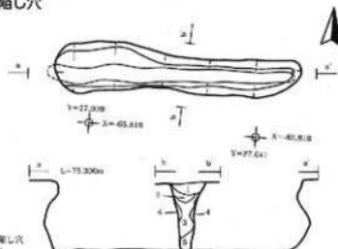
b-b'

1. 10YR2/1 黒色土 粘性あり L&Rあり。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり L&Rあり。
3. 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり L&Rややあり。
4. 10YR2/1 黒色土 粘性あり L&Rややあり。
5. 10YR3/4 暗褐色土 粘性あり L&Rややあり。
6. 10YR2/1 黒色土 粘性あり L&Rややあり。



第8図 1~6号陥し穴

### 7号陥し穴

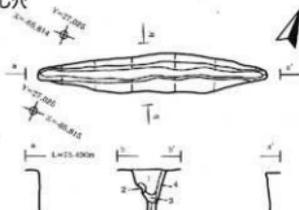


7号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黒褐色土 腐植なし 固くしよる
2. 10YR3/4 暗褐色土 腐植あり しよりあり
3. 10YR2/1 三色土 腐植あり しよりあり
4. 10YR2/2 黒褐色土 腐植ややあり しよりあり
5. 10YR3/4 暗褐色土 腐植ややあり しよりあり

### 8号陥し穴

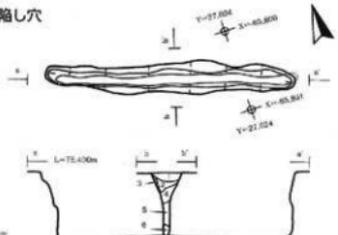


8号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりあり 腐化程度2%含む
2. 10YR4/4 褐色土 腐植あり しよりあり 腐化程度1%含む。炭酸礫土
3. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりあり 腐化程度1%含む
4. 10YR2/2 黒褐色土 腐植なし しよりややあり 炭化物1%含む
5. 10YR4/4 褐色土 腐植あり しよりややあり 炭化物1%含む
6. 10YR3/4 暗褐色土 腐植あり しよりなし 腐植土 (10YR5/5 径20mm) ブロックで3%含む

### 9号陥し穴

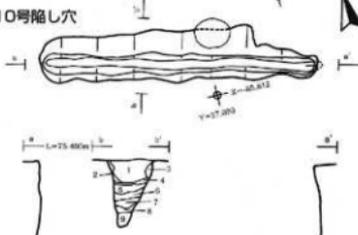


9号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土塊 (10YR5/5) 2%含む
2. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土塊 (10YR5/5 径10mm) ブロックで3%含む
3. 10YR4/6 褐色土 腐植あり しよりあり 炭化物1%含む。炭酸礫土
4. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土 (10YR5/5 径20mm) ブロックで2%含む
5. 10YR5/6 黄褐色土 腐植あり しよりあり 炭化物1%含む
6. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり

### 10号陥し穴

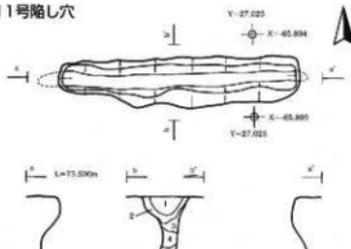


10号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/1 三色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土塊 (10YR5/5) 1%含む
2. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土塊 1%含む。炭酸礫土
3. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土塊 (10YR4/6) 3%含む
4. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土 (10YR4/6) 5%含む
5. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR4/6) 1%含む
6. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR4/6) 1%含む
7. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR5/5) 5%含む
8. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR5/5 径5-10mm) ブロックで20%含む
9. 10YR5/5 黄褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土2%含む

### 11号陥し穴

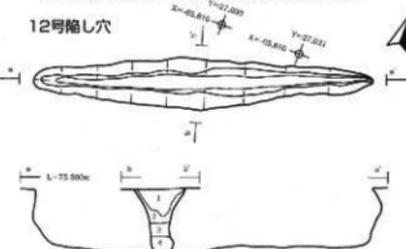


11号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりあり
2. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土塊 (10YR5/5) 3%含む
3. 10YR3/6 暗褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR4/6 径30mm) ブロックで15%含む
4. 10YR3/6 暗褐色土 腐植あり しよりあり 炭化物1%含む
5. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土 (10YR5/5 径10mm) ブロックで5%含む
6. 10YR2/2 黒褐色土 腐植あり しよりややあり

### 12号陥し穴



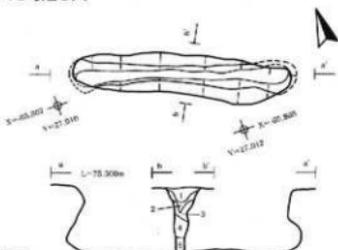
12号陥し穴

b-b'

1. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR5/5 径50mm) ブロックで2%含む
2. 7.5YR3/4 暗褐色土 腐植あり しよりあり 炭褐色土 (10YR5/5 径15mm) ブロックで3%含む
3. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりあり 褐色土 (10YR4/4 径30mm) ブロックで4%炭化物1%含む
4. 10YR2/3 黒褐色土 腐植あり しよりややあり 炭褐色土 (10YR5/5) 3%含む

第9図 7~12号陥し穴

13号船し穴

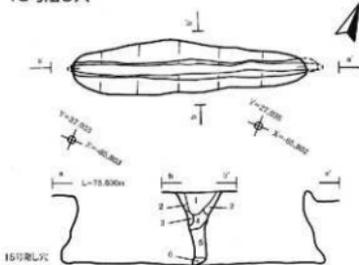


13号船し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黄褐色土 磁鉄あり L20mm
2. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L40mm 炭化植物1%含む
3. 10YR3/4 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 炭化植物3%含む炭化物1%含む
4. 10YR3/4 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 炭化植物3%含む炭化物1%含む
5. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 炭化植物3%含む炭化物1%含む

15号船し穴

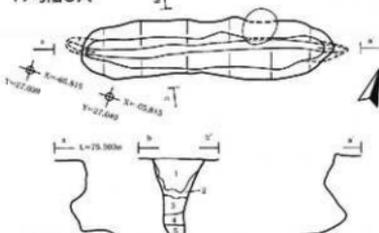


15号船し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を1%含む
2. 10YR3/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を10~30mmプロットで2%含む
3. 10YR3/4 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を150mmプロットで炭化物1%含む
4. 10YR2/2 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を2%含む炭化物1%含む
5. 10YR4/6 褐色土 磁鉄あり L20mm 炭化植物2%含む
6. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を1%含む

17号船し穴

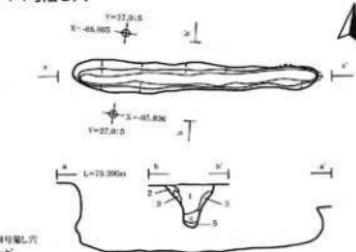


17号船し穴

b-b'

1. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を1%含む
2. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を10~30mmプロットで2%含む
3. 10YR3/4 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を100mmプロットで炭化物1%含む
4. 10YR2/2 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を2%含む炭化物1%含む
5. 10YR4/6 褐色土 磁鉄あり L20mm 炭化植物2%含む
6. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を1%含む

14号船し穴



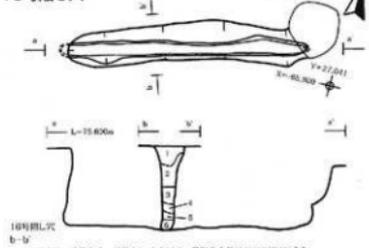
14号船し穴

b-b'

1. 10YR2/2 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を3%含む
2. 10YR2/2 黄褐色土 磁鉄あり L40mm 黄褐色土に10YR3/6を10mmプロットで2%含む
3. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 黄褐色土に10YR3/6を100mmプロットで3%炭褐色土に10YR6/4を2%含む
4. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR6/4を3% 炭化物1%含む
5. 10YR2/3 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 黄褐色土に10YR6/4を7% 炭褐色土に10YR6/4を1%含む

\*1~3は本遺跡の他の発掘区画の埋土

16号船し穴

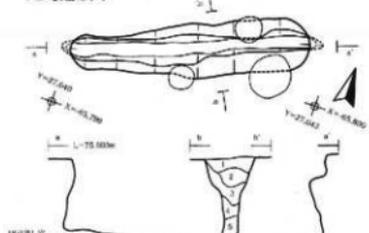


16号船し穴

b-b'

1. 10YR2/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 黄褐色土に10YR3/6を1%含む
2. 10YR5/6 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 暗褐色土に10YR3/4を50mmプロットで5%含む
3. 10YR3/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR3/6を3%含む
4. 10YR5/6 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR3/6を2%含む
5. 10YR2/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR3/6を10~20mmプロットで2%含む
6. 10YR5/6 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR2/3を10mmプロットで2%含む

18号船し穴

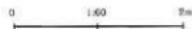


18号船し穴

b-b'

1. 10YR3/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 黄褐色土に10YR3/6を1%含む
2. 10YR5/6 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 暗褐色土に10YR3/4を50mmプロットで5%含む
3. 10YR3/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR3/6を3%含む
4. 10YR5/6 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR3/6を2%含む
5. 10YR2/3 暗褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR3/6を10~20mmプロットで2%含む
6. 10YR5/6 黄褐色土 磁鉄あり L20mm 褐色土に10YR2/3を10mmプロットで2%含む

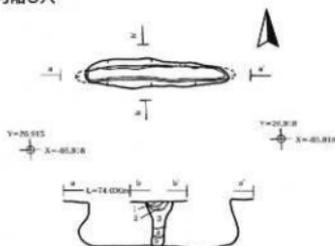
第10図 13~18号船し穴







### 31号陥穴

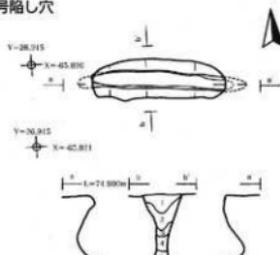


31号陥穴

φ=7

1. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり少 黄褐色土層 (10YR2/2) 2%含む。
2. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 10%含む。
3. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 1%含む。
4. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。
5. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。

### 32号陥穴

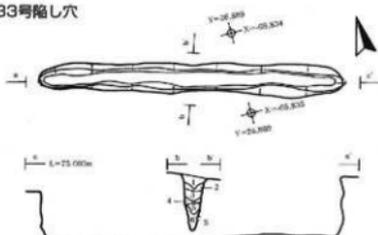


32号陥穴

φ=7

1. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 10%含む。
2. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 10%含む。
3. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 1%含む。
4. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。
5. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。

### 33号陥穴

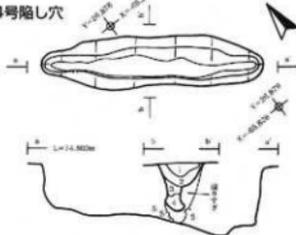


33号陥穴

φ=7

1. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 1%含む。
2. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 1%含む。
3. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 1%含む。
4. 10YR2/4 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/4) 2%含む。
5. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 2%含む。
6. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 2%含む。

### 34号陥穴

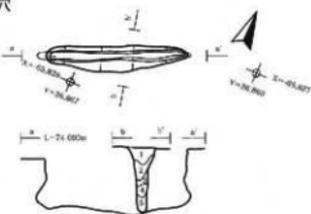


34号陥穴

φ=7

1. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 10%含む。
2. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 10%含む。
3. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 1%含む。
4. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 2%含む。

### 35号陥穴

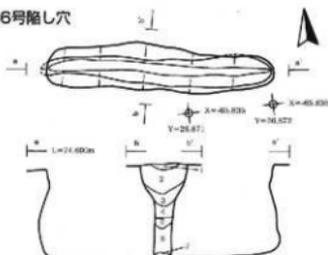


35号陥穴

φ=7

1. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 10%含む。
2. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 30%含む。
3. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 30%含む。
4. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。
5. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。

### 36号陥穴

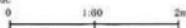


36号陥穴

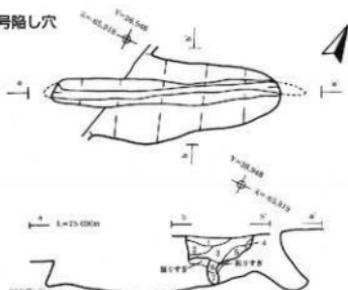
φ=7

1. 10YR2/4 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/4) 1%含む。
2. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 10%含む。
3. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 10%含む。
4. 10YR2/2 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/2) 10%含む。
5. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。
6. 10YR2/3 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/3) 2%含む。
7. 10YR2/4 紫褐色土 粘質土質 L しまり中 黄褐色土層 (10YR2/4) 1%含む。

第13図 31~36号陥穴



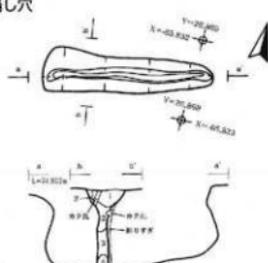
37号隠し穴



37号隠し穴

- 37号隠し穴  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 5. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 6. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 7. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり

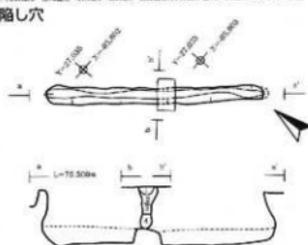
38号隠し穴



38号隠し穴

- 38号隠し穴  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり 炭褐色土 (10YR5/6) 1%含む  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり 炭褐色土 (10YR5/6) 7%含む  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり 炭褐色土 1%含む  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり 炭褐色土 (10YR5/6) 1%含む

39号隠し穴

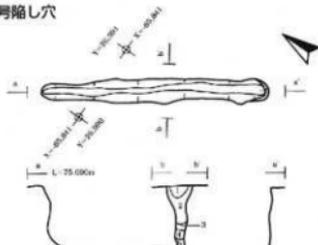


39号隠し穴

39号隠し穴

- 39号隠し穴  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり

40号隠し穴

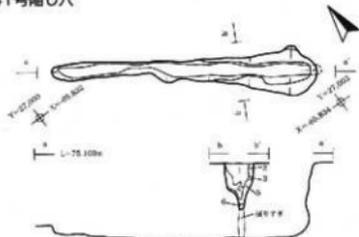


40号隠し穴

40号隠し穴

- 40号隠し穴  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 5. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり

41号隠し穴

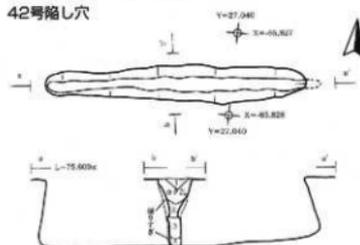


41号隠し穴

41号隠し穴

- 41号隠し穴  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 5. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 6. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり

42号隠し穴



42号隠し穴

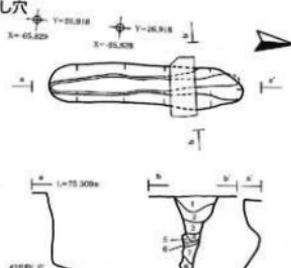
42号隠し穴

- 42号隠し穴  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり 少量あり

第14図 37~42号隠し穴

0 1.60 3m

43号陥し穴

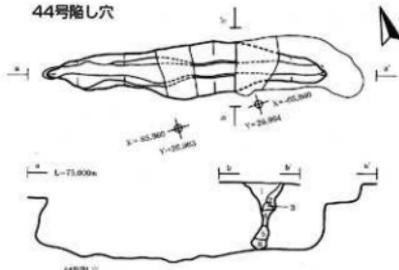


43号陥し穴

4x4

- 1 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 2 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 3 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 4 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 5 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 6 10V212 高土層上層土 掘り出し層。

44号陥し穴

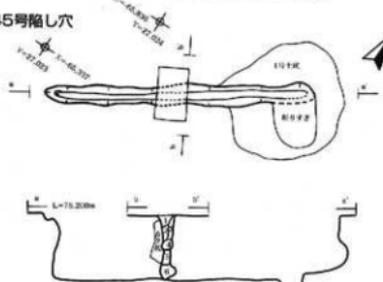


44号陥し穴

4x4

- 1 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 2 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 3 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 4 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 5 10V212 高土層上層土 掘り出し層。

45号陥し穴

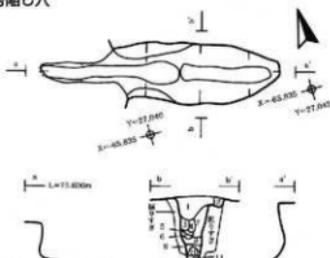


45号陥し穴

4x4

- 1 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 2 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 3 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 4 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 5 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 6 10V212 高土層上層土 掘り出し層。

46号陥し穴

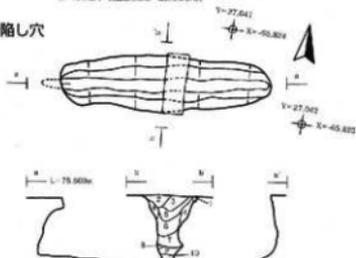


46号陥し穴

4x4

- 1 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 2 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 3 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 4 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 5 10V212 高土層上層土 掘り出し層。

47号陥し穴

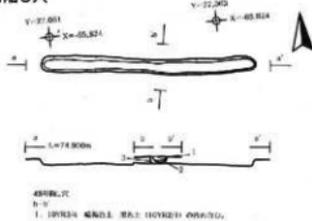


47号陥し穴

4x4

- 1 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 2 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 3 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 4 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 5 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 6 10V212 高土層上層土 掘り出し層。

48号陥し穴



48号陥し穴

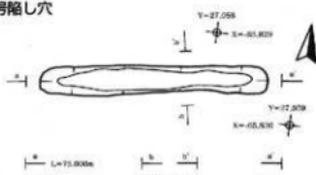
4x4

- 1 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 2 10V212 高土層上層土 掘り出し層。
- 3 10V212 高土層上層土 掘り出し層。

第15図 43~48号陥し穴

0 1:60 2m

49号陥し穴



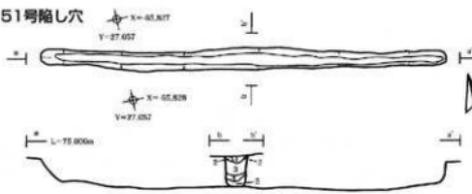
49号陥し穴

h=0.7

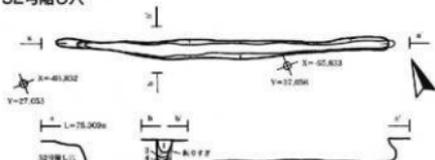
1. 10VX23 灰褐色土層上 灰土コア付存在、

2. 10VX23 灰褐色土層上 焼くしまる。

51号陥し穴



52号陥し穴



52号陥し穴

h=0.7

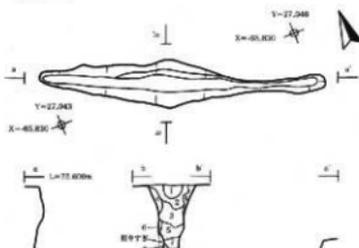
1. 10VX24 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

2. 10VX24 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

3. 10VX24 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

4. 10VX24 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

54号陥し穴



54号陥し穴

h=0.7

1. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

2. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

3. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

4. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

5. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

6. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

7. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

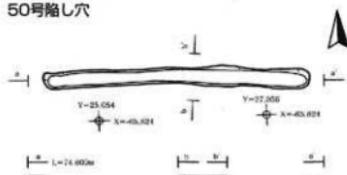
8. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

9. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

10. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

11. 10VX27 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、

50号陥し穴



50号陥し穴

h=0.7

1. 10VX22 灰褐色土層上 灰褐色土層付存在、

2. 10VX22 灰褐色土層上 灰褐色土層付存在、

3. 10VX22 灰褐色土層上 灰褐色土層付存在、

51号陥し穴

h=0.7

1. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

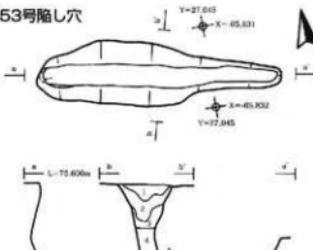
2. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

3. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

4. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

5. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

53号陥し穴



53号陥し穴

h=0.7

1. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

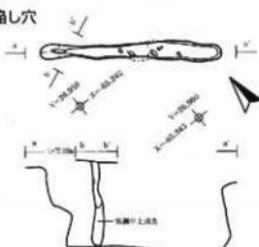
2. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

3. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

4. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

5. 10VX21 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、

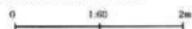
55号陥し穴



55号陥し穴

h=0.7

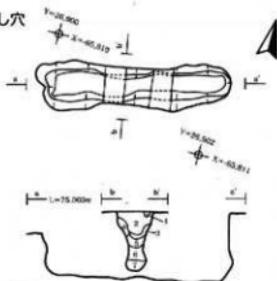
1. 10VX22 暗褐色土層上 灰褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、暗褐色土層付存在、



第16図 49～55号陥し穴



62号陥し穴

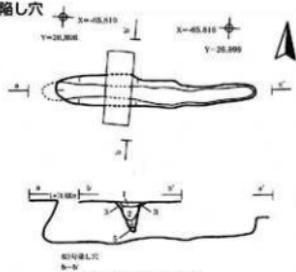


62号陥し穴

b-y'

1. 10YR5/4 褐色土層下層 褐色土ブロック状
2. 10YR2/1 褐色粘土層上 褐色土
3. 10YR5/3 褐色粘土層上
4. 10YR4/4 褐色土層下層 褐色土ブロック状、褐色土10YR2/1の中層上、L895L
5. 10YR2/1 褐色粘土層上 褐色土層分心
6. 10YR6/2 褐色土層上層上 褐色土10YR2/3の中層上
7. 10YR2/3 褐色粘土層上 褐色土層、褐色土10YR2/1の中層上

63号陥し穴

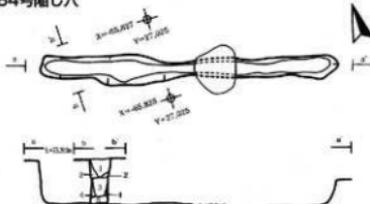


63号陥し穴

b-y'

1. 10YR2/1 褐色粘土層上 褐色土層
2. 10YR2/3 褐色粘土層上 褐色土ブロック状の中層上
3. 10YR2/1 褐色粘土層上 褐色土層
4. 10YR5/4 褐色粘土層上 褐色土層
5. 10YR2/3 褐色粘土層上 褐色土層

64号陥し穴

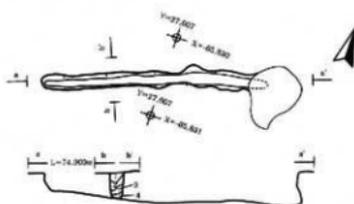


64号陥し穴

b-y'

1. 10YR2/1 褐色土
2. 10YR4/4 褐色土層下層 褐色土ブロック状 (10YR2/2) 層
3. 10YR2/2 褐色粘土層上層上 褐色土層分心
4. 10YR4/6 褐色土層上 褐色土層分心
5. 10YR5/1 褐色粘土層上層上 褐色土層分心

66号陥し穴

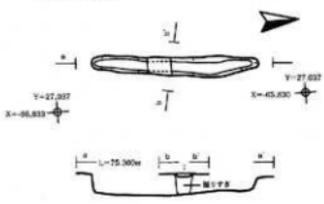


66号陥し穴

b-y'

1. 10YR4/4 褐色土層下層上 褐色土 (10YR2/2) 層
2. 10YR5/1 褐色粘土層上
3. 10YR2/2 褐色粘土層上層上
4. 10YR4/4 褐色土層上層上

65号陥し穴

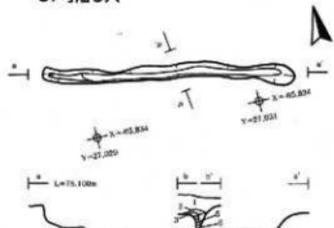


65号陥し穴

b-y'

1. 10YR2/1 褐色土 炭化物、褐色土層分心

67号陥し穴



67号陥し穴

b-y'

1. 10YR4/4 褐色土層下層上層分心 (10YR2/1)の中層上層上、褐色土層、褐色土10YR2/3の中層上
2. 10YR2/2 褐色粘土層上層上 褐色土10YR2/1、24号の陥し穴の中層上
3. 10YR2/3 褐色粘土層上層上 褐色土層、24号の陥し穴の中層上
4. 10YR2/1 褐色粘土層上層上 褐色土層分心、褐色土層分心
5. 10YR2/3 褐色粘土層上層上 褐色土層
6. 10YR5/4 褐色粘土層上層上 褐色土層

0 1:50 2m

第18図 62~67号陥し穴

## 2. 土坑

41基検出された。調査区のほぼ全域で検出されているが、約8割は道路東側調査区である。平面形は円形12基、楕円形22基、隅丸方形1基、長方形4基、不整形2基で楕円形が約5割を占める。規模は最小のもので開口部径76×69cm、最大で291×256cm、深さは10～127cmである。

時期は出土遺物・検出状況等から縄文時代の土坑と考えられるものが5基、平安時代が13基、古代～中世が2基、近世が1基、時期不明のものが20基である。

特筆される土坑として数基挙げておく。まず1・2号土坑は陥し穴状遺構と重複関係にある。いずれも陥し穴状遺構に切られている事から土坑はそれより古い縄文時代の遺構と考えられる。1号土坑の断面形はフラスコ状を呈している。

9号土坑では土師器の坏が2・3枚ずつ重なって計9枚出土している。この中には竈で文字が書かれた土師器が1枚含まれていた。9号土坑の埋上状況をみると、初めビーカー型に大きく掘り込んだ後、黄褐色土を埋め戻したと考えられる。土師器は保管、あるいは埋納した可能性もある。

13号土坑と15号土坑は異なる平面形・規模を持つが、土坑のプランはほぼ全面に薄い土器片を多量に含むという共通性を持つ。また、炭化物も含んでいる。15号土坑は11号住居と重複関係にあり本遺構の方が新しい。

36号土坑は円形を呈し、壁はやや外形し、上部ほど広がる井戸状の土坑である。検出面からおよそ1.3m付近に地下水位があったためその付近の精査は困難であったが、そこより深くなる事はないようで、出土遺物もないことから井戸と断定は出来なかった。

各土坑の位置・規模等については観察表に記載した。

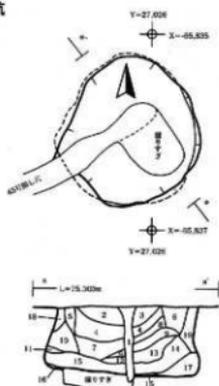
(熊谷)

土坑観察表

遺構名	位置	平面形	開口部径	底径	深さ	埋土	記録	備考	図版	写真
1号土坑	23N	円形	139×135	150×138	71	上位は黒褐色土層に炭化物が含まれ、下位は褐色土が堆積。		45号陥し穴より古い、フラスコ型の土坑。縄文時代の遺構。	19	54
2号土坑	24M	円形	138×139	79×58	41	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。		47号陥し穴より古い、開土・検出状況から縄文時代の遺構。	19	54
3号土坑	25M 25N	楕円形	159×131	78×75	55	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。		埋上から縄文時代の遺構である。	19	54
4号土坑	25N	円形	180×190	86×56	74	暗褐色土層と黒褐色土層が交互に堆積。		埋上から縄文時代の遺構である。	19	54
5号土坑	25N	隅丸方形	92×100	58×61	24	上位は黒褐色土、下位は暗褐色土の層が堆積。		埋上から縄文時代の遺構である。	19	55
6号土坑	22N	不整形円形	123×136	53×52	26	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。		埋上から縄文時代の遺構か？	20	55
7号土坑	26N	不整形	90×79	41×30	13	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。	413-415	出土遺物から平安時代の遺構である。	20	55
8号土坑	26N	楕円形	65×53	38×30	10	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。	416-417	出土遺物から平安時代の遺構である。	20	55
9号土坑	26N	楕円形	115×104	104×81	34	中央はほぼ黒褐色土で両側は黄褐色土層が堆積。	418-427	出土遺物から平安時代の遺構である。	20	56
10号土坑	19N	長方形	176×108	108×70	62	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。	428-430	出土遺物から平安時代の遺構である。	20	56
11号土坑	16K	楕円形	90×76	56×48	27	上位は褐色土、下位は黒褐色土の層が堆積。	431-432	出土遺物から平安時代の遺構である。	20	62
12号土坑	19N	不整形長方形	110×81	79×54	16	上位に薄く、中～下位は黒褐色土の層が堆積。		出土遺物から平安時代の遺構である。	21	62
13号土坑	18M	不整形円形	76×69	71×61	12	全体に黒褐色土、間断的に腐食した褐色土層が堆積。		出土遺物から平安時代の遺構である。	21	56

遺構名	位置	平面形	開口部径	底高径	深さ	埋上	土層	備考	掲載	写真
14号土坑	15M	不整な長方形	135×92	(101×69)	36	上位は黒褐色土、下位は暗褐色土の層が堆積。		出土遺物から平安時代の遺構である。	21	56
15号土坑	16K	不整形	168×158	135×124	18	上位は土器片を多量に含む黒褐色土、下位は黒色土の層が堆積。	433	11号作居より新しい。出土遺物から平安時代の遺構である。	21	57
16号土坑	15O	楕円形	138×91	101×51	33	上位は黒色土、下位は黒褐色土の層が堆積。		埋上から古代の遺構である。	21	57
17号土坑	18O	楕円形	225×137	202×96	105	上～中位は黒褐色土、下位は黄褐色土の層が堆積。	434-437	出土遺物から平安時代の遺構である。	22	57
18号土坑	15O	不整な楕円形	(150×118)	94×42	44	上～下位は黒褐色土、中位は褐色土に礫土を多量含む。		1号溝に切られ、検出状況から平安時代の遺構である。	22	57
19号土坑	24M	円形	196×185	150×148	20	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。		出土遺物から平安時代の遺構である。	22	58
20号土坑	26N	楕円形	203×164	86×61	67	上位は褐色土、中～下位は黒褐色土の層が堆積。	438	出土遺物から平安時代の遺構か？	22	58
21号土坑	24N	不整な楕円形	153×125	110×103	28	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。		25号作居内柱穴より新しい。平安時代の遺構か？	23	63
22号土坑	11L	不整な円形	129×137	38×22	32	上～中位は褐色土、下位は黒色土の層が堆積。		埋上から古代～中世の遺構である。	23	58
23号土坑	12L	不整な円形	97×91	76×90	15	上位は黒褐色土、下位は暗褐色土の層が堆積。		埋上から古代～中世の遺構である。	23	58
24号土坑	11L	円形	205×203	170×174	31	全体に黒色土を主体とする層が堆積。	439	埋上から中世の遺構か？	23	59
25号土坑	12P	楕円形	111×88	62×53	23	上位は黒色土、下位は暗褐色土の層が堆積。			23	63
26号土坑	12O	楕円形	103×92	52×41	51	全体がほぼ暗褐色土、下位に褐色土の層が堆積。		柱穴に切られる。	23	63
27号土坑	12P	円形	126×106	66×63	57	全体が黒褐色土、上位に小礫多量を含む。	440, 441	出土遺物は流れ込みか？	24	59
28号土坑	12P	楕円形	212×189	35×81	35	全体に黒色土を主体とする層が堆積。			24	59
29号土坑	10M	円形	102×98	61×59	98	上位は暗褐色土、中～下位は黒褐色土の層が堆積。			24	59
30号土坑	21M	楕円形	158×144	132×112	24	上位は黒色土、下位は黒褐色土の層が堆積。			24	60
31号土坑	22L	不整な長方形	185×101	167×82	33	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。	442		24	60
32号土坑	25K	不整な楕円形	205×160	172×75	80	上位は黒色土、中位は黒褐色土、下位は黄褐色土の層が堆積。	443		25	60
33号土坑	19K	楕円形	117×71	102×44	16	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。	444	出土遺物は流れ込みか？	25	60
34号土坑	18K	楕円形	106×65	68×30	43	全体に黒色土を主体とする層が堆積。			25	61
35号土坑	20K	不整な楕円形	(141×49)	(100×34)	16	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。			16	63
36号土坑	8K	円形	148×142	55×59	127	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。			25	63
37号土坑	24L	不整な楕円形	176×116	100×19	40	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。			26	61
38号土坑	22K	楕円形	291×256	205×181	44	全体に黒褐色土を主体とする層が堆積。			26	61
39号土坑	24L	楕円形	131×91	69×59	39	上位は暗褐色土、下位は黒褐色土の層が堆積。			26	61
40号土坑	23L	楕円形	168×150	143×117	118	暗～黒褐色土と黄褐～褐色土の層が交互に堆積。			26	62
41号土坑	22N	楕円形	156×109	102×66	13	上位は黒褐色土、下位は暗褐色土の層が堆積。		埋上から近世遺構と思われる。	26	62

### 1号土坑

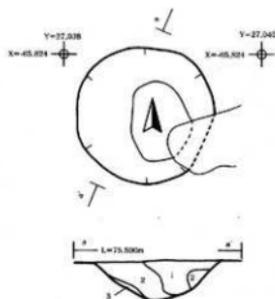


1号土坑

※-ア

1. 10YR21 黒褐色土層上 下部に褐色土層を含む。跡に付着。
2. 10YR21 黒色-10YR22暗褐色層 1層。赤褐色土層を含む。
3. 10YR22 黒褐色土層上 赤褐色土層を含む。2層に褐色土層を含む。
4. 10YR22 黒褐色土層上 赤褐色土層を含む。
5. 10YR22 黒褐色土層上 褐色土層を含む。
6. 10YR23 黒褐色土層上 赤褐色土層を含む。7層に付着。
7. 10YR23 黒褐色土層上 赤褐色土層を含む。赤褐色土層を含む。
8. 10YR23 黒褐色土層上 赤褐色土層を含む。赤褐色土層を含む。
9. 10YR23 黒褐色土層上 赤褐色土層を含む。

### 2号土坑



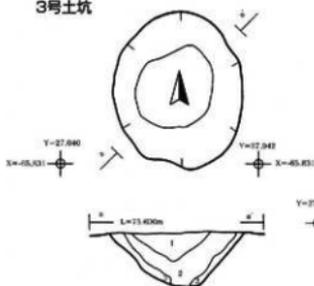
2号土坑

※-ア

1. 10YR22 黒褐色土層上
  2. 10YR23 黒褐色土層上
  3. 10YR34 暗褐色土層上
- ※3層から1層にかけて、徐々に色調が明るくなっていく。

### 4号土坑

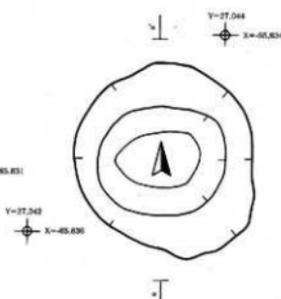
### 3号土坑



3号土坑

※-ア

1. 10YR22-3 黒褐色土層上。下部は土色調が暗い。
  2. 10YR23 黒褐色土層上 1層に属するが中層に似る。
  3. 10YR34 暗褐色土層上
- ※層別は同じ層になっているが、水浸などによる何れの層の厚さも異なる。

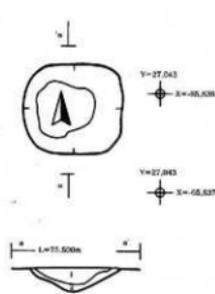


4号土坑

※-ア

1. 10YR23 黒褐色土層上 褐色土層
2. 10YR23 黒褐色土層上 褐色土層
3. 10YR23 黒褐色土層上 褐色土層。赤褐色土層に付着。
4. 10YR23 暗褐色土層上 褐色土層。3層より色調が暗い。
5. 10YR34 暗褐色土層上 褐色土層。褐色土層
6. 10YR34 褐色土層上 褐色土層

### 5号土坑



5号土坑

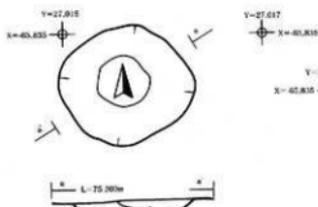
※-ア

1. 10YR23 黒褐色土層上 褐色土層 褐色土層を含む。褐色土層を含む。
2. 10YR34 暗褐色土層上 褐色土層

第19図 1~5号土坑



### 6号土坑

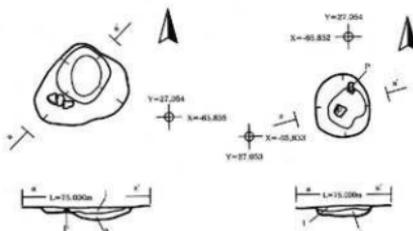


6号土坑

φ=φ'

1. 10YR2/2-3 淡褐色土層土 深くしめる。
2. 10YR2/3 淡褐色土層土 深くしめる。1層よりやや明るい色の土。

### 7号土坑

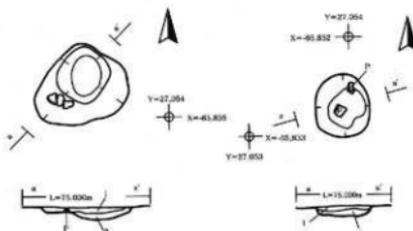


7号土坑

φ=φ'

1. 10YR3/1 淡褐色土 粘性や中砂 L&R砂 灰黄褐色土(10YR5/2)3%, 赤褐色土(10YR3/4)2%, 炭化物径10~20mm1%含有。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘性なし L&R砂 暗褐色土(10YR3/4)40%含有。

### 8号土坑

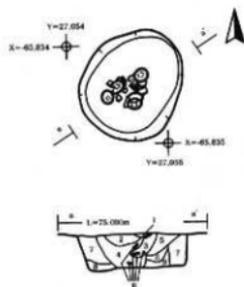


8号土坑

φ=φ'

1. 10YR3/1 淡褐色土70%±10YR3/4暗褐色土30%の混合土 粘性なし L&R砂 赤褐色土(10YR3/4)2%, 炭化物1%含有。
2. 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり L&R砂 暗褐色土(10YR2/3)10%含有。

### 9号土坑

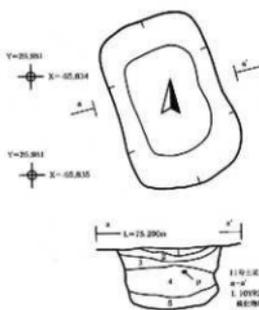


9号土坑

φ=φ'

1. 10YR5/4 土色=淡褐色土 粘性や中砂 L&R砂 暗褐色土(10YR3/4)10%, 炭化物2%, 赤褐色土(10YR3/4)1%含有。
2. 10YR2/2 濃褐色土 粘性や中砂 L&R砂 褐色土(10YR4/6)90~95%±10%, 炭化物2%, 赤褐色土(10YR3/4)1%含有。
3. 10YR2/4 暗褐色土 粘性や中砂 L&R砂 土色=淡褐色土(10YR5/4)80~85%±5%, 赤褐色土(10YR3/4)10%含有。
4. 10YR2/5 濃褐色土 粘性や中砂 L&R砂中砂 褐色土(10YR4/6)90%±10%, 炭化物10%±5%含有。
5. 10YR4/4 褐色土 粘性や中砂 L&R砂 炭化物約5%含有。
6. 10YR4/6 濃褐色土 粘性や中砂 L&R砂 炭化物約2%、炭化物約1%含有。
7. 10YR5/6 濃褐色土層土 粘性なし L&R砂 赤褐色土(10YR3/4)10%含有。
8. 10YR5/8 濃褐色土層土 粘性なし L&R砂中砂 炭化物約1%含有。
9. 10YR5/8 濃褐色土層土 粘性なし L&R砂中砂 炭化物約3%含有。

### 10号土坑

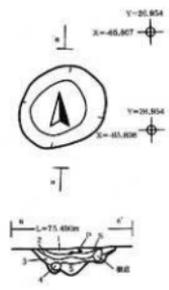


10号土坑

φ=φ'

1. 10YR2/2 濃褐色土 粘性あり L&R砂 褐色土(10YR4/6)10%含有。
2. 10YR2/1 濃褐色土 粘性あり L&R砂中砂 褐色土(10YR4/6)1%, 炭化物約1%含有。
3. 10YR2/2 濃褐色土 粘性あり L&R砂中砂 褐色土(10YR4/6)1%。
4. 10YR2/2 濃褐色土 粘性あり L&R砂 褐色土(10YR4/6)1%。
5. 10YR2/1 濃褐色土 粘性あり L&R砂 褐色土(10YR4/6)5%, 炭化物約1%含有。

### 11号土坑



11号土坑

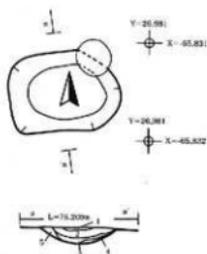
φ=φ'

1. 10YR2/1 濃褐色土 粘性や中砂 L&R中砂 赤褐色土(10YR3/4)5%, 炭化物約10mm1%含有。
2. 10YR2/1 濃褐色土 粘性なし L&R中砂 褐色土(10YR3/4)10%含有。
3. 10YR2/1 濃褐色土 粘性なし L&R砂
4. 10YR2/2 濃褐色土 粘性あり L&R砂 褐色土(10YR4/6)1%含有。
5. 10YR2/1 濃褐色土 粘性あり L&R中砂 褐色土(10YR4/6)5%, 炭化物約1%含有。

第20図 6~11号土坑



12号土坑



12号土坑

※ア

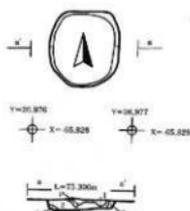
1. 10YR4/6 赤褐色土 団乱土 団乱土3%含む。
2. 10YR2/3 黒褐色土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 赤褐色土上段(10YR5/6)1%。
3. 10YR2/2 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR4/4)3%含む。
4. 10YR2/3 団乱土 団乱土あり しりりあり。褐色土上段(10YR4/4) 団乱土中砂り30%含む。
5. 10YR3/3 暗褐色土 団乱土あり しりりあり。褐色土上段(10YR4/4) 団乱土中砂り30%含む。

12号土坑

※ア

1. 10YR2/3 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 赤褐色土上段(10YR5/6)1%。
2. 10YR2/2 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR4/4)3%。
3. 10YR4/4 団乱土 団乱土あり しりりあり。

13号土坑



14号土坑

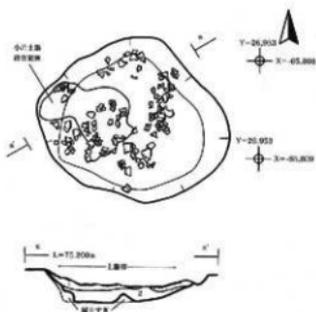


14号土坑

※ア

1. 10YR2/3 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 明褐色土上段(10YR5/6)1%。
2. 10YR2/2 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR4/4)3%。
3. 10YR2/3 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR5/6)1%含む。
4. 10YR2/2 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR5/6)1%含む。

15号土坑

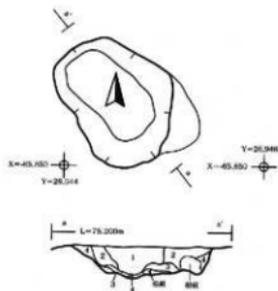


15号土坑

※ア

1. 10YR2/2 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR3/4) 3%。上層片多量に含む。
2. 10YR2/1 団乱土 団乱土あり しりりあり 団乱土中砂り 褐色土上段(10YR3/4) 30%含む。

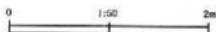
16号土坑



16号土坑

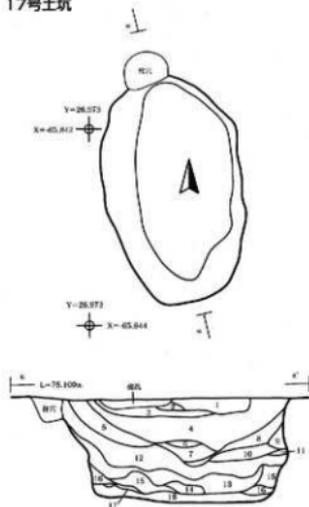
※ア

1. 10YR2/1 団乱土上段 団乱土。
2. 10YR2/1 団乱土 団乱土に褐色土ブロック (厚50mm)。褐色土中砂り。
3. 10YR2/2 団乱土上段 褐色土上段土中砂り。
4. 10YR2/2 団乱土上段 団乱土。



第21図 12~16号土坑

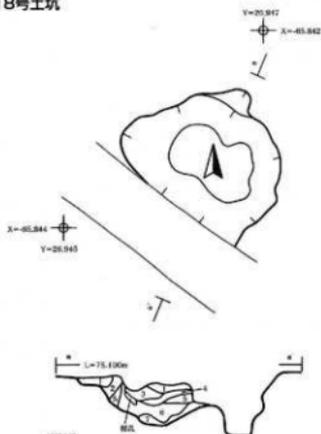
17号土坑



17号土坑

- a-a'
1. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土、厚層土。
  2. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上。
  3. 7.5YR2/3 黄褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  4. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  5. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  6. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  7. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  8. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  9. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。

18号土坑

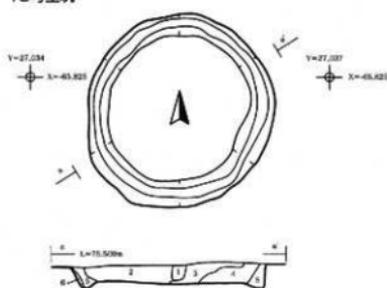


18号土坑

- a-a'
1. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土、厚層土、土中に多数の石、硬質硬層土。
  2. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  3. 7.5YR2/3 黄褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  4. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  5. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  6. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  7. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。

10. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土、厚層土。
11. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
12. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土、厚層土、土中に多数の石、硬質硬層土。
13. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
14. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
15. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
16. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
17. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
18. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。

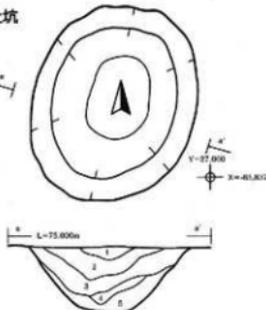
19号土坑



19号土坑

- a-a'
1. 10YR2/2-2/3 黄褐色土層上。
  2. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  3. 10YR2/2-2/3 黄褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  4. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  5. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  6. 10YR2/2 褐色土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。

20号土坑

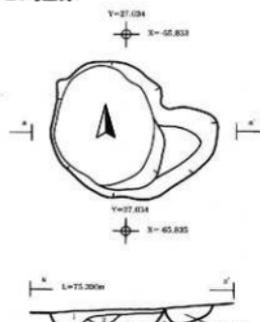


20号土坑

- a-a'
1. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土、厚層土、土中に多数の石、硬質硬層土。
  2. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  3. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。
  4. 10YR2/2 褐色土層上、厚心土層上、土中に多数の石、硬質硬層土。

第22図 17~20号土坑

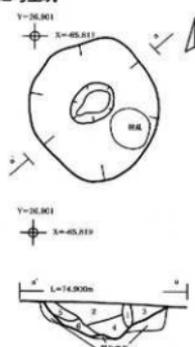
21号土坑



21号土坑

- 21号土坑  
a-a'
1. 10YR2/2 黄褐色土質土、土層の厚、腐葉層中に褐色土粒、炭化物、わずかに腐化炭粒を含む。腐成層也。
  2. 10YR3/2 黄褐色土質土、土層の厚、腐葉層中にローム層。
  3. 10YR3/2 黄褐色土質土、腐葉層中に褐色土粒。
  4. わずかに腐化炭粒を含む。下部褐色土粒の割合減少。
  5. 10YR2/2 黄褐色土質土、わずかに褐色土粒を含む。

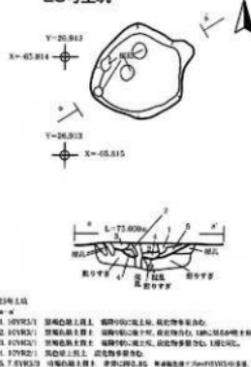
22号土坑



22号土坑

- 22号土坑  
a-a'
1. 10YR2/2 黄褐色土質土、褐色土粒を含む。
  2. 10YR4/4 褐色土質土、表面に腐化層、暗褐色フロッグ(10YR3/3)、褐色の粘土を含む。
  3. 10YR3/1 黄褐色粘土質土、褐色土粒の割合、土層は黄褐色土(10YR2/2)と腐葉層黄褐色土フロッグの割合を含む。
  4. 10YR3/1 黄褐色粘土質土、土層に褐色土粒の割合減少を含む。
  5. 10YR2/2 黄褐色土質土、褐色土粒の割合減少を含む。
  6. 10YR2/2 黄褐色土質土、黄褐色粘土質土、暗褐色土、褐色土粒の割合を含む。

23号土坑

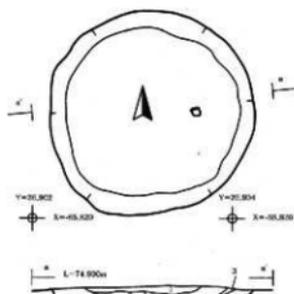


23号土坑

a-a'

1. 10YR3/1 黄褐色土質土、腐葉層中に褐色土粒、炭化物を含む。
2. 10YR3/1 黄褐色土質土、腐葉層中に褐色土粒、炭化物を含む。暗褐色粘土質土と腐葉層の割合減少を含む。
3. 10YR3/1 黄褐色土質土、腐葉層中に褐色土粒、炭化物を含む。暗褐色粘土質土と腐葉層の割合減少を含む。
4. 10YR3/1 黄褐色土質土、腐葉層中に褐色土粒、炭化物を含む。
5. 7.5YR3/3 黄褐色粘土質土、黄褐色粘土質土、黄褐色粘土質土と腐葉層の割合減少を含む。

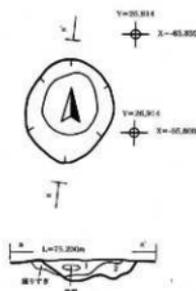
24号土坑



24号土坑

- 24号土坑  
a-a'
1. 10YR3/1 黄褐色土質土、わずかに褐色土粒の割合を含む。腐成層也。
  2. 10YR3/1 黄褐色土質土、表面に腐化層、わずかに腐化炭粒を含む。腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。腐成層也。
  3. 10YR3/1 黄褐色土質土、表面に腐化層、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。
  4. 10YR3/1 黄褐色土質土、表面に腐化層、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。
  5. 10YR3/1 黄褐色土質土、表面に腐化層、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。
  6. 10YR3/1 黄褐色土質土、表面に腐化層、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。
  7. 10YR3/1 黄褐色土質土、表面に腐化層、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。

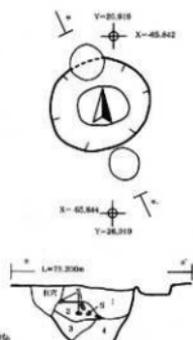
25号土坑



25号土坑

- 25号土坑  
a-a'
1. 10YR2/1 黄褐色土質土、土層の厚、腐葉層中に褐色土粒、炭化物を含む。
  2. 10YR3/1 黄褐色土質土、土層の厚、腐葉層中に褐色土粒、炭化物を含む。

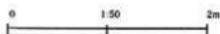
26号土坑



26号土坑

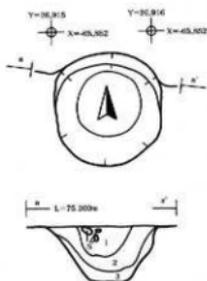
a-a'

1. 10YR3/1 黄褐色土、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。小層(約5cm)暗褐色を含む。
2. 10YR3/3 黄褐色土、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。小層(約10-40cm)を含む。
3. 10YR4/4 褐色土、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。暗褐色粘土質土と腐成層の割合減少を含む。
4. 10YR3/4 黄褐色土、腐成層中に褐色土粒、炭化物を含む。



第23図 21~26号土坑

27号土坑

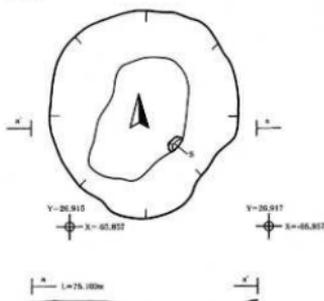


27号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘性なし 固くしまる 中-小硬多層分む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘性なし 固くしまる
3. 10YR2/2 黒褐色土50%と10YR4/6褐色土50%の混合土 粘性なし しまりあり

28号土坑

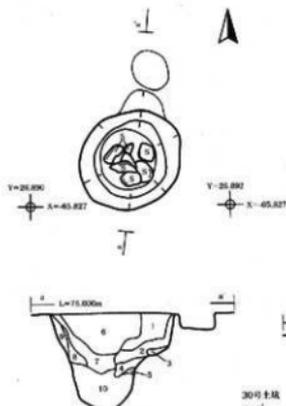


28号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒色土 粘性なし しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 炭化物粒1%含む。
2. 10YR2/1 黒色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 2%含む。

29号土坑

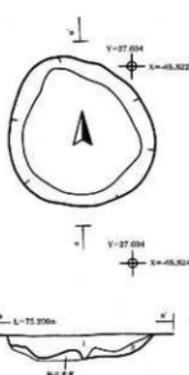


29号土坑

a-a'

1. 10YR2/4 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。
- 10YR2/2 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。
- 10YR2/2 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。
- 10YR2/2 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。
- 10YR2/3 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。
- 10YR2/3 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。
- 10YR2/2 褐色土 粘性中-中 しまりあり 褐色土層(10YR4/6) 粘り強25%含む。

30号土坑

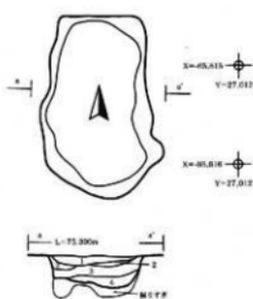


30号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒色土 粘性あり しまり中-中 褐色土層(10YR5/5)1%含む。
- 10YR2/2 黒褐色土 粘性あり しまり中-中 褐色土層(10YR4/6)2%含む。

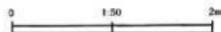
31号土坑



31号土坑

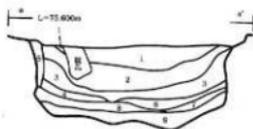
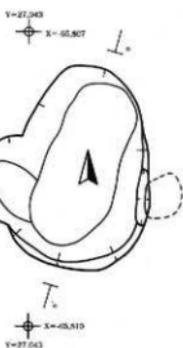
a-a'

1. 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり しまり中 褐色土層(10YR4/6)2%含む。
- 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり しまり中 褐色土層(10YR4/6) 2%含む。
- 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり しまり中 褐色土層(10YR4/6) 2%含む。
- 10YR2/3 黒褐色土 粘性あり しまり中 褐色土層(10YR4/6) 2%含む。



第24図 27~31号土坑

32号土坑

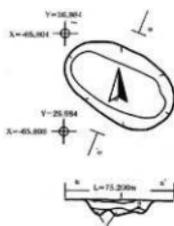


32号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘質砂 土砂多 深褐色土(10YR2)30%, 暗褐色土(10YR3)41%を含む。
2. 10YR2/2 暗褐色土 粘質砂 土砂多
3. 10YR2/2 暗褐色土 粘質砂 土砂多 炭化物(約30-30mm)2%含む。下部に炭化物 腐炭に埋納。
4. 10YR2/1 黒土 粘質砂 土砂多
5. 10YR3/1 黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR3)2:10%含む。
6. 10YR4/4 黄土 粘質砂 土砂多
7. 10YR2/3 暗褐色土 粘質砂 土砂多 炭化物散見を含む。
8. 10YR2/2 暗褐色土 粘質砂 土砂多
9. 10YR4/3 黄土黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR3)140%含む。

33号土坑

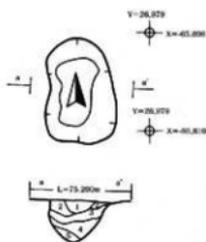


33号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘質砂 土砂多 深褐色土(10YR2)42%を含む。
2. 10YR2/2 暗褐色土 粘質砂 土砂多 炭化物1%, 褐色土(10YR4)62%を含む。
3. 10YR2/2 暗褐色土 粘質砂 土砂多 黄土(10YR4)10%を含む。

34号土坑

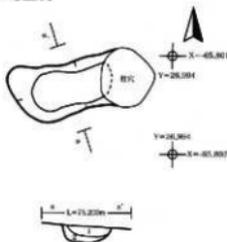


34号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒土 粘質砂 しまりあり 黄褐色土層(10YR5)6:30%含む。
2. 10YR1.7/1 黒土 粘質砂 しまりあり
3. 10YR2/1 黒土 粘質砂 しまりあり 黄褐色土(10YR4)5%含む。
4. 10YR2/1 黒土 粘質砂 しまりあり 炭化物(約7mm)散見を含む。
5. 10YR2/1 黒土 粘質砂 固くしまり 褐色土(10YR4/4)50%含む。

35号土坑

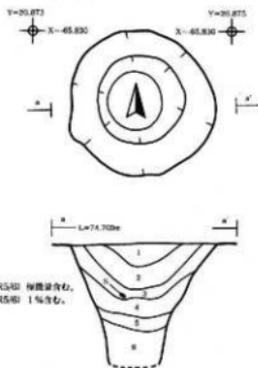


35号土坑

a-a'

1. 10YR3/2 黄褐色土 粘質砂 しまりあり 黄褐色土層(10YR3) 粘質砂を含む。
2. 10YR2/3 黄褐色土 粘質砂 しまりあり 黄褐色土層(10YR5)1%含む。

36号土坑



36号土坑

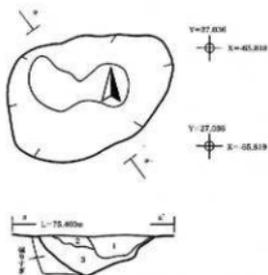
a-a'

1. 10YR2/2 黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR5)6:30%含む。
2. 10YR2/3 黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR3)6:30%, 暗褐色土層(10YR2)1, 少量散見を含む。
3. 10YR2/2 黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR5)6:30%含む。
4. 10YR3/2 黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR5) 粘20mm3%, 黄褐色土層(10YR5)6:1%含む。
5. 10YR2/2 黄褐色土 粘質砂 黄褐色土層(10YR5) 粘10-30mm層 粘質砂 土砂多
6. 10YR2/2 黄褐色土 粘質砂 土砂多 黄褐色土層(10YR5)6:30%含む。



第25図 32~36号土坑

37号土坑

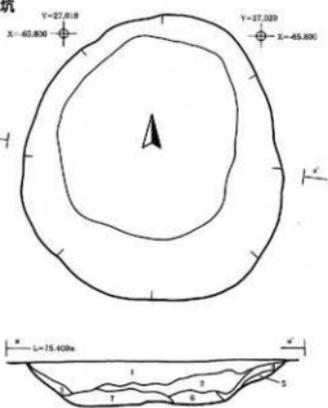


37号土坑

a-a'

1. 10YR2/1 黒色土 粘状なし しまりあり 暗褐色土粒 (10YR3/4) 1%含む。
2. 10YR1.7/1 黒色土 粘状なし しまりあり
3. 10YR2/1 黒色土 粘状あり しまり中やあり 暗褐色土 (10YR3/4) 5%含む。

38号土坑

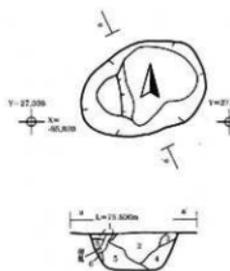


38号土坑

a-a'

1. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土粒(10YR5.5/1)含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 黄褐色土粒(10YR5.5/3), 灰化物粒2%含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 黄褐色土粒(10YR5.5/3) 灰10-300μm(5%含む)。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 黄褐色土粒(10YR5.5/5)含む。
5. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(10YR4/1)多量、灰化物粒1%含む。
6. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 黄褐色土粒(10YR5.5/5), 灰化物粒1%含む。
7. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 黄褐色土粒(10YR5.5/3)含む。

39号土坑

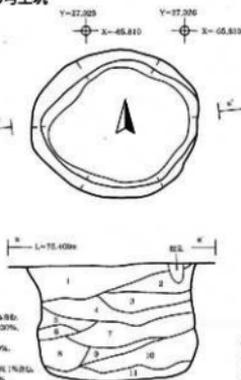


39号土坑

a-a'

1. 10YR2/2 黒褐色土 粘状中やあり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘状中やあり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘状中やあり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘状中やあり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
5. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。

40号土坑

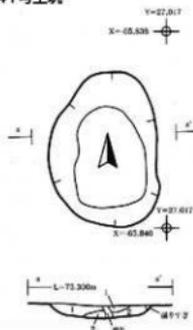


40号土坑

a-a'

1. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
5. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
6. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
7. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
8. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
9. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
10. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。
11. 10YR2/2 黒褐色土 粘状あり L.2950分 褐色土(7.5YR3/4) 粘土(10YR5.5/3)含む。

41号土坑



41号土坑

a-a'

1. 10YR2/2 黒褐色土粒土質
2. 10YR2/2 黒褐色土粒土質

第26図 37~41号土坑



### 3. 竪穴住居跡（住居状含む）

今回の調査で検出された竪穴住居跡は全部で31棟である。このうち1～29号住居跡が古代（平安時代）、30・31号住居跡が中世に属するものである。遺構は調査区の西と東で異なった様相を呈し、東側に古代の住居跡が密集しているのに対し、西側に向かって遺構の密度は落ちる。住居の構造は、古代の住居跡でカマドをもたないものは3棟、遺構の一部が調査区外に延びてカマドの有無が確認できないものが3棟で、他はすべてカマドを1基ないし、2基有する。カマドの向きは北が5棟、東が14棟、南が3棟、住居の拡張に伴ってカマドが北から東に作り替え変えられたものが1棟である。

中世の住居跡はいずれも古代の住居跡が散在する調査区北西部で検出された。

#### 1号住居跡

遺構（第27・28図、写真図版17）

〈位置・重複関係〉16N・17Nグリッドに跨って位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。カマドの一部が攪乱のため消滅している。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は426×388cm、総床面積は約16.52㎡、平面形は方形状を呈し、主軸方向はE-9°-Nである。

〈埋土〉上位は暗褐色土、中～下位はの黒褐色土を基調とする層が堆積する。

〈壁〉壁は外傾して立ち上がり、壁の残存値は攪乱の影響を受ける東壁以外は北壁21cm、西壁20cm、南壁16cmである。

〈床面〉床面は平坦であるが、緩い凸凹が全面ある。また後世の柱痕が多く残る。全面に掘り方をもち、微量の褐色土粒、黄褐色土粒を含む黒褐色土で貼り床されている。厚さは9～26cmである。

〈土坑〉P1・P2の2基が検出された。P2は出土遺物から貯蔵穴と考えられる。

〈柱穴状土坑〉P3～P6の4基が検出された。いずれも浅く主柱穴かどうかは不明である。

〈カマド〉東壁のやや南寄りに設けられている。微量の赤褐色の焼土粒が46×32cmの範囲に広がり、焼土の厚さは最大で8cmである。煙道部は掘り込み式の構造で長さは106cm、煙出し部に向かい緩く傾斜して下る。煙出し部は約60cm、最深部は約20cmで断面形は緩い「U」字状を呈する。口径部よりさらに16cm東に延びる。煙道部は東方向に緩く下り、最深部は48cmである。袖部は地山である褐色、黄褐色シルト混じりの黒褐色土を貼って固めて構築されている。

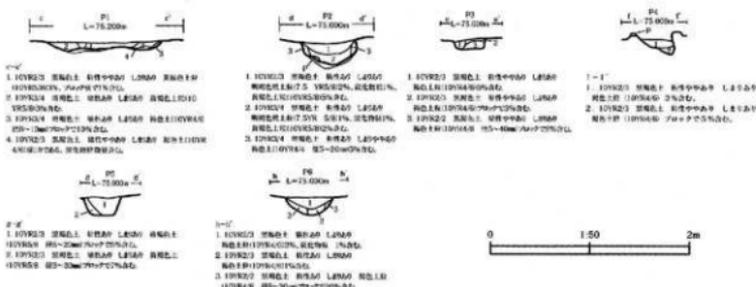
遺物（第98図、写真図版70・103）

1～6が出土した。1～3は酸化炎焼成の坏で成形はロクロ、1は内面に黒色処理が施されている。底部の切り離し技法は1・2は回転系切りで2は系切り後ヘラケズリ再調整が施されている。4は酸化炎焼成の甕でカマドの支脚と思われ、伏せた状態で出土した。成形はロクロ、内面に黒色処理が施されている。底部は切り離し後、再調整が胴部下半～底面に施される。5は還元炎焼成の甕で住居の床面付近でまとまって出土した。他に磨石が床面直上から1点（6）出土している。（溜）

土坑類計測表

土坑No	P1	P2	P3	P4	P5	P6
直径 (cm)	130×118	60×48	36×31	46×44	40×40	48×38
深さ (cm)	8	21	10	14	18	18





第28図 1号住居跡

## 2号住居跡

### 遺構 (第29図、写真図版18)

〈位置・重複関係〉25Kグリッドに位置し、第IIb層で検出された。東半は削平されて消滅しており、西半のみ残存する。また、第25号陥し穴状遺構と重複し、これを切っている。

〈規模・平面形・方向〉規模は南北467cm、残存部床面積は約14㎡、平面形は方形を呈すると推測される。主軸方向はS-13°-Wである。

〈埋土〉上～中位は微量の明褐色土粒を含む黒色土、下位は微量の褐色上粒を含む黒褐色土の堆積である。〈壁〉壁は外傾して立ち上がり、消滅した東壁以外の残存値は北壁13cm、西壁13cm、南壁7cmである。南壁のプランは曖昧である。

〈床面〉床面は平坦で固く、全面に掘り方を持ち、黒褐色土と黄褐色土の混合土で貼り床されている。厚さは2～19cmである。

〈土坑〉P1～Pの4基が検出された。P3、P4はカマドの燃焼部と一部重なる。

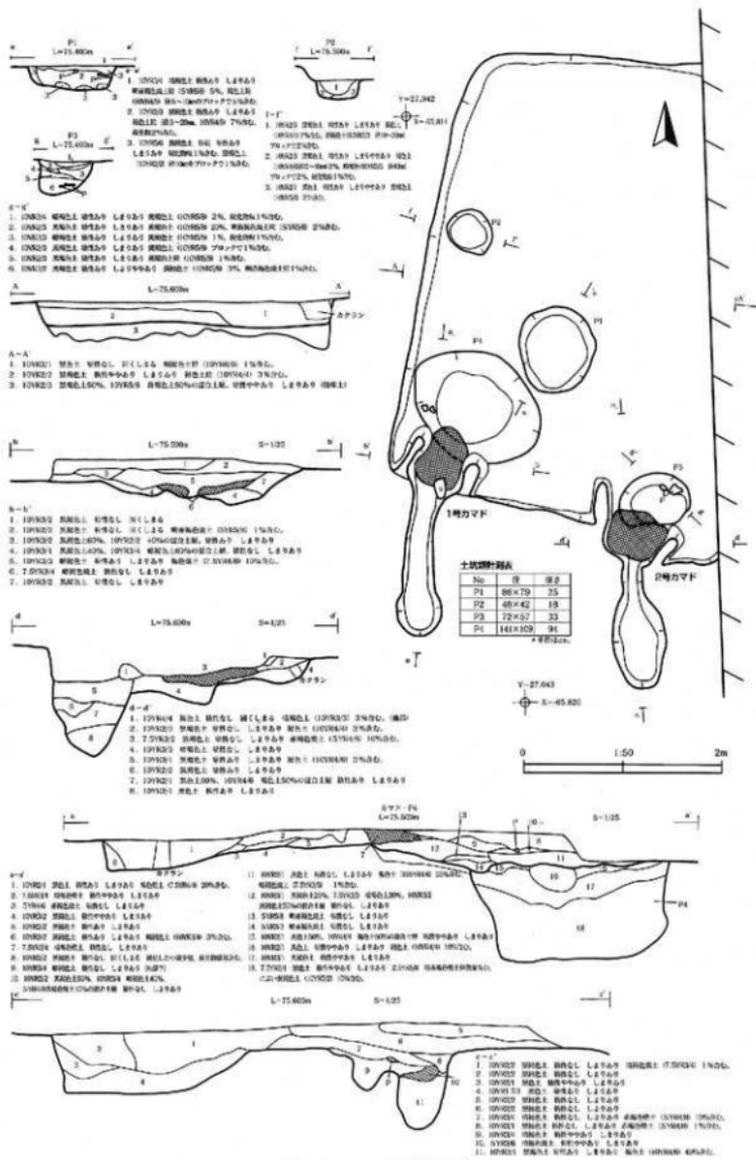
〈柱穴〉9基はいずれも住居跡の検出面での確認で、これより新しい時期の遺構である。

〈カマド〉南壁に2基設けられている。1号カマドは南壁の西端に設けられ、暗褐色の焼土層が62×40cmの範囲に広がり、焼土の厚さは8～10cmである。煙道～煙出し部の長さは155cmで、煙出し部に延びるに従い、緩く下り、最深部は30cmある。袖部は黒褐色土を基調とするシルトを貼って固めたものを芯材としていると観察されたが、遺構の残存状況が不良のため詳細に関しては不明な点も多い。

2号カマドも1号カマドと類似した構造で赤褐色の焼土層が56×46cmの範囲に広がり、焼土の厚さは6～11cmである。煙道～煙出し部の長さは126cmで、煙出し部に延びるに従い、緩く下り、最深部は51cmある。袖部は暗褐色土混じりの褐色土を基調とするシルトを貼って固めたものを芯材としている。

### 遺物 (第99図、写真図版71)

7～12が出土した。7・8は酸化炭焼成の環で7は住居覆土、8は1号カマド付近からの出土である。成形はロクロ、底部の切り離しは回転系切り、9は還元炭焼成の環で底部の切り離しは回転へら切り無調整である。10・11は酸化炭焼成の甕でP5、11はP3の埋土から出土した。いずれも成形はロクロで、10の底部の切り離し技法は回転系切りである。12は釣針状の鉄製品で埋土中からの出土である。 (洞)



第29図 2号住居跡

### 3号住居跡

遺構 (第30図・写真図版19)

〈位置・重複関係〉20M、21Mグリッドに跨って位置し、表上下第Ⅲ層で検出された。遺構西側に幅30～38cmの溝が南北に延び、これに切られる。

〈規模・平面形・方向〉規模は467×413cm、総床面積は約19.28㎡、平面形は方形を呈し、主軸方向はE-11°-Nである。

〈埋土〉全体が黒色土を基調とする土層の堆積で、全体に褐色土粒が混入している。

〈壁〉壁は外傾して立ち上がり、壁面残存値は北壁22cm、西壁16cm、南壁24cm、東壁16cmである。

〈床面〉床面は平坦で、水が頻繁に通る粘土質土のため固く締まっており、全面の一部分に浅い掘り方を持ち、黒褐色土混じりの黒色土で貼り床されている。厚さは4～10cmである。

〈土坑〉P1～P6の6基が検出された。P6は南壁を切って掘られP5と重複する。

〈柱穴〉6基が検出された。P7、P8、P12は浅く、深さはそれぞれ4cm、13cm、15cmである。

〈カマド〉東壁のやや南寄りに設けられている。赤褐色の焼土層が63×59cmの範囲に広がり、焼上の厚さは4～13cmである。煙道部の長さは175cmで、煙出し部の口径部よりさらに16cm東に延びる。煙道部は東方向に緩く下り、最深部は48cmである。袖部は地山である褐色シルトに黒褐色土が混ざった土を貼って固めたものを芯材としている。

遺物 (第99・100図、写真図版71・72)

13～25が出土した。13～18は酸化炭焼成の円で13～15・18は住居埋土、16はP6、17はP5から出土した。いずれも成形はロクロで13～17の内面は黒色処理が施され、底部の切り離し技法は148は切り離し後のケズリ再調整により不明、他は回転系切りによる。17の器面には墨書による文字が書かれている。21は酸化炭焼成の円で器高は低く、皿に近い形態を呈し、11唇の一部が湾曲する。18・19はカマド付近から出土した還元炭焼成の円で、成形はロクロ、底部の切り離し技法は回転系切りによる。22は還元炭焼成による皿で成形はロクロ、底部の切り離し技法は回転系切りによる。23・24は住居埋土から出土した酸化炭焼成の甕で成形はロクロ、23の底部の切り離し技法は回転系切りによる。25は埋土中より出土した刀子である。(溜)

### 4号住居跡

遺構 (第31図・写真図版20)

〈位置・重複関係〉21M、22Mグリッドに跨って位置し、表上下第Ⅲ層で検出された。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は419×322cm、総床面積は約13.49㎡、平面形は長方形で主軸は真東方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、上～中位は黒色、黒褐色土層、下位は黒色土を主とした堆積状況である。

〈壁〉壁は垂直に近い傾斜で立ち上がり、壁面残存値は北壁17cm、西壁16cm、南壁14cm、東壁28cmである。

〈床面〉床面は平坦で、やや固さがある。全面に掘り方を持ち、暗褐色土混じりの黒色土で貼り床され、厚さは2～26cmである。

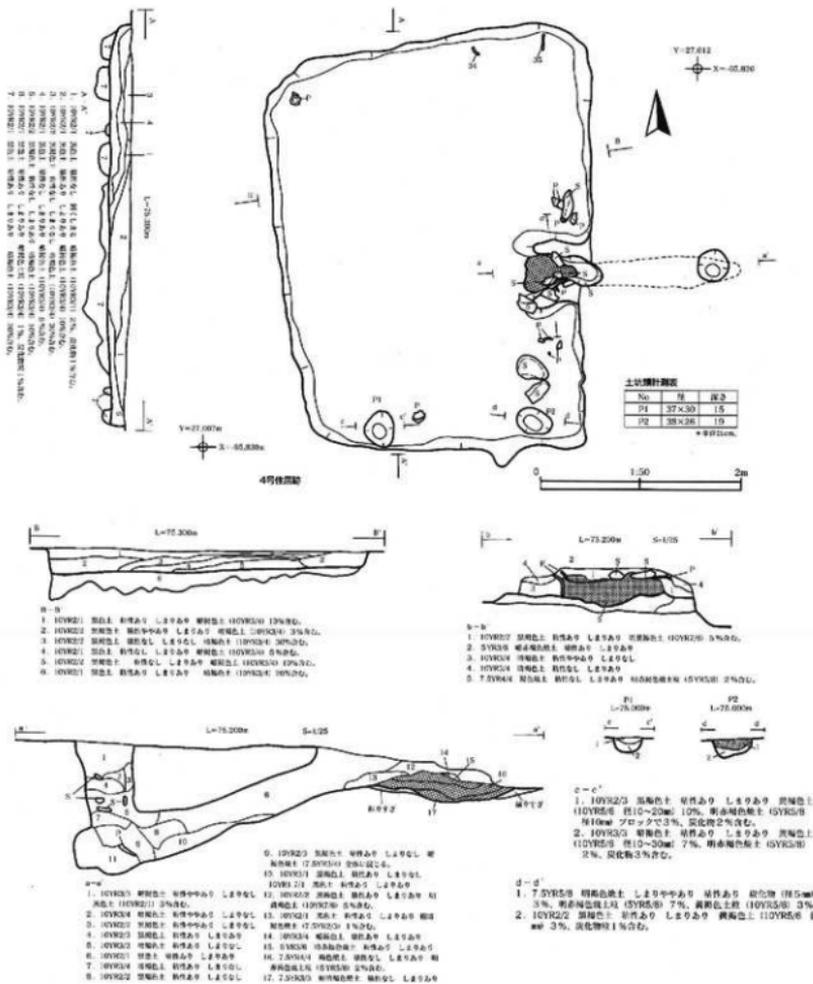
〈柱穴〉柱穴状の小土坑が2基検出され、いずれも浅い。

〈カマド〉東壁のやや南寄りに設けられている。褐色、暗赤褐色焼土層が52×36cmの範囲に広がり、焼上の厚さは8～14cmである。煙道部は傾り置き式で長さは160cm、煙道部は東方向に21°の傾斜で下る。煙出し部の口径部は32×30cm、深さは66cmのビットで底面には径10cmほどの礫が数点散在している。カマドの袖部は暗褐色土と径12～15cmの礫を混ぜて固めて芯材としている。東方向に緩く下り、最深部は48cmである。袖部は地山である褐色シルトに黒褐色土が混ざった土を貼って固めたものを芯材としている。



遺物 (第100・101図・写真図版72・73)

26~36が出土した。26~29は酸化炭焼成の環で成形はロクロ、26・27は内面に黒色処理が施されている。30~32は還元炭焼成の非ロクロ成形の甕で30は貼り床土、31は住居埋土、32は床面から出土した。33は還元炭焼成の甕で煙道部から出土している。34~36は鉄製品で34は刀子茎、35は不明、36は鎌である。(瀧)



第31図 4号住居跡

## 5号住居跡

遺構 (第32図・写真図版21・22)

〈位置・重複関係〉20Nグリッド北半に位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。重複する遺構はない。遺構の南1/3はH10年度、北2/3はH11年度調査区と別々に精査が行われたため調査に検出面やプランにやや不正確な箇所が生じた。

〈規模・平面形・方向〉規模は346×331cm、総床面積は約11.05㎡、平面形は台形で主軸はおおよそE-12°-S方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、上～中位は黒色土、下位は黒褐色土で構成され、全体に浅黄褐色土粒(10YR8/4)を2～3%含む。

〈壁〉壁はやや外傾して立ち上がり、壁面残存値は北壁40cm、西壁36cm、南壁手前で46cm、東壁37cmである。

〈床面〉床面は平坦で、やや固さがある。部分的に掘り方を持ち、黄褐色土混じりの黒色土で貼り床され、厚さはおおよそ10～25cmである。

〈柱穴〉南壁に沿って2基が検出されたが性格は不明である。

〈土坑〉1号カマドの右袖南側に1基検出された。P2に切れ、規模は径73×55cm、深さ17cmである。

〈カマド〉東壁に2基検出された。1号カマドは東壁の南端に設けられ袖は無く、焚き口は東に50cmほど入った位置にあり、赤褐色焼土ブロックが37×36cmの範囲に広がる。焼上の厚さは2～14cmである。煙道部は掘り込み式の構造で長さは71cm、幅は18～19cmで東方向に傾斜なく延び、ピット状の煙出し部へと続く。煙出し部の口径部は41×32cm、深さは43cmである。2号カマドは東壁のやや北寄りに設けられ、燃焼部は約60×40cm範囲にわたる。煙道部は割り貫き式の構造で長さ110cm、約17°の傾斜で煙出し部へと下る。煙出し部の口径部は36×30cm、深さは48cmである。袖は褐色土(地山上)に少量の土器片を混ぜて固め、芯材としている。

遺物 (第102図・写真図版73)

37～44が出土した。37は酸化炭焼成、38～40還元炭焼成の坏で成形はロクロ、底部の切り離しは37は切り離し後の再調整により不明、38・39は回転蹴切り無調整、40は回転糸切りの技法による。41～44は非ロクロ成形による酸化炭焼成の甕で41は1号カマドの崩落土、42は貼り床上、他は住居埋土から出土した。胴部の器面調整は41は内面ハケメ、外面ナデ、42・43は両面ハケメ、44は両面ナデがそれぞれ施されている。

(漏)

## 6号住居跡

遺構 (第33図・写真図版23)

〈位置・重複関係〉21Mグリッド南半に位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は304×271cm、総床面積は約8.23㎡、平面形は方形で主軸はおおよそE-20°-S方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、全体が黒褐色土を基調とした層の堆積で褐色土粒、暗褐色土粒などの含有量によって3層に分けられる。

〈壁〉壁はやや外傾して立ち上がり、壁面残存値は北壁13cm、西壁16cm、南壁14cm、東壁15cmを計測し、削平の影響で残存値は低い。

〈床面〉床面は平坦で、固さはあまりない。部分的に掘り方を持ち、暗褐色土が少量混じる黒色、黒褐色土で貼り床され、厚さはおおよそ4～22cmである。

〈柱穴〉5基が検出された。規模はP4は径22×18cm、深さ11cm、P5は径20×20cm、深さ14cmと浅い。  
〈土坑〉南壁に沿って3基検出された。規模はP1は径69×53cm、深さ25cm、P2は径62×58cm、深さ28cm、P3は径57×49cm、深さ10cmである。

〈カマド〉東壁の中央よりやや南側に設けられている。燃焼部には焼土粒が50×23cmの範囲に広がり、焼上の厚さは10～16cmである。煙道部は掘り込み式の構造で長さは144cm、東方向に11°の傾斜で延び、50cmを越えた位置で平坦になり、煙出し部で再び27°の傾斜で下る。煙出し部の11径は50×42cm、深さは60cmである。袖は幅10～15cm、長さ約50cmの礫を芯材として床面に立てて埋め込み、床面から出た部分の外側に暗褐色土を覆って構築している。

遺物（第102・103図、写真図版74）

45～50が出土した。45・46は酸化炭焼成の坏で45はP1、46は貼り床土中からの出土で成形はロクロ、底部の切り離しは回転系切りで、45の内面には黒色処理が施されている。47は作居埋土中位から出土した還元炭焼成の坏で成形はロクロ、底部の切り離しは回転系切りの技法である。48～50は酸化炭焼成の甕で成形はいずれもロクロによる。

(面)

## 7号住居跡

遺構（第34図・写真図版24）

〈位置・重複関係〉24K・25Kグリッドに跨って位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。23号陥し穴と重複し、これを切る。

〈規模・平面形・方向〉規模は405×384cm、総床面積は約15.55㎡、平面形は方形で主軸はおおよそN-9°-W方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、全体が黒褐色土を基調とした層の堆積で、黒色土、暗褐色土が混じる。

〈壁〉壁は外傾して立ち上がり、壁面残存値は北壁は14cm、他は西壁31cm、南壁30cm、東壁34cmを計測する。

〈床面〉床面は平坦で、固さはあまりない。全面に掘り方を持ち、黒褐色土と、黄褐色土の混合上で貼り床され、厚さはおよそ8～30cmである。

〈土坑〉P1、P2の2基が検出された。いずれも浅く、楕円状である。P1は貯蔵穴と考えられる。

〈柱穴〉4基が検出された。いずれも位置的に主柱穴の可能性はない。

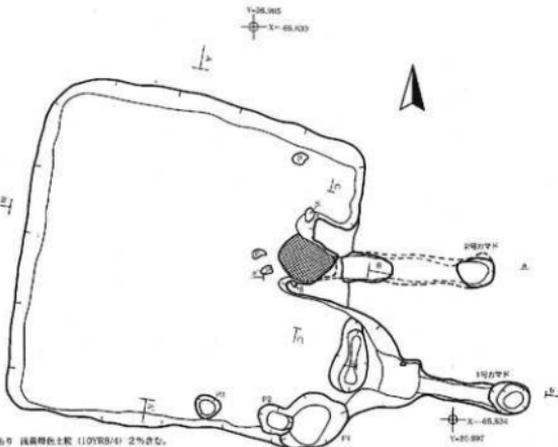
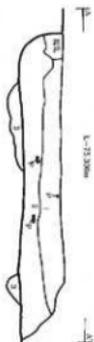
〈カマド〉北壁の中央部に設けられている。燃焼部には焼土粒が51×51cmの範囲に広がり、焼上の厚さは最大で13cmである。煙道部は削り置き式の構造で長さは113cm、煙出し部はピット状を呈し、径32cm、深さは53cmである。袖は砂質の黄褐色土（地山）を持ち込んで固めたものがある。

遺物（第103～105図・写真図版74・75）

51～74が出土した。51～63は酸化炭焼成の坏で52・62は床面直上、58はP1、57はカマド付近、他は作居埋土から出土した。成形はいずれもロクロで51～57の内面はミガキが施され、黒色処理されている。底部の切り離しは大半は回転系切りであるが51・53・54・57は切り離し後の再調整のため不明である。また54・57は底面のみならず体部下半にもケズリ調整が施されている。64～68は還元炭焼成の坏でいずれも住居の覆土上～中位からの出土で成形はロクロ、底部の切り離しは回転系切りの技法で、68は回転斫削りによる再調整が施されている。70・71は酸化炭焼成の甕で住居の覆土からの出土である。成形は70は非ロクロ、71はロクロで71の内面に黒色処理が施され、底面は切り離し後、竈ナデ再調整が施され、胴部下半にはケズリが施されている。72～74は還元炭焼成の甕で成形はロクロで器面調整は胴部下半にケズリが施されている。

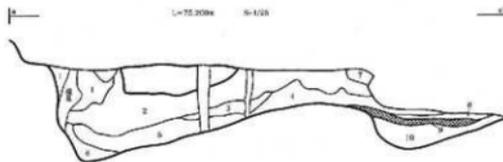
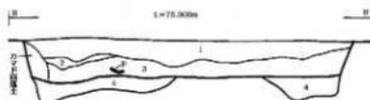
(面)

A-A'  
 1. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 3. 10YR1/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 4. 10YR1/7 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。

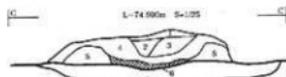


- B-B'  
 1. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 炭化物約1%含む。  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 4. 10YR1/7 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。

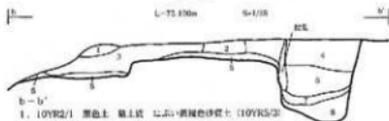
土質調査表			
No	色	深さ	
P1	7.5YR3	17	
P2	3.5YR3	25	
P3	2.5YR3	17	



- D-D'  
 1. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。炭化物約1%含む。  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 3. 10YR4/2 炭褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 4. 7.5YR3/4 暗褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 5. 7.5YR3/4 暗褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 6. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 7. 10YR4/2 炭褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 8. 7.5YR3/4 暗褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 9. 7.5YR4/4 暗褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 10. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。

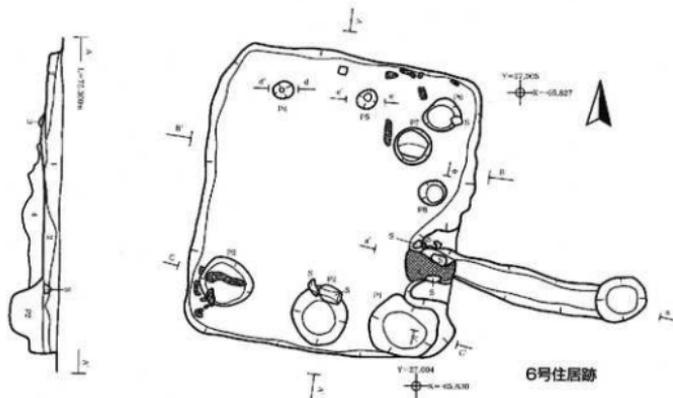


- F-F'  
 1. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 5. 10YR4/4 炭褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 6. 7.5YR4/4 暗褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 7. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。



- H-H'  
 1. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 2. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 3. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 4. 10YR5/3 暗褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 5. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 6. 10YR2/1 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 7. 10YR4/4 炭褐色土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。  
 8. 10YR1/7 黒土 粘り中あり しまりあり 炭素質土層 (10YR5/4) 2%含む。

第32図 5号住居跡



6号住居跡

土坑調査箇所

No	尺	長さ
P1	68×28	28
P2	60×38	38
P3	53×68	29
P4	22×18	11
P5	20×20	11
P6	44×58	17
P7	28×38	16
P8	27×25	16

A-A', B-B'

1. 10YR2/2 灰褐色土 粘性中中あり 土層あり 褐色土層(10YR4/6)1%含む。
2. 10YR2/2 灰褐色土 粘性中中 土層あり 褐色土層(10YR2/4)1%含む。炭化物1%含む。褐色 土層(7.5YR5/6)1%含む。
3. 10YR2/2 灰褐色土 粘りあり 土層中中あり 褐色土層(10YR4/6)3%含む。炭化物1%含む。
4. 10YR2/1-2/2 灰褐色土 粘りあり 土層あり 褐色土層(10YR2/4)25%含む。

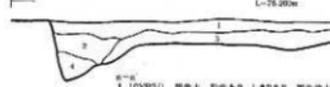
L=75.30cm



b-b'

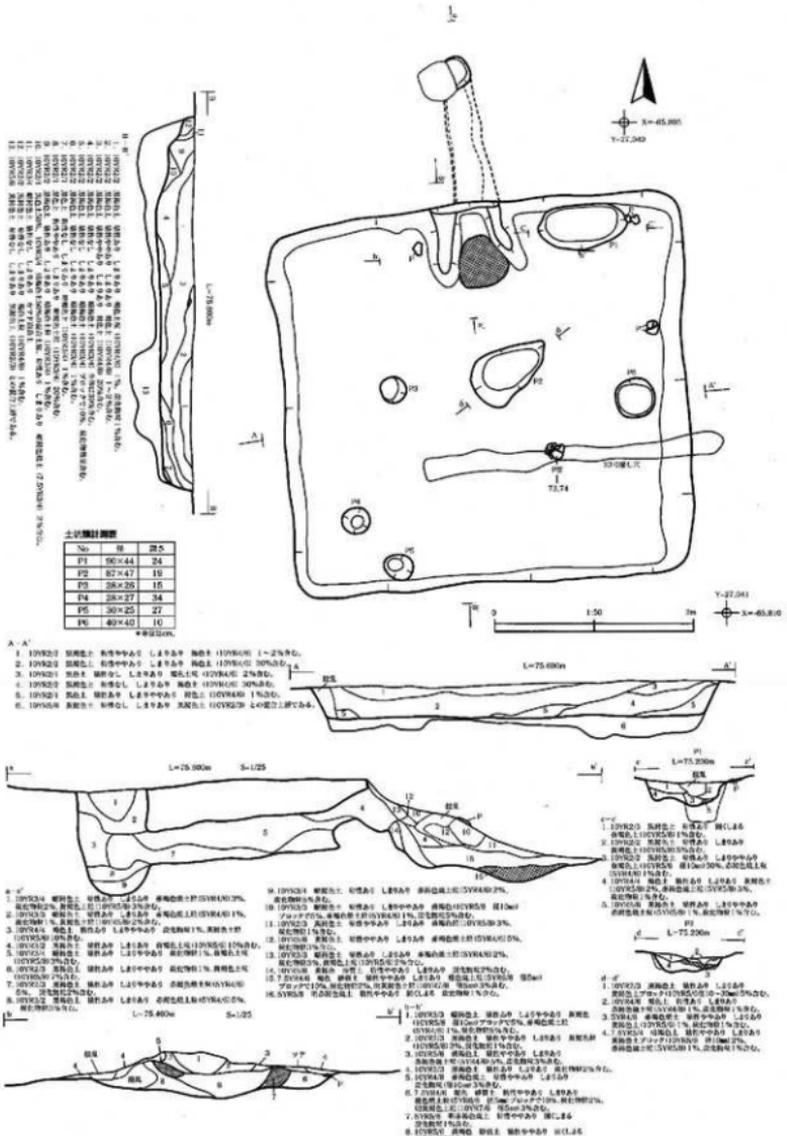
1. 10YR2/1 灰褐色土 粘りあり 褐色土層(10YR4/6)1%含む。
2. 10YR2/2 灰褐色土 粘り中中あり 土層中中あり
3. 10YR2/3 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(7.5YR5/6)2%含む。
4. 10YR2/1 灰褐色土 粘り中中 土層あり 明赤褐色土層(5YR5/3)1%含む。
5. 10YR2/1 灰褐色土 粘り中中 土層あり
6. 10YR3/4 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(7.5YR4/6)3%含む。
7. 10YR2/3 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(7.5YR4/6)11%含む。
8. 10YR2/2 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(10YR4/6)11%含む。

L=75.30cm



1. 10YR2/1 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(7.5YR4/6)10%、炭化物 5%含む。
2. 10YR2/2 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(10YR5/6)1%含む。
3. 10YR2/1 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(10YR3/4)2%含む。褐色 土層(7.5YR4/6)1%含む。
4. 10YR1/2/1 灰褐色土 粘り中中 土層あり
5. 10YR2/1 灰褐色土 粘性中中 土層あり 明赤褐色土層(5YR5/3)1%含む。
6. 10YR2/3 灰褐色土 粘性中中 土層あり 褐色土層(7.5YR4/6)25%含む。
7. 10YR2/3 灰褐色土 粘性中中 土層あり 褐色土層(7.5YR4/6)3%含む。
8. 7.5YR3/4 灰褐色土 粘り中中 土層あり 土層あり
9. 10YR2/2 灰褐色土 粘り中中 土層あり 褐色土層(10YR4/6)10%含む。

第33図 6号住居跡



第34图 7号住居跡

## 8号住居跡

遺構 (第35・36図、写真図版25)

〈位置・重複関係〉24K・24Lグリッドに跨って位置し、表上下第II b層で検出された。重複する遺構はないが遺構の北側と東側を幅約1m拡張した跡が窺えた。

〈規模・平面形・方向〉規模は拡張前が361×332cm、総床面積は約11.98㎡、拡張後が463×430cm、総床面積は約19.90㎡で平面形はいずれも正方形で主軸はS-3°-Wのほぼ真南方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、上位は黒褐色土、中～下位は黒色土、黒褐色土を基調とした土層堆積である。

〈壁〉壁は南北壁が緩い立ち上がりに対し、東西壁はやや垂直ぎみに立ち上がる。壁面残存値は北壁14cm、西壁13cm、南壁10cm、東壁17cmと削平の影響で残存値は低い。

〈床面〉床面は平坦で、やや固さがあり、全体的に掘り方を持ち、黒色土と褐色土の混合上で貼り床され、厚さはおよそ4～28cmである。

〈土坑〉7基検出された。P1は径58×40cm、深さ34cm、P2は径59×50cm、深さ33cm、P3は径106×79cm、深さ34cm、P4は径97×92cm、深さ65cm、P5は径41×31cm、深さ29cm、P6は径50×50cm、深さ29cmである。P7は掘り方の痕の可能性がある。

〈カマド〉南壁の東端に設けられている。燃焼部には暗赤褐色焼土粒が82×46cmの範囲に広がる。焼土の厚さは最大で13cmである。煙道部は掘り込み式の構造で長さは108cm、南方向に傾斜なく延び、煙出し部は径51×48cm、深さ60cmである。袖は暗褐色土を持ち込んで固めたもので、燃焼部側にはぶい赤褐色焼土混じりである。

遺物 (第105～108図・写真図版76～78)

75～171が出土した。75・76は埋土中からの出土で75は酸化炭素成の坏、76は高台坪の台部で成形はいずれもクワ、75の内面には黒色処理が施され、底部の切り離しは回転系切りの技法による。床面からは94点の土鏝が一括出土し、P5からは長い柄杓の形態で全面にミガキが施された土製品が出土している(171)。(溜)

## 9号住居跡

遺構 (第37図・写真図版26)

〈位置・重複関係〉23Kグリッドに位置し、表土下第III層で検出された。重複する遺構はないが遺構の表面はかなり削平されている。

〈規模・平面形・方向〉規模は300×301cm、総床面積は約9.03㎡で平面形は正方形を呈し、主軸はE-5°-Sのほぼ真東方向である。

〈埋土〉全体的に黒褐色土が主体であるが、部分的に黒色土と暗褐色土が混じる。

〈壁〉壁は外傾して立ち上がり、壁面残存値は北壁10cm、西壁7cm、南壁8cm、東壁10cmと削平の影響で残存値は低い。

〈床面〉床面は平坦で、やや固さがあるものの、明確なしまりはない。全体的に掘り方を持ち、黒色土と褐色土の混合土で貼り床され、厚さはおよそ4～12cmである。

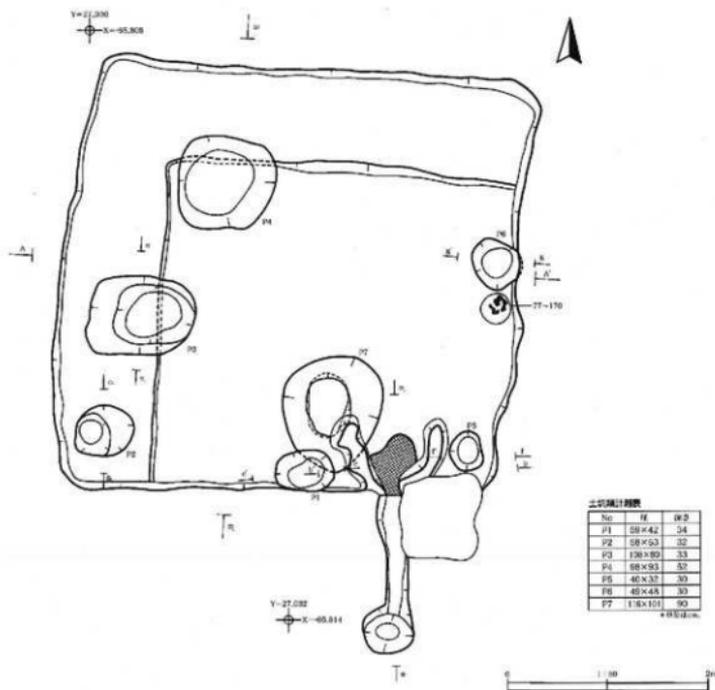
〈土坑〉5基検出された。P1は貯蔵穴で径72×60cm、深さ16cmを計る。他の土坑の性格については不明である。

〈カマド〉東壁の南よりに設けられている。カマドの軸方向は住居とはやや異なりE-17°-Sで燃焼部には明確な燃焼痕はなく、僅かに褐色焼土粒が周辺に散在するのみである。袖は黒褐色土混じりの黒色土を持

ち込んで貼って固めたもので左側の袖は残存しない。煙道部は掘り込み式の構造で、壁面から70cm位置までは削平によって、消滅している。残存する煙道部は長さ75cmで地表から17'の傾斜で煙出し部に下り、煙出し部の深さは35cm、最深部は径19×18cmのビット状を呈する。

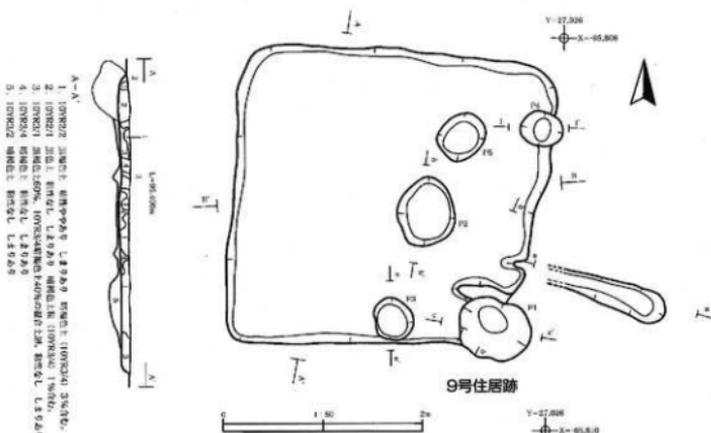
遺物 (第107図・写真図版79)

172～202が出土した。172・173は酸化炭焼成の甕で172はカマド脇、173は住居埋土から出土した。成形はいずれもロクロで内面には黒色処理が施され、底部の切り離しは回転系切りの技法による。174・175は酸化炭焼成の甕で174は住居埋土、175はカマド付近から出土している。成形はロクロで174は器面外面にケズリが施されている。



第35図 8号住居跡





土坑埋計測

No	埋 深
P1	75×58 10
P2	72×58 12
P3	43×36 20
P4	43×35 8
P5	56×40 14

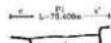
単位:cm



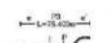
- B-B'
1. 10YK2/2 灰褐色土 粘性中あり しりあり 黒褐色土 (10YK3/4) 3%含む。
  2. 10YK2/1 灰褐色土60%、10YK3/4(黒褐色土40%)の混合層。粘性なし しりあり
  3. 10YK3/4 灰褐色土30%、10YK2/2 黒褐色土70%の混合層。粘性なし しりあり
  4. 10YK3/4 黒褐色土 粘性なし しりあり
  5. 7.5YK2/2 黒褐色土 粘性中あり しりあり 褐色土層 (7.5YK4/6) 糠状土 1%含む。
  6. 10YK2/1 灰土 粘性中あり しりあり 赤褐色土層 (5YR4/6) 糠状土。
  7. 10YK2/2 黒褐色土 粘性あり しりあり 赤褐色土層 (5YR4/6) 糠状土。褐色土層 (7.5YK4/6) 3%含む。
  8. 10YK2/2 黒褐色土 粘性なし しりあり



- C-C'
1. 10YK2/1 灰褐色土 粘性なし しりあり 赤褐色土層 (5YR4/6) 1%、炭化物粒1%含む。
  2. 10YK2/2 黒褐色土 粘性中あり しりあり 褐色土層 (7.5YR4/6) 2%含む。
  3. 10YK2/1 灰褐色土 粘性なし しりあり 褐色土層 (7.5YR4/6) 1%含む。
  4. 10YK3/4 黒褐色土 粘性なし しりあり 褐色土層 (7.5YR4/6) 糠状土。
  5. 10YK2/2 黒褐色土 粘性中あり しりあり
  6. 10YK3/2 灰褐色土 粘性なし しりあり
  7. 10YK2/2 黒褐色土 粘性なし しりあり
  8. 10YK3/4 黒褐色土 粘性なし しりあり 褐色土層 (7.5YR4/6) 糠状土。
  9. 10YK2/2 灰褐色土 粘性なし しりあり
  10. 10YK2/1 灰褐色土 粘性なし しりあり



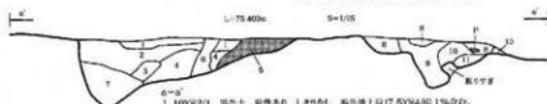
- D-D'
1. 10YK2/1 灰褐色土 粘性なし しりあり 褐色土層 (10YR4/6) 30%含む。



- E-E'
1. 10YK2/2 黒褐色土 粘性なし しりあり 褐色土 (10YR4/6) フロック5%、炭化物糠状土。
  - 10YK2/2 黒褐色土 粘性中あり しりあり
  - 黒褐色土層 (7.5YK4/6) 1%含む。
  - 10YK2/2 黒褐色土 粘性中あり しりあり 赤褐色土層 (5YR4/6) 10%、炭化物粒1%含む。



- F-F'
1. 10YK3/1 灰褐色土 粘性なし しりあり に赤い炭褐色土 (10YK5/4) 3%含む。
  - 10YK2/2 黒褐色土 粘性中あり しりあり 赤褐色土層 (10YR4/6) 1%含む。



- G-G'
1. 10YK2/1 灰褐色土 粘性あり しりあり 褐色土層 (7.5YR4/6) 1%含む。
  - 10YK3/2 灰褐色土 粘性あり しりあり
  - 10YK3/2 灰褐色土 粘性あり しりあり 褐色土層 (7.5YK3/4) 20%含む。
  - 10YK2/2 灰褐色土 粘性あり しりあり
  - 7.5YK2/3 赤褐色土層 粘性あり しりあり
  - 10YK3/4 黒褐色土 粘性なし しりあり
  - 10YK2/2 灰褐色土 粘性あり しりあり (7.5YR4/6) 1%含む。
  - 10YK2/2 灰褐色土 粘性なし しりあり
  - 10YK3/2 灰褐色土 粘性あり しりあり
  - 10YK3/4 赤褐色土 粘性なし しりあり に赤い黒褐色土 (10YR4/6) 30%含む。
  - 10YK3/4 赤褐色土 粘性なし しりあり

第37図 9号住居跡

## 10号住居跡

遺構 (第38・39図、写真図版27)

〈位置・重複関係〉23J・24Jなどに跨って位置し、表土下の第II層で検出された。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は352×329cm、総床面積は約11.58㎡で平面形は方形状を呈し、主軸はE-7°-Nの東方向である。

〈埋土〉全体的に黒色土が主体で、黒褐色土が部分的に混じる。

〈壁〉壁は外傾して立ち上がり、壁面残存値は北壁8cm、西壁8cm、南壁6cm、東壁9cmと削平の影響で残存値は低い。

〈床面〉床面は平坦で、やや凹凸があるものの、明確なしまりはない。全体的に掘り方を持ち、黒色土と褐色土の混合土で貼り床され、厚さはおおよそ4~18cmである。

〈土坑〉P1~P5の5基検出された。用途はP1は貯蔵穴であるが他は不明である。

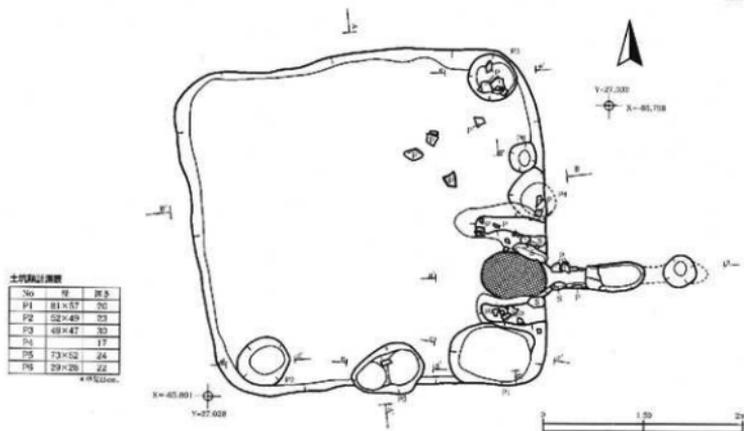
〈柱穴〉柱穴状の小ピット (P6) が東壁面際に1基検出されたが柱穴かどうかは不明である。

〈カマド〉東壁の南よりに設けられ、カマドの軸方向は住居とはほぼ同じである。燃焼部は赤褐色焼土粒を主体に径64×40cmの範囲におよび、最大8cmの厚さで堆積する。焼土粒は場所によって確認できない箇所もあり、全体的に焼土粒以外のシルトも多く混じっている。袖は20cm前後の礫を床面を掘り込んで立てて埋めて芯材とし、これにふい黄褐色土、黒褐色土や土器小片を混ぜて固めて構築されている。煙道部は割り置き式の構造で長さ112cm、幅24cmで底面・側面には土師器製の破片が敷かれている。煙出し部は径35×31cm、深さ43cmでピット状を呈する。

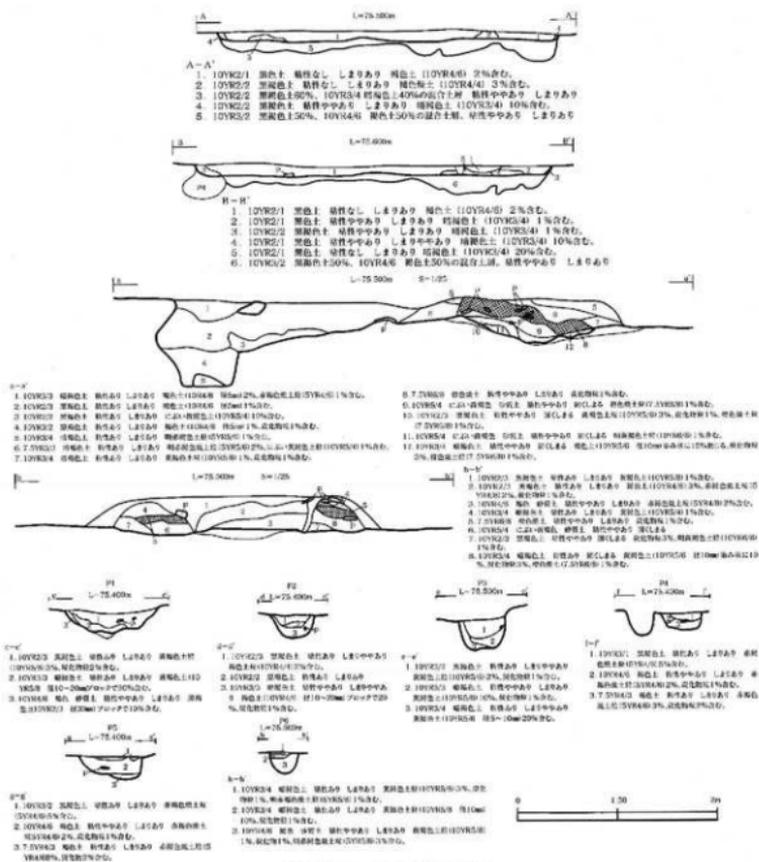
遺物 (第108~110図・写真図版79・80)

176~186が出土した。176・177は酸化炎焼成の坏で成形はロクロ、底部の切り離しは回転糸切りの技法による。178はP1から出土した還元炎焼成の坏で成形はロクロ、底部は欠損している。179~184は酸化炎焼成の甕で180はカマド袖部、183はP1埋土、184は煙道部からの一括出土である。179~182は器面外面下半にケズリが施されている。187は還元炎焼成による甕の胴部破片で外面には甲き目、内面には当て具が残る。186は耳皿で調整はミガキが施されている。

(酒)



第38図 10号住居跡



第39図 10号住居跡

11号住居跡

遺構 (第40図、写真図版28)

〈位置・重複関係〉16K、16Lグリッドに跨って位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。11号土坑、15号土坑と重複し、これらに切られる。

〈規模・平面形・方向〉規模は285×247cm、総床面積は約7.03m<sup>2</sup>で平面形は方形状を呈する。主軸方向はN-12°-Eの北北東方向である。

〈埋土〉自然堆積であるが、全体に攪乱を受けているため曖昧である。埋土は黒褐色土上主体で、褐色土と暗褐色土が僅かに混じる。

〈壁〉壁はいずれも外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁24cm、西壁22cm、南壁20cm、東壁30cmである。

(床面) 床面は攪乱の影響もあり凹凸が多い。また全体に掘り方をもち、黒色土混じりの暗褐色土が6～16cmの厚さで貼られている。

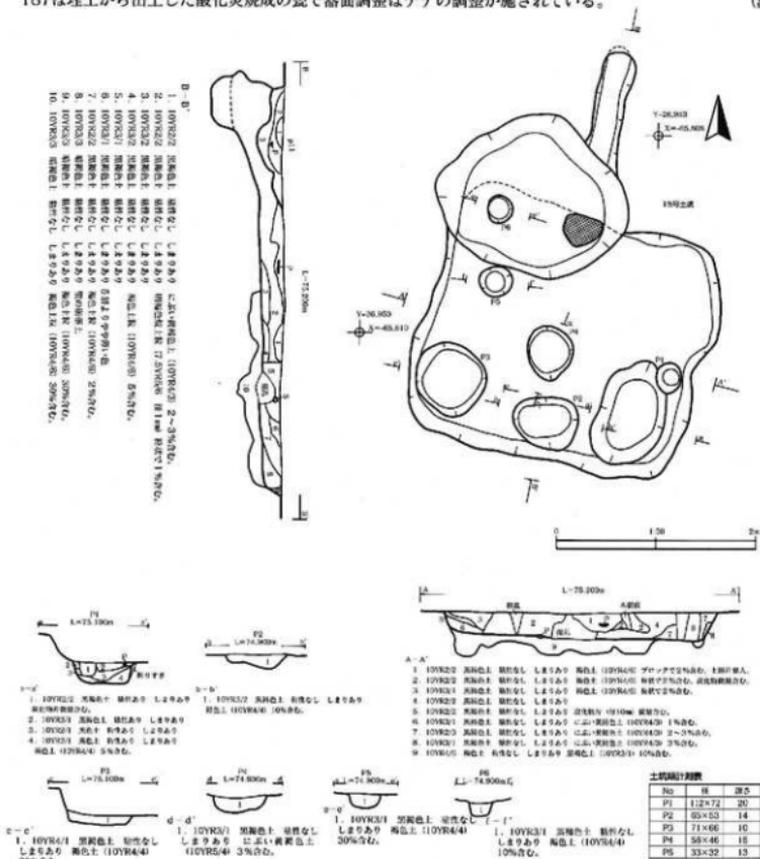
(土坑) 6基検出された。P1～P4は性格不明の土坑でP5、P6は柱穴状の土坑である。

(カマド) 北壁の中央～やや西よりに構築され、主軸は住居の主軸と同じN-12°-Eの北北東方向である。カマドの軸は15号土坑との切り合いによって消滅しており、燃烧部に38×33cmの範囲で焼土が広がっている。煙道部の長さは約120cm前後と考えられ、住居壁から約20°の傾斜で煙出し部へ下っている。煙出し部の深さは74cmでピット状を呈する。

遺物 (第110図、写真図版80)

187は埋土から出土した酸化炭成の甃で器面調整はナデの調整が施されている。

(溜)



第40図 11号住居跡

## 12号住居跡

遺構 (第41・42図、写真図版29)

〈位置・重複関係〉20Kグリッドに位置し、表上下第II b層で検出された。重複する遺構はなく、遺構の中心部に径258×258cmの攪乱がある。また東と北方向に拡張したと思われる、東方向へは約240cmの拡張跡が認められる。

〈規模・平面形・方向〉規模は625×580cm、総床面積は約36.25㎡で平面形は方形状を呈し、主軸はE-5°-Sのほぼ真東方向である。

〈埋土〉上位は黒色土主体、中～下位は褐色土混じりの黒褐色土で構成されている。

〈壁〉壁はやや外傾するがほぼ垂直で立ち上がる。壁面残存値は北壁20cm、西壁20cm、南壁25cm、東壁22cmである。

〈床面〉床面は平坦で、固さがあり、ほぼ全面に掘り方を持つ。これに黒色土と褐色土の混合土で貼り床されている。

〈上坑・柱穴〉10基検出された。P1は径96×88cm、深さ26cmの貯蔵穴で、カマドの脇に掘られている。

〈カマド〉東壁の南よりに設けられている。カマドの軸方向は住居とほぼ同じ真東方向である。燃焼部には92×60cmの範囲に暗褐色焼土が散在し、最も焼成の強い焚き口付近には径50×47cm、厚さ12cmの範囲で赤褐色焼土が堆積している。軸は褐色焼土混じりの暗褐色土を持ち込み、少量の土器片と共に固めたものである。煙道部は削り貫き式の構造で長さ129cm、幅約35cmで約7°の傾斜で煙出し部へと下る。煙出し部は径36×28cmのビット状を呈し、底面には10cm大の礫が混入している。

遺物 (第110・111図、写真図版81)

188～194は酸化炭焼成の坏で成形はロクロ、192はP1、194はカマド付近からの出土で、188～193は内面に黒色処理が施されている。底部の切り離し技法は189・193～195は回転系切り、188・190は回転蹴り切りによる。195は還元炭焼成の坏で成形はロクロ、底部の切り離し技法は回転系切りである。196～200は酸化炭焼成の甕で198は床面から出土した。成形は196～198はロクロ、199・200は非ロクロによるもので196の底部切り離しは回転系切りである。201・202は鉄製品で201は刀子、202は厘又鋸で住居床面から出土している。

(面)

## 13号住居跡

遺物 (第43図、写真図版30)

〈位置・重複関係〉20Lグリッドに位置し、表土下第III層で検出された。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は350×324cm、総床面積は約11.34㎡で平面形は方形状を呈し、主軸はE-3°-Nのほぼ真東方向である。

〈埋土〉自然堆積で、上位は黒褐色土、中～下位は黒色、黒褐色土で構成されている。

〈壁〉壁はいずれも外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁17cm、西壁14cm、南壁15cm、東壁8cmである。

〈床面〉床面は平坦で、ほぼ全面に掘り方を持つ。ただし、北～中央部と南側の様相は異なり、北～中央部は3～10cmの掘り方であるのに対し、南側の1/3は10～18cmと深い掘り方を持つ。また、掘り方には黒褐色土、褐灰色土、にぶい黄褐色土粒などの混合土が貼られている。

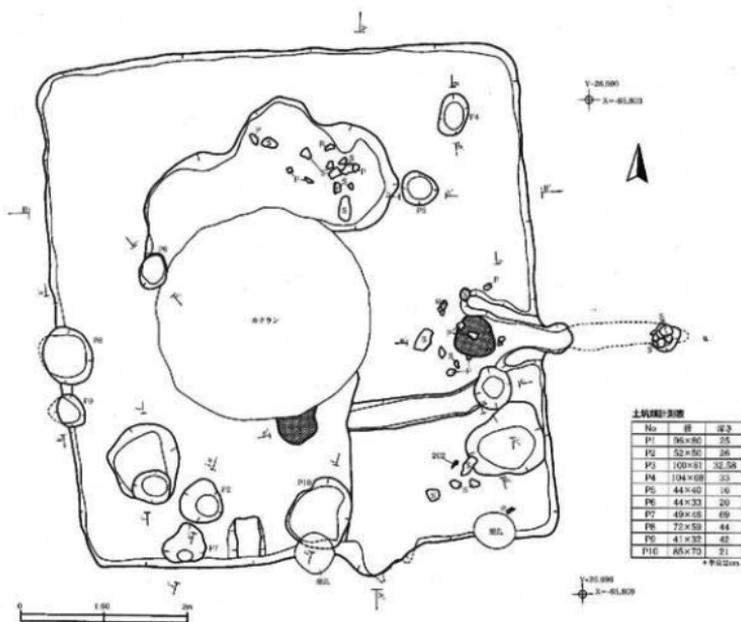
〈柱穴・土坑〉2基検出された。いずれもカマド脇からの検出でP1は径74×68cm、深さ30cm、P2は径34×34cm、深さ15cmの柱穴状小土坑である。

〈カマド〉東壁の南よりに設けられている。カマドの軸方向は住居とほぼ同じ真東方向である。燃焼部には

10cmある。袖は黄褐色の粘土質土を持ち込んで固めたものである残存状況は芳しくない。煙道部は掘り込み式の構造を呈し、長さは約100cm、幅約25cmで約15°の傾斜で煙出し部へと下る形態から掘り置き式の構造であった可能性も考えられる。煙出し部は径34×32cm、深さ51cmのビット状を呈する。

遺物 (第112図・写真図版82)

203は床面より出土した酸化炭焼成の坏で成形はロクロ、底部の切り離し技法は回転糸切りによる。204は埋土より出土した還元炭焼成の台付坏で成形はロクロ、底部の切り離し技法は回転糸切りによる。205は床面より出土した酸化炭焼成の長胴甕で成形はロクロである。他に埋上下部から鎌か1点出土している(206)。 (溜)



第41図 12号住居跡

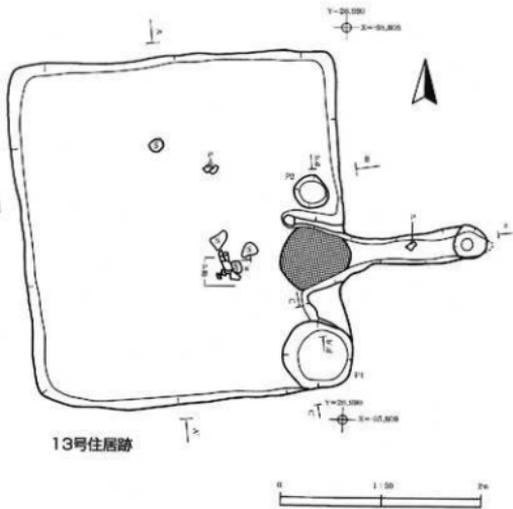


1. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 5%含む。明褐色土 (10YR6/6) 1%含む。
2. 10YR2/3 暗褐色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (5YR4/3) 1%含む。
3. 10YR2/1 黒色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%、赤褐色土 (5YR4/3) 少量含む。
4. 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
5. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
6. 10YR2/1 黒色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
7. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
8. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
9. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
10. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
11. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
12. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
13. 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。

土壌分析結果

No.	深	深S
PI	70x60	30
PI	3x34	15

● 分析結果



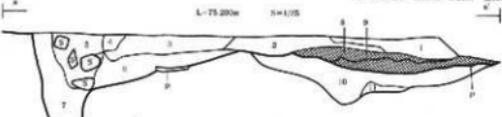
13号住居跡



- B-B'
- 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 1%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。



- B'-B
- 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 20%含む。赤褐色土 (10YR4/3) 5%含む。
  - 5YR2/4 暗褐色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 10%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 20%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 20%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 20%含む。
  - 5YR2/5 暗褐色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%、赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
  - 5YR2/5 暗褐色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%、赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 20%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 20%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 20%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 20%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 20%含む。



- C-C'
- 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり
  - 10YR2/1 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 5%含む。

- A-A'
- 10YR2/1 黒色土 粘質なし しじりあり 粘粒土 (10YR3/4) 5%含む。明褐色土 (10YR6/6) 1%含む。
  - 10YR2/3 暗褐色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%含む。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 1%、赤褐色土 (5YR4/3) 少量含む。
  - 10YR2/3 暗褐色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 2%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
  - 10YR2/1-2 黒色土 粘質中あり しじりあり 粘10%前後の混入。
  - 10YR2/1 黒色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 10%含む。
  - 5YR2/5 暗褐色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 3%、赤褐色土 (5YR2/5) 10%含む。
  - 5YR2/5 暗褐色土 粘質中あり しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 3%、赤褐色土 (5YR2/5) 10%含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。
  - 10YR2/2 黒色土 粘質なし しじりあり 赤褐色土 (10YR4/3) 少量含む。

第43図 13号住居跡

#### 14号住居跡

遺構 (第44・45図、写真図版31)

〈位置・重複関係〉19Lグリッドに位置し、表上下第Ⅲ層層で検出された。カマドや床面の残存状況から拡張された住居跡と考えられる。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は535×470cm、総床面積は約25.14㎡で平面形は方形形状を呈し、主軸はE-2°-Nのほぼ真東方向である。

〈埋土〉自然堆積で、上～中位は黒褐色、褐色土、下位は黒色、黒褐色土で構成されている。

〈壁〉壁はいずれも外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁27cm、西壁32cm、南壁30cm、東壁24cmである。

〈床面〉床面は平坦で、中央～東壁にかけての約316×330cmの範囲では地山を床面として残し、それ以外の全面に掘り方を持つ。掘り方には褐色土と黒色土の混合土が貼られ、厚さは4～27cmである。

〈土坑・柱穴〉9基検出された。3基は住居の北西隅以外の壁隅からの検出で土坑状の形態を為すが、形状、壁面など曖昧な部分も多い。P6、P7は床面からの検出である。

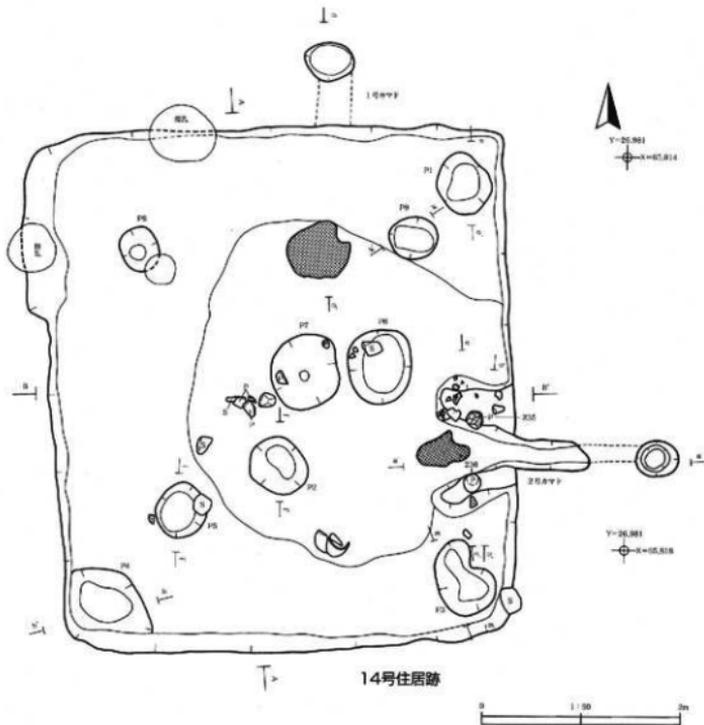
〈カマド〉2基検出された。北壁に構築されたカマド(1号カマド)は拡張前の住居に伴うため、袖は既になく、燃焼部や煙道部も大半が削平、消失し、残存状況は不良である。煙道部は割り貫き式の構造で残存する長さは40cm、幅は40cmで約7°の傾斜で煙出し部へと下る。煙出し部の開口部は擾乱を受けているため正確な規模は判らないが、深さ35cmをもつピット状を呈する。燃焼部には約64×60cmの範囲に暗赤褐色焼土が拡がり、層厚は最大で5cmである。2号カマドは東壁のやや南よりに構築され、袖は両方とも口径18cm、高さ27cmの上師器を伏せて置き、芯材とし、これに灰黄褐色土混じりの黒褐色土を持ち込んで貼り、固めて作られている。燃焼部には赤褐色焼土が径54×34cmの範囲に広がり、層厚は最大で8cmある。煙道部は割り貫き式の構造で長さは124cm、幅は約29cmで約12°の傾斜で煙出し部へと下る。煙出し部は径43×36cm、深さ58cmで円筒のピット状を呈する。

遺物 (第112～115図・写真図版82～85)

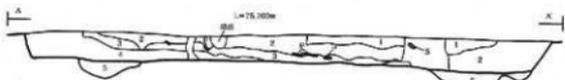
207～227は坯型の土器で208・214・220・221は貼り床土、213・215・217～219・226は2号カマド袖部、223・224は住居床面、他は住居の覆土から出土している。207～219は酸化炎焼成のロクロ成形、207～217は内面に黒色処理が施されている。底部の切り離し技法は209・213・218は回転篋切り、211は切り離し後の再調整のため不明、他は回転糸切りである。内黒土器の底部切り離し後の底面～体部下のケズリ再調整は底糸切り、篋切り間わず半々である。220～228は還元炎焼成の坏で成形はいずれもロクロ、底部の切り離し技法は220・222・226・228は回転篋切り、225は切り離し後の再調整のため不明、他は回転糸切りである。底部切り離し後、底面にケズリ再調整が施されているのは224・226である。230は酸化炎焼成の鉢で成形はロクロである。231～237は酸化炎焼成の甕で231は成形はロクロ、内面にミガキが施され、底部の切り離し技法は回転篋切りで回転篋削りによる再調整が胴部下～底面に施されている。235・236はカマドの芯材に使用された甕で235が左袖、236が右側の袖である。いずれも伏せた状態で置かれ、周りをシルトで覆われていた。237の器体外面の調整は口縁部はタタキ→ロクロナデ、胴部はタタキ→ミガキの順で調整が施されている。238～241は還元炎焼成による238は長頸瓶、他は甕でロクロ成形後、器体外面下半にケズリ調整が施されている。(瀧)

土坑類計測表

土坑No	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
直径 (cm)	64×55	61×53	75×53	96×70	55×51	74×64	76×68	45×37	50×44
深さ (cm)	28	27	22	22	20	50	31	27	14

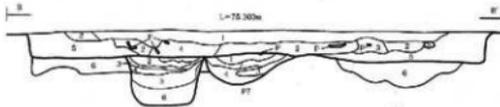


14号住居跡



A-A'

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘りなし、しまりあり、炭化灰粒多く含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR4/6) 1%含む。
3. 10YR4/4 褐色土 粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR2/2) 10~20%、径1.0mmの炭化物粒少量含む。
4. 10YR2/1-2/2 黒色~黒褐色土 粘りあり、しまりあり、褐色土粒 (10YR4/6) 1~2%含む。
5. 10YR2/1 黒褐色土 粘りなし、しまりあり、褐色土 (10YR4/6) 60%含む。



B-B'

1. 10YR2/2 黒褐色土 粘りなし、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR4/6) 1%含む。
2. 10YR4/4 褐色土 粘りなし、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR2/2) 10~20%、径1.0mmの炭化物粒少量含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土40%、10YR4/4 褐色土40%の混合土層。粘りなし、しまりあり。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘り中~粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR2/2) 炭化物粒少量含む。
5. 10YR2/1-2/2 黒色~黒褐色土 粘りあり、しまりあり、褐色土粒 (10YR4/6) 1~2%含む。
6. 10YR2/1 黒褐色土 粘りなし、しまりあり、褐色土 (10YR4/6) 60%含む。

P7

b-b'

1. 10YR4/4 褐色土 粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR2/2) 1%含む。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘り中~粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR2/2) 40%含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘りあり、しまりあり。
4. 10YR2/1 黒褐色土 粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR4/6) 5%含む。

P6

b-b'

1. 10YR4/4 褐色土 粘りなし、しまりあり。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘りなし、しまりあり。
3. 10YR3/4 黒褐色土 粘りなし、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR2/2) 3%含む。
4. 10YR2/1 黒褐色土 粘り中~粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR4/6) 3%含む。
5. 10YR2/1 黒褐色土 粘り中~粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR4/6) 40%含む。
6. 10YR2/1 黒褐色土 粘り中~粘りあり、しまりあり、硝子灰土粒 (10YR4/6) 20%含む。

第44図 14号住居跡



### 15号住居跡

遺構 (第46・47図、写真図版32・33)

〈位置・重複関係〉18L・19L・18M・19Mグリッドに位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。カマドや床面の残存状況から拡張された住居跡と考えられる。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は503×456cm、総床面積は約22.93㎡で平面形は方形を呈し、主軸はN-12°-Wのほぼ北北西方向である。

〈増上〉自然堆積で、上～中位は黒色土、下位は黒褐色土で構成されている。

〈壁〉壁は外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁18cm、西壁30cm、南壁27cm、東壁18cmである。

〈床面〉床面は平州で、中央～北壁より約354×276cmの範囲では地山を床面として残し、それ以外の全面に掘り方を持つが、これは、当初の住居跡を拡張するときに掘った跡と思われる。掘り方には黒色土と黒褐色土の混合土が貼られている。

〈七坑〉P1～P4が検出された。P3・P4は住居床面下で検出された。各上坑の計測値は表に記した。

〈柱穴〉7基検出された。いずれも拡張後の住居に伴う柱穴である。

〈カマド〉2基検出された。いずれも北壁の中央付近に構築され、東側のカマド(1号カマド)が拡張前の住居に伴うもので、壁は拡張後の住居と異なり真北方向で、袖は住居構築時に地山を残し、削り出しの構造で、右袖は既になく、左袖は新しいカマドの構築時に右袖の芯土として、利用されていたため残存していた。燃焼部は径46×44cmの範囲に赤褐色焼土が拡がり、4cmの厚さで堆積する。煙道部は掘り込み式の構造で長さは約80cm、幅52cm、煙出し部の最深部は30cmである。西側に設けられたカマド(2号カマド)は掘り込み式の構造で煙道部の長さは約100cm、幅49～54cmあり、約8°の傾斜で煙出し部を下る。煙出し部の深さは69cmで煙道部より20cmほど深い。袖は上記のとおり右袖は1号カマドの左袖に黒褐色土が微塵混ざった褐色土を持ち込んで固めて作られる。左袖は褐色土と黒褐色土の混合土を持ち込んで固めたものである。燃焼部には赤褐色焼土が径80×56cmの範囲に広がり、層厚は最大で6cmある。

遺物 (第116・117図・写真図版85・86)

244・245は酸化炭焼成の坏でカマド付近から出土した。内面には黒色処理が施され、器体の内面調整は244はナデ?、245はミガキである。底部の切り離しは回転糸切りの技法による。246・247は還元炭焼成の坏で床面直上から出土した。成形はロクロで底部の切り離しは回転糸切りの技法による。248～251は酸化炭焼成の非ロクロ成形の甕で器体の外面調整は口縁部はいずれもヨコナデ、胴部は248～250はハケメ、251はナデが施される。252・253は還元炭焼成の甕で252はP2から出土した。成形はロクロ、器体外面下半はケズリが施されている。他に磨石が1点、また住居南西隅壁際の埋土上～中位からは鎌が1点出土している。

(溜)

#### 土坑類計測表

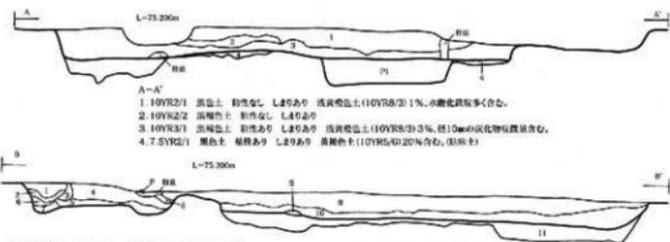
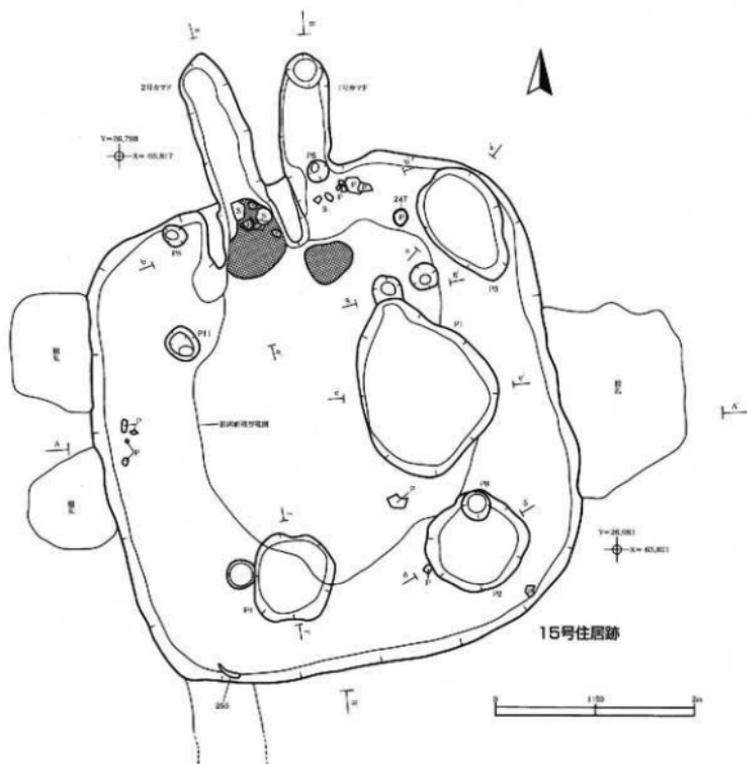
土坑No	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11
直径(cm)	186×137	103×101	123×73	84×82	22×22	30×29	29×27	24×20	31×29	29×28	35×33
深さ(cm)	22	30	25	16	45	26	49	35	29	57	36

### 16号住居跡

遺構 (第48・49図・写真図版34)

〈位置・重複関係〉19Mグリッドに位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。重複する遺構はない。

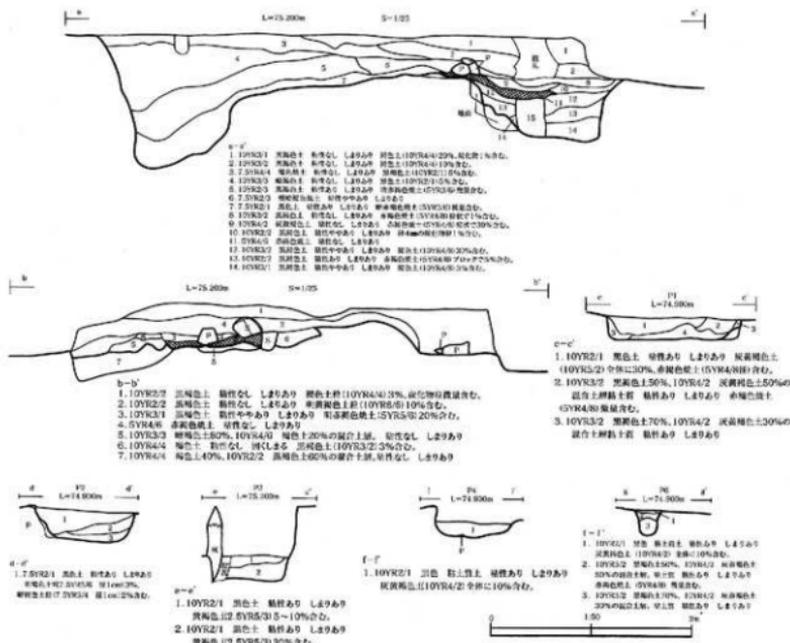
〈規模・平面形・方向〉規模は476×446cm、総床面積は約21.22㎡で平面形は方形を呈し、主軸はS-15°



- A-A'
1. 10YR2/1 灰土、砂性土、L29あり 浅黄褐色土(10YR5/3)1%、赤褐色粒多含む。
  2. 10YR2/2 灰褐色土、砂性土、L49あり
  3. 10YR3/1 灰褐色土、砂性土、L29あり 浅黄褐色土(10YR5/3)3%、粒10mm以内物質少量含む。
  4. 7.5YR2/1 黒土、粘粒あり、L29あり 黄褐色土(10YR5/4)20%含む、(細土)

- B-B'
- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 10YR2/1 灰土、粘性土、L29あり 浅黄褐色土(10YR5/3)1%含む。</li> <li>2. 10YR2/2 灰褐色土、粘粒なし、L29あり</li> <li>3. 10YR3/1 灰褐色土、粘粒あり、L29あり 浅黄褐色土(10YR5/3)3%、粒10mm以内物質少量含む。</li> <li>4. 7.5YR2/5 黄褐色土、粘性土、同(L)と、黄褐色土(7.5YR3/4)30%、灰化物質少量含む。</li> <li>5. 10YR3/2 灰褐色土、粘性土、L29あり 粒7mm以内物質少量含む。</li> <li>6. 10YR3/2 灰褐色土、粘粒あり、L29あり 粒7mm以内物質少量含む。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 7.5YR2/2 灰褐色土、粘性土、L29あり</li> <li>8. 10YR4/3 土赤、灰褐色土、粘性中あり、L29あり</li> <li>9. 10YR2/1 灰褐色土、粘粒なし、L29あり 浅黄褐色土(10YR5/3)1%、赤褐色粒多含む。</li> <li>10. 10YR2/1 灰褐色土、粘性土、L29あり 浅黄褐色土(10YR5/3)3%、粒10mm以内物質少量含む。</li> <li>11. 7.5YR2/1 黒土、粘粒あり、L29あり 灰褐色土(10YR5/4)20%含む、(細土)</li> </ol> |
|--|--|

第46图 15号住居跡



第47図 15号住居跡

—Eの南南西方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、上位は黒褐色土、中～下位は黒色土で構成されている。

〈壁〉壁はやや外傾ぎみに立ち上がる。壁面残存値は北壁24cm、西壁28cm、南壁19cm、東壁22cmである。

〈床面〉床面は平坦で、やや堅さがある。住居西半の壁際には上端幅14～10cm、下端幅8～4cm、深さ4cmの溝が所々に巡る。また全面に掘り方をもち、褐色土と黒色土の混合土が厚さ9～34cm貼られている。

〈土坑〉6基検出された。P1～P5はいずれも土器片が出土しており、貯蔵穴と考えられる。

〈カマド〉南壁の東よりに構築され、主軸は住居の主軸とほぼ同じS-22°-Eの南南西方向である。カマドの袖部は左袖は24×14cmの礫を床面に差し込んで立てて芯材とし、その上に暗褐色のシルトを貼って固めている。右袖は礫は無く、シルトのみで構築されている。燃焼部には径56×56cmの範囲にふいひ赤褐色焼土が埋まり、厚さは2～8cmある。煙道部は掘り込み式の構造で、長さは約130cm、幅は32cm、煙出し部は開口部径39×32cm、深さ52cmで煙道部より深い。またこれとは別に長さ50cm、幅32cmの煙道状の遺構も確認されたが後世の擾乱によって遺構の性格は不明である。

遺物 (第117～118図・写真図版87)

256～258は酸化炎焼成の坏で256はP5、257はP3、258は住居床面からの出上でいずれも成形は口クロ、256・257は器体内面に黒色処理が施されている。底部の切り離しは回転糸切りの技法である。259・260は口クロ成形の還元炎焼成の坏で259はP5から出土し、底部切り離しは回転糸切りの技法である。281の体部には墨で文字が書かれている。261～263はいずれも酸化炎焼成の甕で261・263はP1、262はカマド燃焼部、

からの出土である。いずれも成形はロクロで、底部の切り離しは回転糸切りの技法による。

(瀧)

### 17号住居跡

遺構 (第49・50図・写真図版35・36)

〈位置・重複関係〉18Mグリッドに位置し、表土下第II b層で検出された。遺構の残存状況から焼失した住居跡と考えられる。重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は430×384cm、総床面積は約16.51㎡で平面形は台形状を呈し、主軸はE-8°-Nの東方向である。

〈埋土〉自然堆積を呈し、全体が黒褐色土主体十層堆積で、暗褐色土が一部に混じる。

〈壁〉壁はやや外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁16cm、西壁20cm、南壁27cm、東壁24cmである。

〈床面〉基本は平坦で、床面には焼土や炭化物(炭化米・胡桃等)が散在し、全面に掘り方を持つ。掘り方には赤褐色焼土混じりの黒褐色土が貼られ、厚さは5~10cmである。

〈土坑〉3基検出された。P1は北東隅にあって規模は径80×74cm、深さ36cmで中からは炭化した柱材や胡桃4点などが出土している。P2はカマド脇の南東壁際にあり、規模は径78×75cm、深さ31cmで中からは完形の上脚器7枚が2・3枚ずつ重なって出土していることから貯蔵のための穴であると考えられる。P3は住居中央やや西よりで検出され、規模は径48×42cm、深さ54cmで、埋土中からは土器片や胡桃のかけらが出土している。

〈柱穴状小土坑〉2基検出された。P4は径40×40cm、深さ18cmの小土坑状を呈するが、住居構築時の掘り方によるものである可能性もある。P5は径24×24cm、深さ38cmの柱穴状を呈する。単独であるが、住居跡に伴う遺構と思われる。

〈カマド〉東壁のやや南よりに構築され、主軸は住居の主軸とほぼ同じE-8°-Nの東方向である。カマドの構造は焚き口部分を覗くと袖の骨格は礫で組まれ、左袖には長さ24cm、幅8cm、右袖には長さ34cm、幅12cmの礫をそれぞれ床面に差して立て、天井に長さ48cm、幅24cm、厚さ9cmの礫を架橋(Π)状に置き、これを芯とし、その上に褐色土を貼って構築している。燃焼部には径50×50cmの範囲に暗赤褐色焼土が拡がり、焼土の厚さは8~12cmある。煙道部は引り貫き式の構造で、長さは約110cm、幅は35cm、約20°の傾斜で煙出し部へと下る。煙出し部の開口部径は28×24cm、深さ70cmで煙道部側に傾斜している。また煙道部の埋土中位付近からは栗の実約170点が一括出土している。

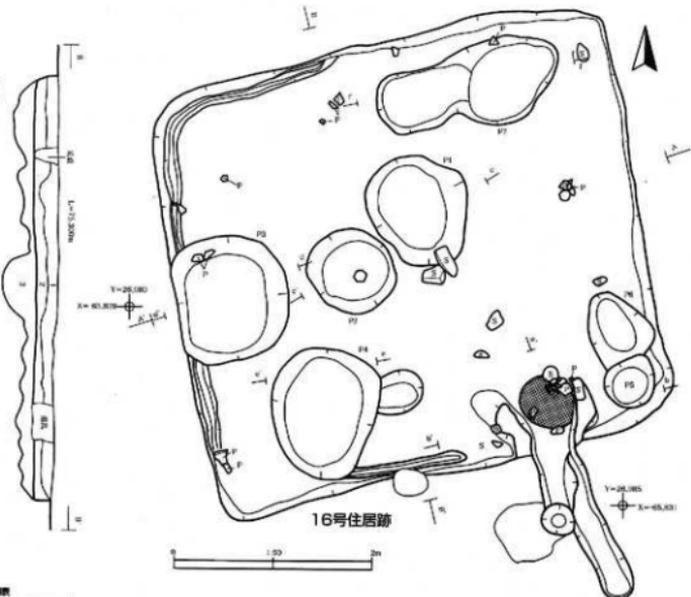
〈他の施設〉P2の南西隣の南壁側からII層部の欠けた還元炎焼成の甕が、5cmほど底部が床面に埋設した状態で出土した。状況から水を貯蔵していたと考えられる。

遺物 (第118~120図・写真図版87~89)

264~278は酸化炎焼成の坏で、P2、P3から多く出土しておりP2からは267と268、274・275・276などは重なった状態で出土している。またP3からは6点が出土しているが床面出土の土器と接合するものも多く、P3から出土した土器片が内照処理が施されているのに対し、床面出土の土器片には黒色が残っていない(269~273)。いずれも成形はロクロ、内面にミガキが施されている。280~283は高台坏でいずれも器体内面(280は両面)に黒色処理が施されている。286は還元炎焼成の甕でP2の手前に底部を床面に埋め込んだ状態で置かれていた。他に耳皿(287)、砥石(288・289)、また、床面からは雑穀類や胡桃(約130g)が多数出土しているほか、煙道部の埋土から前述の栗の実170点(約270g)が出土している。

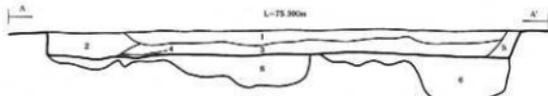
(瀧)

1. 10YR2/2 黒褐色土 粘粒あり L:29中々あり 褐色土(10YR4/4)1%, 暗赤褐色土(2.5YR5/3)含む。  
 2. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:9あり 褐色土(10YR4/4)1%, 暗赤褐色土(2.5YR5/3)と炭化物粒を微量含む。  
 3. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:9あり 褐色土(10YR4/4)2%, 炭化物粒(径3mm)微量含む。  
 4. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:9あり 褐色土(10YR4/4)23%, 赤褐色土(5YR4/3)1%含む。  
 5. 10YR1/2 赤色土 粘粒あり L:2あり 褐色土(10YR4/4)1%, 炭化物粒(径10mm)微量含む。  
 6. 10YR2/1 黒色土 100% 10YR4/4 褐色土 140%の粘土土粒, 粘粒なし L:2あり



土坑調査記録

No	径	深さ
PI	15×15	39
PJ	88×82	39
PK	25×114	42
PL	30×30	31
PM	51×48	25
PN	78×59	25
PO	113×60	24



- A-A'  
 1. 10YR2/2 黒褐色土 粘粒あり L:29中々あり 褐色土(10YR4/4)1%, 暗赤褐色土(2.5YR5/3)含む。  
 2. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:9あり 褐色土(10YR4/4)1%, 暗赤褐色土(2.5YR5/3)と炭化物粒を微量含む。  
 3. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:2あり 褐色土(10YR4/4)2%, 炭化物粒(径3mm)微量含む。  
 4. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:9あり 褐色土(10YR4/4)23%, 赤褐色土(5YR4/3)1%含む。  
 5. 10YR1/2 赤色土 粘粒あり L:2あり 褐色土(10YR4/4)1%, 炭化物粒(径10mm)微量含む。  
 6. 10YR2/1 黒色土 100% 10YR4/4 褐色土 140%の粘土土粒, 粘粒なし L:2あり



- b-b'  
 1. 10YR3/4 暗褐色土 粘粒あり L:2あり  
 2. 10YR2/2 黒褐色土 粘粒あり L:29あり 赤褐色土(5YR4/3)3%含む。  
 3. 10YR2/1 黒色土 粘粒あり L:2あり  
 4. 10YR2/2 黒褐色土 粘粒あり L:2あり 赤褐色土(5YR4/3)5%含む。  
 5. 5YR2/3 暗赤褐色土 粘粒あり L:2あり  
 6. 10YR2/1 赤褐色土 粘粒中々あり L:2あり 褐色土(10YR4/4)3%含む。  
 7. 10YR2/2 黒褐色土 粘粒あり L:2あり 赤褐色土(5YR4/3)2%含む。  
 8. 10YR2/2 黒褐色土 粘粒なし L:8あり 褐色土(10YR4/4)50%含む。  
 9. 10YR2/1 赤色土 粘粒あり L:29中々あり 褐色土(10YR4/4)2%, 褐色土(5YR4/3)微量含む。  
 10. 10YR3/4 暗褐色土 粘粒あり L:2あり

第48図 16号住居跡





## 18号住居跡

遺構 (第51図・写真図版37)

〈位置・重複関係〉19Kグリッドに位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。遺構の残存状況から焼失したと思われる。遺構の約1/3は調査区外で重複する遺構はない。

〈規模・平面形・方向〉規模は248×240cm、総床面積は約5.95㎡で平面形は正方形を呈する。

〈埋土〉自然堆積で、上～中位は黒褐色土、下位は炭化物、褐色焼土の下位に黒褐色土層が堆積している。

〈壁〉壁はいずれも外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁13cm、西壁14cm、南壁14cm、東壁19cmである。

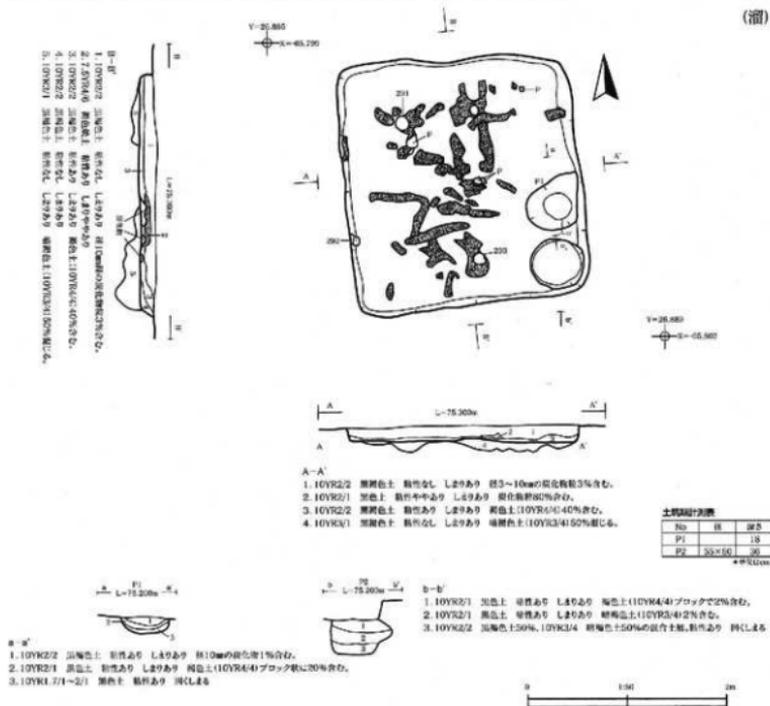
〈床面〉床面は平坦～緩い凹凸で、全体に掘り方をもち、黒褐色土と暗褐色土の混合土が貼られている。厚さは6～25cmである。

〈土坑〉2基検出された。P1は径65×48cm、深さ17cm、P2は径50×50cm、深さ35cmの規模である。

〈カマド〉カマドは無く、また床面には炉跡の痕跡もない。

遺物 (第121図・写真図版89)

291～293が住居埋土1層から出土した。いずれも酸化炭焼成の坏で成形はロクロ、底部の切り離し技法は回転糸切りである。291・293の器体外面および内面には煤が付着している。



第51図 18号住居跡

## 19号住居跡

遺構 (第52図・写真図版38)

〈位置・重複関係〉15M、16Mグリッドに跨って位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。遺構表面は削平が激しく、残存状況は芳しくない。

〈規模・平面形・方向〉規模は341×307cm、総床面積は約10.46㎡で平面形は南北辺がやや長い方形を呈する。主軸方向はE-18°-Nである。

〈埋上〉自然堆積で、上～中位は黒褐色土、下位は暗褐色土が堆積している。

〈壁〉壁はいずれも外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁8cm、西壁12cm、南壁8cm、東壁7cmである。

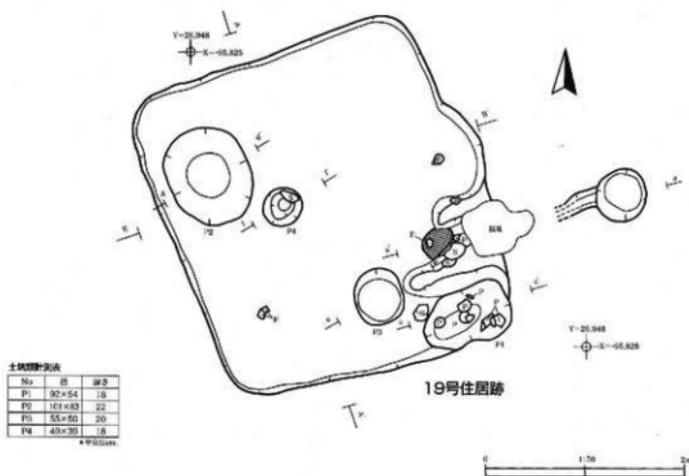
〈床面〉床面は平坦～緩い凹凸の波があり、全体に掘り方をもち、黒褐色土と褐色土の混合土が貼られている。厚さは4～22cmである。

〈土坑〉2基検出された。P1は径95×54cm、深さは20cm、P2は径46×43cm、深さは23cm、P3は径54×49cm、深さは22cmで埋土はいずれも自然堆積である。P1から遺物が多く出土している状況から貯蔵穴であったと考えられる。

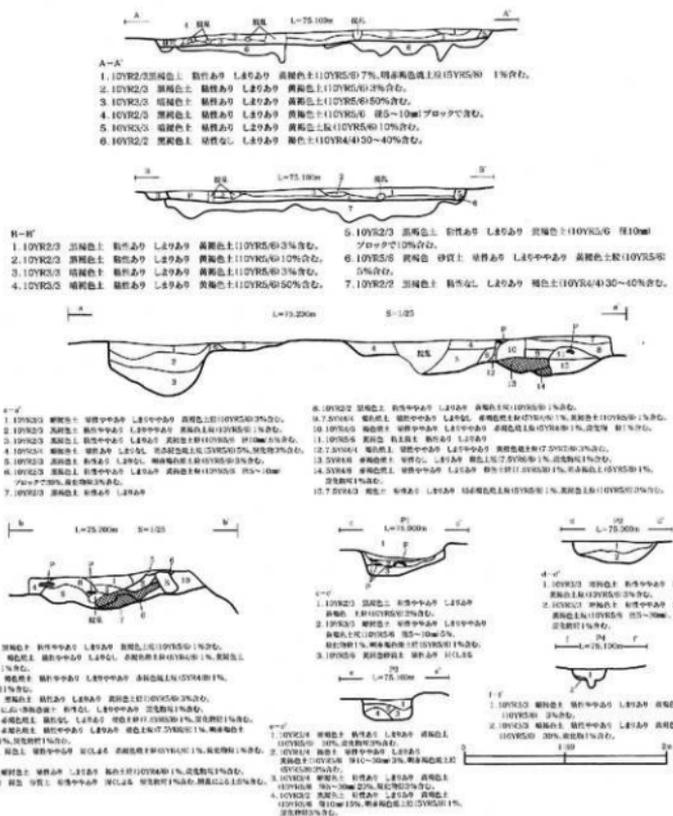
〈カマド〉東壁のやや南よりに構築され、主軸は住居の主軸と同じE-18°-Nの東北東方向である。カマドの袖には礫や褐色土を持ち込んで固めて作られており、燃焼部には34×25cmの範囲に赤褐色焼土が拡がり、焼上の厚さは最大で約16cmある。煙道部は攪乱や削平の影響で一部分が残るのみであるが、掘り込み式の構造で長さは約1m強と推測できる。煙出し部の開口部径は51×50cmの円形で、深さは26cmである。

遺物 (第121図・写真図版89)

294～299が出土した。いずれもP1より出土した酸化炭素成の294は皿、295～299は坏で、成形はロクロ、294は摺体両面、295は器体内面に黒色処理が施されている。底部の切り離し技法は298は切り離し後の再調整により不明、他は回転糸切りの技法が施されている。319は切り離し後、手持ち削りによる再調整が一部施されている。



第52図 19号住居跡



第53図 19号住居跡

20号住居跡

遺構 (第54~56図、写真図版39)

- <位置> 重複関係> 16J・16K・17J・17Kグリッドに跨って検出され21号住居跡の下に検出されたことからこれより古い時期に属する。55号陥し穴状遺構、44号陥し穴状遺構と重複し、これより新しい。
- <規模> 平面形・方向> 規模は412×432cm、総床面積は約17.79㎡、平面形は方形を呈し、主軸方向はE-31°-Nである。
- <埋土> 全体的に黒褐色土による堆積で上位には炭化物、焼土などを含むが、中~下位にかけては焼けて炭化物、焼土面をなす場所と、そうでない場所がある。単層に近い。
- <壁> やや外反して立ち上がり、壁面の残存値は北壁29cm、南壁20cm、東壁16cm、西壁31cmである。
- <床面> 基本的には地山をそのまま床としている。カマド部分から南壁にかけて顕著な掘り方を持つ。
- <土坑> 4基の土坑 (P1~4) を検出した。埋土から三つに分けられ、P1は住居廃絶時まで機能してい

たと思われる。P2は明らかに埋め戻されていた。P3とP4は、下部に黒褐色土、上部は焼土粒子を顕著に含む層、最上面は黒土に覆われており、廃絶時に機能していたかどうか微妙である。なお、P1から多量の土器が出土した。

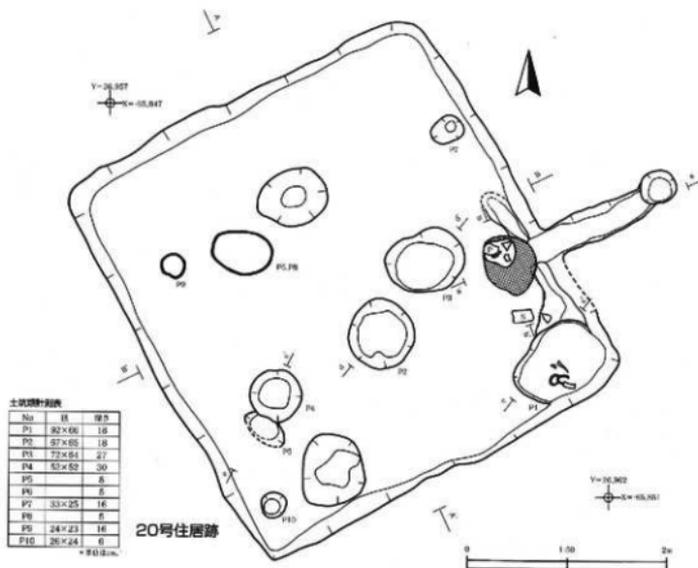
<柱穴>明確でないものもあるが、6基を確認した。規則的な配置ではない。P6とP8は重複している。<カマド>東壁の南寄りに構築。掘り込み式。袖部は崩れ、残りは悪い。焚き口は、厚さ8cmの焼土が形成されている。

遺物 (第121・122図、写真図版89・90)

P1およびその周辺から多量の土器が出土した。P1出土の土器の多くは、南東隅から滑り落ちたような状態で出土しているものが多い。303・300は東側から滑り落ちた状態で出土。カマド付近からはそのまま押しつぶされた状態ではなく、バラバラの状態である。カマド崩落土からも比較的多くの土器片が出土しており、これもカマドの上の東壁からそのまま滑り落ちたような状態で出土しているものが多い。(金子)

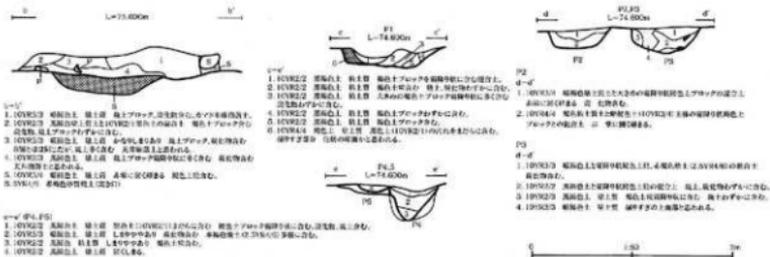
300・301は酸化炭焼成の坏で300は住居埋土、301はP1より出土した。いずれも成形はロクロで内面に黒色処理が施されている。300の底部の切り離しは回転糸切り技法による。302~304も酸化炭焼成の坏で302はカマド崩落土、304はP1より出土した。いずれも器面の調整は両面ロクロのみ施され、302・303の底部の切り離しは回転糸切り技法による。303の体部には墨書による文字痕が僅かに残る。305・306は還元炭焼成の坏で305は埋土、306は貼り床土中から出土した。いずれも器面の調整は両面ロクロ、底部の切り離しは回転糸切り技法による。307~314は酸化炭焼成の甕で307はカマドの崩落土内、313はP2、312はP1から出土した。いずれも非ロクロ成形で器面調整は口縁部はヨコナデ、胴部上位はナデ、ケズリ、ハケメなどが施される。

(酒)



第54図 20号住居跡





第56図 20号住居跡

### 21号住居跡

遺構 (第57図、写真図版40・41)

<位置・重複関係> 16J・16K・17J・17Kグリッドに跨って検出された。水田耕作時の擾乱のため輪郭ははっきりしなかった。20号住居跡と重複し、これより新しく、20号住居跡の埋土上に黄褐色土を貼って住居としているものである。

この黄褐色土を単なる埋土の一部とせず貼り床と考えたのは、以下の理由による。第1に、貼り床と推測した黄褐色粘土の範囲が、整った矩形をしていること。第2に、その範囲は、下の20号住居跡のプランを意識しているかのように、各辺が20号住居跡とほぼ平行の入れ弧状になっていること。第3に、黄褐色土の表面は、多少の凸凹はありながらも、基本的には水平である (中央に向かって傾斜していない) こと。第4に、黄褐色土がほぼ同じ厚さで分布していること。第5に、黄褐色土上面から遺物が大量に出土していること。この住居の範囲で遺物が多量に出土するのは、こと下の20号住居跡床面だけである。

近世以降の溝跡、多くの柱穴状土坑 (はぜ杭含む) に切られている。

<規模・平面形・方向> 規模400×434cm、残存する総床面積は約17.36㎡、平面形は方形を呈し、主軸方向は不明である。

<埋土> 上面はかなり削平され、単層に近い。全体的に黒褐色土を基調とし、黒色土、褐色土が一部混じる。

<壁> 不明。

<床面> 下の20号住居跡の埋土である黒色土の上に黄褐色土を貼って床としている。固く締まる。貼床下が黒色土で締まりが弱いせいか、人が頻繁に載っていたと思われる場所が凹んでいて、壁際がやや高い。

<柱穴> 擾乱を受けているため (近世以降の柱穴状土坑が多い)、はっきりしないが、6個の柱穴を確認した。あまり規則的な配置ではない。P1とP5は、新しい時期の可能性がある。

<周溝> 埋土が住居下の黒色土 (20号住居跡の埋土) と類似するため、はっきりしないが、全周はしないようである。 (金子)

遺物 (第123・124図、写真図版91・92)

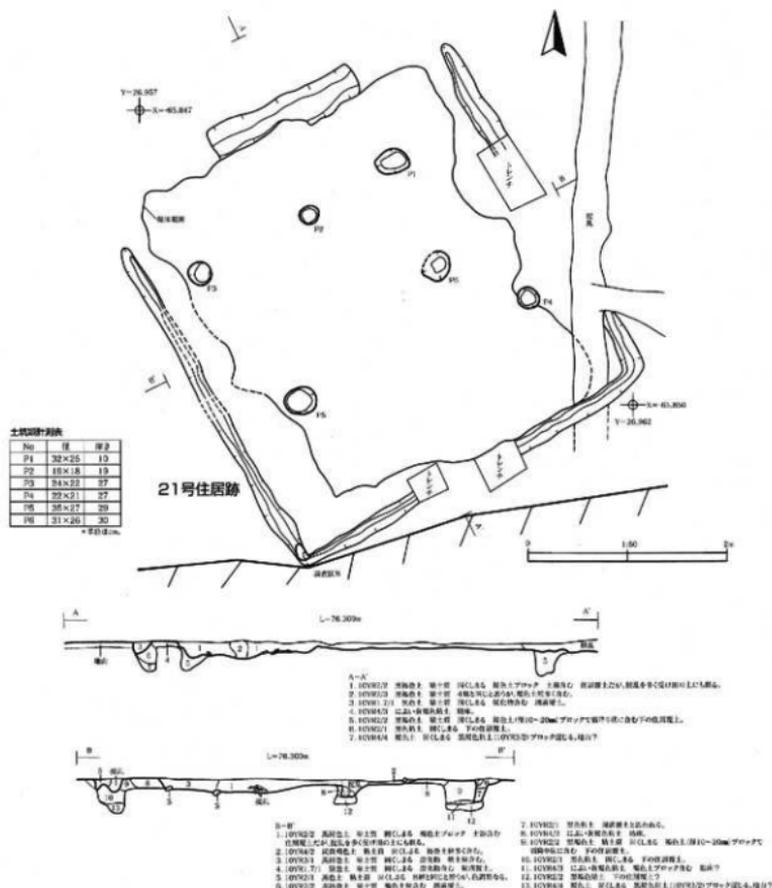
土器が多く出土し、30×40×30cmのコンテナ0.6箱程度出土した。セクションベルトの交叉部の北側の窪みから、多量の土器、礫 (赤く焼けているもの、石皿状のもの含む) が出土した。

315~318はいずれも埋土より出土した酸化炭焼成の坏で成形はロクロ。315~317の内面には黒色処理が施されている。318の器体外面には墨書による文字が僅かに残る。底部の切り離し技法はいずれも回転系切りである。319は酸化炭焼成の甕の胴部下~底部破片で胴部にはケズリ、底部にはナデ、内面はミガキ調整および

黒色処理が調整が施されている。321は酸化炎焼成の小型の甕で器面の調整は両面にロクロナデによる。底部の切り離し技法は回転糸切りである。320・322・323は酸化炎焼成の甕の口縁～胴部上位の破片である。成形は320はロクロ、322・323は非ロクロ成形で器面調整は322・323は口縁部はヨコナデ、胴部外面はナデ、内面はいずれも横位にナデが施されている。324・325は還元炎焼成の甕で成形は324は輪積み→タタキ→ロクロ→外面下半ケズリの順である。325は外面叩き目痕が残る。他には貼り床土から古銭(326)1点が出土している。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。

(面)



第57図 21号住居跡

## 22号住居跡

遺構 (第58・59図、写真図版42)

<位置・重複関係> 20N・20Mグリッドに跨って位置し、西側の煙道部分が近世(近代?)の2号竪穴状遺構に切られている。

<規模・平面形・方向> 規模は398×404cm。総床面積は約16.07㎡。平面形は方形を呈している。主軸方向はE-10°-Nである。

<埋土> 他より低く水に浸かりやすい場所であったせいか、粘土質の黒色土を基本とし、下面に拳大~人頭大の礫を多く含む。

<壁> 垂直に近い角度で立ち上がり、壁面残存値は北壁25cm、南壁24cm、東壁20cm、西壁24cmである。

<床面> 基本的には地山をそのまま床としているが、図に示したように(実際には東側はカマドの下まで)、周縁部には掘り方を持つ。掘り方の埋土は灰黄褐色粘土である。

<土坑> 4基検出。カマド崩土下のP3は、他と規模が異なり、性格も違う可能性が考えられる。他の土坑の埋土は、P2は霜降り状の埋め戻した土、P4は住居埋土と同様の黒色土、P1は下層はP2号と同様だが上層はP4号と同様の黒色土であった。このことから、3基の土坑の間に時期差を考えることができ、P2→P1→P4の順に使われたと考えられる。

<柱穴> 3基(P5~P7)を認定したが、はっきりしない。住居周囲にも柱穴状土坑が検出されているが、埋土等からいずれも近世のものだと判断した。

<カマド> 東壁ほぼ中央。検出時に2本の煙道らしきものが見えたが、埋土が非常に黒かったこともあって(焼土粒がほとんど全く検出されない)、どちらかは攪乱と思われたが精査後、両方とも煙道と確認した。袖部は、住居埋土より黄色みが強い土の上に住居外から拳大の礫が流れ込むような状態で検出された。これを取り除いたところ、南側の煙道の延長部分には焚き口と思われる焼土が検出されたが、北側のそれには焼土が検出されなかった。したがって、両者の間には時期差が想定され、北側が古く、南側が新しい。なお、北側の焚き口想定部分には、埋め戻された土坑が検出されている。

煙道は、両方とも削平されているようなものではっきりしないが、掘り込み式のものである。北側の煙道は、縁に礫を並べている。袖部は、崩れているので、不明である。焚き口は、約5cmの焼土が形成されていた。

遺物 (第124図・写真図版92)

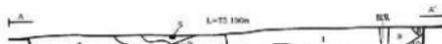
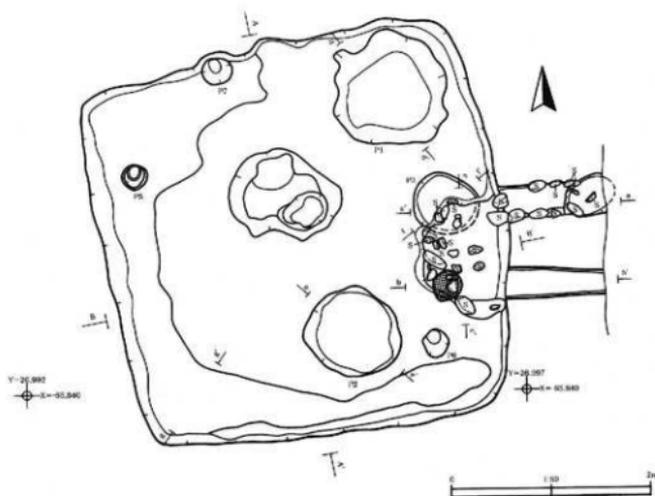
礫などが検出されたが、遺物の出土は非常に少ない。327~329は住居埋土から出土した酸化炭素焼成の円で成形はロクロ、器体内面に黒色処理が施されている。底部の切り離し技法は328は静止糸切り後ケズリ再調整、329は回転糸切り技法による。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。

(金子)

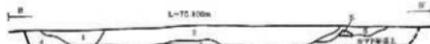
土坑類計測表

土坑No	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7
直径(cm)	115×112	95×95	65×60	20×17	25×25	27×27	30×12
深さ(cm)	26	27	40	6	6	15	12



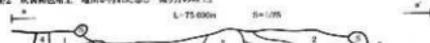
- A-A'
1. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 同層にある 褐色土状、酸化鉄粒を含む 層分的に小礫状になる。
  2. 10YR2/1 黒色土 粘土質 深く解まる 褐色土状および中に含む。
  3. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状を含む 褐色土状および中に含む。
  4. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状、酸化鉄粒状を含む。
  5. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状、酸化鉄粒、炭化動物骨、黒色土(10YR2/1)層上層に含む。4層に含む。

6. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状を含む。8層とほぼ同一層に。
7. 10YR3/3 暗褐色土 粘土質 褐色土状を含む。
8. 10YR1.7/1 黒色土 粘土質
9. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状を含む。
10. 10YR2/1 黒色土 粘土質 深く解れる 褐色土状を含む。
11. 10YR5/6 黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の層上土 深く解れる。
12. 10YR2/1 黒色土主層 褐色土(10YR4/4)層 新築の状に広がる。掘り方の埋土。



B-B'

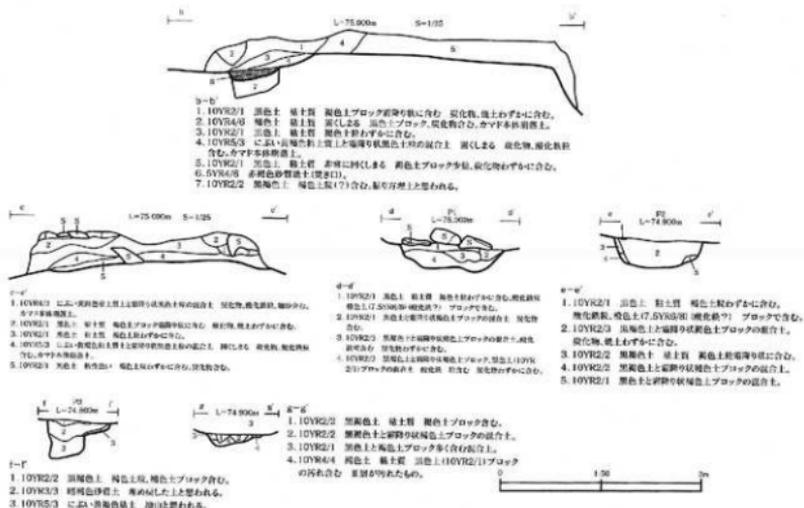
1. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状を含む。解る。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 深く解まる 褐色土状、酸化鉄粒を含む 層分的に小礫状になる。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状を含む。
4. 10YR1.7/1 黒色土 粘土質
5. 10YR2/2 黒褐色土と10YR5/6暗褐色土の層分り成層上土 しまりなくもろい。酸化鉄粒を含む 褐色土(10YR2/1)の汚れあり。かなり暗褐色土。
6. 10YR2/1 黒色土主層 褐色土(10YR4/4)層 新築の状に広がる。掘り方の埋土。
7. 10YR4/4 褐色土 土層が引れた感じ。掘り方の埋土。
8. 10YR4/2 灰褐色土層上 掘り方の埋土。
9. 10YR3/1 暗褐色土 粘土質 掘り方の埋土。
10. 10YR4/2 灰黄褐色土層上 褐色土引れた感じ。掘り方の埋土。



C-C'

1. 10YR5/3 に近い黄褐色土 粘土質 非常に深く解まる 褐色土状と黒色土の入れ、解り含む。灰褐色埋土。
2. 10YR2/1 黒色土 粘土質 褐色土ブロック状層中に含む 灰褐色、解りおよび中に含む。
3. 10YR2/1 黒色土 粘土質 褐色土状および中に含む。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 表面に深く解る に近い黄褐色土(10YR5/3)ブロック状を含む。
5. 10YR2/1 黒色土 粘土質 深く解る 褐色土ブロック状を含む。
6. 10YR2/1 黒色土 粘土質 褐色土ブロック状を含む。
7. 10YR2/1 黒褐色土層上土層中に暗褐色土ブロック状を含む。かなり暗褐色土 深く解まる。
8. 10YR2/1 黒色土 粘土質 深く解る 褐色土状を含む。

第58図 22号住居跡



第59図 22号住居跡

### 23号住居跡

遺構 (第60・61図、写真図版43・44)

<位置・重複関係>22N・22M・23N・23Mグリッドに跨って位置する。調査時には、北西隅を別の壁穴住居が切っていたように思われたが(覆土上部は水田耕作時の攪乱を大きく受けていた)、大部分が北側の次年度(平成11年度)調査区に続いていたので詳細は不明だった。次年度調査した結果、これは覆れだと判断した。

<規模・平面形・方向>規模は545×621cm。総床面積の推計値は約33.84㎡。平面形は、隅丸方形というより埋土に近い。

<埋土>壁際に黒色土のある以外は、区別つきにくく、黒褐色土の単層に近い。

<壁>やや外反して立ち上がり、壁面残存値は北壁32cm、南壁20cm、東壁26cm、西壁24cmである。

<床面>須臾器埋土の西側後方の一部、焼土の隣を除いて、全面に掘り方を持つ。掘り方のない部分は、非常に固く締まる。

<土坑>床面に検出された坑のうち、比較的規模の大きな6基を土坑として認定したが、貯蔵穴のたぐいと思われるのは、P5とP6である。P2、P3は明らかに埋め戻しており、P4の11層も埋め戻したような土である。P6は、黒褐色の土を主体とした自然堆積である。P5は、上面がカマド本体の上で覆われており、崩れて埋まったものと思われる。この土坑の特に6~7層から大量の上器が出土した。完形のものも多いが、破片もあり、またカマド芯材と思われる板状の礫も含まれているので、必ずしも遺棄されたものとは思われない。また、この土坑の四隅には、直径11~17cm程度の小坑が見られた。埋土は、黒褐色シルト質のボソボソした土で、周囲の根穴とは明らかに異なる。この小穴は、この土坑に覆い(上屋?)があったこと

を示唆するのかもしれない。

<柱穴>14基検出された。明らかに作り替えが行われており、例えば、P13はP14に切られている。

<カマド>東壁南隅近くで、真っ赤に焼けて脆くなった板状の石が検出され、周囲の上も地山土をブロック状に含むカマド本体が崩れたような土だったのでカマドと判断した。精査の結果、焚き口らしい焼土は確認されたが、煙道は、想定される部分2m四方を約30cm下げても確認できなかった(図中の溝状の部分は擾乱と思われる)。しかし、前述の石は焚き口上面にブリッジ状にわたすカマド芯材と思われるし、焚き口と思われる焼土も厚さ5cmあり、脇には貯蔵穴と思われる土坑も見られる。やはりカマドであるとしか考えられないので、通常のカマドとは異なる構造なのかも知れない。

<須恵器大甕>カマド西側後方左脇に検出された。上面が黒褐色土で覆われていたので、検出時には柱穴と考えていた。しかし、黒褐色土は口縁上面の一部だけで、すぐに大甕の口縁部が現れ、甕の中は空洞だった。口縁が床面よりやや下がるように、地山下の暗褐色土(いわゆる黒色帯)まで、甕の底がうまく合うように断面がU字形の土坑を掘り込んだ後(したがって底の部分は余分な掘り方は持たない)、大甕を入れ、湾曲する肩の部分より上を地山土で詰めて埋め戻している。底の土は固く締まっていた。

<焼土>カマド後方、掘り方を持たず非常に固く締まる部分の北側に長さ95cm、幅50cm程度のやや長い不整形の焼土を検出した。明らかに床面が焼けており、焼土の厚さは5cmある。本住居は、埋土に炭化材や焼土はほとんど確認できなかったで、ここで火を焚いたことは確実と思われる。本焼土の北東側のP18の南側にも焼土が検出されたが、あまり強く火を受けていなかったので精査しなかった。規模は、長さ50cm、幅35cmの形である。(金子)

#### 遺構 (第124~126図・写真図版92・93)

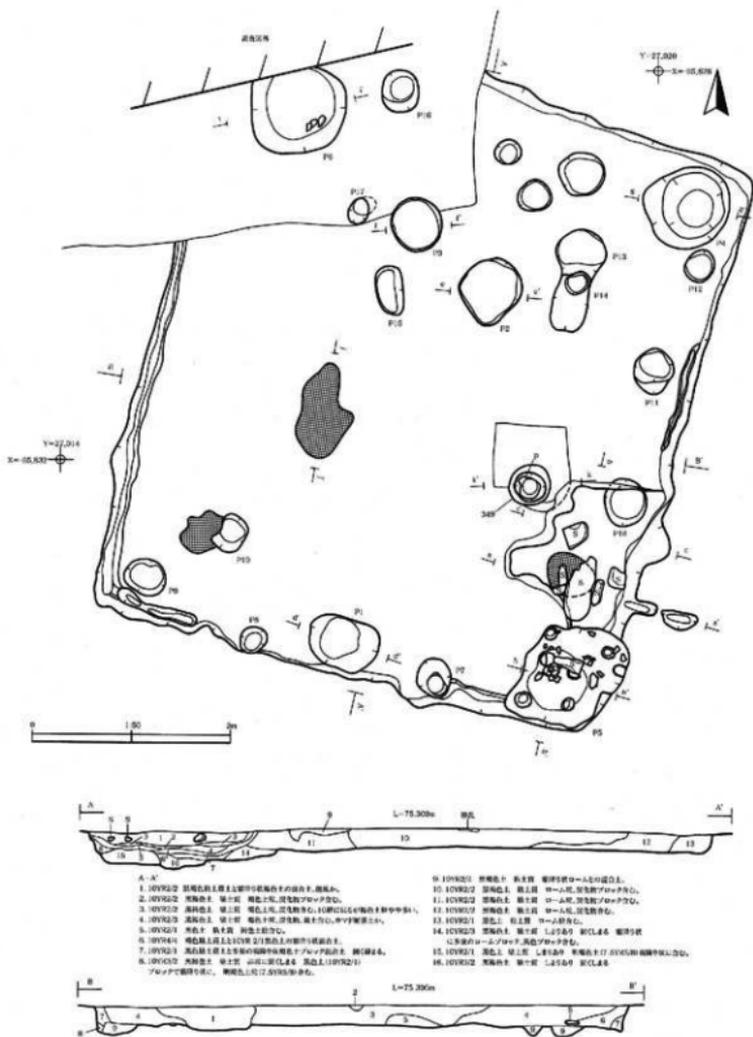
住居埋土からの遺物の出土は少なかったが、南壁西半の壁際床面から鉄製品、石皿などが出土している。P5から大量の上器が出土したのは前述したとおりである。またP6の壁際から斜めに落ち込んだ形で4層から坏が出土している。

330~343は酸化炎焼成の坏で332・333・337・338はP5から出土した。いずれも成形はロクロで330は器体の両面、331~334は内面に黒色処理が施されている。また331・334の器体外面は手持ち篋削り調整が施されている。底部の切り離し技法は344は切り離し後の再調整により不明、他は回転系切りによる。344は酸化炎焼成の高台坏でカマド脇から出土した。器面調整はロクロナデ、台部にはナデが施されている。345・346は酸化炎焼成の台付皿で345はP6、346は埋土の広い範囲に散在していた。成形はロクロで台部は後付である。347は酸化炎焼成の小形甕で成形はロクロ、底面には回転系切り後、ナデが施されている。348はP6から出土した酸化炎焼成の小形甕で成形はロクロ、底部の切り離しは回転系切りの技法による。349は住居の床面を掘り込んで埋設された還元炎焼成の大甕である。器面調整は口縁部のみロクロ、胴部外面に叩き目痕が残る。他には刀子(352・353)2点、釘(354・355)2点、環状鉄製品(356)が出土しており、352・354はP6から出土した。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。(瀧)

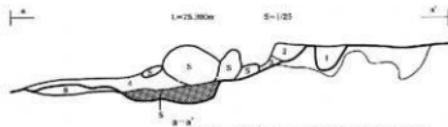
#### 土坑類計測表

PNo	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
直径(cm)	93×51	68×62	54×50	88×80	102×97	100×98	41×36	29×25	43×37
深さ(cm)	24	46	54	55	27	57	59	82	20
P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16	P17	P18	
38×26	47×40	34×30			50×27	42×37	26×20	48×42	
17	26	23	44	73	18	43	70	23	

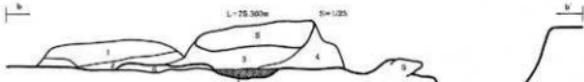


1. 101922 円筒状土 土器の破片の出土位置、遺構外。  
 2. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色のフツツ中心。  
 3. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、100以内の輪郭が多少不明。  
 4. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色、断面が、中心が不明。  
 5. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心。  
 6. 101924 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 7. 101923 褐色土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 8. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 9. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 10. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 11. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 12. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 13. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 14. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 15. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。  
 16. 101922 円筒状土 土器 褐色土に、灰白色中心、断面が不明。

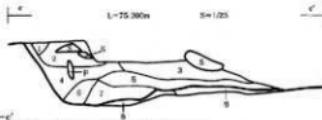
第60図 23号住居跡



1. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状、わずかに炭化物含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状、炭化物、灰土状〜ブロック含む、カマ下層部上。
3. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 わずかに褐色土状を含む、ほぼ無じりなし。
4. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土状〜ブロック、粘土状との混在土、炭化物多量に含む、カマ下層部上。
5. 10YR2/2 同上、赤褐色土状を含む。
6. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 非常に固く、多量の腐り状褐色土ブロック、炭化物含む、深部下。



1. 10YR2/5 暗褐色土 粘土質 腐り状褐色土状〜ブロック、赤褐色土状(10YR4/6)との混在土、炭化物含む、カマ下層部上。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 シルト ローム状を含む、炭化物多く含む、固く硬くなる。
3. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 わずかに褐色土状を含む、ほぼ無じりなし。
4. 10YR4/4 褐色土 砂質 粘土質多量に含む、カマ下層部上。
5. 10YR2/2 同上、赤褐色土状を含む。
6. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 非常に固く、多量の腐り状褐色土ブロック、炭化物含む、深部下。



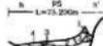
1. 10YR2/5 暗褐色土 粘土質 炭化物、塊状を含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 褐色土状、炭化物、灰土状〜ブロック含む、カマ下層部上。
3. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 腐り状褐色土状〜ブロック、赤褐色土状(10YR4/6)との混在土、炭化物含む、カマ下層部上。
4. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 腐り状褐色土状〜ブロック、赤褐色土状(10YR4/6)との混在土、炭化物含む、カマ下層部上。
5. 黒(10YR2/2)粘土質 シルト ローム状を含む、炭化物多く含む、固く硬くなる。
6. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 褐色土状〜ブロックを含む、ほぼ無じりなし。
7. 10YR2/2 暗褐色土 粘土質 非常に固く、多量の腐り状褐色土ブロック、炭化物わずかに含む。
8. 10YR4/4 褐色土 砂質 粘土質多量に含む、カマ下層部上。
9. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 非常に固く、多量の腐り状褐色土ブロック、炭化物含む、深部下。



1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土ブロック、炭化物含む。
2. 10YR1/7 黒褐色土 粘土質 褐色土状、炭化物わずかに含む。
3. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土ブロック腐り状を含む。



1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 腐り状に褐色土状、炭化物含む。
2. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 固く硬くなる、腐り状に褐色土ブロック、炭化物含む。
3. 10YR2/4 暗褐色土 粘土質 固く硬くなる、汚れ少ない。



1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土状〜ブロック、炭化物少量を含む。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土ブロック、炭化物少量を含む。
3. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土状、炭化物含む。
4. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土ブロック、炭化物少量を含む。
5. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土状〜ブロック、炭化物含む。
6. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 炭化物含む。
7. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 固く硬くなる、炭化物、非常に固く、褐色土状(10YR2/3)を含む。



1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 小粒の褐色土状、炭化物含む。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 多量の腐り状褐色土ブロックとの混在土。
3. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 褐色土状、小量の炭化物含む。
4. 10YR2/1 黒褐色土〜10YR2/3 炭褐色土 粘土質 褐色土状〜ブロック、炭化物含む。
5. 10YR2/2 暗褐色土 粘土質 多量の腐り状褐色土ブロックとの混在土、カマ下層部上。

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 腐り状に褐色土状、炭化物含む。
2. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 腐り状に褐色土ブロック、炭化物含む。
3. 10YR2/4 暗褐色土 粘土質 固く硬くなる、汚れ少ない。

h-h'

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 わずかに褐色土状、炭化物を含む。
2. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 わずかに褐色土状、炭化物を含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 わずかに褐色土状、炭化物を含む。
4. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 非常に固く、多量の腐り状褐色土ブロック、炭化物含む。



1. 10YR4/4 褐色土 砂質 赤褐色土 非常に固く、部分的に中心部赤褐色土(10YR4/6)、炭化物含む。



k-k' (埋込部)

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 少量の(6.5%)、褐色土状、炭化物、灰土状を含む。
2. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 多量の腐り状褐色土ブロックとの混在土、固く硬くなる、炭化物含む。
3. 10YR2/2 暗褐色土 粘土質 多量の腐り状褐色土ブロックとの混在土、固く硬くなる、炭化物含む。
4. 腐り状褐色土、腐り状褐色土に上った部分と混在する、付着腐り方の埋込土。
5. 10YR2/3 暗褐色土 粘土質 多量の腐り状褐色土ブロックとの混在土、炭化物、ごくわずかに灰土状を含む。



第61図 23号住居跡

## 24号住居跡

遺構 (第62・63図、写真版45)

<位置・重複関係>23M・23N・24M・24Nグリッドに跨って位置する。東壁の一部を須恵器埋設遺構に切れ、東側に25号住居跡が接する。南側は近現代の堅穴(室あるいは防空壕)に壊されており、西側の床面の一部も現代の井戸に壊されている。

<規模・平面形・方向>824×872cm。総床面積は約71.85㎡。直線的で、隅丸方形というより正方形に近い。主軸方向はN-8°-Wである。

<埋土>自然堆積を呈し、上層は黒色土、中～下位は褐色土による堆積である。それ以外には褐色土が堆積している部分もある。

<壁>ほぼ垂直に立ち上がり、壁面残存値は北壁28cm、東壁38cm、西壁20cmである。

<床面>カマド部分を除いた周縁部溝状に掘り方を持つ。カマドの南側にやや固く締まる部分があるが、地山が砂質であるためか、全体的に固く締まる部分は少ない。

<土坑>なし。

<柱穴>検出時に9基確認し、掘り方の精査時に1基確認した。うち1基は近世以降の攪乱と思われるので、計9基が柱穴と認定される。柱穴P1～P4には、柱痕跡である黒色土(周囲は埋め戻した土)が認められたが、それ以外には認められず埋め戻した土のみであった。したがって、住居廃絶時には4本の柱が立っていたと思われる。それ以外の柱穴は、柱の建て直しによるものと思われるが、なぜ、南側の2本ばかり何回も建て直されたのかは判らない。

<周溝>南壁のほとんどが攪乱を受けているのははっきりしない部分もあるが、カマドのある北壁以外に周溝が認められた。断面V字状の小規模なものである。

<カマド>北壁の中央に構築。長さ約3m、煙出部の深さ約1mにも及ぶ大きくなり抜き式の煙道である。煙道特に煙直下は強い熱を受けて良く焼けている。袖部は、北側から崩れた感で残りが悪く、その構造は推測できないが、上面等から比較的多くの土器が出土した。焚き口は、厚さ12cmほどの焼土が形成されていた。なお、カマド南側の溝状の穴は攪乱である。

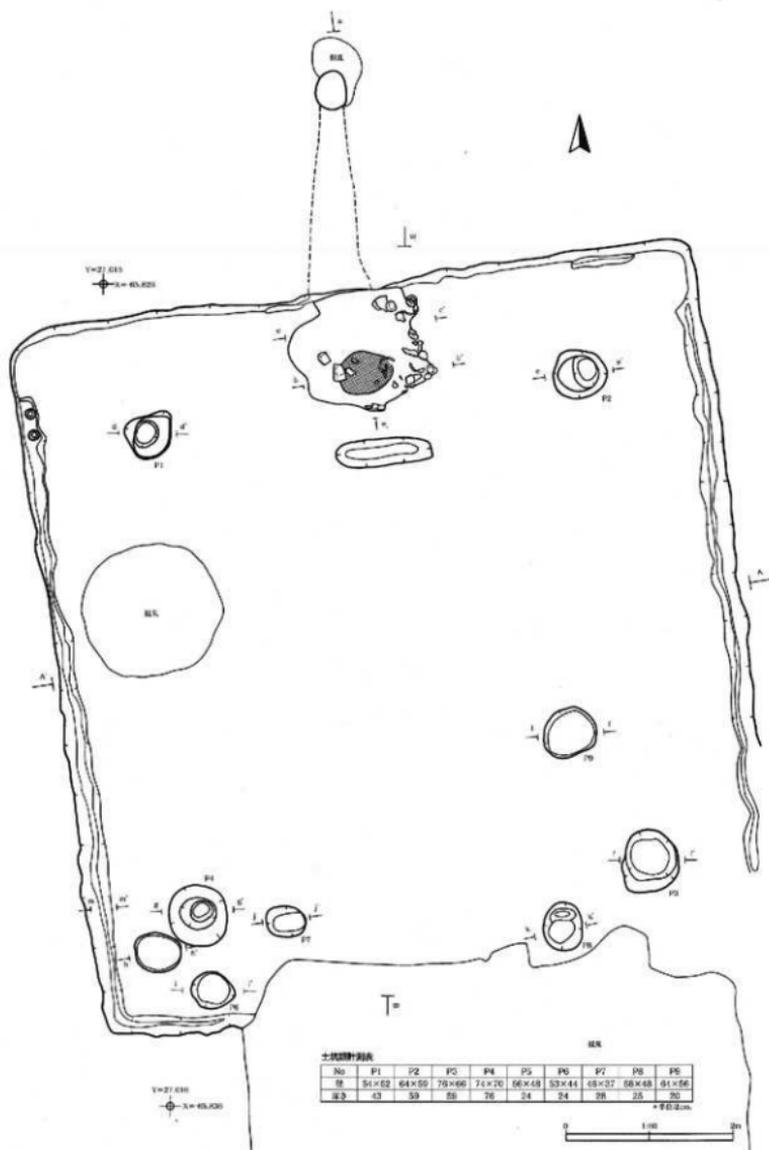
(金子)

遺物 (第126～128図・写真版93～95)

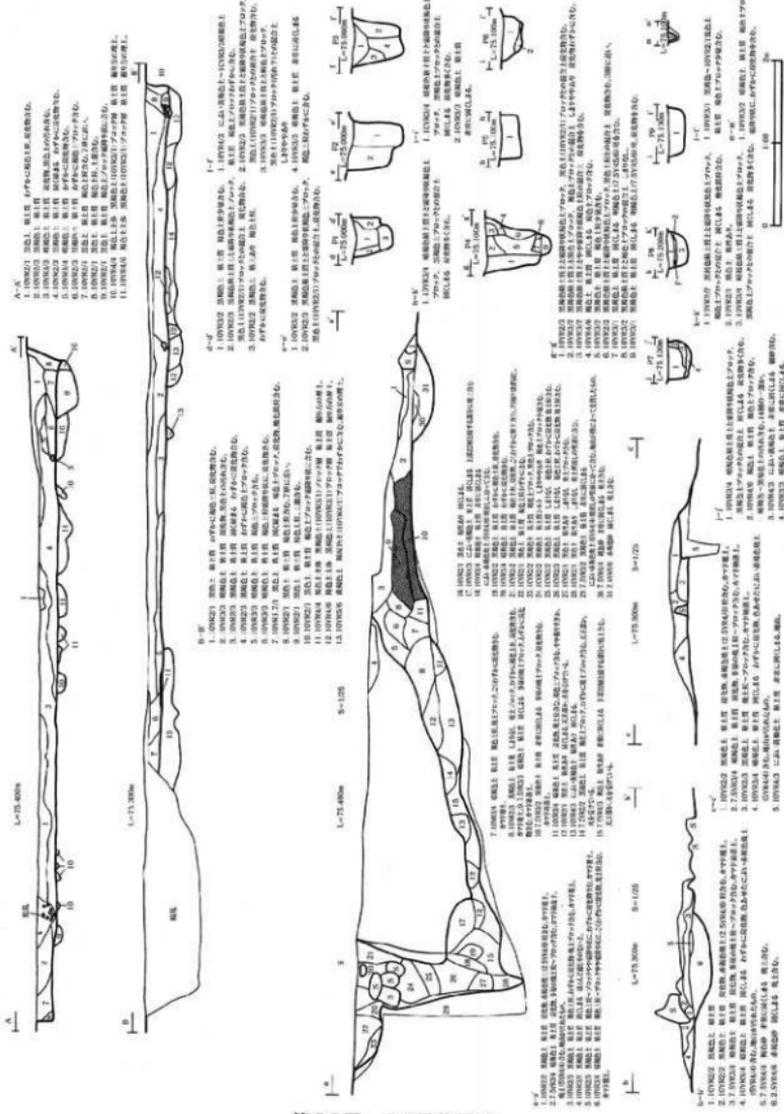
遺物の出土は少ないが、カマド周辺から比較的多くの土器が出土した。357～360は酸化炎焼成の坏で358は器面の両面、356は内面に黒色処理が施されている。また358の外表面はミガキ後に胴部下半～底面に手持ち篋削り、357の底面は糸切り後回転篋削りによる再調整が施されている。361～364還元炎焼成の坏で364はカマドから出土した。いずれも成形はロクロで器面調整はロクロナデのみである。底部の切り離し技法は361・363・364は回転糸切り、362は回転篋切りである。また361は口縁部の一部が欠け、焦げ目が付いている。は365～370はいずれも酸化炎焼成の甕で非ロクロ成形である。365・367・369は器体両面にハケメ痕が内面は横方向、外面は縦方向につき、底部はナデ調整が施されている。366の内面は黒色処理、器面の調整はナデが施される。372は還元炎焼成の甕で口縁部のみロクロ、胴部には平行叩き目痕が残る。371はカマドから出土した還元炎焼成の長頸甕で成形はロクロ、底には低い台が付く。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。

(瀬)



第62図 24号住居跡



第63图 24号住居跡

## 25号住居跡

遺構 (第64・65図、写真図版46)

<位置・重複関係>24N・24Mグリッドに跨って位置し、第1号須恵器埋設遺構に切られ、24号住居跡に接する。南西隅を(21号土坑)土坑に切られる。南東隅で46号陥し穴状遺構を切り、床面中央で65号陥し穴状遺構を切る。

<規模・平面形・方向>639×660cm。総床面積は約42.17㎡。西辺がやや斜めになっている方で、北西隅に楕円形の張り出し部を持つ。

<埋土>上～中位は黒褐色土。下位は黒色土を基調とする堆積である。床面からは多くの炭化材、焼土が確認され、焼失住居の可能性はある。ただし、炭化材は全てブロック状で、長く続くものはなかった。

<壁>垂直に近い角度で立ち上がり、壁面残存値は北壁33cm、南壁21cm、東壁26cm、西壁16cmである。<床面>周縁部分全周にわたり掘り方を持ち、北西隅がやや広く掘り方を持つ。住居中央の焼土のある場所は掘り方が無く、やや固く締まるが、地山が砂質なためかそれほどでもない。

<土坑>南東隅に2基(P1、P2)検出したが、角にあるP2の方は、土器が大量に出土したので土坑と認定したが、むしろ床面より上から多く出土したので、特にこの土坑とは関係が無く、柱穴である可能性もある。

<柱穴>検出時に13基、掘り方精査時に1基検出した(P3～P17)。ほとんどが不規則な配置だが、床面中央の4基(P6、7、10、16)は方形を描いて並んでいる。また、P3は、やや変わった形をしているが、埋土から特に掘り過ぎではない。

<周溝>南西隅が土坑と重複しており、はっきりしないが、ほぼ全周している。底面は平らである。

<カマド>なし。

<炉跡と焼土>床面中央に焼土が9基検出されている。本住居は焼失住居の可能性があり、これらの焼土もその際に形成された可能性もあるが、23号住居跡の場合と同様に、焼土のある付近は掘り方がないので、使用時から既に形成されていた可能性も高い。特に焼土2は、不整形ながらも、長さ112cm、幅約70cmの規模を持ち、厚さも12cmと厚いことから、かとして使用されていた可能性がある。

<その他の付属施設>北西隅に、半円形の張り出し部を持つ。検出時には、カマドの煙道と考えていたが、住居床面との間に殺段があり、また焚き口想定部分に焼土が形成されておらず、さらに周囲全体に焼土粒や炭化物がほとんど見られず、別のものと判断した。埋土は住居とほぼ同じであり、土器片が出土している。底面の一部に焼土が見られるが、あまり発達しておらず、これは住居焼失時に形成されたものと思われる。底面は特に固く締まることもないので出入口とも思われず、性格は不明である。

(所見)本遺構は、カマドを持たず、炉の可能性のある焼土の存在、やや変わった柱穴配置、張り出し部の存在から、通常の住居とは考えにくい。工房あるいは作業場の可能性もあるのかも知れない。(金子)

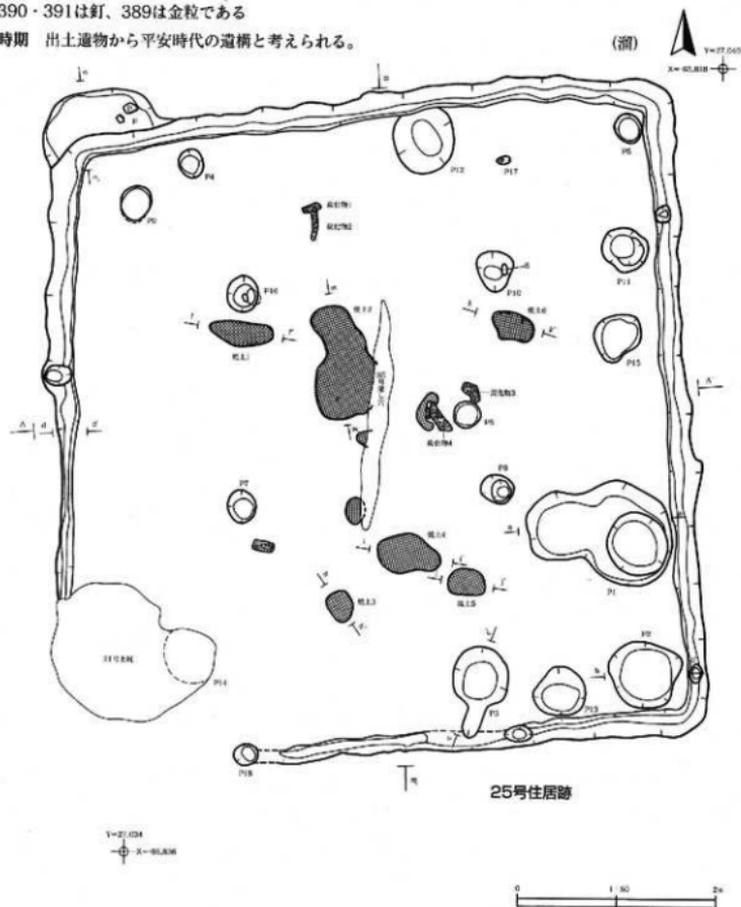
遺物 (第128～131図、写真図版95～98)

南東隅のP2付近において住居埋土層から土坑底面付近まで大量の土器が出土した。その多くは大きな須恵器大甕の破片である。その他は、土器小破片が散在する程度だが、特筆すべきことは、住居中央よりやや南西寄りの埋土層(5層。床面から30～35cm上)から、金粒が出土していることである。その出土位置から、金粒は本住居に伴うとは考えられないが、周囲の住居等に関係する可能性がある。(金子)

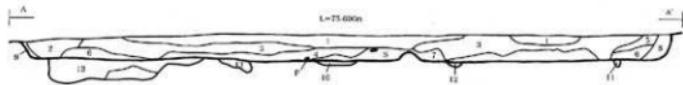
373～376はいずれも酸化炭焼成の坏で373は住居貼り床土中、他は住居埋土から出土した。成形はロクロで、

器面調整は373は両面、374は内面が黒色処理されミガキ調整が施されている。375～377は両面ロクロのみによる調整で底部の切り離し技法は374～376は回転系切り、373は切り離し後、ヘラケズリによる再調整が施されている。378・379は酸化炭焼成の甕で379は住居内柱穴（P13）から378は住居理上から出土した。器面調整は378が両面ナデ、379は外面ナデおよびケズリ、内面はナデが施される。また378の底部には割代痕が残る。380は還元炭焼成の壺で成形はロクロ、器面調整はロクロナデのみである。382～387は還元炭焼成の甕で成形は384～387は輪積み→タタキ→口縁部ロクロナデの順で成形され、382～384は輪積み→タタキ→全体ロクロナデ→器体外面下半ケズリの順に成形されている。金属遺物は388が雁又鑑、390・391は釘、389は金粒である

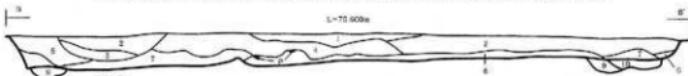
時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。



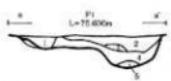
第64図 25号住居跡



- A-A'
1. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 わずかに珪色土質、炭化物含む。
  2. 10YR2/3 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に、珪化液、わずかに珪土質含む。
  3. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に、珪化液含む。1層に高ているがやや硬い。
  4. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 わずかに珪色土ブロック、炭化物含む。
  5. 10YR2/1 珪土 珪土質 わずかに珪色土質、炭化物含む。
  6. 10YR2/1 珪土 珪土質 わずかに珪色土質、炭化物含む。
  7. 10YR1/1 珪土 珪土質 わずかに珪色土ブロック、多量に炭化物ブロック含む。
  8. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に含む。
  9. 10YR3/3 に近い珪色珪土質土と珪藻土 (10YR2/2) ブロックの混合土。
  10. 2.5YR4/6 赤褐色土 2.5YR4/6に似た珪色珪土 珪土に似てしまふ 珪土土 (10YR2/1) ブロック面状に含む。
  11. 10YR2/2 珪藻土 珪土質
  12. 10Y2/2 珪藻土 珪土質 珪土の一部分と
  13. 10YR4/3 に近い珪色珪土質土と珪藻土珪藻土 (10YR2/2) ブロック、珪色土ブロックの混合土 珪土に似てしまふ。



- B-B'
1. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 わずかに珪色土質、炭化物含む。
  2. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 わずかに珪色土ブロック、炭化物含む。
  3. 10YR2/3 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に、炭化物含む。
  4. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 わずかに珪色土ブロック、炭化物含む。5層に似る。
  5. 10YR2/1 珪土 珪土質 わずかに珪色土質、炭化物含む。
  6. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 と珪藻土珪藻土土ブロックの混合土 炭化物わずかに含む。
  7. 10YR2/1 珪土 珪土質 わずかに珪色土質、炭化物含む。
  8. 10YR1/1 珪土 珪土質 わずかに珪色土ブロック、多量に炭化物ブロック含む。
  9. 10YR4/3 に近い珪色珪土質土と珪藻土珪藻土 (10YR2/2) ブロック、珪色土ブロックの混合土 珪土に似てしまふ。
  10. 10YR2/2 珪藻土珪土質と珪藻土珪藻土土ブロックの混合土。



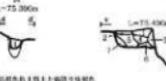
- C-C'
1. 10YR2/1 珪藻土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。珪土質、わずかに珪土質。
  2. 10YR2/1 珪藻土珪土質と珪藻土珪藻土土ブロック、珪化液含む。珪土質中砂質。
  - 3.
  4. 10YR2/1 珪藻土 珪土質 珪土質中砂質 珪土質 珪色土質。
  - 5.
- \*3. 珪土質中砂質に珪化液を含む。珪土質中砂質。



- D-D'
1. 10YR2/1 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック、炭化物含む。
  2. 10YR1/1 珪土 珪土質 珪土質 珪色土ブロック面状に含む。



- E-E'
1. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  2. 10YR2/3 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に含む。
  3. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に含む。
  4. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  5. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  6. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  7. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。



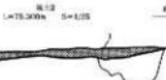
- F-F'
1. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  2. 10YR2/3 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に含む。
  3. 10YR2/2 珪藻土 珪土質 珪色土ブロック面状に含む。
  4. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  5. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  6. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。
  7. 10YR2/1 珪土 珪土質 珪土質中砂質 珪化液含む。



- G-G'
1. 10YR4/5 珪色珪土 砂質



- H-H'
1. 5YR4/4 に近い珪色珪土 珪土に似てしまふ



- I-I'
1. 10YR4/5 珪色珪土 砂質



- J-J'
1. 5YR4/5 珪色珪土 砂質



- K-K'
1. 10YR4/5 珪色珪土 砂質



- L-L'
1. 10YR4/5 珪色珪土 砂質



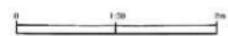
- M-M'
1. 10YR4/5 珪色珪土 砂質



- N-N'
1. 5YR4/5 珪色珪土 砂質

土質調査表

PCm	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
長さ (cm)	72×67	59×57	25×24	31×28	33×28	35×30	28×26	33×26	
厚さ (mm)	41	25	48	31	19	41	40	31	20
P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16	P17	P18	
40×39	47×41	105×64	54×51	51×51	51×41	36×30	14×8	24×21	
38	29	27	23	27	15	47			



第65図 25号住居跡

## 26号住居跡

遺構 (第66図、写真図版47)

<位置・重複関係>13K・14Kグリッドに跨って位置する。東側が、調査範囲外の市道(舗装)に続く。

<規模・平面形・方向>296×(284)cm。形状は不整形な隅丸方形を呈する。

<埋土>壁際に黒色土、褐色土が見られるが、他は何れも黒褐色土で区別が付きにくい。

<壁>外反ぎみに立ち上がり、壁面残存値は北壁21cm、南壁17cm、西壁18cmである。

<床面>床面は砂質なためか、あまり固く締まらない。ほぼ全域に掘り方を持ち、特に西側は土坑状に顕著に持つ。

<土坑>住居中央よりやや南西側に1基検出したが、不整形でそのまま南西側の掘り方につながってしまっている(埋土は異なり、土坑の方が黒い)り、土坑でない可能性もある。

<柱穴>6基検出した。住居四隅に柱が立つ構造と言えるかも知れない。P7は、下層が埋め戻した土のようなので、P7→P5の作り替えが行われたのかも知れない。

<カマド>東側の調査範囲境のほぼ中央に焼土の一部が見られ、これはカマドの焚き口の可能性がある。

遺物 (第131図、写真図版98)

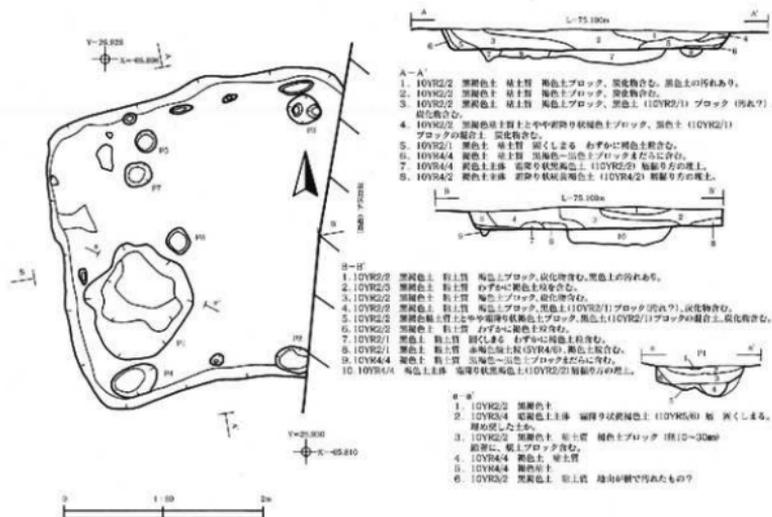
非常に少ないが、北西隅の掘り方付近からは比較的多くの土器小片が出土した。

(金子)

392は酸化炭焼成の坏で成形はロクロ、器面調整は両面ロクロナデ、底部の切り離し技法は回転系切りによる手法である。

(蒲)

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。



第66図 26号住居跡

## 27号住居跡

遺構 (第67・68図、写真図版48)

<位置・重複関係>11Lグリッドに位置し、多くの近世の柱穴(建物跡)に攪乱を受けている。

<規模・平面形・方向>379×424cm。総床面積16.06㎡。平面形は横に長い比較的直線的な隅丸方形状を呈する。主軸方向はN-22°-Wである。

<埋土>中層(3層)に地山起源の黄褐色土がレンズ状堆積。上層、下層は黒褐色土。中層の赤土は、(A1F)住居跡と異なり、全く締まらず、表面に凹凸もなく、特に土器が上面から並んで出土することもないので、単純に住居跡の埋土と判断した。

<壁>垂直に近い角度。立ち上がり、壁面残存値は北壁18cm、南壁17cm、東壁38cm、西壁22cmである。

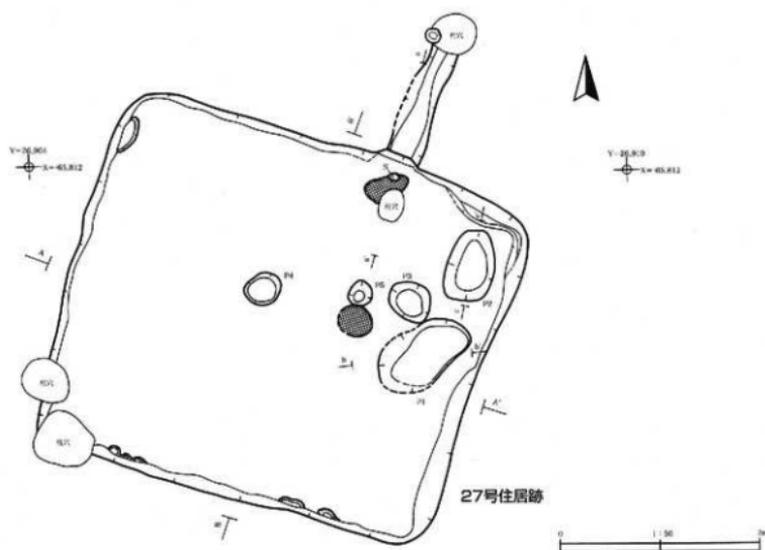
<床面>北半分に掘り方を持つが、他の住居ほどはつきりしない。南半分は固く締まる。

<土坑>北東隅に1基検出した(P1)。P2も規模は大きいが、2つの柱穴が重複しているのを誤って掘ってしまったためである。

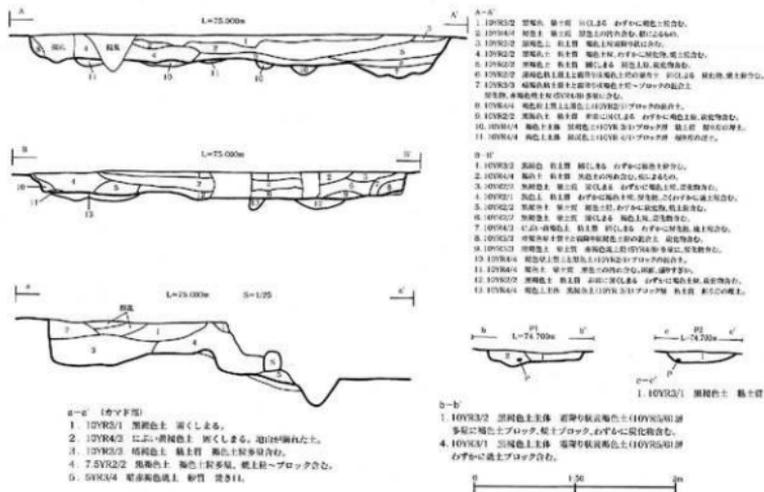
<柱穴>上記の2基を合わせて、5基検出したが、不自然な配置である。壁際に柱穴状の小穴も見られることから、通常とは異なる上屋を支える構造であったのかも知れない。

<カマド>北壁やや東寄りに位置する。煙道は、削平を受けているのはつきりしない部分もあるが、掘り込み式のようなものである。カマド本体はほとんど残っていなかったが、支脚らしい立石が赤く焼けて残っている。焚き口は、厚さ6cmにわたって焼土が形成されている。

(金子)



第67図 27号住居跡



第68図 27号住居跡

### 遺物 (第131図・写真図版98)

出土遺物はほとんどないが、カマド煙出付近から完形に近い坏が出土している (265)。ただし周囲は近世の柱立に攪乱を受けており、現位置を保っているとは思えない。

(金子)

395は酸化炎焼成の坏で成形はロクロで、器面調整は両面ロクロナデ、底部の切り離し技法は回転糸切りによる手法である。396は酸化炎焼成の甕の胴部下～底部の破片で器面調整は両面ハケメ (外面はナデに近い)、底部には木葉痕が残る。

(瀧)

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。

### 28号住居跡

#### 遺構 (第69図・写真図版49)

(位置・重複関係) 15L、15Mグリッドに跨って位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。遺構の過半は調査区外 (道路下) にある。37号陥し穴状遺構と重複し、これを切る。

(規模・平面形・方向) 規模南北8330cm、東西の長さは調査区外へ延びるため不明である。調査区内の総床面積は約19.71㎡で平面形は方形を呈すると思われる。

(埋土) 自然堆積で、上位は黒褐色土、中位は褐色土、下位には黒色土が堆積している。

(壁) 壁はいずれも外傾して立ち上がる。壁面残存値は北壁36cm、南壁42cm、東壁38cmである。

(床面) 床面は緩い凹凸があり、やや堅さがある。全体に掘り方をもち、色の微妙に異なる暗褐色混合土が最大30cmの厚さで貼られている。

〈土坑〉1基検出された。規模は径102×92cm、深さ19cmである。

〈カマド〉カマドは無く、また床面には炉跡の痕跡もない。

〈その他〉柱穴状の小土坑が2基検出された。また北側の道路際に土坑状の落ち込みがあり、埋土中から焼土粒や多くの土器片が出土していることから付近にカマドが存在する可能性が高い。

遺物 (第132図・写真図版99)

398～400は酸化炎焼成の坏で埋土中～下位から出土した。いずれもロクロ成形で、398・399は内面が黒色処理され、ミガキ調整が施されている。底部の切り離し技法は398は切り離し後、回転篋削りによる再調整のため不明、399・400は回転系切りによる。401は埋土下部より出土した還元炎焼成の坏で成形はロクロ、器面調整はロクロナデのみで、底部の切り離し技法は回転系切りである。402～405はいずれも酸化炎焼成の甕で403～405はP2から出土した。成形は402～404は非ロクロ、405はロクロによる。器面の調整は402は外面はナデ、内面はハケメ、403は口縁部ヨコナデ、外面胴部は縦方向、内面は横方向にハケメ調整が施されている。404は口縁部ヨコナデ、胴部内面ヘラナデ、胴部外面上位はナデ、中～下位はケズリによる調整が施され、底部には木葉痕が残る。405は内面はナデ、外面の胴部上位はタタキ後、ロクロ成形、中～下位はケズリ調整が施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。

(瀬)

#### 29号住居跡 (住居状)

遺構 (第70図・写真図版50)

〈位置・重複関係〉24J、25Jグリッドに跨って位置し、表土下第Ⅲ層で検出された。遺構の過半は調査区外にある。16号陥し穴状遺構と重複し、これを切る。

〈規模・平面形・方向〉規模は東西は削平の影響で計測が不能であるが壁や床の残存値は920cm以上ある。南北は調査区外へ延びるため不明である。調査区内の残存床面積は約51.98㎡で平面形は方形状を呈すると推測される。

〈埋土〉自然堆積で、上～中位は黒褐色土、下位は暗褐色土が堆積している。

〈壁〉壁はいずれも外傾して立ち上がる。計測可能な壁面の残存値は、南壁18cm、西壁18cmである。

〈床面〉床面は緩い凹みがあり、堅さがある。全体的に掘り方をもち、黄褐色土、黒褐色土の割合上が最大18cmの厚さで貼られている。

〈土坑〉4基検出された。いずれも検出状況や形状が明瞭でなく、住居との関連や用途は不明である。

〈カマド〉カマドは無く、また床面には炭化物粒が多く散在するが、炉跡の痕跡はない。

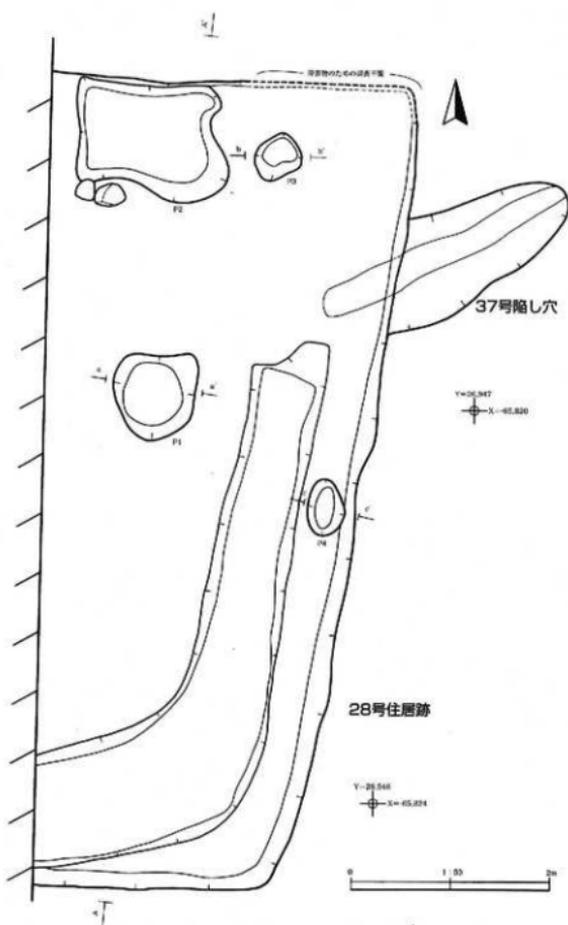
〈その他〉柱穴状の小土坑が58基検出された。遺構の全体が判らないため配列等、詳細は不明である。また後世の建跡に関連する柱痕が多く、また柱穴でなく遺構建設時の掘り込み痕の可能性のものもある。

遺物 (第133図・写真図版100)

406は貼床土中から出土した酸化炎焼成の坏で内面に黒色処理、底部にはケズリが施されている。407は埋土より出土した還元炎焼成の坏で成形はロクロ、器面調整はロクロナデのみで、底部の切り離し技法は回転系切りによる。408・409は埋土より出土した酸化炎焼成の甕で409は口縁～胴部上位部分で器面調整は口縁部がヨコナデ、胴部外面は縦方向、内面は横方向にナデが施されている。410は還元炎焼成の甕で器面調整は胴部上位はロクロナデ、下半に弱いケズリが施されている。

時期 出土遺物から平安時代の遺構と考えられる。

(瀬)



28号住居跡

Y=26,347  
X=62,820

0 1 50 2m



- a-a'
1. 10YR2/1 赤色土、粘状なし、しよりなし、褐色土、10YR6/4に30%含む。
  2. 10YR4/6 褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR5/6に2%含む、炭化物1%含む。
- b-b'
1. 10YR2/1 赤色土、粘状なし、しよりあり
  2. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、褐色土、10YR3/4に10%含む。
- c-c'
1. 10YR3/1 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、褐色土、10YR4/6に30%含む。
  2. 10YR2/1 赤褐色土、40%、褐色土、10YR4/6に60%の混合土、粘状なし、しよりあり



6. 10YR2/1 褐色土、粘状なし、しよりなし、褐色土、10YR4/6に10%含む。
7. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR4/6に10%含む。
8. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR4/6に10%含む。
9. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR4/6に10%含む。
10. 10YR2/1 褐色土、粘状なし、しよりあり、褐色土、10YR3/4に10%含む。

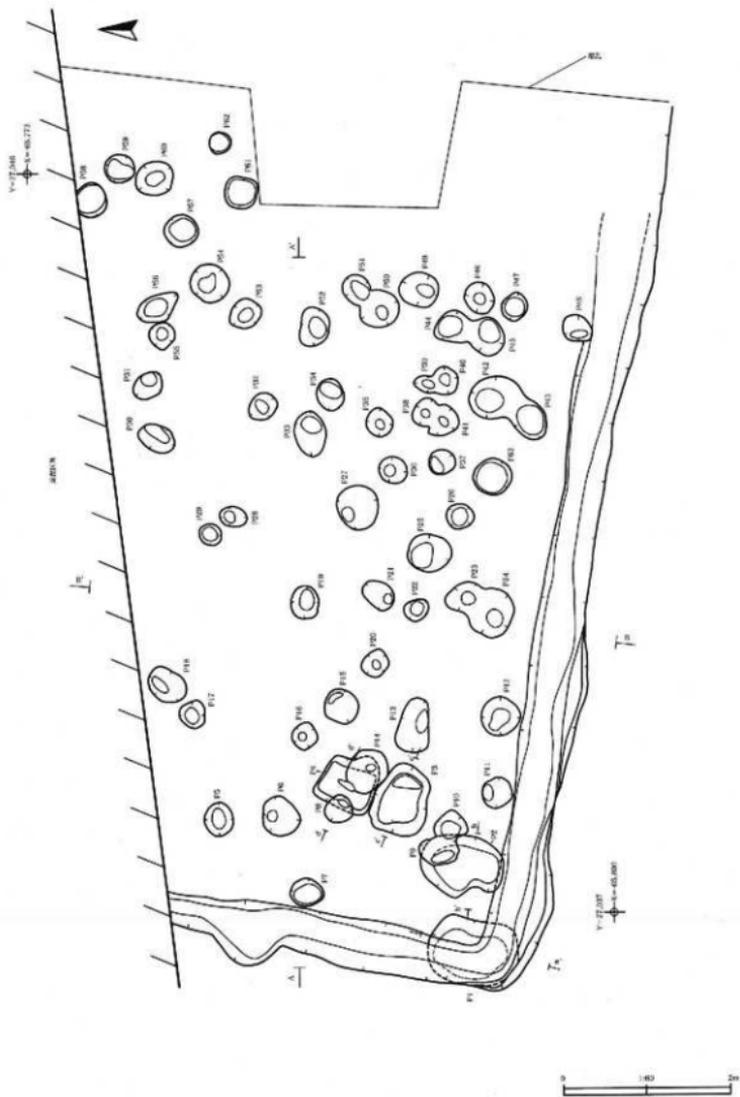
- A-A'
1. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR3/4に10%含む、10YR4/6に30%含む。
  2. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR3/4に10%含む。
  3. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR3/4に10%含む。
  4. 10YR2/2 赤褐色土、粘状なし、しよりあり、赤褐色土、10YR3/4に10%含む。
  5. 10YR1/7/1 褐色土、粘状なし、しよりあり

土料採取表

No.	層	深さ
P1	66×83	20
P2	136×110	35
P3	47×39	25
P4	58×38	17

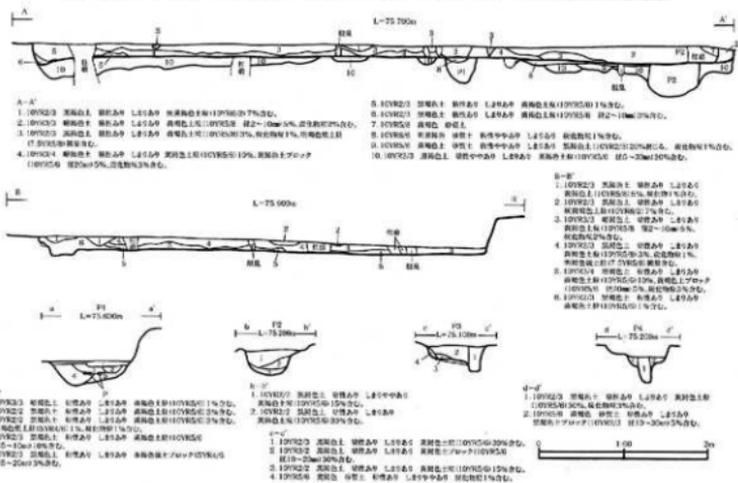
\* 単位はcm。

第69図 28号住居跡



第70图 29号住居跡

Flac	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13	P14	P15
88	162×202	184×77	85×68	47×39	41×39	49×43	41×36	24×33	×	×	27×26	47×45	68×34	×	43×43
89	70	32	32	32	31	31	26	×	×	27	36	47	46	×	42
P19	P17	P18	P16	P10	P71	P22	P23	P24	P25	P26	P27	P28	P29	P30	P31
30×29	33×32	49×37	46×32	26×26	46×31	30×29	×	×	53×48	52×31	54×31	34×25	28×27	44×23	43×33
39	40	34	24	26	31	27	26	37	34	33	50	30	30	29	23
324	P32	P34	P35	P36	P37	P38	P40	P41	P42	P43	P44	P45	P46	×	7×7
37×32	56×38	38×32	36×32	24×24	34×30	×	×	×	×	×	×	×	×	33×27	36×30
25	22	42	57	32	55	33	24	19	23	54	38	23	19	12	37
30×33	47×43	×	×	46×32	38×33	48×45	32×33	17×19	42×40	39×38	47×46	40×39	32×32	27×43	17×43
27	12	58	40	37	16	16	20	22	11	23	48	21	14	13	9



第71図 29号住居跡

### 30号住居跡

遺構 (第72図、写真図版51)

〈位置・重複関係〉10L・11Lグリッドに位置し、検出時には、全体の規模、平面形は竪穴住居なのに、埋土が古代というより近世に近かったが、精査の結果中世の竪穴と判った。多くの近世の柱穴(建物跡)に攪乱を受けている。

〈規模・平面形・方向〉335×325cm。総床面積11.01㎡。ほぼ方形であるが、南側に張り出し部を持つ。

〈埋土〉古代の竪穴住居より黒い土に霜降り状に黄褐色土を含む。単層に近く、その性状から埋め戻した土と思われる。近世の柱穴によく似ている。

〈壁〉垂直に近い角度で立ち上がり、壁面残存値は北壁23cm、南壁18cm、東壁29cm、西壁15cmである。

〈床面〉固く締まり、平坦である。

〈土坑〉なし。

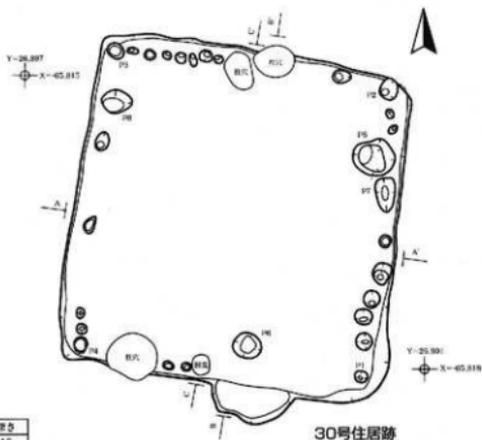
〈柱穴〉埋土が近世の柱穴と非常によく似ており、攪乱かどうかの区別が難しいが、壁際に小穴が並ぶようである。

〈カマド・炉跡〉なし。

〈その他の施設〉南壁に半円形の張り出し部を持つ。住居床面からは階段状ではなくスロープ状に立ち上がる。底面は特に固く締まるといこともない。

時期 出土遺物はないが、類例から中世の竪穴と思われる。

(金子)



30号住居跡

土坑測計表

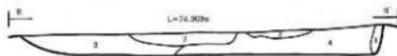
No	径	深さ
P1	12×12	15
P2	19×17	15
P3	18×13	30
P4	14×14	21
P5	44×38	23
P6	28×26	19
P7	32×20	9
P8	31×25	22

●単位はcm.



A-A'

1. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土ブロック、上層に三色土ブロック、わずかに炭化物含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土に含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、わずかに炭化物含む。
4. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、わずかに炭化物含む。
5. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土に含む。



B-B'

1. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土に、わずかに炭化物含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、上層に三色土ブロック、わずかに炭化物含む。
3. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、わずかに炭化物含む。
4. 10YR2/1 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、わずかに炭化物含む。



C-C'

1. 10YR2/1 三色土 粘土質 しほりふり 褐色土に少量含む。
2. 10YR2/2 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、わずかに炭化物含む。
3. 10YR2/1 三色土 粘土質 しほりふり 褐色土にブロックで含む。
4. 10YR3/1 黒褐色土 粘土質 裾野9段に褐色土にブロック、わずかに炭化物含む。

第72図 30号住居跡

### 31号住居跡

遺構 (第73図、写真図版52)

〈位置・重複関係〉15L・15Mグリッドに跨って位置し、検出時には、全体の規模、平面形は竪穴住居だが、埋土は古代というより近世に近いが、精査の結果中世の竪穴と判った。全体的に削平されており、西壁は特に攪乱を受けているようである。また近世の柱穴(建物跡)に攪乱を受けている。

〈規模・平面形・方向〉規模は362×296cm。総床面積は約10.64㎡。形状はややひしゃげた隅丸方形であるが、北西隅に張り出し部を持つ。

〈埋土〉古代の竪穴住居より黒色土に霜降り状に黄褐色土を含むが、30号住居跡より明るく、古代の土により近い。埋土の深さは7~9cmと浅く単層で、その性状から埋め戻した土と思われる。近世の柱穴に似る。

〈壁〉削平されているため不明である。

〈床面〉やや凹みが見られる。地山が砂質であるためか、特に固く締まるということもない。

〈土坑〉土坑と言えるかどうかかわからないが、南東部に浅い窪みを検出した。

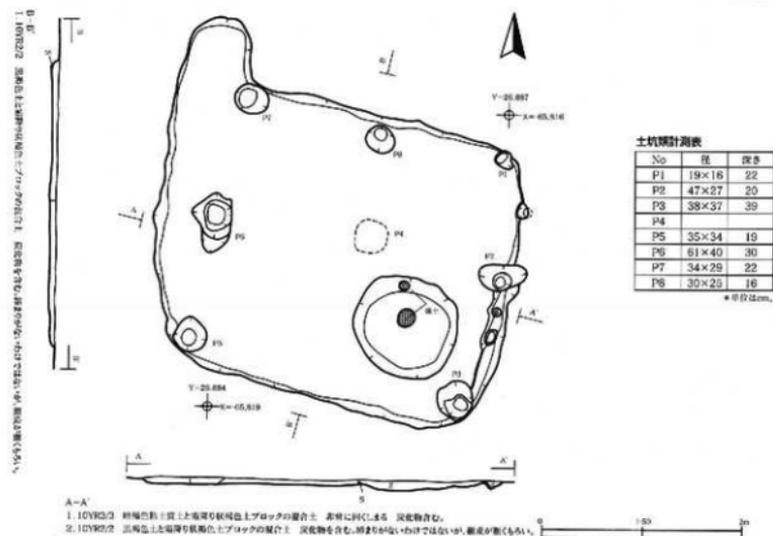
〈柱穴〉埋土が近世の柱穴と非常によく似ており、攪乱かどうかの区別が難しいが、壁際に7基、中央に1基検出した。

〈カマド・炉跡〉前述の土坑の底に焼土を検出。残りが悪いせいか、底が砂質であるためか、あまり発達しておらず、厚さ1cm程でボソボソである。

〈その他の施設〉北西隅に半円形の張り出し部を持つ。住居床面からそのまま続く。底面は特に固く締まるということもない。

時期 出土遺物はないが、類例から中世の竪穴と思われる。

(金子)



第73図 31号住居跡

#### 4. 須恵器埋設遺構

遺構(第74図、写真図版67)・遺物(第133図、写真図版100)

<位置・検出状況>24Nグリッドで重機で表土を削いている最中に須恵器をひっかけて検出した。

<重複>24号住居跡と25号住居跡を切る。

<マウンド等の所属施設・埋土>上記のような検出状況のため不明だが、周囲に須恵器大甕の破片が顕著に出土しており、これらで覆っていた可能性もある。(単に周囲の遺構出土のものが混じっているだけかも知れないが。)

<須恵器の出土状況・掘り方>検出状況参照。一応掘り方の存在を想定したが、周囲の土とほとんど変わらず、実際には須恵器とほぼ同じ大きさの穴が掘られているだけかも知れない。なお、半截時に別のものと考えていた1層と2層は、その後同じものであることが判明した。なお、炭化物等は出土していない。

<須恵器>検出時に壊されたため口縁部がほとんど残っていないが、頸部が短く肩の張りか弱い、甕との中間的な形態の壺である。紫波郡紫波町北田字星川にある早川窯跡(相原康二・高橋信雄ほか 1987『星川窯跡—発掘調査概報—』紫波町教育委員会)産の9世紀後半のものとの指摘を受けた。

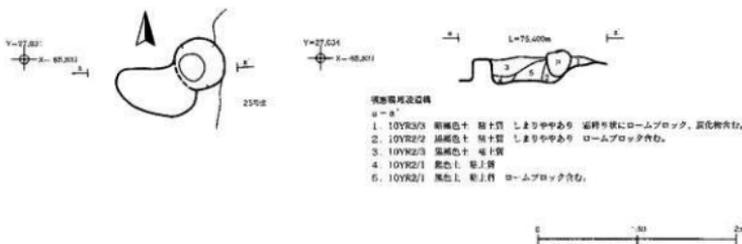
<須恵器内部の状況>褐色土にロームブロック、ローム粒が混じるボソボソの土が入っていた。

<付属施設>ないようである。

<出土遺物>周囲から須恵器大甕の破片が出土している他は、特になし。

<時期・所見>須恵器の年代および重視している住居の時期から、9世紀後半以降のものと思われる。用途としては、まず骨炭器などが考えられる。しかし、秋田県を中心として確認されている該期の類例を見ると(庄内昭男 1984『秋田県における古代・中世の火葬墓』『秋田県立博物館研究報告』9、船木義勝 1995『秋田県の奈良・平安時代の墓制について』第5回 東日本埋蔵文化財研究会 東日本における奈良・平安時代の墓制』栃木県考古学会ほか、八木光則 1997『7～9世紀の墓制—東北北部の様相—』『姫友・律令国家・日本海』日本考古学協会1997年度秋田大会実行委員会など)、あまりにその様相は異なっている(掘り方は、はっきりとした土坑の形態をとるものが多い。通常木炭が伴うようだが、本例には見られない。使われる容器の種類や形態において、本例と同じものは少ない、など)。岩手県においても、同様の例が北上市などに見られるが(高橋千晶 1995『岩手県の奈良・平安時代の墓制について』第5回 東日本埋蔵文化財研究会 東日本における奈良・平安時代の墓制』栃木県考古学会ほか、など)、これらは土師器の甕を使っており、違いの方が際立つ。今後の類例の増加を待つことにしたい。(金子)

#### 1号須恵器埋設遺構



第74図 須恵器埋設遺構

## 5. 焼土遺構

調査区西側のE区で14基の焼土遺構を検出した。平面形の形状は円、楕円、瓢箪状を呈し、外郭の一部に焼土が確認された。出土遺物はなく、時期は不明である。  
(溜)

### 1号焼土 (第75図、写真図版63)

〈検出状況〉13Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は糸瓜状を呈し、規模は171×80cm、焼成の厚さは最大で11cmである。

〈堆積状況〉暗褐色土が表面に薄く堆積し、炭化物層、焼土層と続く。断面形はレンズ状の構造をしている。

遺物 なし。

### 2号焼土 (第75図、写真図版63)

〈検出状況〉12Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は円形を呈し、規模は86×84cm、焼成の厚さは最大で10cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、堆積土の断面形はレンズ状を呈する。黒褐色土が表面中央に薄く堆積し、その両端に橙色焼土が堆積する。下部には炭化物が多く含まれる。

遺物 なし。

### 3号焼土 (第75図、写真図版64)

〈検出状況〉12Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は円形を呈し、規模は106×82cm、焼成の厚さは最大で14cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、焼土粒はその上～中位に多く堆積する。炭化物は全体に比較的少量含まれる。

遺物 なし。

### 4号焼土 (第76図、写真図版64)

〈検出状況〉11Nグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は楕円形を呈し、長軸の長さは206cm、焼成の厚さは最大で7cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、堆積土の断面形はレンズ状を呈する。黒褐色土が表面を覆い、中位に暗褐色焼土層が薄く堆積する。炭化物は全体に少量含まれる。

遺物 なし。

### 5号焼土 (第76図、写真図版64)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は不整な楕円形を呈し、長軸の長さは180cm、焼成の厚さは最大で9cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、黒褐色土が表面を覆い、中位に赤褐色焼土層、下位に炭化物層が堆積する。

遺物 なし。

#### 6号焼土 (第76図、写真図版64)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は瓢箪状を呈し、長軸の長さは136cm、焼成の厚さは最大で13cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、堆積土の断面形はレンズ状を呈する。黒褐色土が表面を覆い、中に暗褐色焼土層、炭化物層の順に堆積し、下位に黒色土が堆積する。

遺物 なし。

#### 7号焼土 (第76図、写真図版65)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は縦長の不正な形状で、長軸の長さは144cm、焼成の厚さは最大で8cmである。

〈堆積状況〉全体に明褐色、褐色焼土粒を含み、焼土層はレンズ状に堆積する。

遺物 なし。

#### 8号焼土 (第76図、写真図版65)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は瓢箪状を呈し、長軸の長さは180cm、焼成の厚さは最大で11cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、堆積土の断面形はレンズ状を呈する。堆積土の構造は黒褐色土が表面を覆い、中位は褐色焼土層、下位は黒褐色、暗褐色土となっている。

遺物 なし。

#### 9号焼土 (第76図、写真図版64)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は不整な円形状を呈し、規模は113×87cm、焼成の厚さは最大で11cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、堆積土の断面形はレンズ状を呈し、構造は黒褐色土が表面を覆い、中位は褐色焼土層、下位は黒色土となっている。

遺物 なし。

#### 10号焼土 (第76図、写真図版64)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は不整な形状を呈し、規模は104×90cm、焼成の厚さは最大で7cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、表面中央は黒褐色土で焼土層はレンズ状に堆積する。

遺物 なし。

#### 11号焼土 (第76図、写真図版65)

〈検出状況〉11Mグリッドに位置し、第II層で検出された。

〈規模・平面形〉平面形は不整な形状を呈し、規模は86×64cm、焼成の厚さは最大で2cmである。

〈堆積状況〉土坑状の掘り込みになっており、表面には炭化物が堆積し、焼土層の範囲は狭い。

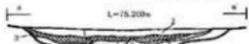
遺物 なし。



4号焼土



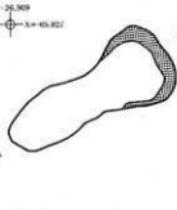
4号焼土  
#4  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし 質(L)多 焼色土層15VX6焼1%  
炭化物1%存在。  
2. 5VX45 赤褐色土 磁化あり L多あり 炭化物約1%存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし 質(L)多 焼色土層17.5VX6焼1~2%  
炭化物2%存在。  
4. 10VX12 黒褐色土 磁化あり L多あり 質(L)多 炭化物約1%存在。  
5. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり 炭化物約0.20%存在。



4号焼土

4号焼土  
#4  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX12 黒褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1~2%炭化物約2%存在。  
3. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
4. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。

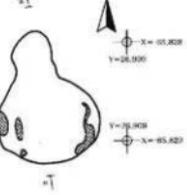
5号焼土



5号焼土  
#5  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし 質(L)多 焼色土層15VX6焼1%  
炭化物1%存在。  
2. 5VX45 赤褐色土 磁化あり L多あり 炭化物約1%存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし 質(L)多 焼色土層17.5VX6焼1~2%  
炭化物2%存在。  
4. 10VX12 黒褐色土 磁化あり L多あり 質(L)多 炭化物約1%存在。  
5. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり 炭化物約0.20%存在。



6号焼土



6号焼土  
#6  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化あり L多あり 質(L)多 炭化物約1%存在。  
2. 10VX22 黒褐色土 磁化あり L多あり 質(L)多 炭化物約1%存在。  
3. 炭化物。  
4. 10VX21 黒褐色土 磁化あり L多ありあり

10号焼土



10号焼土  
#10  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。

9号焼土



9号焼土  
#9  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。

8号焼土



8号焼土  
#8  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。

7号焼土



7号焼土  
#7  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。



11号焼土



11号焼土  
#11  
1. 炭化物約30%。  
2. 7.5VX14 赤褐色土 磁化なし L多あり  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
4. 10VX21 黒褐色土 磁化あり L多ありあり



9号焼土

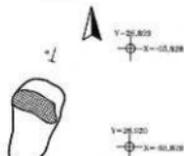
9号焼土  
#9  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。

10号焼土

10号焼土  
#10  
1. 10VX22 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約1%存在。  
2. 10VX14 赤褐色土 磁化あり L多あり  
焼色土層17.5VX6焼10%炭化物約3%  
存在。  
3. 10VX21 黒褐色土 磁化なし L多あり  
焼色土層17.5VX6焼1%炭化物約0.20%  
存在。

第76図 4~11号焼土

12号焼土

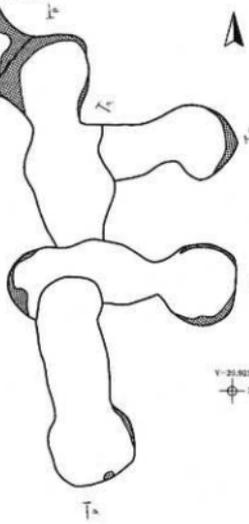


12号焼土

1. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
2. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
3. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
4. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分

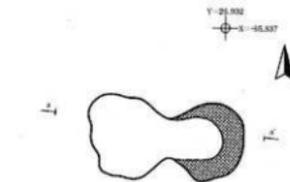


1. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
2. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
3. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分

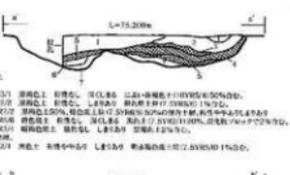


1. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
2. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
3. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
4. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
5. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
6. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
7. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分

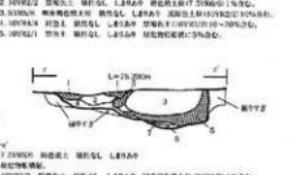
13号焼土



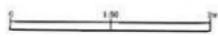
1. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
2. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
3. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分



1. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
2. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
3. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分



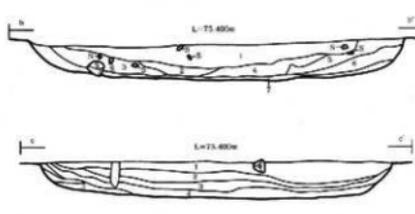
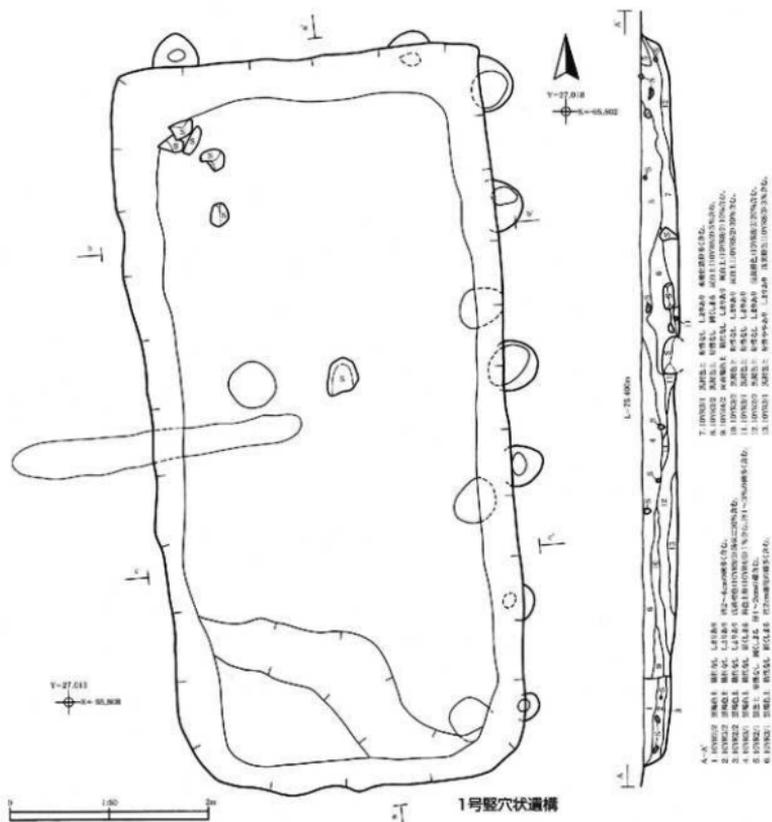
1. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
2. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
3. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
4. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
5. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
6. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分  
7. 100% 粘土、硬質中心部、L 部分が  
硬質中心部の硬質部、L 部分



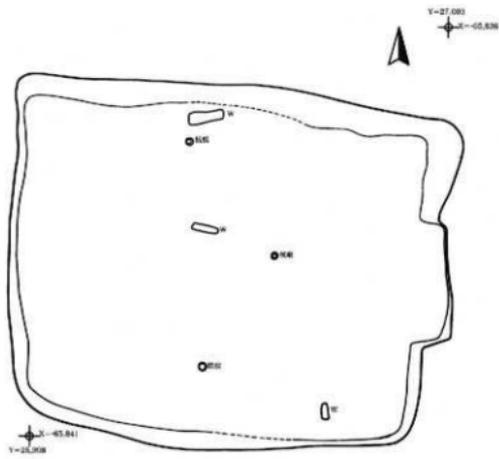
第77図 12~14号焼土

6. 竪穴状遺構

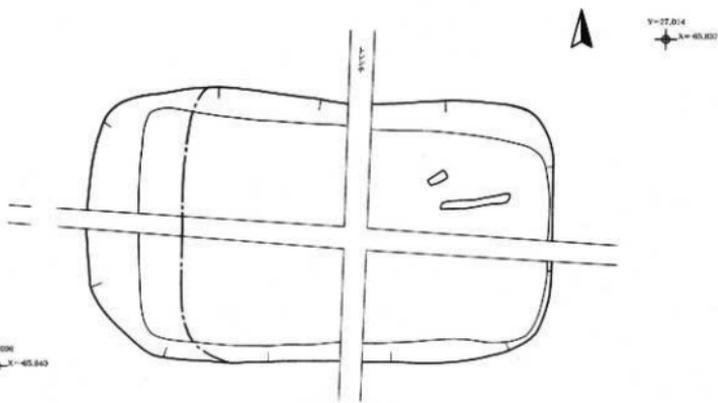
3基が検出された。いずれも検出状況や重複関係などから近世以降の遺構と考えられるが、その用途など詳細は不明である。



第78图 1号竖穴状遗構



2号竖穴状遺構



3号竖穴状遺構

第79图 2号・3号竖穴状遺構

## 7. 墓塚

22Kグリッドから2基検出された。いずれも同じくらいの規模で遺構上面は削平を受けている。伝承によると、江戸時代～昭和初期にこの地を所有していた小野崎氏ゆかりの墓ではないかと云われている。

### 1号墓塚

遺構 (第80図、写真図版69)

<位置・重複関係>22Kグリッドに位置する。重複する遺構はない。

<平面形>形状は不整な長方～楕円形を呈し、規模は172×112cmである。

<埋土>中央部は黒褐色、暗褐色上、南側の壁際には暗褐色土、黄褐色土の混合土が堆積している。深さは20cmである。

<壁・底面>壁面は緩い角度で立ち上がり、床面は平坦でやや傾斜する。

時期 出土遺物はないが、埋土の状態などから近世～近代に属すると考えられる。

### 2号墓塚

遺構 (第80図、写真図版69)

<位置・重複関係>22Kグリッドに位置する。重複する遺構はない。

<平面形>形状は長方形を呈し、規模は151×102cmである。

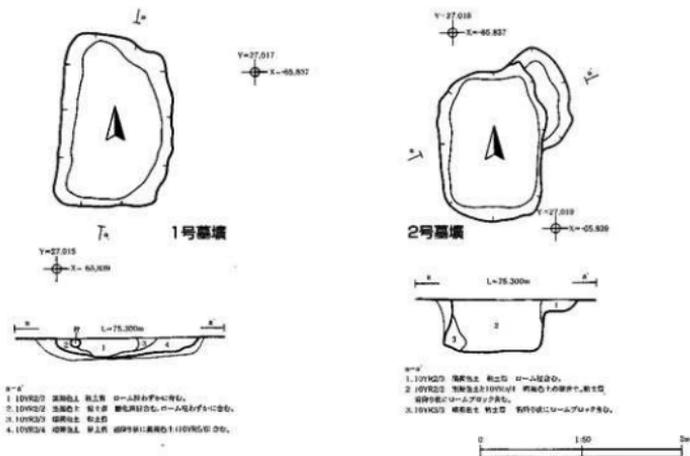
<埋土>黒褐色土に霜降り状に暗褐色土が混合した層で、深さは約54cmである。

<壁・底面>壁面は垂直に立ち上がり、床面は平坦である。

遺物 (第138図、写真図版102)

底から古銭が11点出土した。銅銭9点、鉄銭2点でいずれも寛永通宝である。

時期 出土遺物や、検出状況、埋土の状態などから近世～近代に属すると考えられる。



第80図 1号・2号墓塚

## 8. 溝状遺構 (第81～84図、写真図版67～69)

13条検出された。道路西側調査区に10条、道路を跨ぐもの1条、道路東側調査区に2条で7割7分が道路西側調査区で検出されている。3号溝を除いた11条の溝は削平を受けるか、調査区外へ続くため全容は明らかではない。調査区内で上端幅の最小は24cm、最大は206cm、下端幅の最小は6cm、最大が180cm、深さの最小は8cm、最大が72cmである。時期は出土遺物などから1号・2号溝は古代の溝と考えられる。他の11条の溝の時期は不明だが埋土等から近世の可能性が考えられる。

それぞれの溝の位置・規模等については観察表に記載した。表の補足としていくつかの溝について取り上げる。

1号溝は道路東側調査区と道路西側調査区に検出されたものを埋土や断面等から同一のものと考え1条とした。南東-北西方向に走行し、13Mグリッドで緩やかに湾曲して南南東-北北西方向に走行している。180グリッドでは18号土坑と重複関係を持ち、溝の方が新しい。

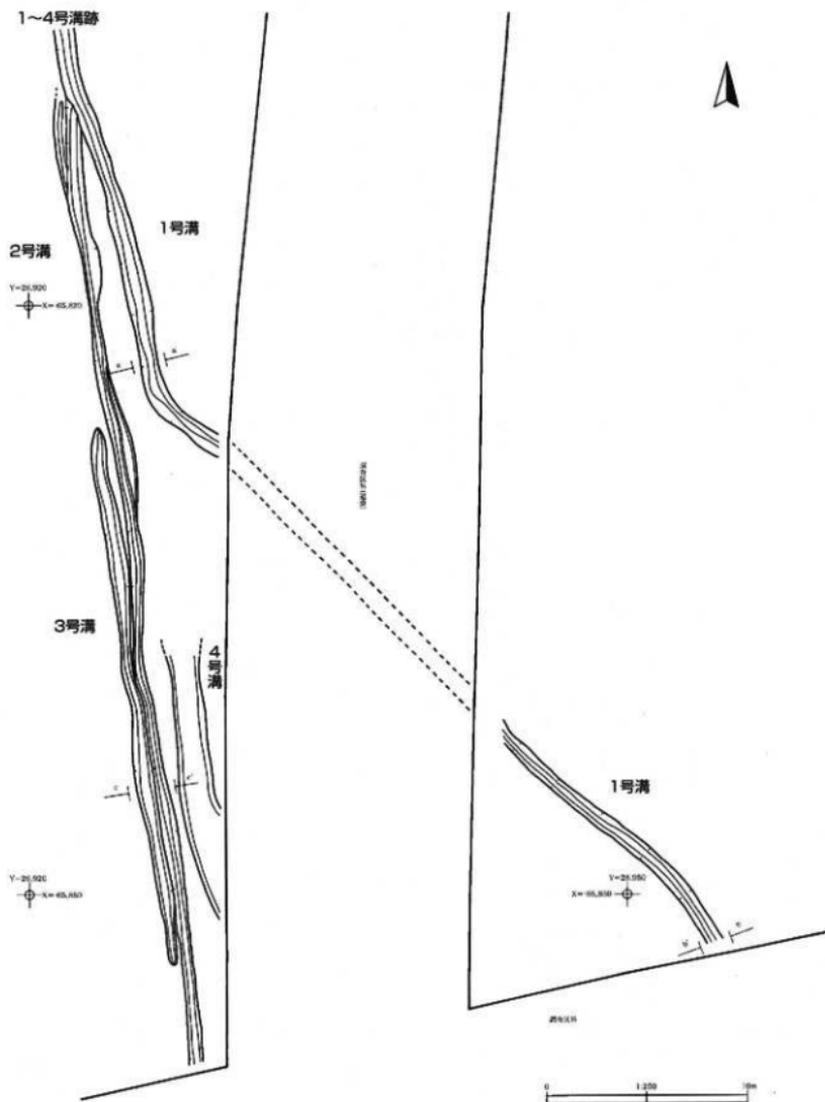
7・8号溝は西北西-東南東方向に走行し13Pグリッドで屈曲して北北西-南南東方向に走行する。7号溝は8号溝より新しい。12Pグリッドでは7号溝は27号土坑と、8号溝は28号土坑と重複関係を持つがいずれも土坑の方が新しい。

(熊谷)

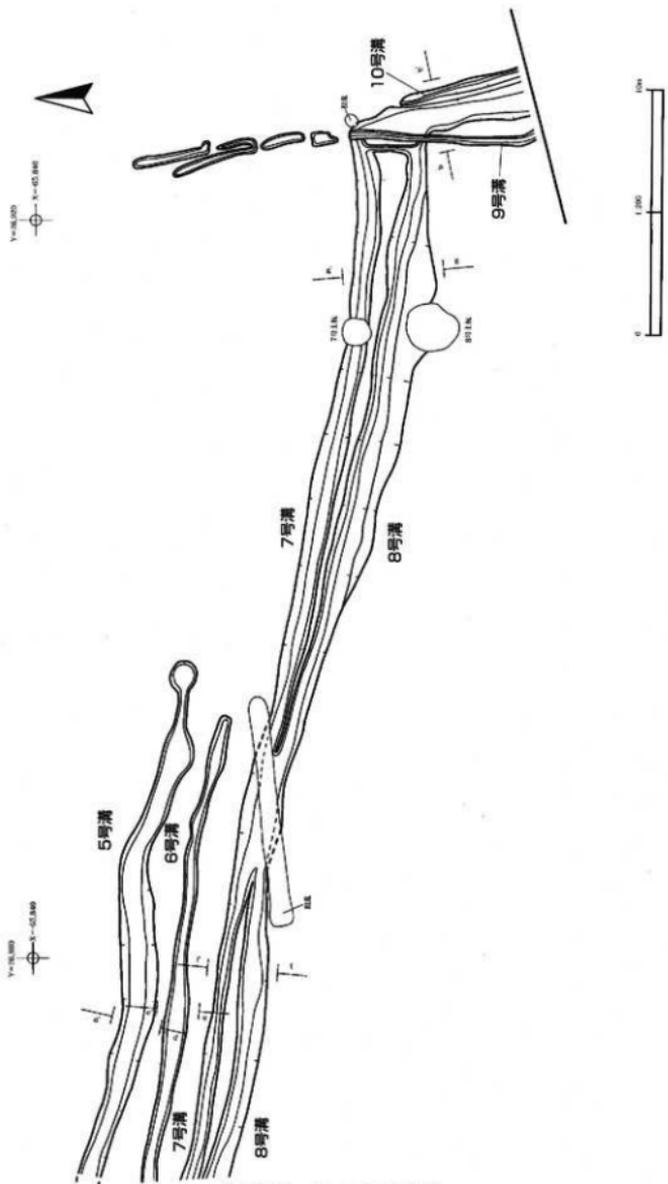
溝状遺構観察表

遺構名	位置	方向	全長	上端幅	下端幅	深さ	断面形	埋土	出土遺物	備考
1号溝	13K・L-M 14M	南東-北東 南南東-北北東	58.3	70~120	14~47	72	上部が狭く U字状	全体が黒褐色土	445-455	2号溝より古く18号土坑より新しい。 調査区外へ続く。
2号溝	13K~13P	南南東-北北東	48.1	42~77	14~36	24	U字状	全体が暗褐色土	456-457	1号溝より新しく3号溝より古い。 調査区外へ続く。
3号溝	13M~13P	南南東-北北東	27.6	43~102	18~55	23	上部が狭く U字状	上位は暗褐色土、 下位は黒褐色土	458-459	2号溝より新しい。
4号溝	13N~13O	北北西-南南東	12.2	133~206	103~180	24	不明	不明		調査区外へ続く。
5号溝	9O~11O	西北西-東南東	21.4	33~145	20~78	25	浅皿状	上位は暗褐色土、 下位は黒褐色土		調査区外へ続く。
6号溝	9O~10O	西北西-東南東	19.3	32~93	11~67	10	上部が狭く U字状	全体が黒褐色土		調査区外へ続く。
7号溝	9-10O、 11-12-13P	西北西-東南東 北北西-南南東	50.3	42~108	18~48	28	上部が狭く U字状	全体が暗褐色土		9-10号溝-17号土坑より古く8号 溝より新しい。
8号溝	9-10O、 11-12-13P	西北西-東南東 北北西-南南東	47.8	66~113	14~60	26	浅皿状	全体が暗褐色土	460	7-9-10号溝-28号土坑より古い。 調査区外へ続く。
9号溝	13P	北-南	7.6	24~36	10~23	8	上部が狭く U字状	全体が黒褐色土	461	7-8号溝より新しい。 調査区外へ続く。
10号溝	13P	北北西-南南東	4.9	43~46	6~13	15	上部が狭く U字状	全体が黒褐色土		7-8号溝より新しい。 調査区外へ続く。
11号溝	7-8M~ 7-8N	南南西-北北東	14.6	48~94	26~75	29	U字状	全体が黒褐色土		36号掘し穴より新しい。 北部削平を受ける。
12号溝	23K~23L	南南西-北北東	16.9	44~73	32~51	17	不明	不明		9-10号掘し穴より新しい。 調査区外へ続く。
13号溝	25N~27N	西-東	38.1	40~98	14~30	72	不明	不明		東部削平を受ける。

\*単位は全長はm、他はcm。

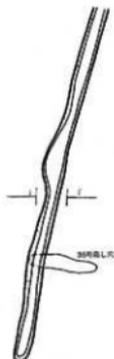


第81図 1~4号溝跡

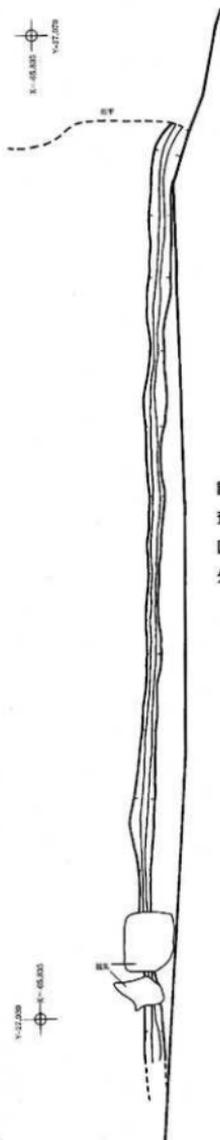


第82图 5~10号鳃

11号沟跡

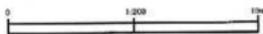
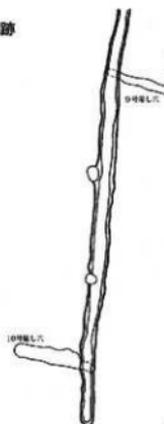


13号沟跡



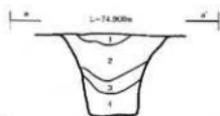
調查区外

12号沟跡



第83图 11~13号沟跡

### 1号溝(西側)

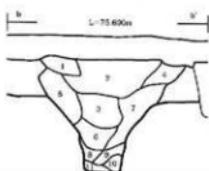


1号溝

4-3'

1. 10YR3/2 黄褐色土 粘性あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)5%含む。
2. 10YR2/2 黄褐色土 粘性あり しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/2)2%、黄褐色土ブロック(10YR2/2) 80%含む。
3. 10YR1/3 黄褐色土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR1/3)3%含む。
4. 10YR2/2 黄褐色土 粘性あり しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/2)10%、黄褐色土層(10YR2/2) 80%含む。

### 1号溝(東側)



4-3'

1. 10YR2/2 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/2)5%含む。
2. 10YR2/2 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/2)5%含む。
3. 10YR2/2 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/2)5%含む。
4. 10YR2/1 黄褐色土層土
5. 10YR2/1 黄褐色土層土
6. 10YR2/1 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/1)5%含む。
7. 10YR2/1 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/1)5%含む。
8. 10YR2/1 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/1)5%含む。
9. 10YR2/1 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/1)5%含む。
10. 10YR2/1 黄褐色土層土
11. 10YR2/1 黄褐色土層土 粘性なし しまりありあり 黄褐色土層(10YR2/1)5%含む。

### 2・3号溝



2号溝

3号溝

4-3'

4-4'

1. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)2%含む。
2. 10YR3/4 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/4)5%含む。
3. 10YR3/3 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/3)5%含む。
4. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)1%含む。

2号溝

4-4'

1. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2) 85-20mm 粘性中あり しまりあり
2. 10YR3/4 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/4)2%含む。
3. 10YR3/4 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/4)2%含む。
4. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)1%含む。

### 5号溝



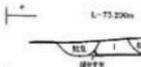
5号溝

4-3'

4-4'

1. 10YR3/4 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/4)3% 少量減少含む。
2. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土ブロック(10YR3/2) 85-20mm 10%含む。

### 6号溝



6号溝

4-3'

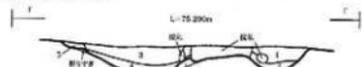
1. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)1%含む。

7号溝

4-3'

1. 10YR2/4 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/4)50%含む。
2. 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/3)3%含む。

### 7・8号溝(西側)



7号溝

4-3'

3. 10YR3/4 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR3/4)5%含む。
4. 10YR2/3 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/3)10% 少量減少含む。
5. 10YR2/4 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/4)15%含む。

### 7号溝(東側)



7号溝(東側)

7号溝

4-3'

1. 10YR2/2 黄褐色土 粘性なし しまりあり

8号溝

4-3'

2. 10YR2/2 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/2)2%含む。
3. 10YR2/1 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/1)1%含む。

4号溝

4-3'

4. 10YR2/1 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR2/1)5%含む。
5. 10YR2/1 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR2/1)10%含む。

### 7~10号溝



7~10号溝

8号溝

4-3'

1. 10YR1/1 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR1/1)3%減少含む 1% 黄褐色土層(10YR1/1)2%含む。

10号溝

4-3'

2. 10YR2/2 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/2)4%含む。

7号溝

4-3'

3. 10YR2/1 黄褐色土 粘性なし しまりあり 黄褐色土層(10YR2/1)3%含む。
4. 10YR2/2 黄褐色土 粘性なし しまりあり

9号溝

4-3'

5. 10YR3/1 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/1)2%含む。
6. 10YR3/1 黄褐色土 粘性あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/1)5%含む。

11号溝

4-3'

1. 10YR4/5 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR4/5)の割合 粘性あり しまりあり 黄褐色土層(10YR4/5)2%含む。
2. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)8%30mm 5%含む。
3. 10YR3/2 黄褐色土 粘性中あり しまりあり 黄褐色土層(10YR3/2)4%5%含む。



第84図 溝跡(断面)

## 9. 掘立柱建物跡・柱穴

今回の調査では、柱穴状土坑は基検出された。主にC区東端とD区西端から検出されている。C区西端、D区東端、及びH区は削平され、ほとんど検出されなかった。これらの柱穴状土坑群から、計17棟の掘立柱建物跡と8基の柱穴列を推定し、検出された順に付番した。

検出された柱穴からの出土遺物は少なく、さらに時期を決定づける様なものも無かったため、ほとんどの掘立柱建物跡の年代を特定できなかった。構造的に見て、ある程度年代を絞り込むことが出来ると思われるものもあったが、推測の域を出ることはできなかった。なお、(1尺=30.3cm、1坪=3.3㎡)として換算した。

またこれ以外に建物が建てられたと推定できる場所もあるが、建物跡を構成する柱穴の並びや計測値などに不確定な要素があるため建物跡として登録は行わず、柱穴群とした。(松川)

### 1号掘立柱建物跡(第85図)

<位置>グリッド [150~15P~160~16P] (D区) に位置する。

<規模>桁行5間(全長12.34m=40.7尺-北列)、梁行3間(全長5.89m=19.4尺-東列)の東西棟建物で、延べ床面積は72.68㎡(22.0坪)である。平均柱間寸法は、桁行2.47m(8.1尺)、梁行1.96m(6.5尺)である。

<平面形式>攪乱のために特に南側部分のプランがはっきりしないが、3間×4間の直屋と思われる。東側に仕切のための柱穴があることから、上手は東である。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-1.5°-E] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。柱痕跡、底のグライ化は1基づつ見られるが、本根による攪乱を受けているために詳細不明。埋土はすべて震降り状。

<重複関係>21号住居跡・17号掘立柱建物跡・1号溝跡と重複するが、新旧関係を示すものはなく不明。

<建物の性格>調査区域外にかかっているため詳細は不明だが、規模や形状から住居と思われる。

時期 形状および柱間寸法から推測すると、17世紀後半以降のものと考えられる。(松川)

### 2号掘立柱建物跡(第85図)

<位置>グリッド [170~180] (D区) に位置する。

<規模>桁行3間(全長6.04m=19.9尺-北列)、梁行1間(全長5.41m=17.9尺-西列)の東西棟建物で、延べ床面積は32.68㎡(9.9坪)である。平均柱間寸法は、桁行2.03m(6.7尺)、梁行5.39m(17.8尺)である。

<平面形式>1間×3間の直屋である。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-3°-E] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。6基に柱痕跡が見られる。北列のP1085~P1088は柱穴の規模が大きく(平均52×44cm 39cm深)、南列のP1089~P1092は小さい(平均30×23cm 14cm深)。

北列4基には柱痕跡があり、底には柱の重みでグライ化した部分(※)が円形に残っている。南列のP1092の柱痕跡は、検出面で直径17cm。P1091底のグライ化した部分は直径18cmである。

<重複関係>なし。

<建物の性格>規模と形状から見て、倉庫の建物と思われる。

時期 不明。

(松川)

### 3号掘立柱建物跡 (第85図)

<位置>グリッド〔18N~18O〕(D区)に位置する。

<規模>桁行4間(全長5.04m=16.6尺-北列・下屋柱)、梁行1間(全長1.40m=4.6尺-西列)。建物北側部分と見られる。検出された延べ床面積は7.06㎡(2.1坪)である。平均柱間寸法は、下屋柱の桁行1.26m(4.2尺)、上屋柱の桁行2.43m(8.0尺)、梁行1.39m(4.6尺)である。

<主軸方向>梁の主軸方向は〔N-6.5°-W〕である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。北列のP1~P5は規模が小さく(平均24×17cm 13cm深)、南列のP1005~P1007は規模が大き(平均40×33cm 22cm深)。北列は下屋柱、南列は上屋柱と考えられる。上屋柱は、下屋柱に対して1間おきに配されている。埋土は一律に黒色土(10YR 1.7/1)で、わずかに褐色土(10YR 4/6)を含む。

<重複関係>17号土坑と重複する。当遺構が17号土坑を切っているので、当遺構が新しい。

<建物の性格>住居の北部分と推測される。

時期 上屋柱を1間おきに配する建築法は、19世紀初頭以降。また、掘立柱の住居は近代以降には姿を消すことから、19世紀前半のものと考えられる。

(松川)

### 4号掘立柱建物跡 (第85図)

<位置>グリッド〔11K~11L~12K~12L〕(C区)に位置する。

<規模>桁行3間(全長4.75m=15.7尺-北列)、梁行2間(全長3.87m=12.8尺-西列)の東西棟建物で、延べ床面積は18.38㎡(5.6坪)である。平均柱間寸法は、桁行1.59m(5.2尺)、梁行1.94m(6.4尺)である。

<平面形式>2間×3間の直屋である。

<主軸方向>梁の主軸方向は〔N-1°-W〕である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。P596・P597・P599・P600・P602の各柱穴で柱痕跡が確認されている。検出面での直径は15~19cm(平均16.6cm)で、形は円形である。

柱痕跡はシルト質の黒褐色土(10YR 2/2)。その周りの埋土は、黒褐色土(10YR 2/3)に褐色土(10YR 4/4)が霜降り状に混入したものである。

<重複関係>5号掘立柱建物跡と重複する。新旧関係は不明。

<建物の性格>規模や形状から見て、倉庫の建物と思われる。

時期 不明。

(松川)

### 5号掘立柱建物跡 (第86図)

<位置>グリッド〔10L~11K~11L〕(C区)に位置する。

<規模>桁行6間(全長11.22m=37.0尺-南列)、梁行2間(全長5.03m=16.6尺-東列)の東西棟建物で、延べ床面積は55.44㎡(17.1坪)である。平均柱間寸法は、桁行1.91m(6.3尺)、梁行2.40m(7.9尺)である。

<平面形式>西側が調査区域外であるため詳細は不明だが、検出されている柱穴から見ると2間×6間の直屋である。

P441・P438が北列と南列の間に位置することから、仕切が2箇所に入る建物と思われる。

＜主軸方向＞梁の主軸方向は〔N-1.5°-W〕である。

＜柱穴＞各柱穴の規模は、観察表に記してある。3基の柱痕跡を測ると、検出面で直径19～21cm（平均20.3cm）の円形である。

＜重複関係＞27号住居跡、4号・6号・8号掘立柱建物跡と重複する。27号住居跡を切っていることから、当遺構のほうが新しいことがわかるが、各掘立柱建物跡との関係は不明。

＜建物の性格＞仕切りは〔P440-P441-P432〕と〔P437-P438〕の2箇所あり、上間と座敷に分かれた住居であったと思われる。しかし上手の方向や住居型式までは不明。

時期 仕切のある形状から、少なくとも17世紀以降である。

（松川）

#### 6号掘立柱建物跡（第86図）

＜位置＞グリッド〔10L～11L〕（C区）に位置する。

＜規模＞桁行2間（全長4.67m＝15.4尺-東列）、梁行2間（全長3.88m＝12.8尺-南列）の南北棟建物で、延べ床面積は18.12㎡（5.5坪）である。平均柱間寸法は、桁行2.36m（7.8尺）、梁行1.94m（6.4尺）である。

＜平面形式＞2間×2間の直屋である。

＜主軸方向＞梁の主軸方向は、ほぼ真北を向いている。

＜柱穴＞各柱穴の規模は、観察表に記してある。柱痕跡は2基にあり、検出面での直径はP447が14cm、P445が20cm（円形）である。また、P443は抜取痕と見られ、検出面の柱跡の直径は20cmを測る。掘り方はP446・P445の2基のみが隅丸(長)形を呈している。

中央に位置するP449は他の柱穴と比べて規模が小さいことから、補助的な柱が据えられていたと思われる。

＜重複関係＞30号住居跡、5号・9号掘立柱建物跡と重複する。30号住居跡を切っていることから、当遺構が新しいことがわかるが、各掘立柱建物跡との新旧関係は不明。

＜建物の性格＞規模や柱位置から見て、蔵と思われる。

時期 不明。

（松川）

#### 7号掘立柱建物跡（第86図）

＜位置＞グリッド〔9L～9M〕（C区）に位置する。

＜規模＞桁行2間（全長3.66m＝12.1尺-西列）、梁行2間（全長3.58m＝11.8尺-北列）の南北棟建物で、延べ床面積は13.10㎡（4.0坪）である。平均柱間寸法は、桁行1.80m（5.9尺）、梁行1.79m（5.9尺）である。

＜平面形式＞2間×2間の建物であるが、南側は調査区域外であるため、さらに南方向に伸びる可能性がある。詳細は不明。

＜主軸方向＞梁の主軸方向は〔N-10°-E〕である。

＜柱穴＞各柱穴の規模は、観察表に記してある。9基中7基の埋土中に川原石様の円礫石を含んでいる。この辺りは30cm前後掘り下げると、砂礫層に突き当たるため埋土に礫が混入したものである。

中央に位置するP335は他の柱穴と比べて規模が小さいことから、6号掘立柱建物跡と同様に、補助的な柱が据えられていたと思われる。

<重複関係>31号住居跡・10号掘立柱建物跡と重複する。31号住居跡を切っていることから、当遺構が新しいことがわかるが、10号掘立柱建物跡との新旧関係は不明。

<建物の性格>規模や柱位置から見て、蔵と思われる。

時期 不明。

(松川)

#### 8号掘立柱建物跡 (第86図)

<位置>グリッド〔10L〕(C区)に位置する。

<規模>桁行3間(全長5.88m=19.4尺-北列)、梁行1間(全長2.44m=8.1尺-西列)の東西棟建物で、延べ床面積は14.35㎡(4.3坪)である。平均柱間寸法は、桁行1.99m(6.6尺)、梁行2.43m(8.0尺)である。

<平面形式>1間×3間の直屋である。

<主軸方向>梁の主軸方向は〔N-4.5°-E〕である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。全ての柱穴が単層で、黒褐色土(10YR 2/2)に褐色土(10YR 4/6)が20~30%霏降り状に混入している埋土。6基の柱穴(P415以外)の底が平ら、あるいはなべ底状である。封をなすP417とP414の掘り方が隅丸方形である。

<重複関係>30号住居跡、5号・9号・16号掘立柱建物跡と重複する。30号住居跡を切っていることから、当遺構が新しいことがわかるが、各掘立柱建物跡との新旧関係は不明。

<建物の性格>規模や形状から見て、小屋と思われる。

時期 不明。

(松川)

#### 9号掘立柱建物跡 (第87図)

<位置>グリッド〔10L〕(C区)に位置する。

<規模>桁行3間(全長7.53m=24.9尺-南列)、梁行1間(全長1.73m=5.7尺-西列)の東西棟建物で、延べ床面積は13.03㎡(3.9坪)である。平均柱間寸法は、桁行2.46m(8.1尺)、梁行1.77m(5.8尺)である。

<平面形式>1間×3間の直屋である。

<主軸方向>梁の主軸方向は〔N-2.5°-E〕である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。

<重複関係>30号住居跡、6号・8号・16号掘立柱建物跡と重複する。30号住居跡を切っていることから、当遺構が新しいことがわかるが、各掘立柱建物跡との新旧関係は不明。

<建物の性格>規模や形状から、倉庫の建物と思われる。

時期 不明。

(松川)

#### 10号掘立柱建物跡 (第87図)

<位置>グリッド〔9L~10L〕(C区)に位置する。

<規模>桁行2間(全長3.12m=10.3尺-北)、梁行1間(全長2.17m=7.2尺-西)の東西棟建物で、延べ床面積は6.77㎡(2.1坪)である。平均柱間寸法は、桁行1.58m(5.2尺)、梁行2.08m(6.9尺)である。

<平面形式>1間×2間の直屋である。

<主軸方向>梁の主軸方向は〔N-12°-E〕である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。P360のみに柱痕跡が残り、検出面で直径14cmを測る。P3

の底はグライ化しており、直径17cmを測る。

<重複関係>7号掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明。

<建物の性格>規模や形状から、倉庫的建物と思われる。

時期 不明。

(松川)

#### 11号掘立柱建物跡 (第87図)

<位置>グリッド [10L] (C区) に位置する。

<規模>桁行2間(全長4.62m=15.2尺-北列)、梁行1間(全長1.87m=6.2尺-西列)の東西棟建物で、延べ床面積は8.64㎡(2.6坪)である。平均柱間寸法は、桁行2.39m(7.9尺)、梁行1.83m(6.0尺)である。

<平面形式>1間×2間の建物であるが、南側は調査区域外であるため、さらに南方向に伸びる可能性がある。詳細は不明。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-24.5°-E] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。柱痕跡はP374・P377に残っている。検出面で、それぞれ直径14cm・18cmを測る。

<重複関係>16号掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明。

<建物の性格>規模や形態から見て小原と思われるが、当遺構の南側が調査区域外であるため詳細は不明。

時期 不明。

(松川)

#### 12号掘立柱建物跡 (第87図)

<位置>グリッド [19N~19O~20N~20O] (D区) に位置する。

<規模>桁行2間(全長5.30m=17.5尺-北列)、梁行3間(全長5.14m=17.0尺-西列)の東西棟建物で、延べ床面積は27.24㎡(8.3坪)である。平均柱間寸法は、桁行2.67m(8.8尺)、梁行1.60m(5.3尺)である。

<平面形式>北側および西側が調査区域外であるため詳細は不明だが、検出されている柱穴から見ると2間×3間の直屋である。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-0.5°-E] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。P976の底面がグライ化しており、直径22cmの円形を呈している。

埋土は黒色土(10YR 2/1)~黒褐色土(10YR 2/2)であるが、土質は粘土質のものと、細砂質のものがある。粘土質の埋土の中には水酸化鉄粒が点在している。当遺構の位置する場所周辺は、攪乱や客土(粘土質)があり、その中に水酸化鉄粒が多く点在していることから、客土由来のものと思われる。

<出土遺物>P971から土師器片が1片出土(不掲載)。埋土に混入したもので、時期を示すものではないと思われる。

<重複関係>22号住居跡と重複する。当遺構が22号住居跡を切っていることから、当遺構が新しいことがわかる。

<建物の性格>規模や形状から、倉庫的建物と思われる。

時期 不明。

(松川)

### 13号掘立柱建物跡 (第88図)

<位置>グリッド [21N~22N] (D区) に位置する。

<規模>桁行3間 (全長8.40m=27.7尺-南列)、梁行2間 (全長3.44m=11.4尺-東列) の東西棟建物で、延床面積は28.90㎡ (8.8坪) である。平均柱間寸法は、桁行3.36m (11.1尺-土間・居間部分) と1.69m (5.6尺-上手の座敷部分) がある。梁行は1.86m (6.1尺) である。

<平面形式>2間×3間の建物であるが、北側は調査区域外であるため、さらに北方向に伸びる可能性がある。詳細は不明。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-7°-W] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。P960・P959の底面がグライ化しており、半径はそれぞれ18cm・21cmの円形を呈している。

<重複関係>位置的に見て4号住居跡、40号陥し穴と重複する。新旧関係は不明。

<建物の性格>プランが明確ではないため詳細は不明だが、規模や形状から住居と思われる。

時期 形状および柱間寸法から見て、18世紀以降と思われる。

(松川)

### 14号掘立柱建物跡 (第88図)

<位置>グリッド [20O] (D区) に位置する。

<規模>桁行2間 (全長5.20m=17.2尺-北列)、梁行1間 (全長3.65m=12.0尺-西列)。平均柱間寸法は桁行2.60m (8.6尺)、梁行3.65m (12.0尺) である。建物の北西コーナーである。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-8°-E] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。P994の底はグライ化しており、直径14cmの円形である。また、P993には柱痕跡が残っており、検出面で直径16cmを測る。

各柱穴は新しい攪乱を盛り込んだもの。各柱穴ごとに土の埋まり具合は違うが、埋土は全て粘土質で、周囲の攪乱に由来するものと思われる。

P995の埋土は単層で、黒色土 (10YR 2/1) の中に褐色土 (10YR 4/4) が霜降り状に混入しているのだが、この褐色土の所々が熱をうけて暗赤褐色 (2.5YR 2/2~4/2) になっている。また、柱穴内も一様に熱をうけて暗赤褐色になっている。

<重複関係>15号掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明。

<建物の性格>南側が調査区域外であり、東側には大きく攪乱が入り込んでいるためコーナーのみの検出となり、詳細は不明である。

時期 埋土の様子や攪乱との切り合いから、近代以降のものと思われる。

(松川)

### 15号掘立柱建物跡 (第88図)

<位置>グリッド [20O] (D区) に属する。

<規模>桁行2間 (全長3.77m=12.4尺-北列)、梁行1間 (全長2.95m=9.7尺-西列)。平均柱間寸法は桁行1.89m (6.2尺)、梁行2.95m (9.7尺) である。建物北西のコーナーである。

<主軸方向>梁の主軸方向は [N-1°-W] である。

<柱穴>各柱穴の規模は、観察表に記してある。P997・P998・P996に柱痕跡があり、検出面でいずれも17cmの直径を測る。

この3基の断面からは、底にぶい黄褐色の粘土〜シルト質土が薄く入り、その上の中央に柱痕跡があり、

両脇に霜降り状の黒褐色土（褐色土が混入）が入っていること観察される。柱の高さ調整のために底に上を入れたものであろう。

<重複関係> 14号掘立柱建物跡と重なるが、新旧関係は不明。

<建物の性格> 14号掘立柱建物跡同様、コーナーしか検出されていないため、詳細は不明。

時期 柱間寸法と埋土の様子や攪乱との切り合いから、近世末期以降のものと思われる。 (松川)

#### 16号掘立柱建物跡 (第88図)

<位置> グリッド [10L] (C区) に位置する。

<規模> 桁行2間 (全長6.30m=20.8尺-南列)、梁行2間 (全長4.50m=14.9尺-西列) の東西棟建物で、延べ床面積は28.35㎡ (8.6坪) である。平均柱間寸法は、桁行3.09m (10.2尺)、梁行2.25m (7.4尺) である。

<平面形式> 2間×2間の直屋である。

<主軸方向> 梁の主軸方向は [N-1.5°-W] である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記してある。すべての柱穴に柱痕跡が見られる。検出面での直径は、P389=20cm・P394=28cm・P391=23cm・P392=18cm・P390=15cm・P393=18cmである。ただし、P2の開口部は少し崩落しているので、実際にはもう少し狭かったと思われる)

P389、P394の掘り方は隅丸長方形で、同規模である。

<重複関係> 30号住居跡、8号・9号・11号の各掘立柱建物跡と重なる。新旧関係は不明。

<建物の性格> 規模や形状から、倉庫的建物と思われる。

時期 不明。 (松川)

#### 17号掘立柱建物跡 (第89図)

<位置> 桁行2間 (全長4.10m=13.5尺-北列)、梁行2間 (全長4.00m=13.2尺-西列)。平均柱間寸法は桁行2.05m (6.8尺)、梁行2.00m (6.6尺) である。建物の北西コーナーである。

<主軸方向> 梁の主軸方向は [N-1°-W] である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記してある。P1114・P1117に柱痕跡が見られる。直径はそれぞれ、20cm (検出面)、18cm (底面) を測る。また、P1114・P1116~P1118の底に円形のグライ化した部分があり、直径は順に20cm・19cm・18cm・21cmを測る。

P1116・P1114・P1117は隅丸長方形を呈しており、底は平らである。P1116の底中央には30cm弱大の石 (角が丸みを帯びている。川原石?) が入っていた。P1115には壊れた磁石と15cm前後の石が入っていた。埋土中位から出土しており、混入したものである。

<出土遺物> 磁石片がP1115の中位から出土。(462)

<重複関係> 21号住居跡、1号掘立柱建物跡と重なる。新旧関係は不明。

<建物の性格> コーナーのみの検出であるため詳細は不明。

<年代> 不明。 (松川)

※ : ほとんどの柱穴のグライ化した部分には、[10YR 4/2~5/2] 灰黄褐色の細砂質~砂質土が円形に残り、[7.5YR 5/6~5/8] 明褐色のシルト質土がその同心円状に残る。

#### 18号掘立柱建物跡 (第89図)

- <位置> 10M~11Mグリッドに位置する。  
<規模> 桁行は2間で全長4.0m (13.2尺)、梁行は1間で全長2.94m (9.7尺)で、延べ床面積は11.76㎡ (3.6坪)である。平均柱間寸法は桁行2.0m (6.6尺)、梁行2.94m (9.7尺)である。  
<平面形式> 2間×1間の直屋である。  
<主軸方向> 桁の主軸方向はN-70°-Eである。  
<柱穴> 平面形は円形・不整形を呈する。6基全てに柱痕跡が確認できた。埋土は黒褐色と主体で褐色土粒が少量含まれている。  
<出土遺物> なし  
<重複関係> 2号掘立柱建物跡・1号柱穴列と重複関係にあるが新旧は不明である。  
<性格> 規模から付属小屋的な用途が推測される。  
<年代> 不明

(熊谷)

#### 19号掘立柱建物跡 (第89図)

- <位置> 10M~11Mグリッドに位置する。  
<規模> 桁行は3間で全長5.88m (19.4尺)、梁行は1間で全長2.86m (9.4尺)で、延べ床面積は16.82㎡ (5.1坪)である。平均柱間寸法は桁行1.96m (6.5尺)、梁行2.86m (9.4尺)である。  
<平面形式> 3間×1間の直屋である。  
<主軸方向> 桁の主軸方向はN-82°-Wである。  
<柱穴> 平面形は円形~楕円形・不整形を呈する。5基で柱痕跡が確認できた。四つ角にあたる柱穴と比べて中の2基は規模が比較的小さなものになっている。埋土は黒褐色土と褐色土ブロックが少量含まれる。  
<出土遺物> なし  
<重複関係> 1号掘立柱建物跡・1号柱穴列と重複関係にあるが新旧は不明である。  
<性格> 規模から付属小屋的な用途が推測される。  
<年代> 不明

(熊谷)

#### 20号掘立柱建物跡 (第89図)

- <位置> 11N~11Oグリッドに位置する。  
<規模> 桁行は2間で全長4.0m (13.2尺)、梁行は1間で全長1.9m (6.3尺)で、延べ床面積は7.6㎡ (2.3坪)である。平均柱間寸法は桁行2.0m (6.6尺)、梁行1.9m (6.3尺)である。  
<平面形式> 2間×1間の直屋である。  
<主軸方向> 梁の主軸方向はN-82°-Wである。  
<柱穴> 平面形は円形~楕円形を呈する。5基全てで柱痕跡が確認できた。  
<出土遺物> なし  
<重複関係> なし  
<性格> 規模から付属小屋的な用途が推測される。  
<年代> 不明

(熊谷)

## 21号獨立柱建物跡 (第90図)

<位置> 22L~22Mグリッドに位置する。

<規模> 桁行き2間で全長4.2m (13.9尺)、梁行は2間で全長3.92m (12.9尺)で、延べ床面積は16.5㎡ (5坪)である。平均柱間寸法は桁行2.1m (6.9尺)、梁行1.96m (6.5尺)である。

<平面形式> 2間×2間の直屋である。

<主軸方向> 梁の主軸方向はN-89°-Wである。

<柱穴> 平面形は円形・不整形を呈する。5基で柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし

<重複関係> 5号陥し穴と重複関係にあり、本遺構の方が新しい。

<性格> 規模から付属小屋的な用途が推測される。

<年代> 不明

(熊谷)

## 柱穴列

### 1号柱穴列

<位置> グリッド〔17O〕(D区)に位置する。

<規模> 全長は4間(?) (8.01m=26.4尺)、平均柱間寸法 (P1058-P1057間に柱穴を1基補った柱間寸法) は2.00m (6.6尺)である。

[P1058-4.33m(14.3尺)→P1057-1.83m(6.0尺)→P1056-1.85m(6.1尺)→P1055]

<主軸方向> 主軸方向は〔N-65°-E〕である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記してある。P2埋土中に炭化物が混入。1~2%の混入比だが、最大径5mm大のものも見られた。埋土中位からは、土師器片が出土している。平安期の坏の破片であるが、埋土に混入したものと思われる。

P1056には柱の抜き取り痕が見られる。柱の跡には、褐色土 (10YR 4/4~5/4) の中に黒褐色土 (10YR 2/2~2/3) が霏降り状に混合した土が入っている。柱を抜き去った後に、人為的に埋めたのがわかる。

<出土遺物> P1056から土師器片が1片出土している。

<重複関係> 2号獨立柱建物跡、2号柱穴列、3号柱穴列と重なる。新旧関係は不明。

<年代> 不明。

(松川)

### 2号柱穴列

<位置> グリッド〔17O~18O〕(D区)に位置する。

<規模> 全長は4間 (10.18m=33.6尺)、平均柱間寸法は2.55m (8.4尺)である。

[P1059-2.81m(9.3尺)→P1060-2.51m(8.3尺)→P1061-2.51m(8.3尺)→P1062-2.35m(7.8尺)→P1063]

<主軸方向> 主軸方向は〔N-81.5°-W〕である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記してある。P1059・P1060・P1062の3基に柱の抜き取り痕、P1061には柱痕跡が見られる。埋土は一樣に、黒褐色土に褐色土が霏降り状に混入している。P1060の抜き取り痕は、底に近い部分で直径7cmを測る。

P1059から須恵器片が1片出土。埋土中位ということで、混ざり込んだものと思われる。

<出土遺物> P1059から須恵器片が1片。(不掲載)

<重複関係> 2号掘立柱建物跡、1号柱穴列と重なるが、新旧関係は不明。

<年代> 不明。

(松川)

### 3号柱穴列

<位置> グリッド [170~180] (D区) に位置する。

<規模> 全長は3間 (6.75m=22.3尺)、平均柱間寸法は2.25m (7.4尺) である。

[P1054→2.33m(7.7尺)→P1053→2.07m(6.8尺)→P1052→2.35m(7.8尺)→P1051]

<主軸方向> 主軸方向は〔N-89°-W〕である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記載してある。規模はおおよそ似通っているが、埋土の様子はそれぞれ異なる。埋土は全て、黒褐色土 (10YR 2/2) の中に褐色土 (10YR 4/4) が霜降り状に入っている。P1054・P1053の埋土中の褐色土は、底に近づくに従って減少し、底は黒色土 (10YR 1.7/1) になる。P1・P1052の黒褐色土中には橙色土粒が点在しているが、P1054の方は水酸化鉄で、P1053は焼土由来のものである。

P1051は17号土坑の精査にともなって、掘り上げてしまったために不明。

<出土遺物> なし。

<重複関係> 17号土坑、1号柱穴列、4号柱穴列と重なる。17号土坑を当遺構が切っていることから、当遺構が新しい。1号柱穴列・4号柱穴列との新旧関係は不明。

<年代> 柱間寸法から14~16世紀前半の可能性あり。

(松川)

### 4号柱穴列

<位置> グリッド [180] (D区) に位置する。

<規模> 全長は3間 (6.76m=22.3尺) だが、南北両調査区域外に延びている可能性がある。平均柱間寸法は2.25m (7.4尺) である。

[P1050→2.34m(7.7尺)→P1049→2.27m(7.5尺)→P1048→2.15m(7.1尺)→P1047]

<主軸方向> 主軸方向は〔N-18°-W〕である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記載してある。P1052に柱の抜取痕が見られ、底はグライ化はしていないが直径18cmの円形の凹みがある。P1050の底にも、直径13cmの凹みが確認できた。15cm前後の柱を使用していたものと思われる。

<出土遺物> なし。

<重複関係> 3号掘立柱建物跡と重なるが、新旧関係は不明。

<年代> 14~16世紀前半の可能性あり。

(松川)

### 5号柱穴列

<位置> グリッド [12L] (C区) に位置する。

<規模> 全長は4間 (8.15m=26.9尺)、平均柱間寸法は2.04m (6.7尺) である。

[P557→2.05m(6.8尺)→P556→1.77m(5.8尺)→P555→2.28m(7.6尺)→P554→2.05m(6.8尺)→P553]

<主軸方向> 主軸方向は〔N-82°-W〕である。

＜柱穴＞ 各柱穴の規模は、観察表に記載してある。P3に柱痕跡が残り、検出面で直径19cmを測る。20cm前後の柱を用いていた可能性がある。柱の先端は尖っており、先端の丸い他の柱痕跡とは異なっている（打ち込み柱）。

P554、P553は61号陥し穴の精査にともなって、掘り上げてしまったために不明。

＜重複関係＞ 61号陥し穴と重なる。当遺構が61号陥し穴を切っているため、当遺構が新しいことがわかる。

＜年代＞ 建物の一部であるとすれば、柱間寸法から見て16世紀前半か。 (松川)

#### 6号柱穴列

＜位置＞ グリッド〔9L～10L〕(C区)に位置する。

＜規模＞ 全長は3間(9.65m=31.8尺)、平均柱間寸法は3.22m(10.6尺)である。

[P369→3.22m(10.6尺)→P370→3.21m(10.6尺)→P371→3.22m(10.6尺)→P372]

＜主軸方向＞ 主軸方向は〔N-68.5°-W〕である

＜柱穴＞ 各柱穴の規模は、観察表に記載してある。全ての柱穴に柱痕跡が見られる。直径はP369が12cm、P370が13cm、P371が18cmである。P372は精査前に掘り上げてしまったために不明。15cm前後の柱を用いていたと思われる。P369には柱によるグライ化も見られる(※)。

＜重複関係＞ 9号柱穴列・10号柱穴列・11号柱穴列・16号柱穴列柱穴列と重なるが、新旧関係は不明。

＜年代＞ 不明。 (松川)

#### 7号柱穴列

＜位置＞ グリッド〔11L〕(C区)に位置する。

＜規模＞ 全長は3間(6.31m=20.8尺)、平均柱間寸法は2.10m(6.9尺)である。

[P528→2.20(7.3)→P529→2.02(6.7)→P530→2.09(6.9)→P531]

＜主軸方向＞ 主軸方向は〔N-66.5°-W〕である。

＜柱穴＞ 各柱穴の規模は、観察表に記載してある。P528に柱痕跡があり、検出面の直径は12cmである。

P528の断面を見ると、柱痕跡の(底を含めた)周りに霜降り状の土が入っている。黒褐色土(10YR 2/2～3/2)と褐色土(10YR 4/4～4/6)の混合土。柱穴は東西方向で裁ち割っているが、柱痕跡の東側部分では褐色土ブロックの混合比率が50%と高く、底の部分では40%、西側では30～40%と低くなっている。この理上の状況から見ると、柱穴を掘り、次に底に土(混合比率50%)を入れ、柱を据えた後に根固めの土を入れたものと推測できる。底に土を入れたのは、柱の高さを調整するためである。

＜重複関係＞ 6号掘立柱建物跡と重なるが、新旧関係は不明。

＜年代＞ 建物の一部とすれば、柱間寸法から見て16世紀前半か。 (松川)

#### 8号柱穴列

＜位置＞ グリッド〔13L～14L〕(C区)に位置する。

＜規模＞ 全長は3間(4.72m=15.6尺)、平均柱間寸法は1.57m(5.2尺)である。東側と、南側は調査区域外であるため、詳細は不明。

[P657→1.63m(5.4尺)→P656→1.50m(5.0尺)→P655→1.59m(5.2尺)→P654]

＜主軸方向＞ 主軸方向は〔N-85.5°-E〕である。

<柱穴> 各柱穴の規模は、観察表に記載してある。

<重複関係> なし。

<年代> 不明。

(松川)

※：グライ化した部分は、[10YR 4/2～5/2] 灰黄褐色の細砂質～砂質土が円形に残り、[7.5YR 5/6～5/8] 明褐色のシルト質土がその同心円状に見られる。

#### 9号柱穴列 (第90図)

<位置> 10Mグリッドに位置する。

<規模> 5基の柱穴からなる。全長は7.6m (25.1尺) で、平均柱間寸法は1.9m (6.3尺) である。

<軸方向> N-82°-W

<柱穴> 平面形は円形～楕円形、不整形を呈する。5基全てで柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

<重複関係> 1号孤立柱建物跡、2号孤立柱建物跡と重複関係にあるが「新旧は不明である。

<性格> 不明である。数基の柱穴が対応するため孤立柱建物跡になる可能性も考えられるが、数が少なく決め手に欠ける。

<年代> 不明である。

(熊谷)

#### 10号柱穴列 (第90図)

<位置> 10N～11Nグリッドに位置する。

<規模> 3基の柱穴からなる。全長は4.0m (13.2尺) で、平均柱間寸法は2.0m (6.6尺) である。

<軸方向> N-81°-W

<柱穴> 平面形は円形～楕円形を呈する。2基で柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

<重複関係> なし。

<性格> 不明である。P194が本遺構に対応するため孤立柱建物跡になる可能性も考えられるが、他に対応するものがなく決め手に欠ける。

<年代> 不明である。

(熊谷)

#### 11号柱穴列 (第90図)

<位置> 12P～12Qグリッドに位置する。

<規模> 3基の柱穴からなる。全長は4.2m (13.9尺) で、平均柱間寸法は2.1m (6.9尺) である。

<軸方向> N-7°-E

<柱穴> 平面形は円形～楕円形を呈する。3基全てで柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

<重複関係> P38が25号土坑と重複関係にあり本遺構の方が新しい。

<性格> 不明である。本遺構の北側は7号溝、8号溝が検出され、また南側は調査区外になるため面方向に延びる可能性がある。

<年代> 不明である。

(熊谷)

12号柱穴列 (第90図)

<位置> 11P~11Qグリッドに位置する。

<規模> 4基の柱穴からなる。全長は4.35m (14.4尺) で、平均柱間寸法は1.45m (4.8尺) である。

<軸方向> N-1°-E

<柱穴> 平面形は円形を呈する。3基で柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

<重複関係> なし。

<年代> 不明である。

(熊谷)

13号柱穴列 (第91図)

<位置> 11O~12Oグリッドに位置する。

<規模> 6基の柱穴からなる。全長は5.8m (19.1尺) で、平均柱間寸法は1.16m (3.8尺) である。

<軸方向> N-89°-W

<柱穴> 平面形は円形~楕円形を呈する。5基で柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

<重複関係> なし。

<年代> 不明である。

(熊谷)

14号柱穴列 (第91図)

<位置> 17N~19Nグリッドに位置する。

<規模> 7基の柱穴からなる。全長は13.5m (44.6尺) で、平均柱間寸法は2.25m (7.4尺) である。

<軸方向> N-80°-E

<柱穴> 平面形は円形~楕円形・不整形を呈する。4基で柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

<重複関係> 16号住居と重複関係にあり、本遺構の方が新しい。

<性格> 不明である。P691・P693が本遺構に対応するため掘立柱建物跡になる可能性も考えられるが他に対応するものがなく決め手に欠ける。

<年代> 不明である。

(熊谷)

15号柱穴列 (第91図)

<位置> 18Nグリッドに位置する。

<規模> 4基の柱穴からなる。全長は7.6m (25.1尺) で、平均柱間寸法は2.5m (8.3尺) である。

<軸方向> N-86°-E

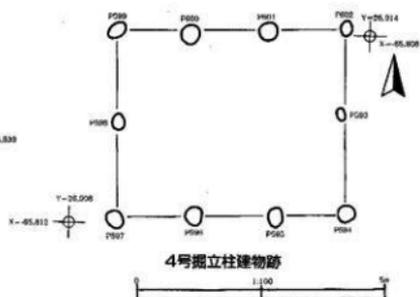
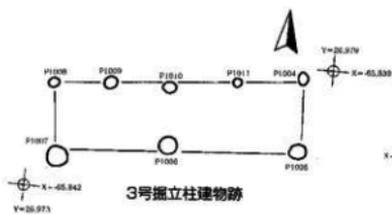
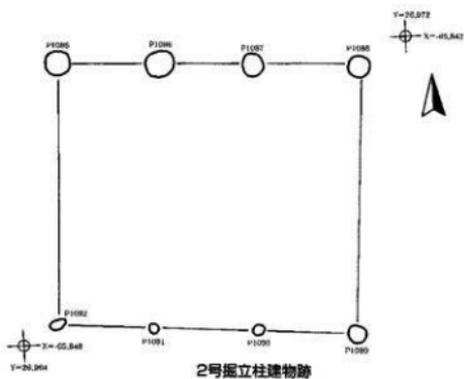
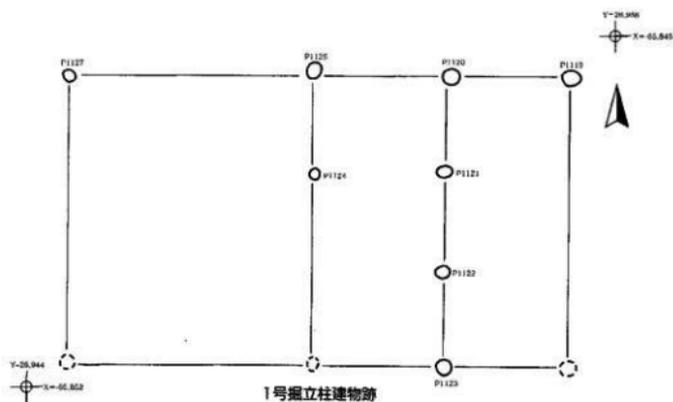
<柱穴> 平面形は円形~楕円形を呈する。1基のみ柱痕跡が確認できた。

<出土遺物> なし。

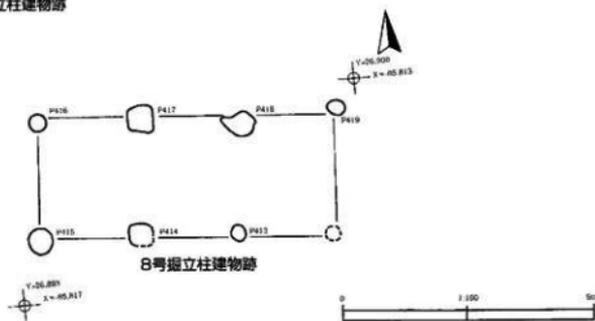
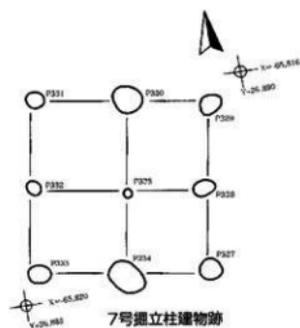
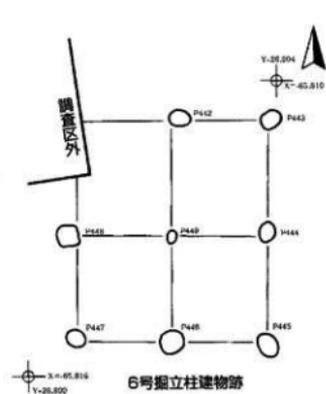
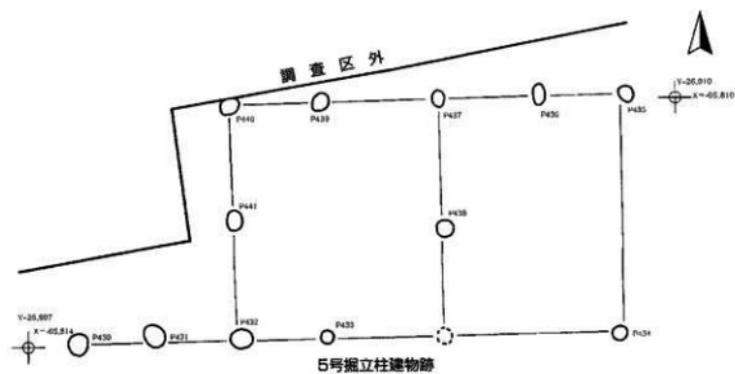
<重複関係> なし。

<年代> 不明である。

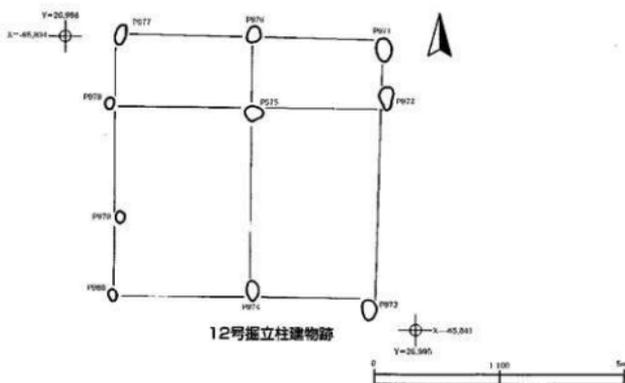
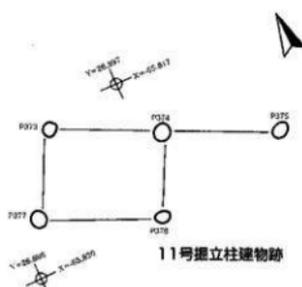
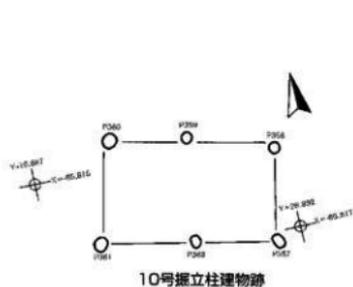
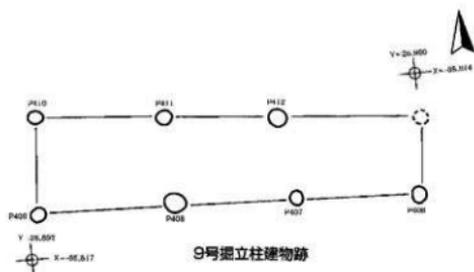
(熊谷)



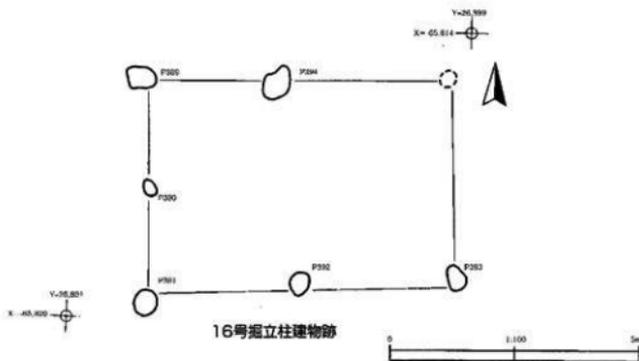
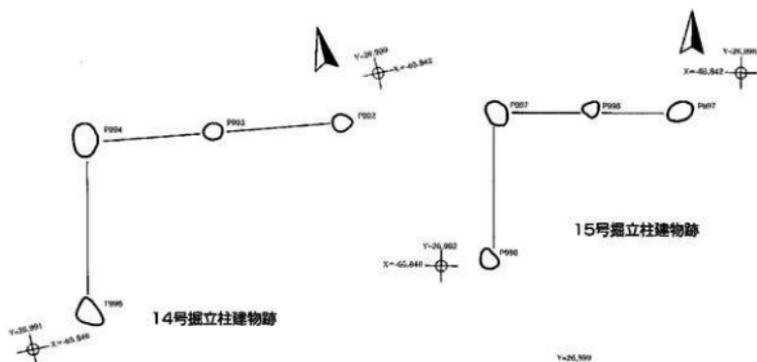
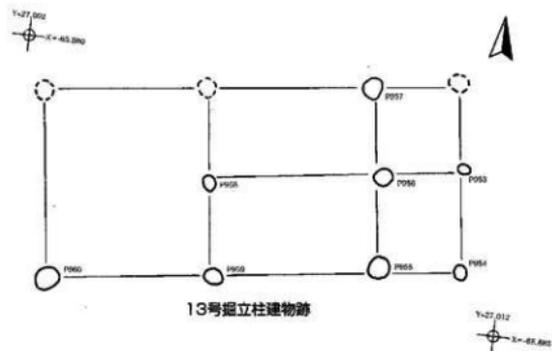
第85图 1~4号独立柱建筑物



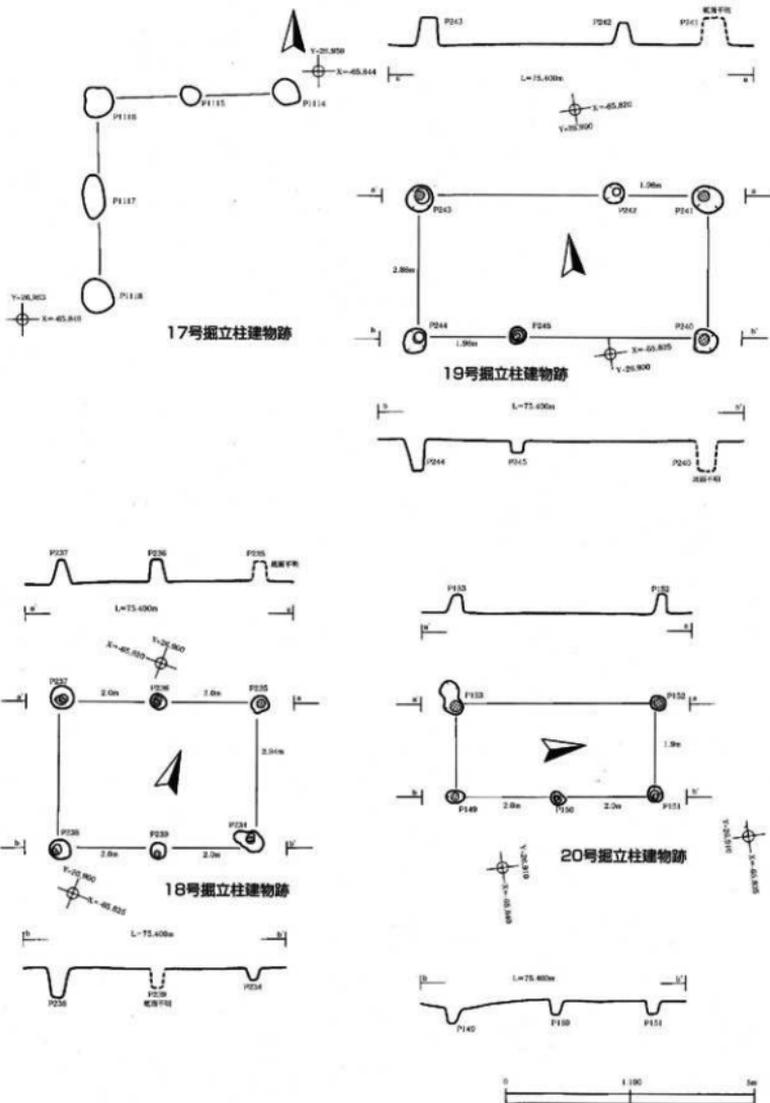
第86图 5~8号掘立柱建物跡



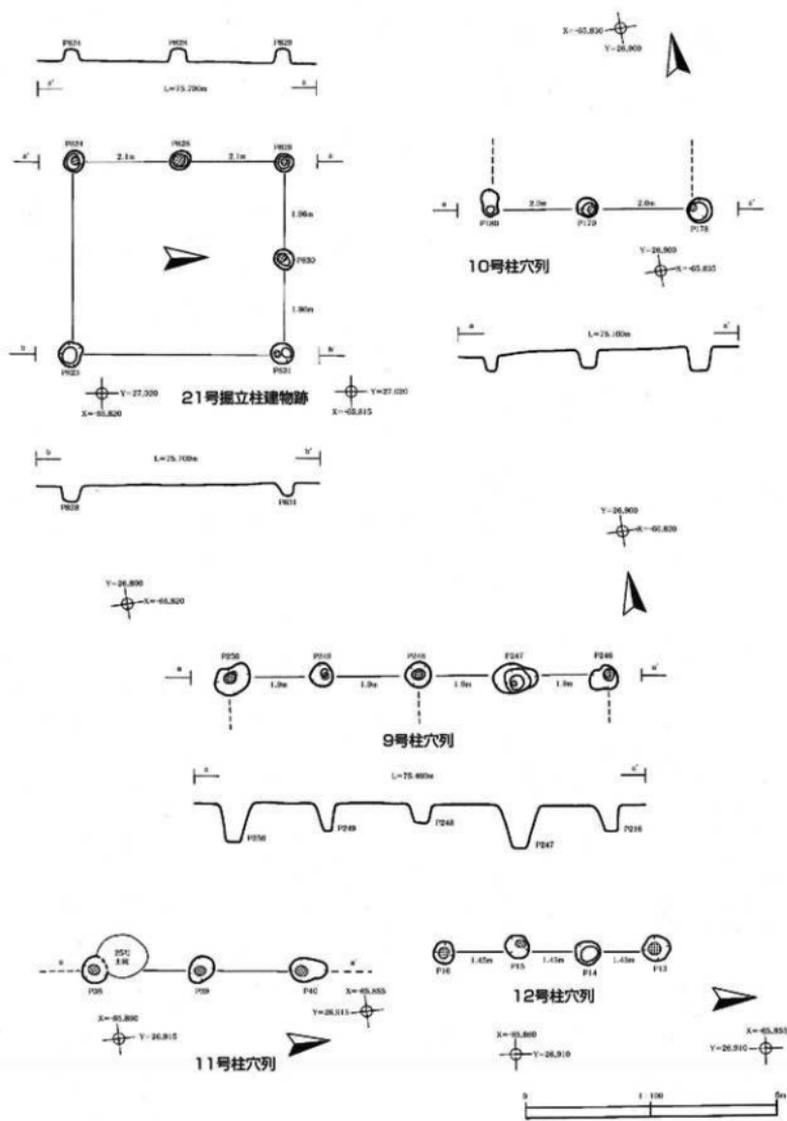
第87图 9~12号独立柱建物跡



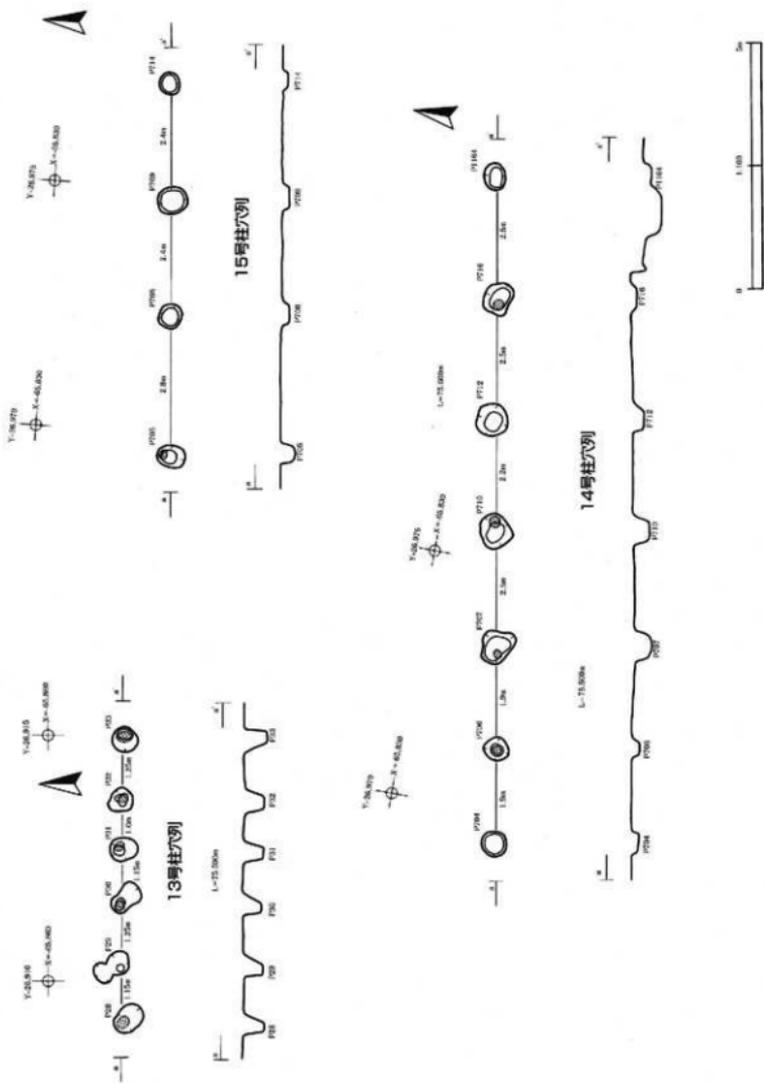
第88图 13~16号独立柱建物跡



第89图 17~20号独立柱建物跡



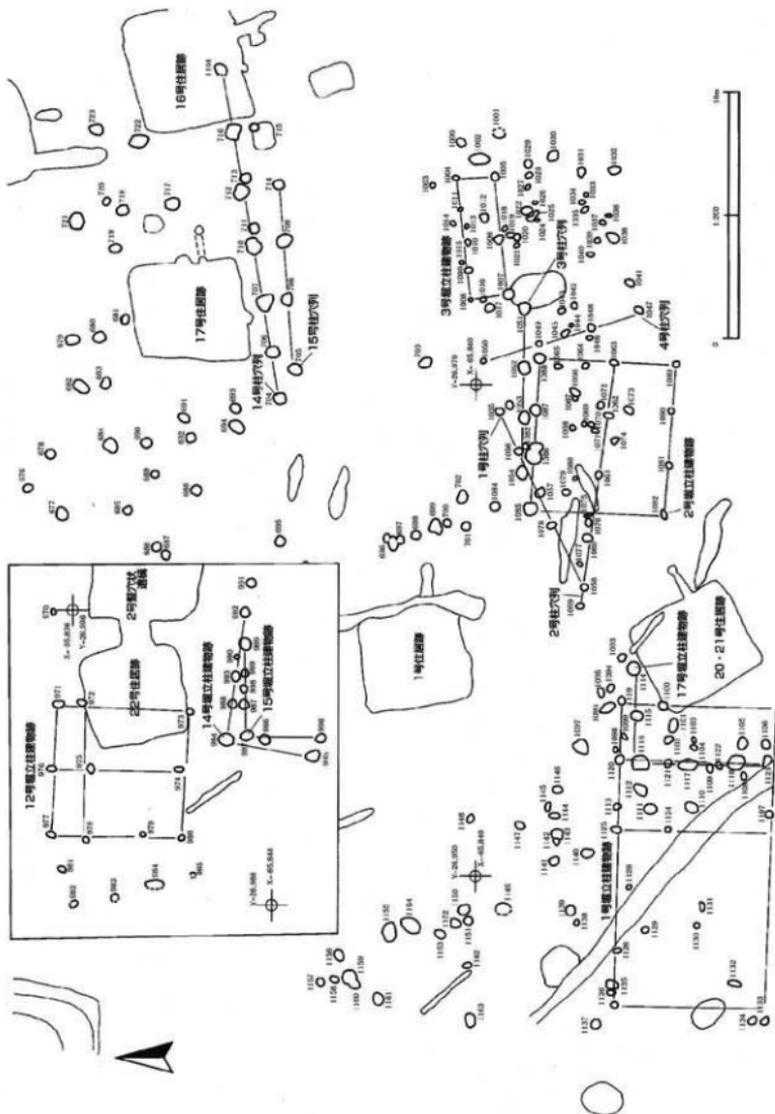
第90图 21号掘立柱建物跡、9~12号柱穴列



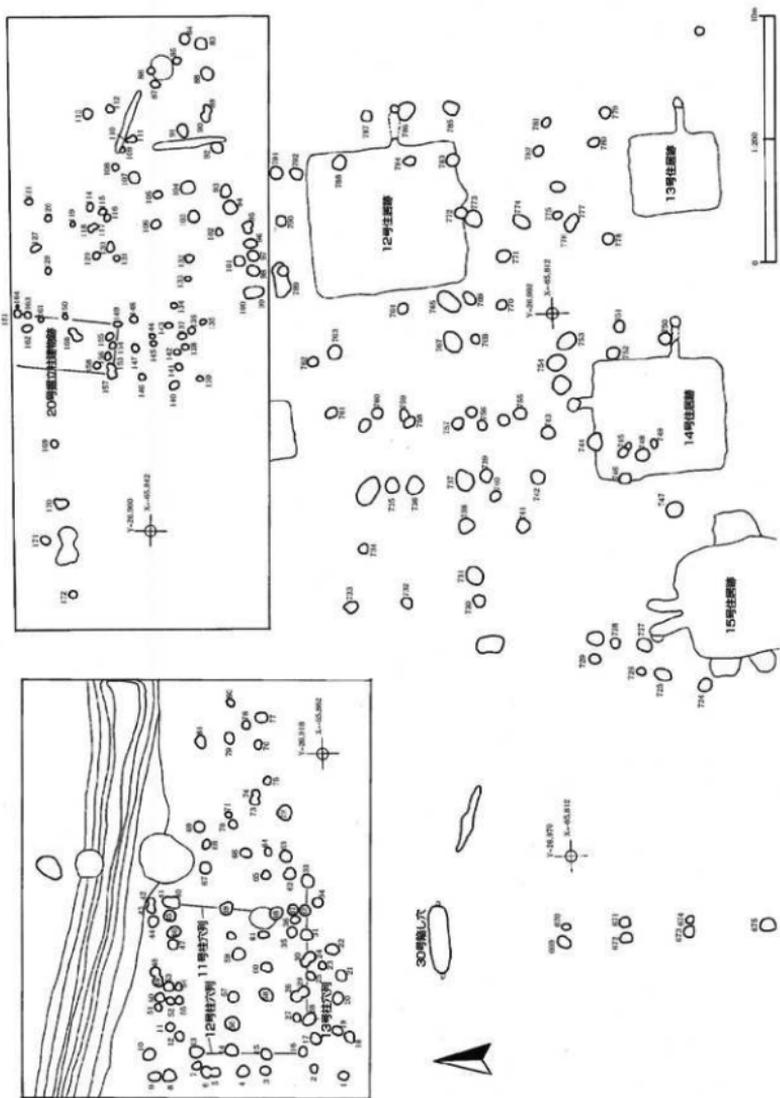
第91图 13~15号柱穴列



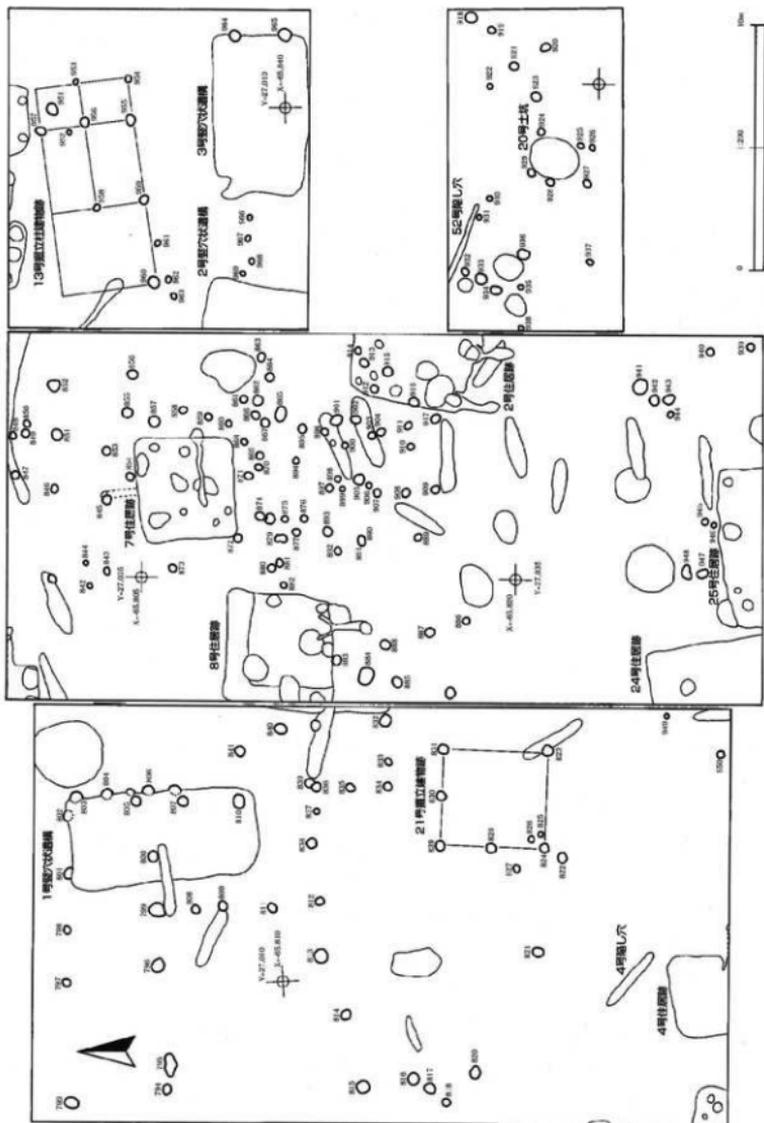
第92图 柱穴列(1)



第93图 柱穴列 (2)



第94图 柱穴列(3)



第95圖 柱穴列(4)

独立柱建物跡・柱穴列観察表

1号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1119	40×28	14	楕円形	
1120	34×32	20	円形	柱痕跡
1121	35×24	29	楕円形	
1122	28×20	15	円形	
1123	32×26	15	楕円形	
1124	20×20	37	円形	グライ化
1125	35×28	23	"	
1126	28×17	23	"	
1127	28×23	30	楕円形	

2号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1085	52×50	34	円形	グライ化・柱痕跡
1086	64×46	40	楕円形	"
1087	48×41	33	"	"
1088	42×40	49	円形	"
1089	36×31	16	"	柱痕跡あり
1090	27×18	10	"	
1091	25×21	12	"	グライ化
1092	32×17	14	楕円形	柱痕跡あり

3号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1004	23×19	10	"	グライ化・柱痕跡
1005	35×26	22	"	グライ化
1006	41×33	20	楕円形	
1007	43×40	25	円形	
1008	18×8	14	楕円形	柱痕跡あり
1009	27×25	12	円形	
1010	30×18	16	楕円形	
1011	20×13	15	"	

4号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
593	34×23	21	"	
594	39×30	34	"	
595	39×32	37	楕円形	
596	36×35	36	円形	柱痕跡あり
597	45×35	45	"	グライ化・柱痕跡
598	34×23	24	"	
599	34×23	36	楕円状	グライ化・柱痕跡
600	36×31	37	"	柱痕跡あり
601	39×35	39	"	
602	42×24	43	"	柱痕跡あり

5号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
430	47×42	31	楕円形	
431	42×40	38	円形	
432	44×42	33	円形	
433	31×26	43	楕円形	
434	29×28	33	円形	
435	52×28	34	"	
436	43×27	39	"	柱痕跡
437	31×27	56	"	柱痕跡
438	37×33	24	楕円形	
439	35×31	33	"	
440	35×25	29	楕円形	柱痕跡
441	39×30	33	"	

6号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
442	28×28	38	円形	
443	32×32	32	"	板取柄(?)
444	42×36	27	楕円形	
445	53×42	54	楕円形	柱痕跡
446	57×44	58	楕円長方形	
447	36×36	38	円形	柱痕跡
448	42×37	56	楕円長方形	
449	19×18	13	円形	

7号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
327	47×40	33	"	
328	47×31	23	楕円形	
329	43×39	31	円形	
330	61×52	38	楕円形	柱痕跡
331	33×33	29	円形	
332	27×25	31	"	
333	38×35	23	円形	
334	79×55	44	楕円形	
335	20×18	12	円形	

8号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
413	31×24	13	楕円形	
414	39×36	29	楕円長方形	
415	46×39	45	"	
416	36×28	39	楕円形	
417	50×50	43	楕円長方形	
418	54×38	40	楕円形	
419	45×31	58	"	

9号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
406	32×27	26	楕円形	
407	27×27	28	"	
408	34×34	39	"	
409	33×21	20	円形	
410	31×22	17	楕円形	
411	34×27	26	"	
412	38×27	13	"	

10号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
357	23×23	16	円形	
358	23×22	11	円形	グライ化
359	23×20	16	楕円形	
360	27×27	38	円形	柱痕跡あり
361	20×17	12	楕円形	
362	22×18	18	"	

11号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
373	33×31	17	円形	
374	31×28	20	"	柱痕跡あり
375	29×25	25	楕円形	
376	31×15	23	(円形?)	一部分調査範囲外
377	39×34	20	"	柱痕跡あり

## 12号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
971	46×25	41	楕円形	土跡露片出し
972	43×22	4	#	
973	28×22	16	#	
974	41×25	31	#	
975	40×27	11	#	
976	34×30	9	#	グライ化
977	48×27	4	#	
978	25×18	6	#	
979	23×20	12	#	
980	26×18	22	#	

## 13号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
953	22×18	15	楕円形	
954	26×23	18	楕円形	
955	40×37	12	円形	
956	37×36	19	円形	
957	37×33	20	楕円形	
958	19×12	11	#	
959	36×30	12	楕円形	グライ化
960	38×36	32	円形	#

## 14号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
992	41×33	28	楕円形	
993	38×38	16	円形	柱痕跡あり
994	54×48	10	楕円形	グライ化
995	58×48	43	#	

## 15号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
996	41×36	17	楕円形	グライ化・柱痕跡
997	50×37	18	#	柱痕跡あり
998	32×30	8	円形	グライ化・柱痕跡
999	43×41	29	楕円形	グライ化

## 16号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
389	77×42	50	隅丸長方形	柱痕跡あり
390	32×23	41	楕円形	#
391	48×40	48	#	#
392	50×44	48	#	#
393	53×38	42	#	#
394	71×41	65	#	#

## 17号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1114	57×46	35	隅丸長方形	グライ化・柱痕跡
1115	43×39	38	円形	礎石(462)あり
1116	77×32	32	隅丸長方形	グライ化
1117	80×42	47	楕円形	グライ化・柱痕跡
1118	68×59	32	隅丸長方形	グライ化

## 18号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
234	62×46	23	小整形	柱痕跡あり
235	36×35	7	円形	#
236	33×28	46	#	#
237	48×44	50	#	#
238	43×41	60	#	#
239	33×30		#	#

## 19号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
240	50×44		不整形	柱痕跡あり
241	61×53		楕円形	#
242	41×35	44	#	
243	53×52	57	円形	柱痕跡あり
244	46×43	67	#	#
245	31×29	27	#	#

## 20号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
149	36×26	28	楕円形	柱痕跡あり
150	26×24	28	円形	#
151	31×27	24	#	#
152	28×25	38	#	#
153	39×32	36	#	#

## 21号独立柱建物跡

P No.	開口径	深さ	形状	備考
823	48×46	27	楕円形	柱痕跡あり
824	40×39	20	円形	#
828	38×33	21	#	#
829	36×36	26	#	#
830	41×38	24	#	#
831	43×36	28	#	#

## 1号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1055	36×30	27	楕円形	柱痕跡あり
1056	32×24	27	#	
1057	41×32	38	#	土師器片出土
1058	27×33	23	#	

## 2号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1059	38×24	26	楕円形	土師器片出土
1060	34×30	26	#	柱痕跡あり
1061	38×32	21	#	#
1062	41×28	24	#	#
1063	36×25	41	#	

## 3号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1051	55×38	22	楕円形	
1052	50×24	21	#	
1053	53×50	65	円形	
1054	54×46	32	楕円形円形	

## 4号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
1047	32×30	44	円形	
1048	36×30	21	楕円形	柱痕跡あり
1049	31×21	23	#	
1050	24×24	13	円形	

## 5号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
553	40×27		楕円形	
554	47×31		#	
555	44×21	26	#	柱痕跡あり
556	42×28	7	#	
557	55×33	12	#	

## 6号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
369	34×29	22	楕円形	グライ化・柱痕跡
370	44×38	24	#	柱痕跡あり
371	33×26	20	#	#
372	36×34	22	円形	#

## 7号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
528	42×39	39	円形	柱痕跡あり
529	35×33	33	#	
530	37×23	27	楕円形	
531	25×25	15	円形	

## 8号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
654	47×33	18	楕円形	
655	40×37	13	#	
656	40×31	15	#	
657	38×34	21	#	

## 9号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
246	57×42	49	楕円形	柱痕跡あり
247	91×60	90	不整形	#
248	49×38	38	円形	#
249	46×56	56	#	#
250	28×28	28	不整形	#

## 10号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
178	48×48	51	円形	柱痕跡あり
179	39×38	36	#	#
180	52×27	30	#	

## 11号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
38	52×48		円形	柱痕跡あり
39	58×45	27	楕円形	#
40	52×52	24	円形	#

## 12号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
13	50×48	27	円形	柱痕跡あり
14	49×46	35	#	
15	47×44	31	#	柱痕跡あり
16	43×37	36	楕円形	#

## 13号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
28	61×47	44	楕円形	柱痕跡あり
29	45×43	40	円形	
30	68×36	36	楕円形	柱痕跡あり
31	55×47	41	#	#
32	52×48	37	不整形	
33	49×47	45	円形	#

## 14号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
704	51×48	10	円形	
706	50×46	12	#	柱痕跡あり
707	78×60	35	不整形	#
710	71×64	30	楕円形	#
712	65×61	20	円形	
716	68×52	8	不整形	柱痕跡あり
1164	53×44	18	楕円形	#

## 15号柱穴列

P No.	開口径	深さ	形状	備考
705	54×46	25	楕円形	柱痕跡あり
708	49×46	10	円形	
709	57×54	7	#	
714	46×38	8	#	

柱状状七の歳表

P.No	開口年	深さ	備考
1	32×35	24	
2	32×35	31	
3	43×39	17	
4	48×40	16	
5	47×44	21	
6	48×45	17	
7	41×34	8	
8	55×50	16	
9	50×41	13	
10	57×43	29	
11	40×38	30	
12	43×33	17	
13	59×48	27	12号柱六列
14	48×46	35	
15	47×44	31	
16	48×37	36	
17	48×44	15	
18	50×43	15	
19	50×43	26	
20	47×45	26	
21	46×45	51	
22	58×42	15	
23	39×29	11	
24	68×36	48	
25	36×34	31	
26	40×36	47	
27	32×28	11	
28	67×47	44	13号柱六列
29	45×43	40	
30	57×35	35	
31	52×46	37	
32	49×44	45	
33	49×44	45	
34	42×41	38	
35	40×38	46	
36	40×38	22	
37	46×39	29	
38	52×45	27	
39	58×45	27	
40	50×52	24	
41	38×35	87	
42	35×32	85	
43	40×35	85	
44	48×39	26	
45	48×43	30	
46	53×40	46	
47	50×40	23	
48	47×38	13	
49	47×38	12	
50	41×38	12	

P.No	開口年	深さ	備考
51	32×35	24	
52	32×35	31	
53	47×44	32	
54	34×38	10	
55	38×34	22	
56	57×55	36	
57	41×40	16	
58	50×44	26	
59	46×40	47	
60	41×37	11	
61	41×37	11	
62	46×46	45	
63	45×48	41	
64	34×32	11	
65	33×32	40	
66	42×40	40	
67	42×40	31	
68	34×33	31	
69	39×38	38	
70	44×38	17	
71	31×29	5	
72	61×55	45	
73	42×37	45	
74	32×28	39	
75	36×31	39	
76	37×34	34	
77	50×42	42	
78	39×33	33	
79	40×37	37	
80	29×28	30	
81	25×22	22	
82	33×31	43	
83	38×31	48	
84	47×36	33	
85	29×23	25	
86	35×34	26	
87	41×37	21	
88	54×52	33	
89	35×34	33	
90	38×35	9	
91	59×43	28	
92	44×43	34	
93	58×44	34	
94	58×53	38	
95	53×33	32	
96	53×36	32	
97	51×49	38	
98	40×34	47	
99	36×32	33	
100	82×50	31	

P.No	開口年	深さ	備考
101	45×42	31	
102	42×42	30	
103	57×46	30	
104	38×33	19	
105	50×35	24	
106	47×43	29	
107	31×30	26	
108	28×25	17	
109	28×25	17	
110	28×22	11	
111	31×28	18	
112	35×31	17	
113	48×47	28	
114	32×24	27	
115	33×31	27	
116	31×29	22	
117	29×27	22	
118	25×23	25	
119	25×23	25	
120	37×26	35	
121	37×26	35	
122	44×44	37	
123	54×30	29	
124	35×31	36	
125	34×31	33	
126	28×24	21	
127	38×26	22	
128	25×23	37	
129	29×29	21	
130	40×28	26	
131	26×25	43	
132	38×31	28	
133	30×29	25	
134	30×29	25	
135	31×27	27	
136	36×29	17	
137	31×28	27	
138	28×26	10	
139	25×24	15	
140	41×29	25	
141	30×29	26	
142	30×27	25	
143	27×27	31	
144	27×26	11	
145	24×24	9	
146	32×26	42	
147	40×34	41	
148	30×30	55	
149	38×25	58	20号柱六列
150	23×24	28	

P.No	開口年	深さ	備考
151	31×24	24	
152	31×24	24	
153	30×22	36	
154	31×31	30	
155	48×34	32	
156	35×28	16	
157	41×38	30	
158	30×27	37	
159	41×36	26	
160	36×35	29	
161	26×24	28	
162	41×37	47	
163	31×29	24	
164	18×15	32	
165	45×40	36	
166	27×25	19	
167	40×24	32	
168	32×31	36	
169	64×46	37	
170	64×46	37	
171	39×30	39	
172	37×33	32	
173	46×43	38	
174	37×35	45	
175	28×27	41	
176	33×30	25	
177	33×30	39	
178	48×48	51	10号柱六列
179	39×38	36	
180	52×27	30	
181	35×22	32	
182	33×33	50	
183	35×22	29	
184	35×22	29	
185	51×50	44	
186	30×26	55	
187	34×32	49	
188	24×22	18	
189	27×26	21	
190	38×34	50	
191	40×33	36	
192	36×32	44	
193	30×26	39	
194	49×45	39	
195	37×36	17	
196	47×46	25	
197	38×36	45	
198	35×32	32	
199	32×23	34	
200	45×32	33	

P.No.	開口径	深さ	備考	P.No.	開口径	深さ	備考	P.No.	開口径	深さ	備考
201	65×57	52		251	40×36	43		301	28×27	20	
202	67×54	64		252	46×31	50		302	28×27	19	
203	45×43	59		253	36×25	25		303	34×32	43	
204	33×30	47		254	41×31	31		304	40×39	40	
205	68×69	87		255	40×35	29		305	40×36		
206	47×40	82		256	76×52	29		306	40×37		
207				257	51×40	50		307	40×37		
208	54×52	95		258	44×40	50		308	28×20		
209	44×40	86		259	44×27	33		309	30×24		
210	37×35	50		260	33×30	15		310	50×24		
211	44×42	44		261	53×40	56		311	34×20		
212	37×35	50		262	59×42	35		312	48×32		
213	37×35	50		263	42×41	21		313	39×32		
214	61×41	40		264	46×40	50		314	24×14		
215	42×39	74		265	71×46	45		315	30×28		
216	38×37			266	38×37	15		316	22×18		
217	34×34	54		267	31×31			317	21×18		
218	54×32	45		268	59×56	52		318	29×18		
219	52×45	43		269	50×49	64		319	17×16		
220	47×43	31		270	36×35	68		320	21×16		
221	40×36	43		271	47×44	48		321	28×22		
222	72×38	37		272	38×40	45		322	21×36		
223	28×28	24		273		52		323	40×30		
224	51×48	51		274	36×35	72		324	40×30		
225	35×31	40		275	43×41	59		325	23×20		
226	58×52	65		276	43×41	59		326	42×29		
227	41×36	41		277	41×37	49		327	47×40	33	7分埋管
228	48×46	52		278	54×51	79		328	47×31	23	
229				279	51×43	43		329	43×39	31	
230	33×30	46		280	34×33	36		330	61×52	38	
231	28×27	49		281	73×61	63		331	33×33	29	
232				282	43×34	48		332	27×25	31	
233	62×46	23	18分埋管	283	58×37	52		333	38×35	23	
234	36×35	7		284	56×42	69		334	79×55	44	
235	36×35	7		285	50×42	44		335	20×18	12	
236	33×28	46		286	35×30	32		336	38×20		
237	48×44	60		287	47×37	35		337	40×30		
238	43×41	60		288	59×40	13		338	39×26		
239	35×30			289	28×22	52		339	38×26		
240	50×44			290	38×36	39		340	24×17		
241	61×53			291	38×36	39		341	20×15		
242	51×35	57		292	48×30	39		342	24×16		
243	38×43	67		293	28×25	38		343	23×17		
244	31×29	27		294	32×24	42		344	46×34		
245	57×42	49	9分埋管	295	26×23	36		345	55×32	30	345上埋管
246	57×42	49	9分埋管	296	28×25	36		346	46×34		
247	91×60	90		297	27×27	44		347	22×12		
248	49×49	58		298	45×44	58		348	33×22		
249	46×44	56		299	37×30	41		349	28×17		
250	78×52	78		300	28×26	13		350	35×20		
351	48×34	23									
352	40×23	20									
353	28×22	20									
354	34×24										
355	33×24										
356	26×23										
357	23×22										
358	23×22										
359	27×27										
360	20×17										
361	22×18										
362	22×18										
363	30×28										
364	30×28										
365	26×17	50	16分埋管								
366	30×25	41									
367	65×47	48									
368	35×23	45									
369	41×39	62									
370	41×39	62									
371	33×26	65									
372	36×34										
373	33×31										
374	31×28										
375	29×25										
376	31×15										
377	39×34										
378	30×25										
379	23×23										
380	70×26										
381	31×29										
382	21×18										
383	28×18										
384	31×24										
385	38×24										
386	77×42										
387	28×20										
388	20×17										
389	32×23										
390	48×40										
391	50×44										
392	50×44										
393	53×48										
394	71×44										
395	30×14										
396	30×30										
397	50×26										
398	18×16										
399	50×37										
400	37×35										

P.No.	開口径	深さ	備考
400	28×27	31	
401	45×40	30	
402	55×40	30	
403	60×48	31	
404	65×48	30	
405	68×40	30	
406	72×27	26	9号建物群
407	80×19	28	"
408	84×34	39	"
409	85×21	20	"
410	81×22	17	"
411	84×27	26	"
412	81×24	13	"
413	89×26	26	5号建物群
414	93×30	13	"
415	96×39	45	"
416	96×28	39	"
417	90×40	43	"
418	64×38	40	"
419	45×31	58	"
420	41×34	58	"
421	33×22	42	"
422	28×26	36	"
423	27×20	40	"
424	37×18	24	"
425	30×24	24	"
426	22×28	24	"
427	25×29	24	"
428	25×29	24	"
429	25×17	24	"
430	47×42	31	5号建物群
431	42×40	38	"
432	44×42	33	"
433	31×26	43	"
434	29×28	33	"
435	52×28	34	"
436	43×27	39	"
437	31×27	56	"
438	37×33	24	"
439	35×31	33	"
440	35×25	29	"
441	39×30	39	6号建物群
442	25×28	36	"
443	25×32	32	"
444	25×32	32	"
445	53×42	54	"
446	57×44	58	"
447	36×36	38	"
448	42×37	56	"
449	19×18	13	"
450	38×32	37	"

P.No.	開口径	深さ	備考
451	28×27	31	
452	45×40	30	
453	60×48	31	
454	65×48	30	
455	68×40	30	
456	72×27	26	
457	80×19	28	
458	84×34	39	
459	85×21	20	
460	81×22	17	
461	84×27	26	
462	81×24	13	
463	89×26	26	
464	93×30	13	
465	96×39	45	
466	96×28	39	
467	90×40	43	
468	64×38	40	
469	31×21	58	
470	37×28	28	
471	76×53	37	
472	32×30	30	
473	32×16	29	
474	30×22	27	
475	40×26	26	
476	50×50	50	
477	28×22	22	
478	50×50	50	
479	30×25	25	
480	30×18	18	
481	38×18	18	
482	36×33	33	
483	50×46	46	
484	30×26	26	
485	23×13	13	
486	22×14	14	
487	40×37	37	
488	64×48	48	
489	40×32	32	
490	25×25	25	
491	33×30	30	
492	69×40	40	
493	30×23	23	
494	38×33	33	
495	43×29	29	
496	25×15	15	
497	25×15	15	
498	28×23	23	
499	31×23	23	
500	30×20	20	

P.No.	開口径	深さ	備考
501	28×27	31	
502	45×40	30	
503	60×48	31	
504	65×48	30	
505	40×32	19	
506	60×52	24	
507	40×27	24	
508	28×20	26	
509	30×24	17	
510	50×24	11	
511	34×20	18	
512	46×32	17	
513	38×32	28	
514	24×14	27	
515	30×28	27	
516	23×18	31	
517	24×18	22	
518	24×18	20	
519	24×18	20	
520	21×18	28	
521	25×22	35	
522	37×36	37	
523	23×16	29	
524	40×32	36	
525	25×20	33	
526	42×29	24	
527	47×40	22	
528	47×31	37	
529	43×39	21	
530	51×52	26	
531	35×33	43	
532	27×25	28	
533	20×25	25	
534	20×16	16	
535	38×20	17	
536	40×30	27	
539	38×22	15	
540	24×17	25	
541	20×15	26	
542	24×16	25	
543	23×17	31	
544	46×34	11	
545	58×32	9	
546	46×34	42	
547	22×12	41	
548	33×22	15	
549	35×22	28	
550	35×30	28	

P.No.	開口径	深さ	備考
151	45×34		
152	40×33		
153	53×52		5号柱穴
154	57×54		"
155	56×23	26	"
156	26×23	7	"
157	23×23	12	"
158	23×20		
159	23×20		
160	27×27		
161	20×17		
162	22×18		
163	30×28		
164	50×23		
165	26×17		
166	30×25		
167	65×47		
168	35×23		
169	34×28		
170	34×28		
171	38×36		
172	38×34		
173	33×34		
174	31×28		
175	29×25		
176	31×15		
177	39×34		
178	30×25		
179	23×23		
180	70×26		
181	31×29		
182	21×18		
183	25×18		
184	31×28		
185	58×40		
186	38×24		
187	38×24		
188	20×17		
189	77×42		
190	32×23		
191	48×40		
192	53×44		p502に引かれる
193	53×38	21	4号建物群
194	71×41	34	"
195	30×14	37	"
196	30×30	36	"
197	50×26	45	"
198	18×16	24	"
199	59×37	36	"
200	37×33	37	"

P.No	開口径	深さ	鋼管
601	39×35	39	4号埋設管
602	42×24	43	"
603	23×20		"
604	33×24		"
605	26×15	18	8号井穴
606	55×42	12	"
607	23×15	15	"
608	31×22	21	"
609	30×23		"
610	40×18		"
611	26×20		"
612	26×20		"
613	45×27		"
614	48×38		"
615	31×22		"
616	32×22		"
617	35×26		"
618	30×30		"
619	76×32		"
620	52×37		"
621	35×30		"
622	35×33		"
623	40×30		"
624	42×25		"
625	23×17		"
626	38×30		"
627	30×24		"
628	38×30		"
629	22×18		"
630	46×42		"
631	28×30		"
632	38×30		"
633	50×32		"
634	26×20		"
635	33×23		"
636	30×26		"
637	33×20		"
638	26×20		"
639	35×26		"
640	36×27		"
641	24×20		"
642	24×40		"
643	42×33		"
644	42×26		"
645	52×30		"
646	55×43		"
647	45×40		"
648	34×34		"
649	40×32		"
650	48×38		"

P.No	開口径	深さ	鋼管
651	37×24		"
652	38×28		"
653	23×18		"
654	47×32	18	8号井穴
655	40×31	12	"
656	40×31	15	"
657	31×22	21	"
658	46×37		"
659	30×20		"
660	30×30		"
661	28×25		"
662	30×23		"
663	46×28		"
664	30×25		"
665	30×19		"
666	33×26		"
667	46×28		"
668	34×30		"
669	53×44	20	"
670	33×31	11	"
671	43×42	39	"
672	50×46	43	"
673	40×38	24	"
674	59×52	30	"
675	44×39	20	"
676	51×49	32	"
677	39×37	18	"
678	54×33	24	"
679	58×54	19	"
680	42×33	37	"
681	42×33	37	"
682	72×45	30	"
683	45×39	16	"
684	66×59	32	"
685	40×38	16	"
686	40×38	43	"
687	40×40	22	"
688	30×33	25	"
689	39×38	19	"
690	49×37	14	"
691	41×41	9	"
692	41×40	17	"
693	41×41	9	"
694	62×46	12	"
695	41×41	8	"
696	49×40	38	"
697	35×32	29	"
698	38×35	42	"
699	68×65	38	"
700	44×36	30	"

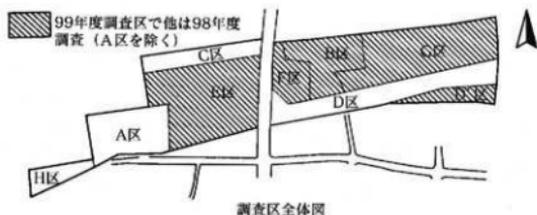
P.No	開口径	深さ	鋼管
701	37×32	38	"
702	45×34	15	"
703	52×48		"
704	52×48	10	14号井穴
705	54×46	25	15号井穴
706	50×46	12	14号井穴
707	48×60	35	"
708	49×46	10	15号井穴
709	57×54	7	"
710	71×64	30	14号井穴
711	52×47	20	"
712	65×61	20	14号井穴
713	44×41	46	"
714	46×38	8	15号井穴
715	35×35	40	"
716	68×52	8	14号井穴
717	63×53	33	"
718	49×45	19	"
719	35×38	26	"
720	64×51	47	"
721	71×52	55	"
722	60×51	34	"
723	58×54	28	"
724	71×51	9	"
725	37×35	10	"
726	58×53	10	"
727	43×40	12	"
728	43×42	14	"
729	43×42	14	"
730	47×46	7	"
731	78×71	9	"
732	53×45	16	"
733	63×51	6	"
734	40×37	8	"
735	63×50	8	"
736	91×62	14	"
737	63×60	8	"
738	54×52	11	"
739	46×38	8	"
740	57×52	10	"
741	56×52	10	"
742	60×51	32	"
743	69×58	38	"
744	33×30	19	"
745	48×48	53	"
746	67×63	22	"
747	54×51	10	"
748	49×27	6	"
749	51×47	20	"
750	51×47	20	"

P.No	開口径	深さ	鋼管
751	54×54	14	"
752	81×62	13	"
753	50×45	8	"
754	38×36	8	"
755	52×46	5	"
756	42×42	11	"
757	53×43	10	"
758	48×44	11	"
759	53×43	10	"
760	60×56	20	"
761	43×38	12	"
762	38×31	38	"
763	43×39	30	"
764	58×35	34	"
765	47×45	35	"
766	74×62	25	"
767	75×50	16	"
768	43×42	30	"
769	44×39	10	"
770	44×39	10	"
771	55×47	20	"
772	47×45	35	"
773	74×62	25	"
774	75×50	16	"
775	43×42	30	"
776	44×39	10	"
777	34×7	7	"
778	48×43	21	"
779	48×44	22	"
780	48×42	9	"
781	43×37	9	"
782	52×40	20	"
783	52×46	27	"
784	52×46	27	"
785	73×60	24	"
786	73×60	24	"
787	40×40	46	"
788	70×53	24	"
789	45×40	33	"
790	43×41	22	"
791	52×50	46	"
792	58×51	25	"
793	52×41	41	"
794	39×34	28	"
795	95×51	38	"
796	99×56	50	"
797	33×32	36	"
798	65×58	46	"
799	61×46	29	"

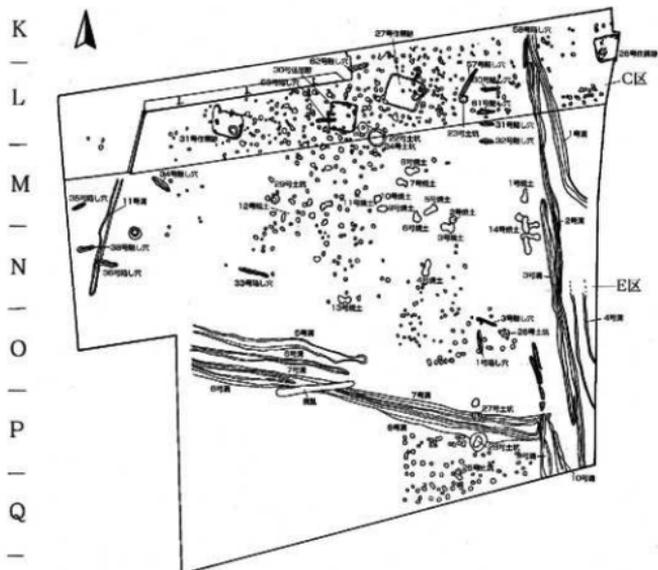
P.No.	開口徑	鋼車	備註	鋼車	開口徑	鋼車	備註	P.No.	開口徑	鋼車	備註
800	44×30	31	1号鋼次七重鋼	40	45×30	40		851	45×30	40	
802	40×30	26	"	40	51×43	66		852	33×19	40	
803	56×30	48	"	853	36×33	66		853	35×33	32	13号鋼車
804	51×30	22	"	854	40×36	39		904	35×35	18	"
805	48×38	30		855	39×38	43		905	49×42	44	"
806	50×30	31	1号鋼次七重鋼	856	38×38	42		906	24×24	40	"
807	44×38	18		857	49×46	70		907	32×30	57	"
808	33×29	22		858	30×27	36		908	37×31	36	"
809	40×36	14		859	32×31	42		909	37×37	39	"
810	59×45	27		860	26×23	35		910	30×29	31	"
811	38×34	27		861	37×32	58		911	34×32	32	"
812	34×32	22		862	42×40	47		912	33×33		
813	40×37	23		863	42×39			913	32×28	28	"
814	40×37	23		864	37×34			914	27×23	19	"
815	51×46	27		865	38×31	45		915	39×38		
816	50×49	27		866	39×31			916	41×32	38	"
817	40×40	14		867	37×35	42		917	42×41	6	"
818	41×38	3		868	30×28	54		918	27×24	33	"
819	41×38	3		869	35×34	57		919	21×24	44	"
820	41×44	5		870	35×34	33		920	40×32	44	"
821	39×38	25		871	31×29	60		921	33×30	15	"
822	34×34	24		872	36×32	33		922	24×22	15	"
823	48×46	27	21号鋼車	873	32×23	48		923	41×37	42	"
824	40×39	20	"	874	39×37	38		924	29×27	22	"
825	27×26	19		875	31×30	38		925	28×24	5	"
826	29×30	22		876	26×23	37		926	26×25	17	"
827	36×36	26		877	29×24	35		927	31×30		
828	36×36	26		878	35×34	26		928	36×36	26	"
829	36×36	26	2号鋼車	879	35×30	50		929	41×33	34	"
830	41×38	24	"	880	38×30	37		930	19×19	9	"
831	41×38	24	"	881	38×30	37		931	23×15	10	"
832	55×43	35		882	25×21	25		932	22×24	5	"
833	35×31	24		883	39×36	10		933	30×31	24	"
834	37×35	30		884	35×31	30		934	20×17	21	"
835	37×36	42		885	35×34	14		935	20×17	21	"
836	39×38	48		886	32×31	22		936	41×41	29	"
837	31×29	14		887	43×39	47		937	22×21	18	"
838	43×41	22		888	40×36	20		938	32×28	44	"
839	43×42	22		889	25×25	37		939	35×30	30	"
840	50×46	30		890	22×22	16	1989上重鋼	940	28×26		
841	43×42	33		891	27×27	17	1989上重鋼	941	62×66		
842	33×21	35		892	34×35	18		942	42×40		
843	32×30	27		893	40×35	33		943	50×40		
844	38×30	34		894	26×26	26		944	28×20	10	"
845	38×34	25		895	35×34	26		945	33×27		
846	34×32	35		896	33×31	26		946	22×17		
847	33×31	58		897	31×29	31		947	45×33		
848	42×38	59		898	29×27	31		948	21×19		
849	66×58	52		899	24×20	24		949	21×19		
850	38×36	7		900	32×30	33		950	32×27		

P.No.	開口徑	鋼車	備註	P.No.	開口徑	鋼車	備註
951	60×48			971	48×20	41	1号鋼車
952	21×20			972	46×26	22	"
953	26×26			973	28×22	16	"
954	26×26			974	41×25	31	"
955	40×37			975	40×27	11	"
956	37×36			976	34×30	9	"
957	37×33			977	43×22	4	"
958	19×12			978	25×18	6	"
959	36×30			979	23×20	12	"
960	38×36			981	38×25	4	"
961	24×23			982	25×25		
962	27×23			983	20×20		
963	28×13			984	28×31		
964	56×53			985	20×11		
965	50×41			987	45×35		
966	28×18			988	40×30		
967	20×14			989	45×28		
968	38×12			990	20×20		
969	38×12			991	40×38		
970	26×12			992	41×33	28	14号鋼車
971	48×20			993	38×38	16	"
972	46×26			994	54×48	10	"
973	28×22			995	58×48	43	"
974	41×25			996	41×36	17	15号鋼車
975	40×27			997	50×37	18	"
976	34×30			998	35×30	8	"
977	43×22			999	43×41	29	"
978	25×18			1000	33×24		
979	23×20						
980	28×18						
981	38×25						
982	25×25						
983	20×20						
984	28×31						
985	20×11						
987	45×35						
988	40×30						
989	45×28						
990	20×20						
991	40×38						
992	41×33						
993	38×38						
994	54×48						
995	58×48						
996	41×36						
997	50×37						
998	35×30						
999	43×41						
1000	33×24						

P No	開口径	深さ	備考	P No	開口径	深さ	備考	P No	開口径	深さ	備考	P No	開口径	深さ	備考
1001	51×23	22	3号柱穴	1051	55×35	22		1101	65×33			1151	42×24	24	
1002	42×46	21		1052	50×24	21		1102	35×25			1152	42×24	24	
1003	25×21	10	3号建物跡	1053	24×50	65		1103	24×22			1153	52×33		
1004	24×19	10		1054	54×45	37	1号柱穴	1104	43×35			1154	50×58		
1005	35×26	22		1055	36×22	27		1105	37×32			1155	78×53		
1006	41×30	20		1056	41×32	35		1106	30×24			1156	52×40		
1007	18×8	14		1057	27×22	27		1107	38×27			1157	34×25		
1008	27×25	12		1058	41×25	23		1108	30×24			1158	33×30		
1009	20×13	16		1059	37×24	26	2号柱穴	1109	33×23			1159	64×54		1180上層
1010	30×13	15		1060	34×30	26		1110	50×35			1160	41×32		1159上層
1011	20×13	15		1061	38×32	21		1111	48×40			1161	50×42		
1012	36×24	12		1062	41×28	24		1112	62×32			1162	34×33		
1013	20×12	12		1063	36×25	41		1113	57×41			1163	38×39		
1014	26×14	14		1064	35×18	41		1114	27×21			1164	53×44		8 14号柱穴
1015	18×18	18		1065	30×18	18		1115	43×39	35	1号建物跡				
1016	32×23	23		1066	48×24	23		1116	47×32	32					
1017	36×35	37		1067	34×20	37		1117	69×45	35					
1018	39×18	18		1068	23×20	18		1118	68×45	35					
1019	32×24	24		1069	25×25	25		1119	40×28	14	1号建物跡				
1020	38×21	21		1070	25×25	25		1120	34×32	20					
1021	40×23	23		1071	50×27	27		1121	35×24	29					
1022	40×33	33		1072	25×21	21		1122	28×20	15					
1023	42×23	23		1073	42×30	30		1123	32×26	15					
1024	22×18	18		1074	33×25	25		1124	20×23	37					
1025	26×20	20		1075	40×10	10		1125	35×28	23					
1026	20×15	15		1076	30×23	23		1126	28×23	23					
1027	23×20	20		1077	23×14	14		1127	21×15	30					
1028	27×22	22		1078	35×23	23		1128	26×21	30					
1029	42×40	40		1079	30×27	27		1129	21×20						
1030	43×40	40		1080	23×13	13		1130	40×17						
1031	54×42	42		1081	43×40	40		1131	31×25						
1032	24×20	20		1082	25×23	23		1132	45×20						
1033	30×25	25		1083	35×25	25		1133	45×20						
1034	38×22	22		1084	30×19	19		1134	50×35						
1035	31×10	10		1085	52×50	34	2号柱穴	1135	41×20						
1036	31×10	10		1086	64×46	40		1136	42×20						
1037	50×42	42		1087	48×41	33		1137	42×41						
1038	50×42	42		1088	42×40	49		1138	30×27						
1039	28×24	24		1089	36×31	16		1139	37×37						
1040	28×25	25		1090	27×18	10		1140	43×35						
1041	36×28	28		1091	25×11	12		1141	38×30						
1042	30×25	25		1092	32×17	14		1142	30×30						
1043	28×23	23		1093	32×22	22		1143	50×40						
1044	17×14	14		1094	35×26	26		1144	46×25						
1045	40×22	22		1095	40×21	21		1145	43×28						
1046	27×15	15		1096	63×33	33		1146	40×25						
1047	32×30	30	4号柱穴	1097	39×25	25		1147	38×23						
1048	38×30	30		1098	32×13	13		1148	63×60						
1049	21×21	21		1099	52×43	43		1149	63×60						
1050	24×24	24		1100	43×28	28		1150	50×34						



Y=26,863.000  
X=45,759.000 + 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 + Y=25,940.000  
X=46,780.000



(※H区からは遺構は検出されなかった。)

第96図 遺構配置図 <調査区西側>





第97図 遺構配置図〈調査区東側〉

## V. 遺構外出土遺物

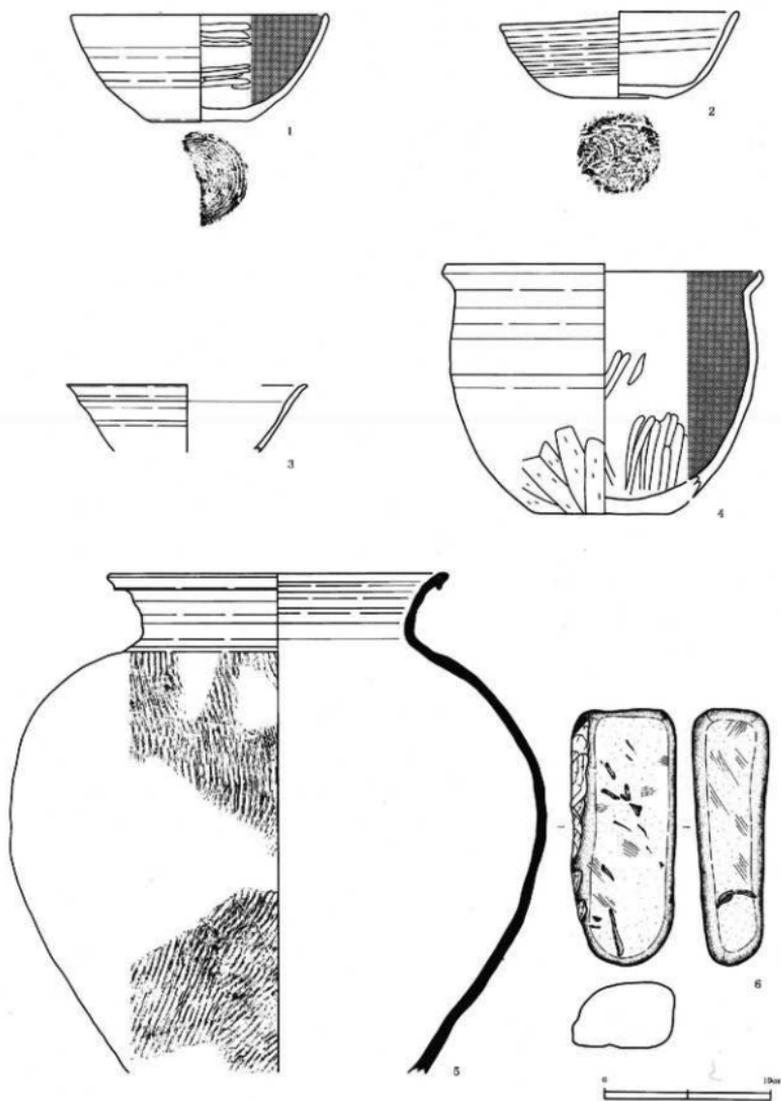
遺構外から出土遺物は土師器、須恵器、鉄製品、石器などである。このうち土器類の出土量は大コンテナで1箱と遺跡全体から見た出土量としては少ない。これらはいずれも遺構検出時や遺構周辺からの出土で本来は遺構の覆土に伴うものであったと考えられる。また1個体となるものはなく、いずれも破片であったため不掲載遺物として扱った。

### ・石器

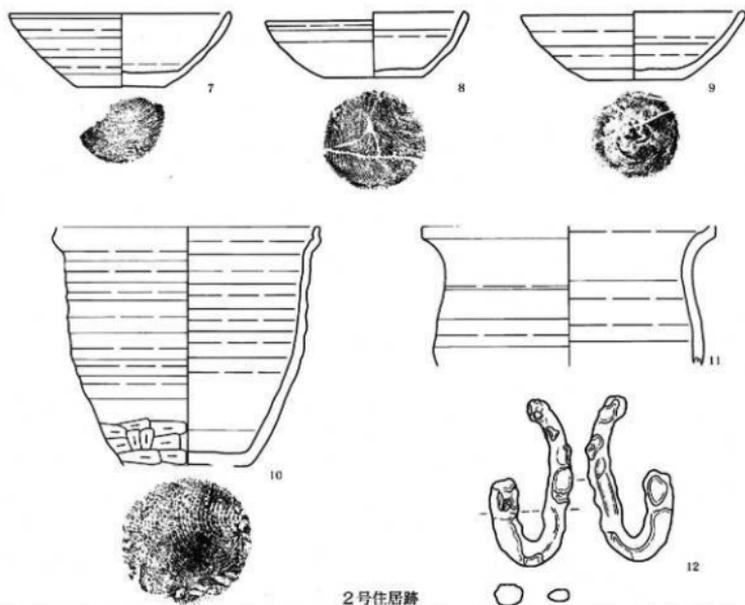
460、461は砥石で460は17号掘立柱建物跡付近、461はH区の第II層から出土した。462は円石で10M区の第I層から出土した。463は石錐で20Lの第III層から出土した。

### ・鉄製品

477～482は出土地点不明の鉄製品である。477は古銭で寛永通宝、480は雁又鍔の先端部と思われる。481は釘である。

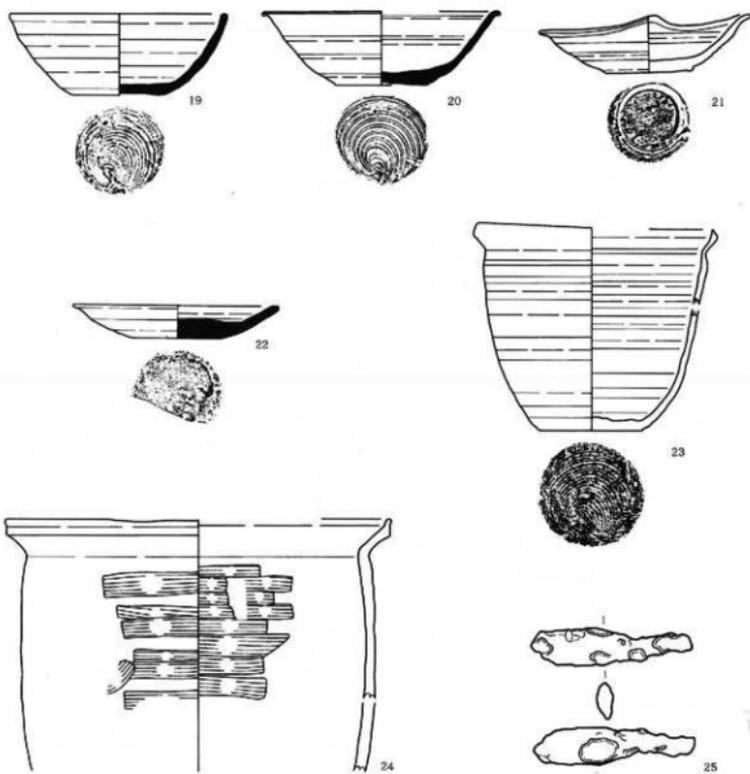


第98圖 住居内出土遺物 (1)

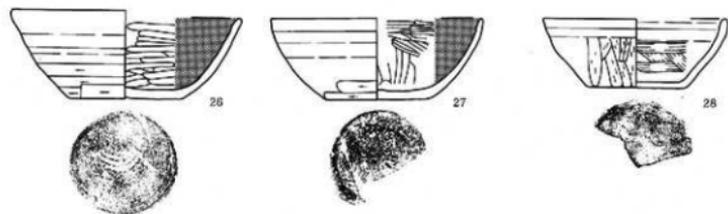


第99圖 住居内出土遺物(2)





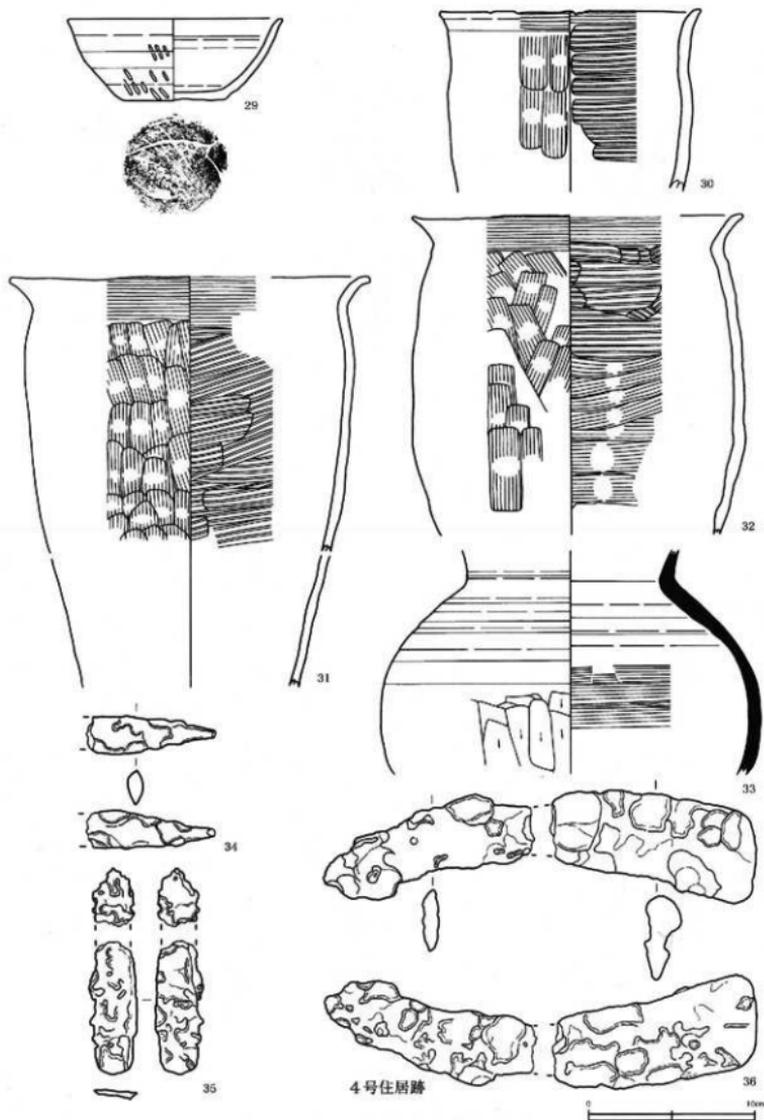
3号住居跡



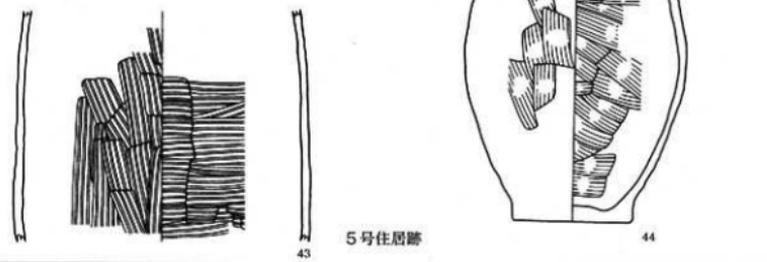
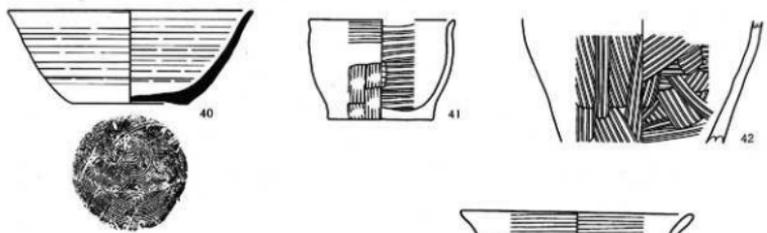
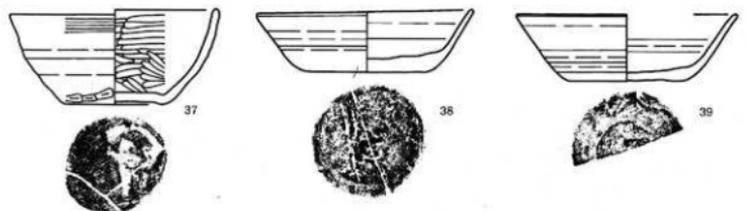
4号住居跡

第100図 住居内出土遺物(3)

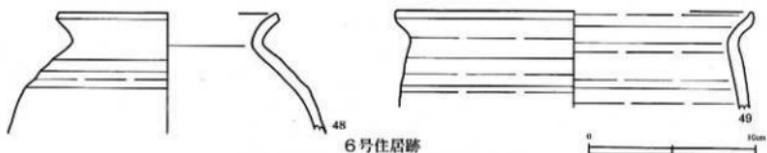




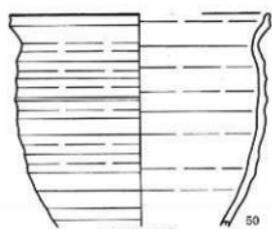
第101圖 住居内出土遺物(4)



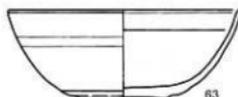
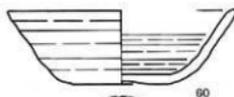
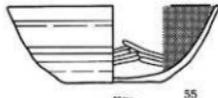
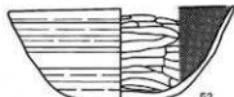
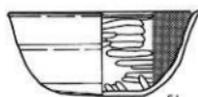
5号住居跡



6号住居跡  
第102図 住居内出土遺物(5)



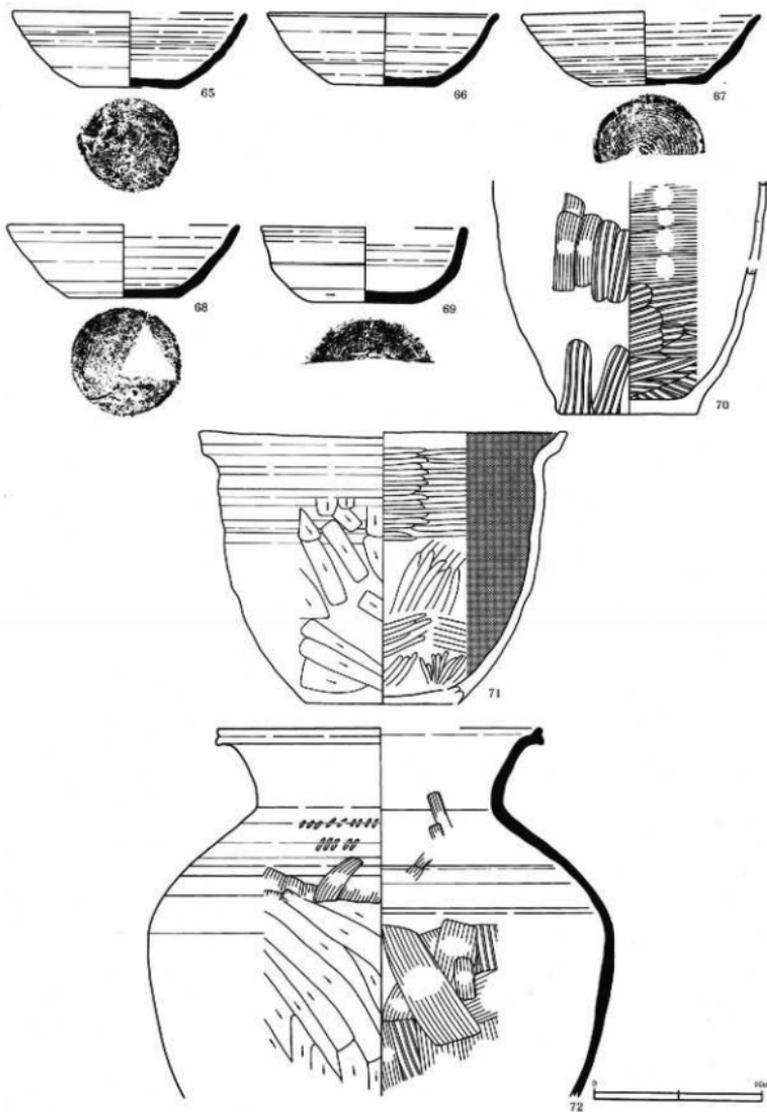
6号住居跡



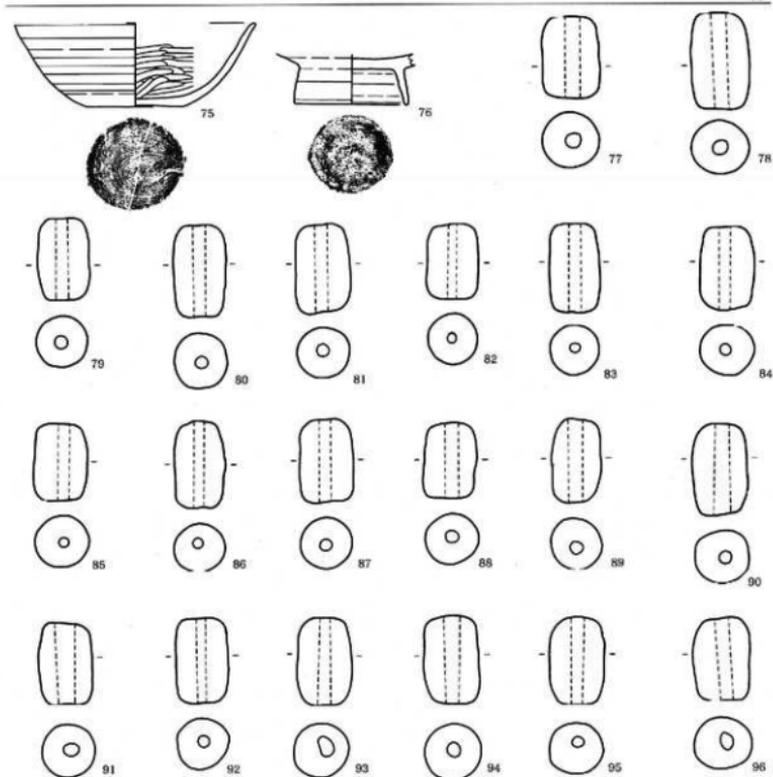
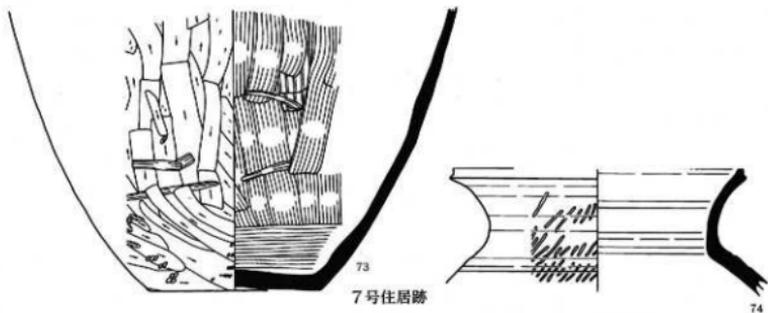
7号住居跡



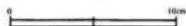
第103図 住居内出土遺物(6)

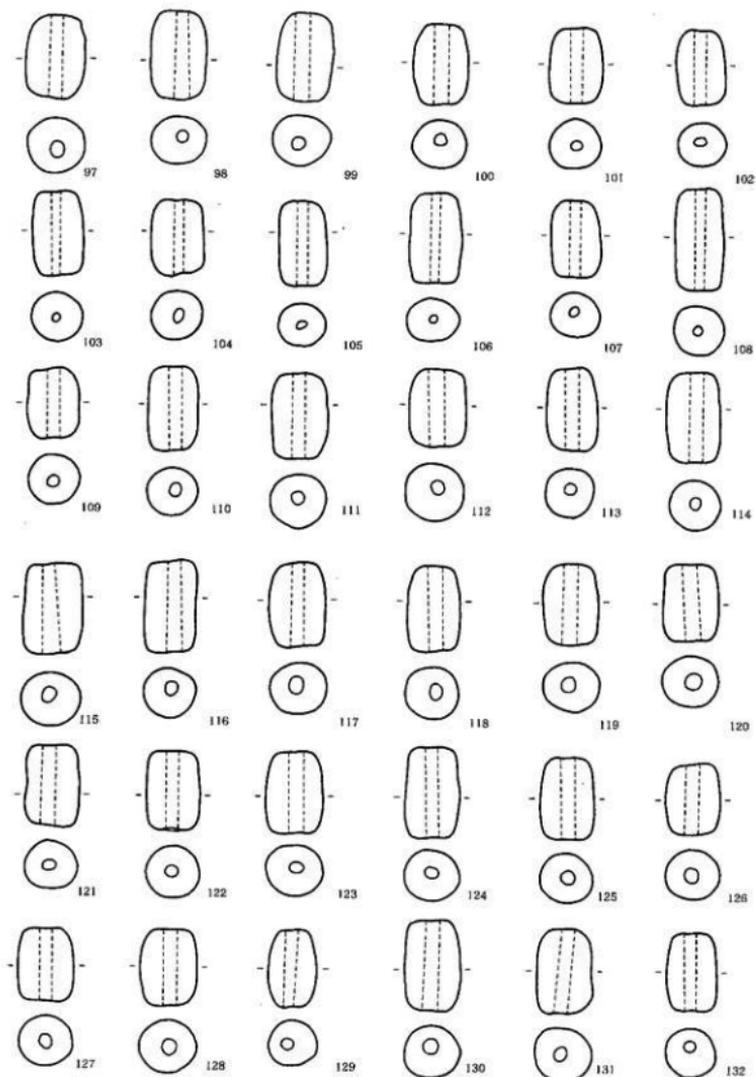


第104圖 住居内出土遺物(7)



8号住居跡  
住居内出土遺物 (8)

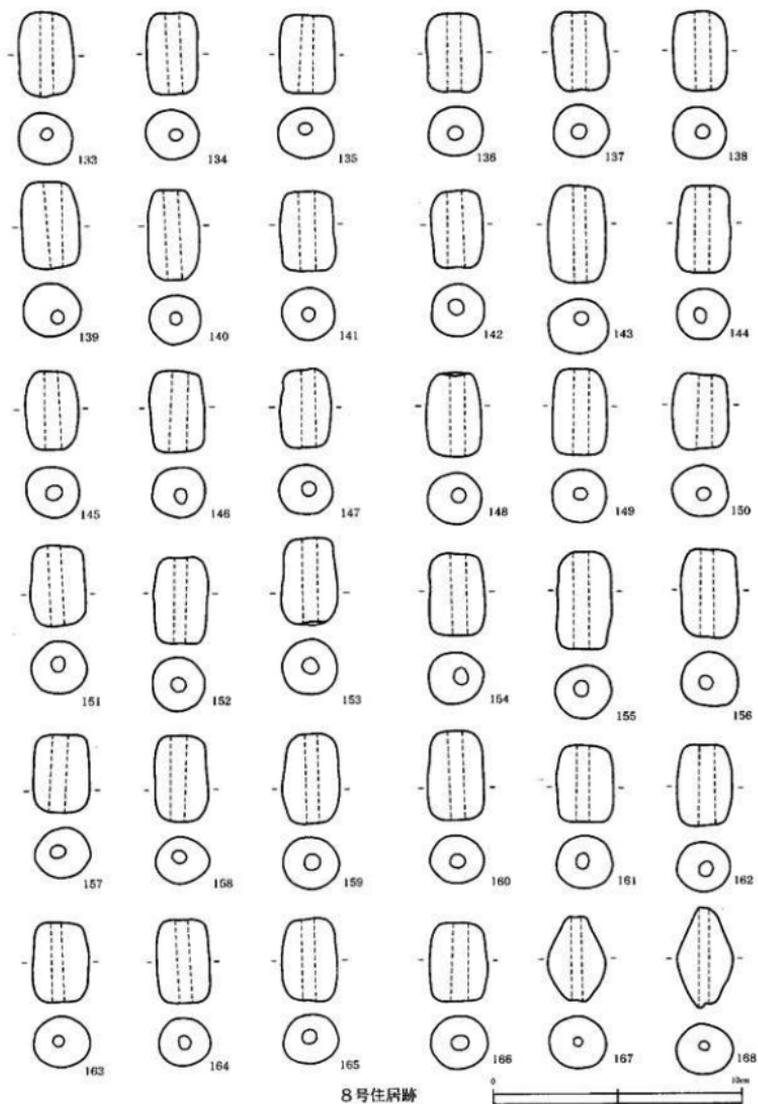




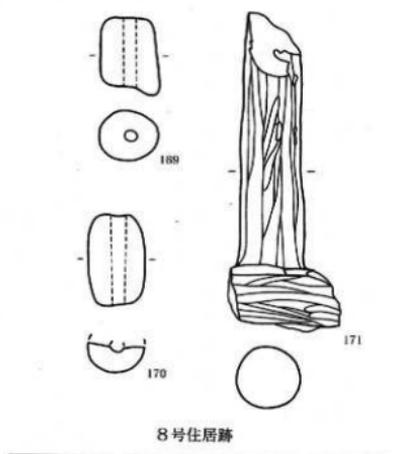
8号住居跡



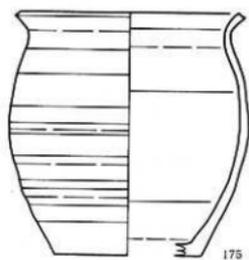
第106図 住居内出土遺物(9)



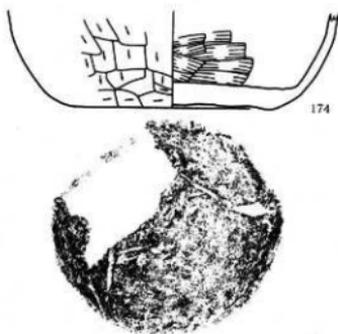
第107圖 住居内出土遺物(10)



8号住居跡

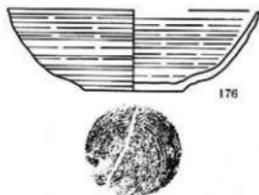


175

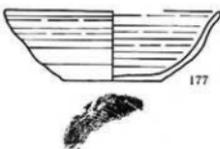


174

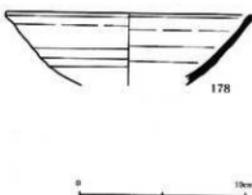
9号住居跡



176



177

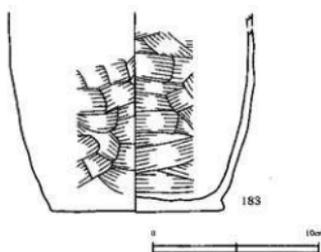
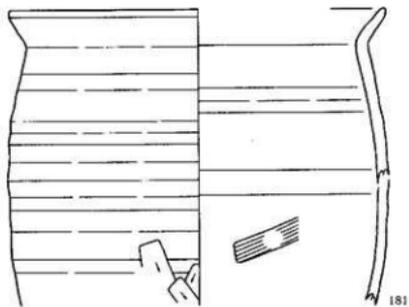
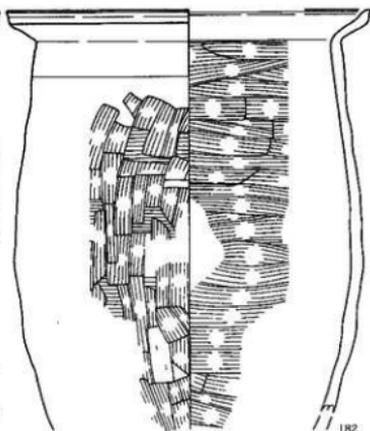
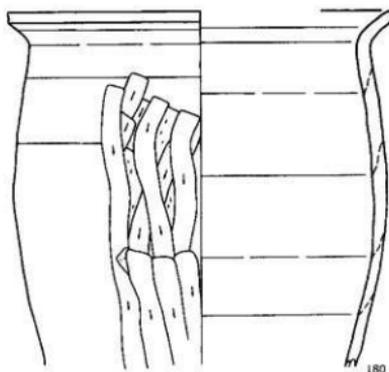
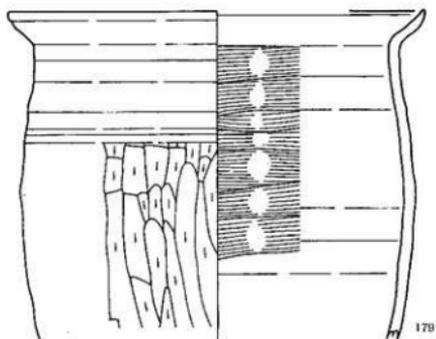


178

10号住居跡

第108図 住居内出土遺物 (11)

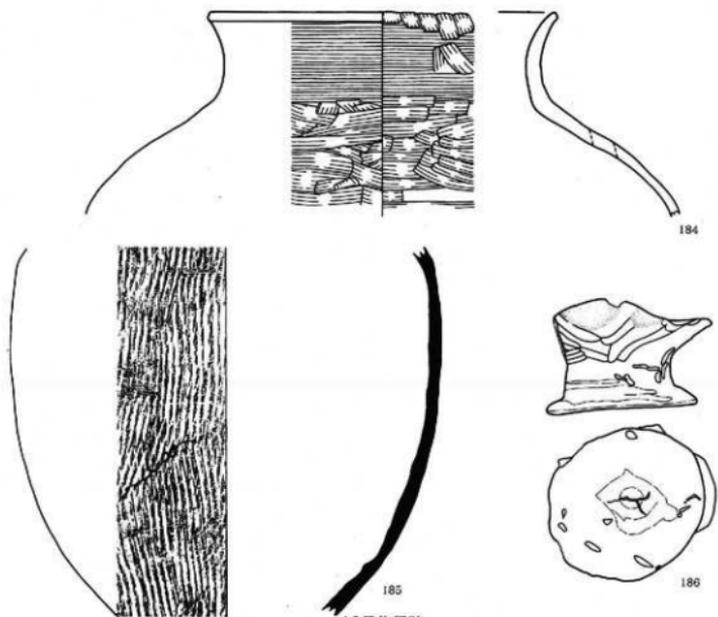




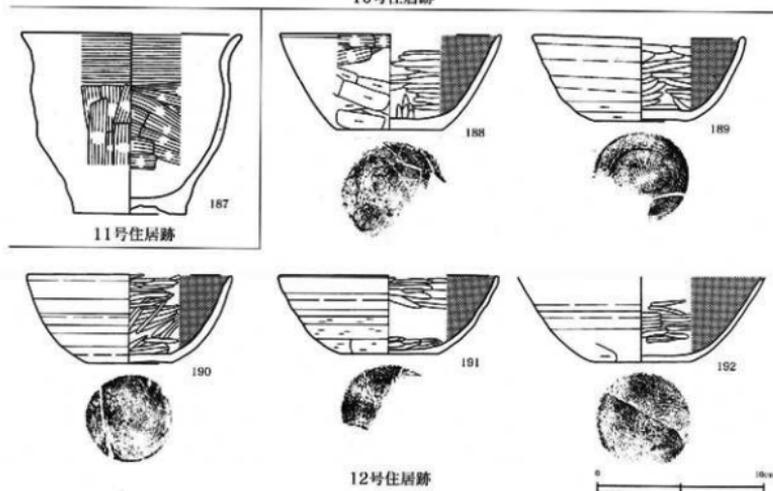
10号住居跡

第109圖 住居内出土遺物(12)

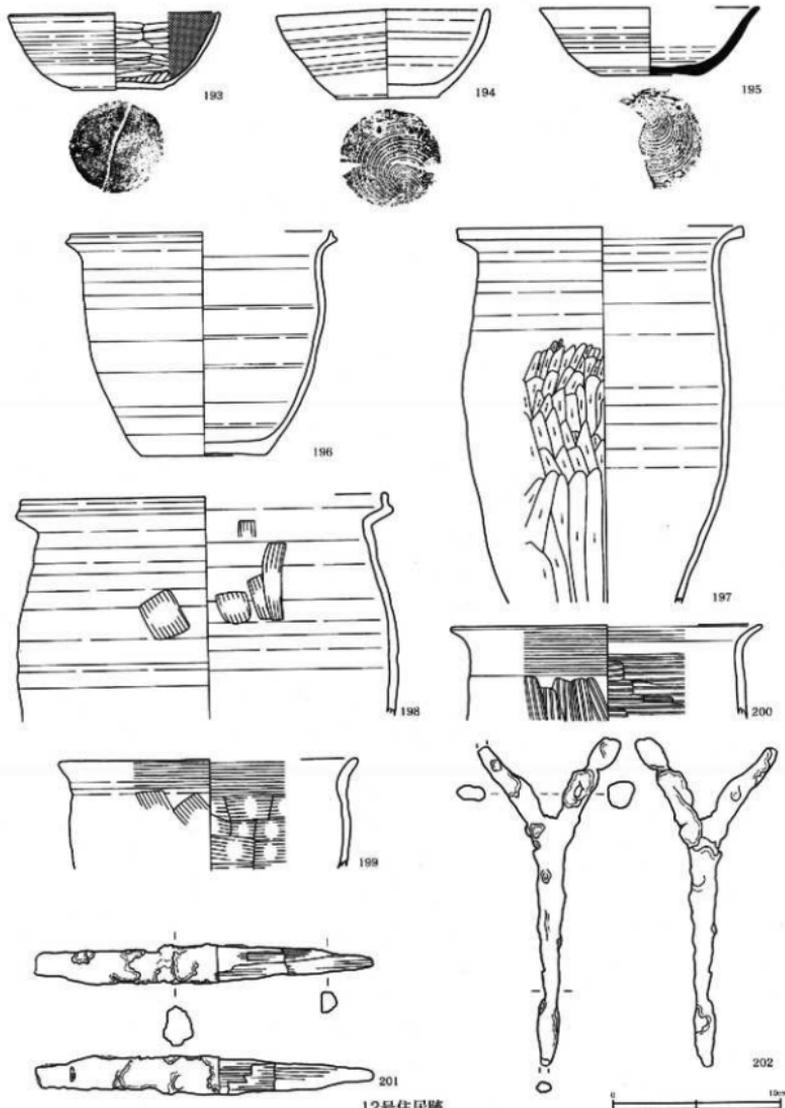




10号住居跡



第110圖 住居内出土遺物 (13)



12号住居跡

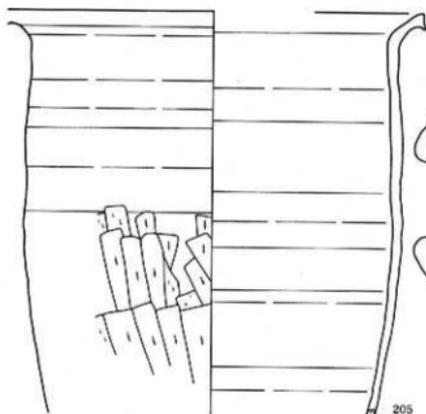
第111圖 住居内出土遺物(14)



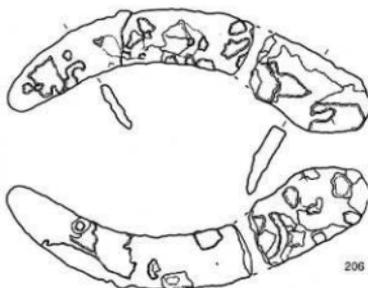
203



204



205



206

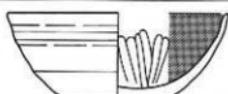
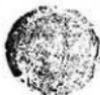
13号住居跡



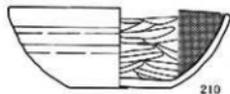
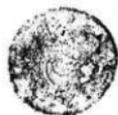
207



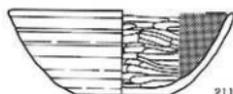
208



209



210



211



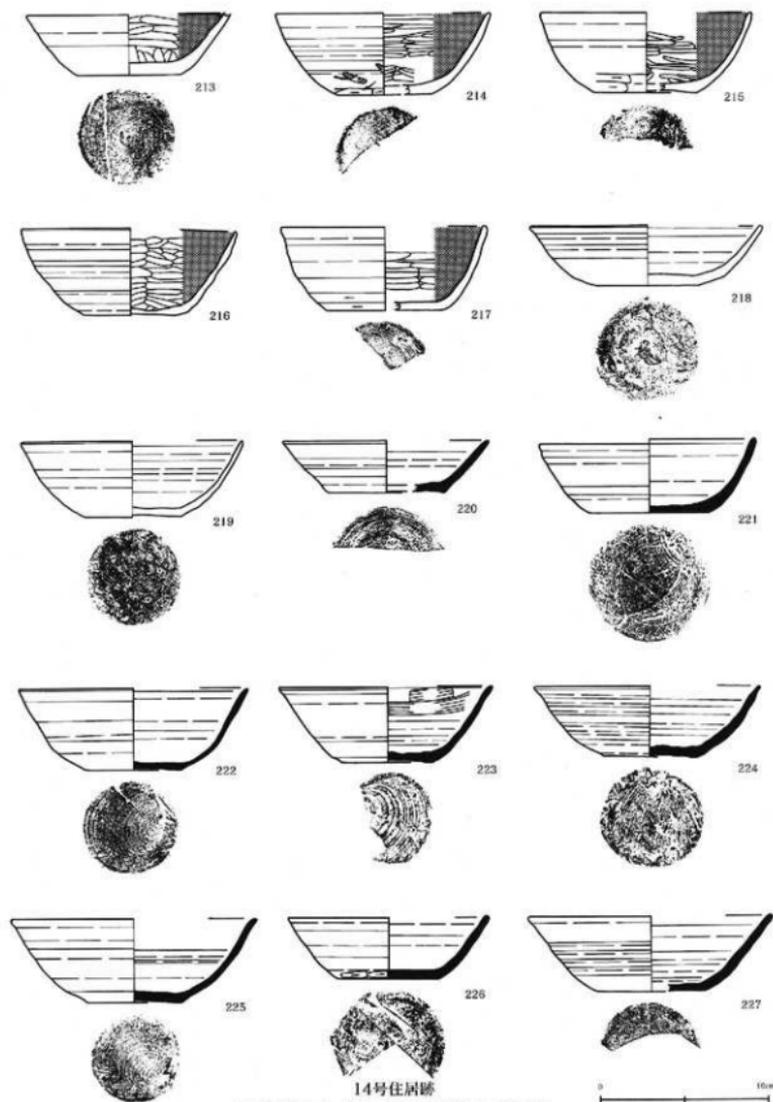
212

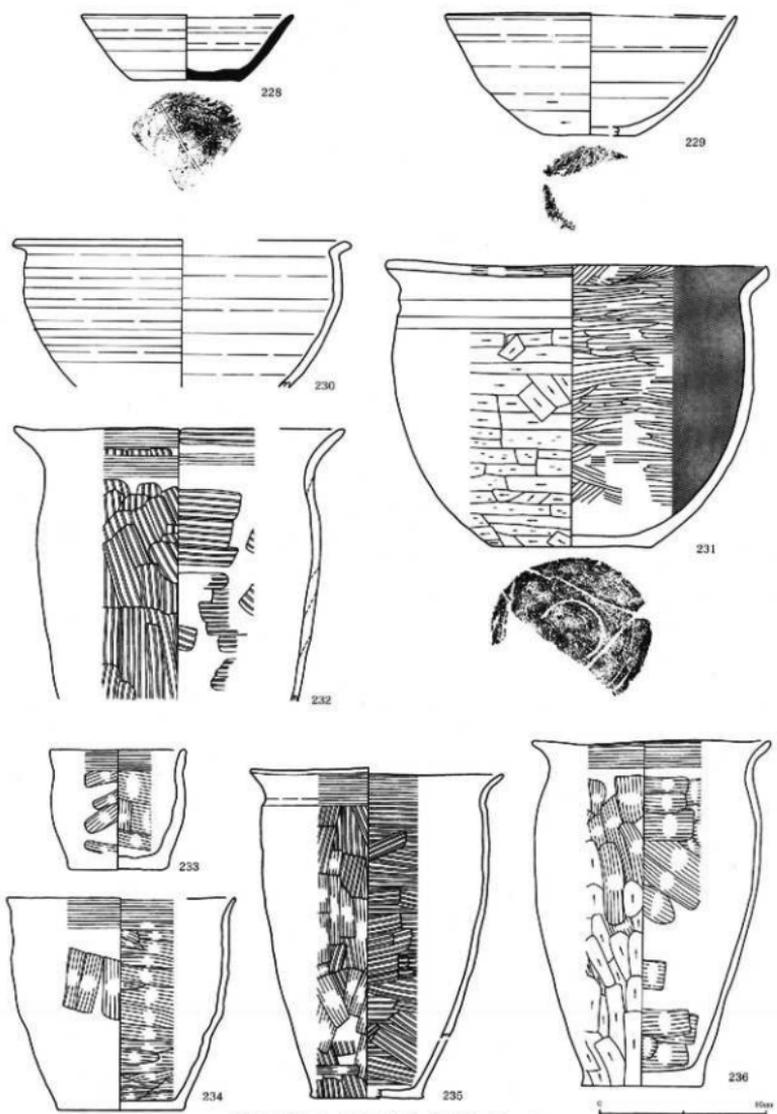


14号住居跡

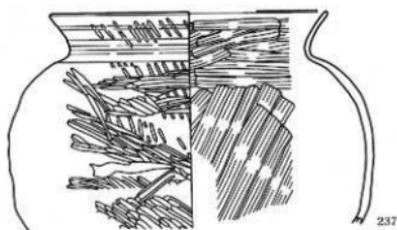
第112図 住居内出土遺物(15)



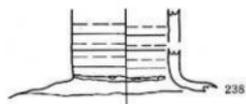




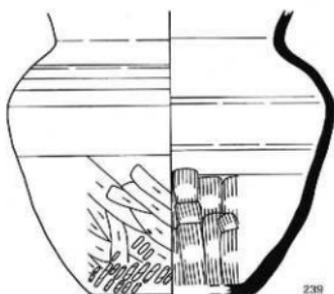
第114図 住居内出土遺物 (17)



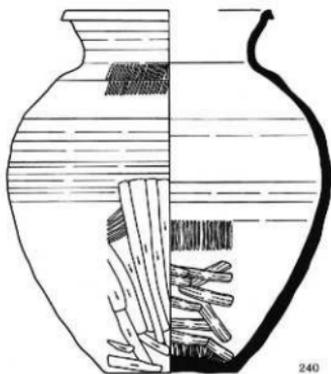
237



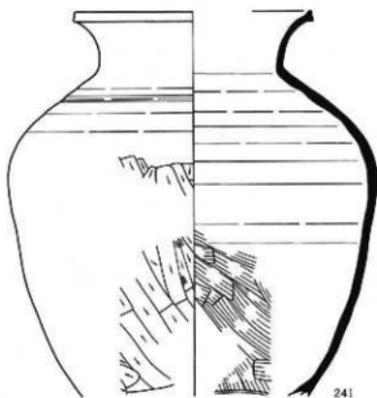
238



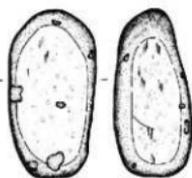
239



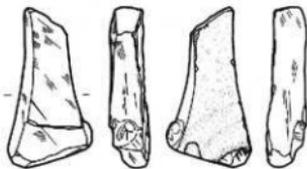
240



241



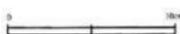
242

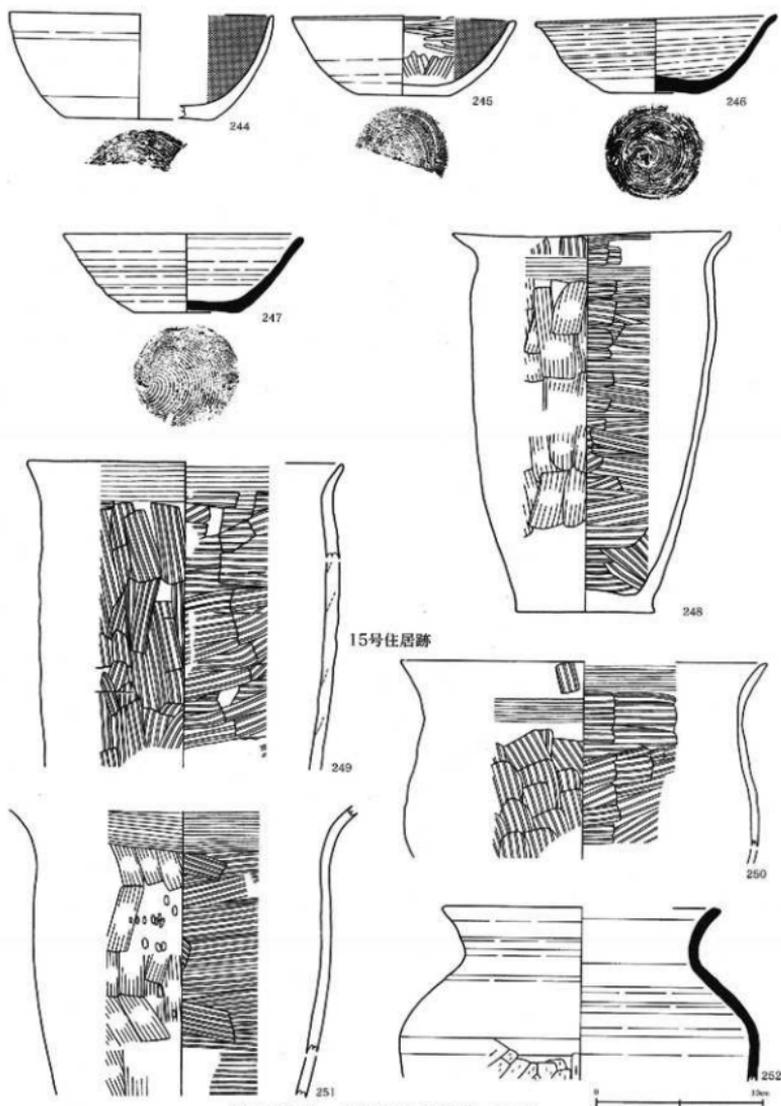


243

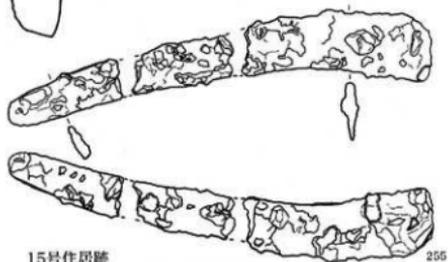
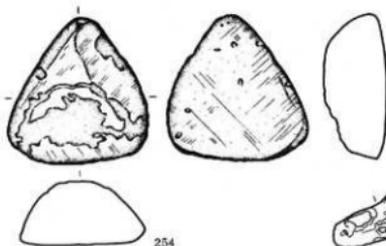
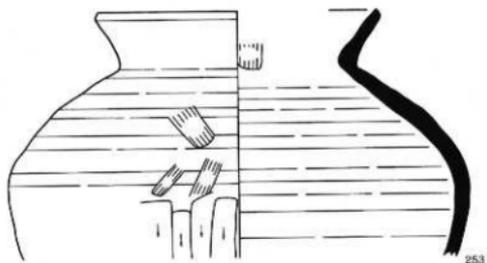
14号住居跡

第115図 住居内出土遺物(18)

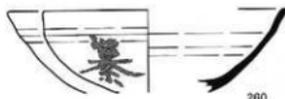
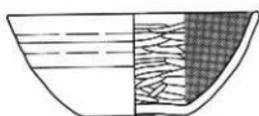




第116图 住居内出土遺物 (19)



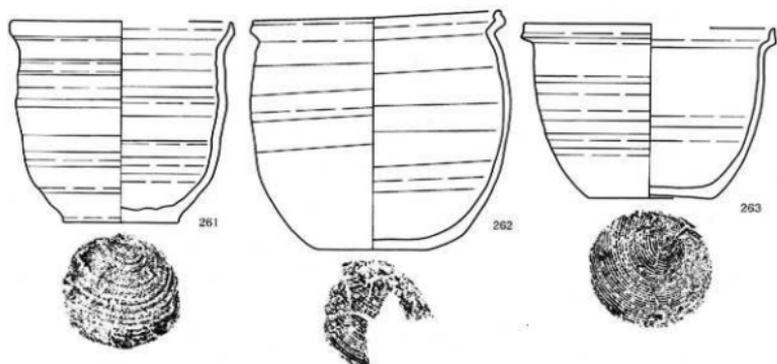
15号住居跡



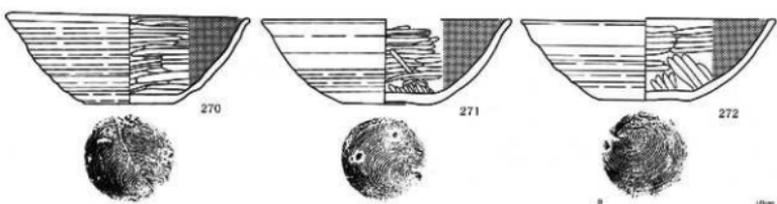
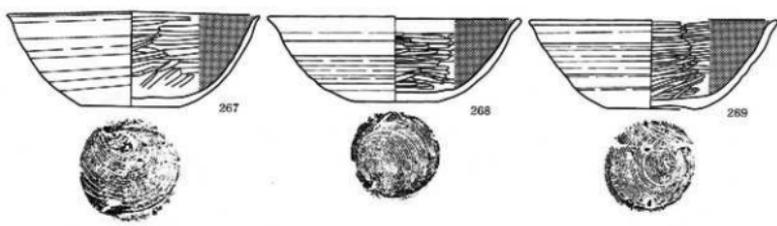
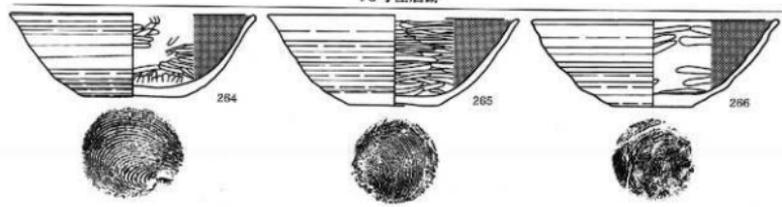
16号住居跡



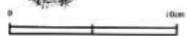
第117圖 住居内出土遺物(20)



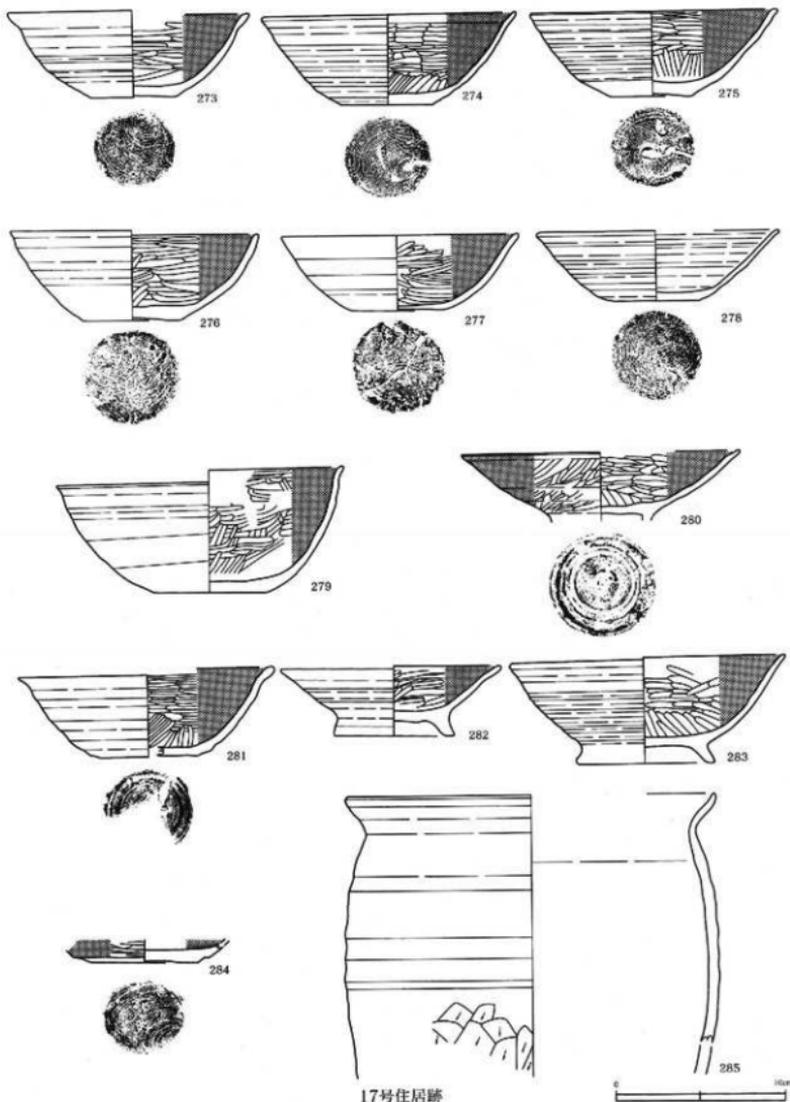
16号住居跡

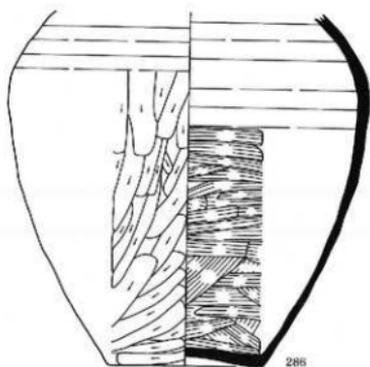


17号住居跡

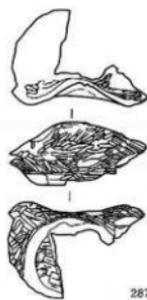


第118圖 住居内出土遺物(21)

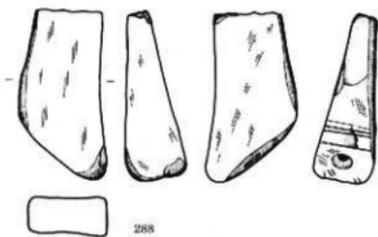




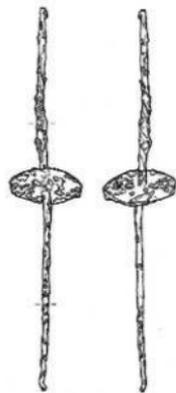
286



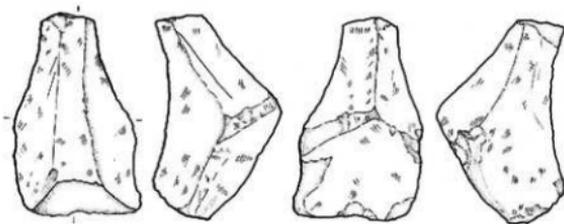
287



288



290



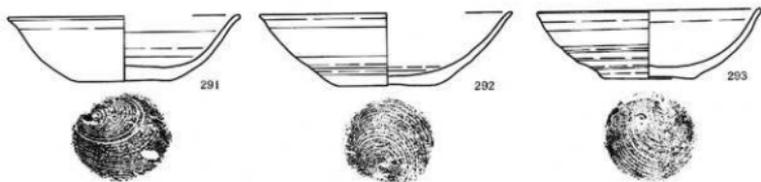
289



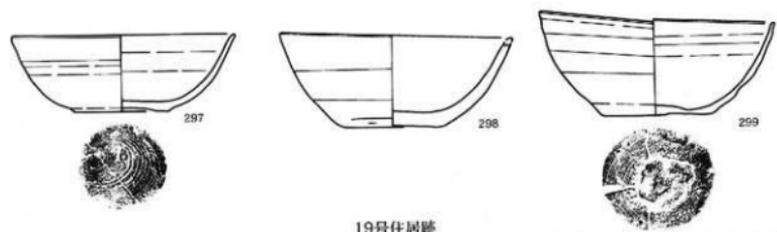
17号住居跡

第120圖 住居内出土遺物 (23)

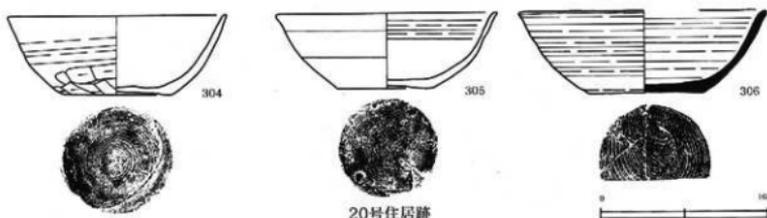
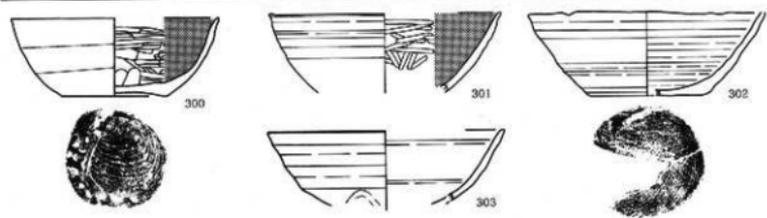




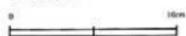
18号住居跡



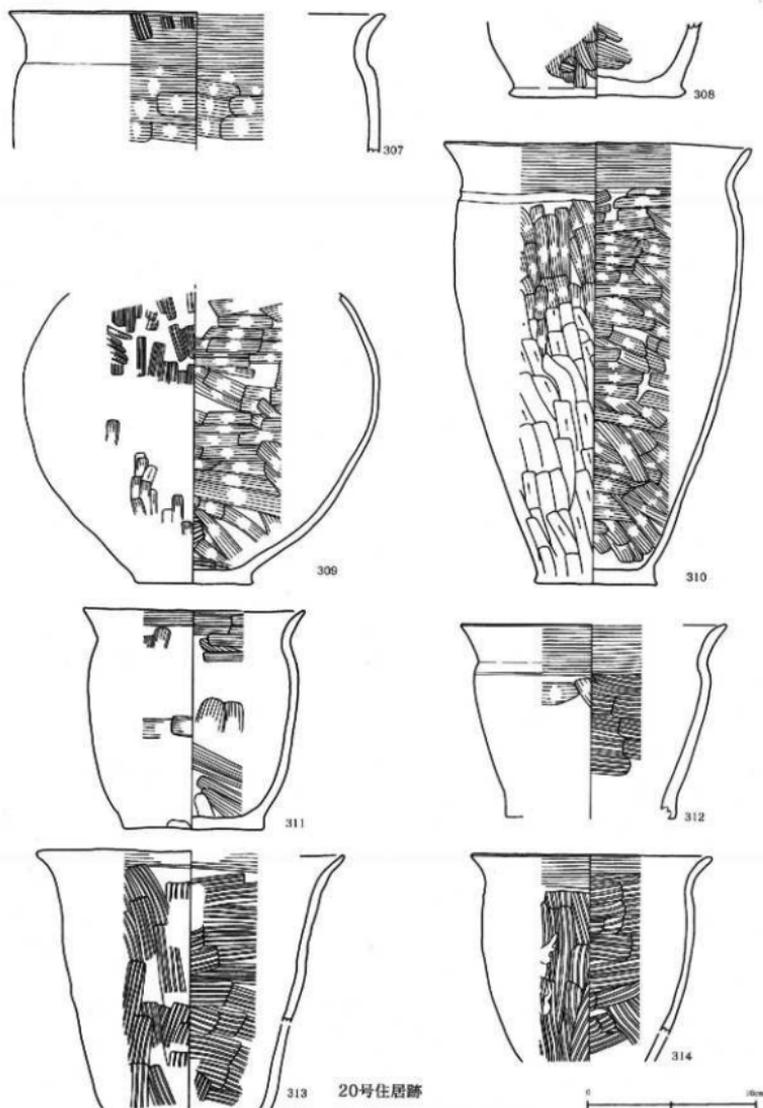
19号住居跡



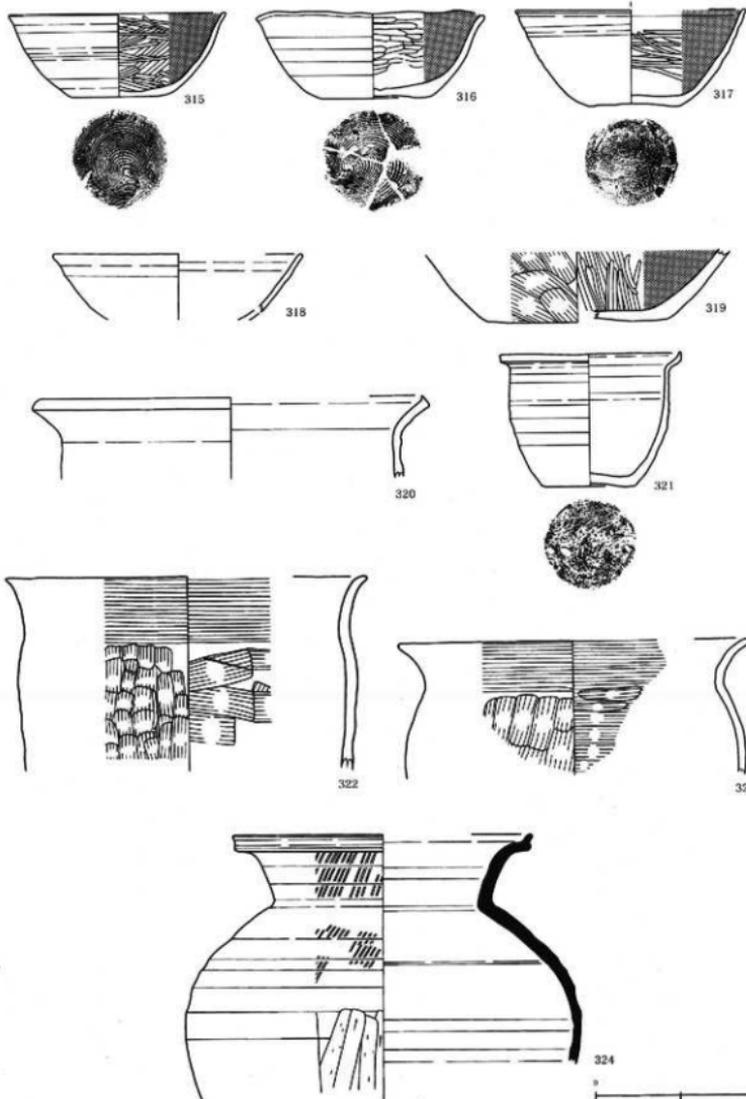
20号住居跡



第121圖 住居内出土遺物(24)



20号住居跡  
 第122図 住居内出土遺物(25)



21号住居跡

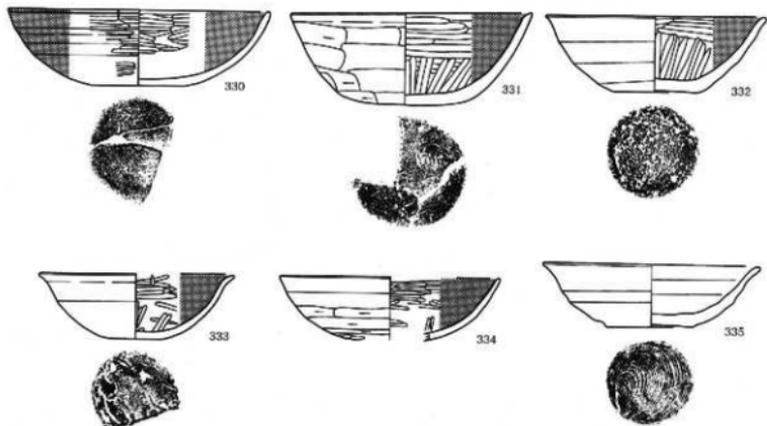
第123圖 住居内出土遺物(25)



21号住居跡

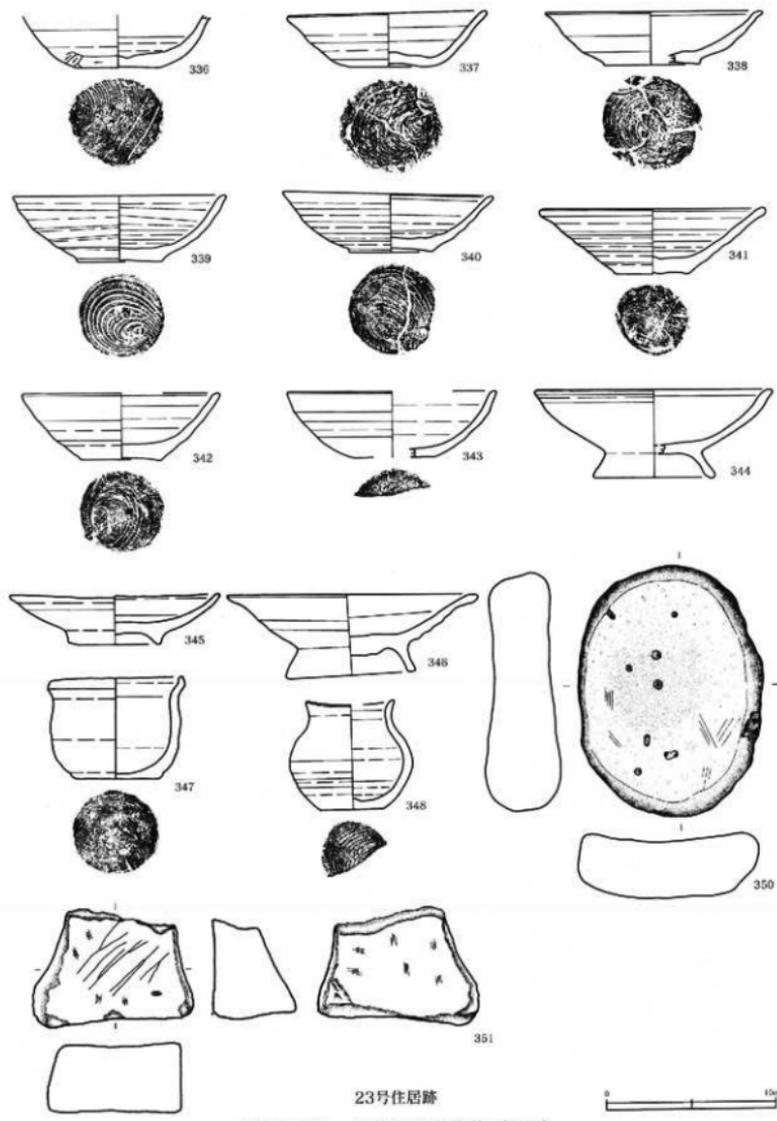


22号住居跡



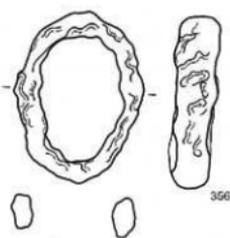
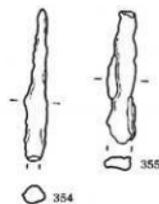
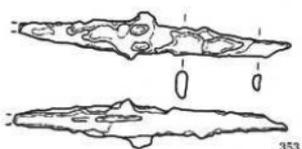
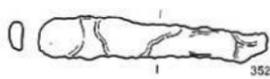
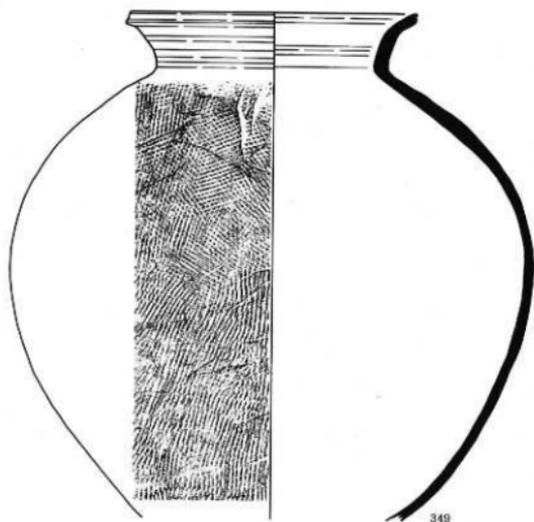
23号住居跡

第124圖 住居内出土遺物(27)

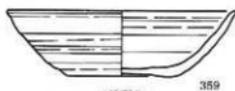
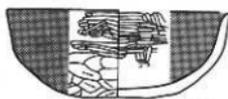


23号住居跡

第125図 住居内出土遺物(28)

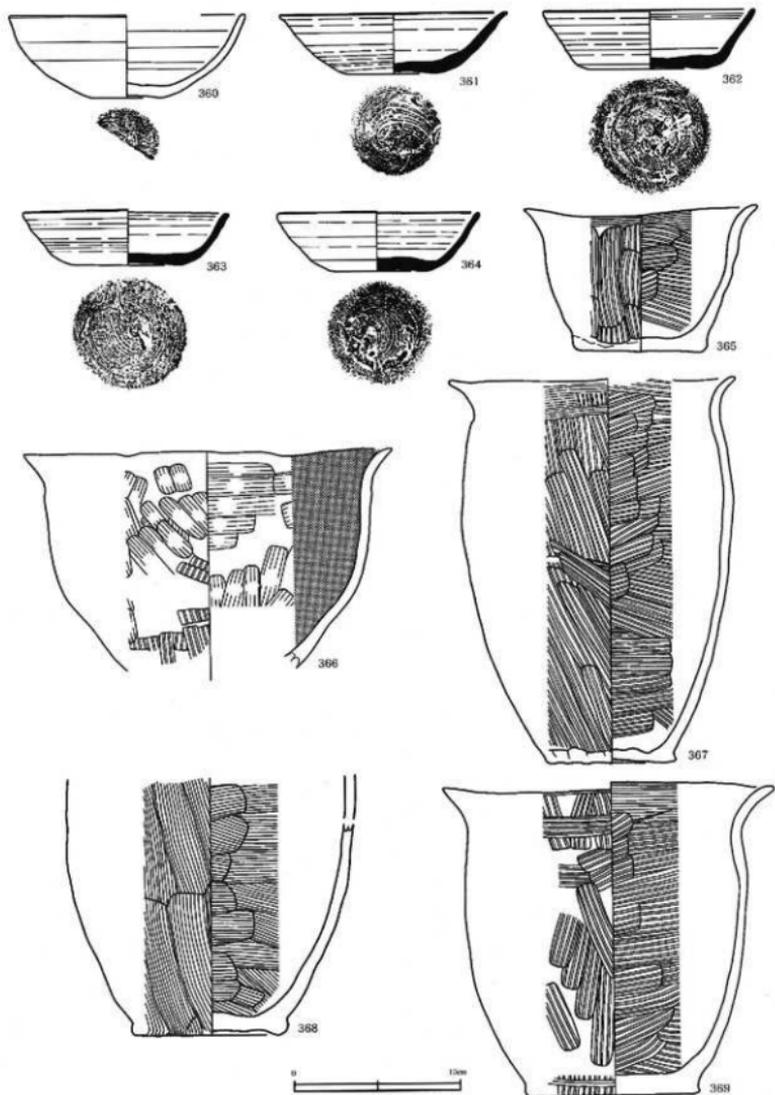


23号住居跡



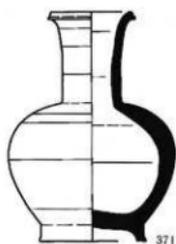
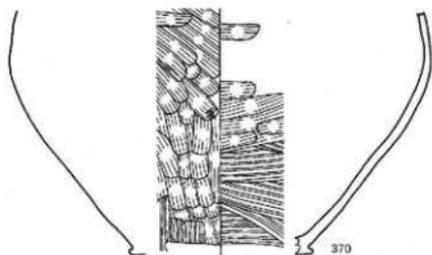
24号住居跡

第126图 住居内出土遺物 (29)

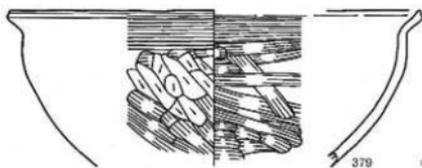
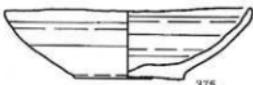
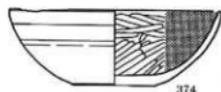
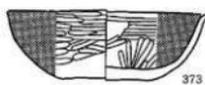
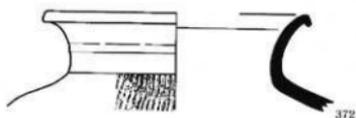


24号住居跡

第127図 住居内出土遺物(30)

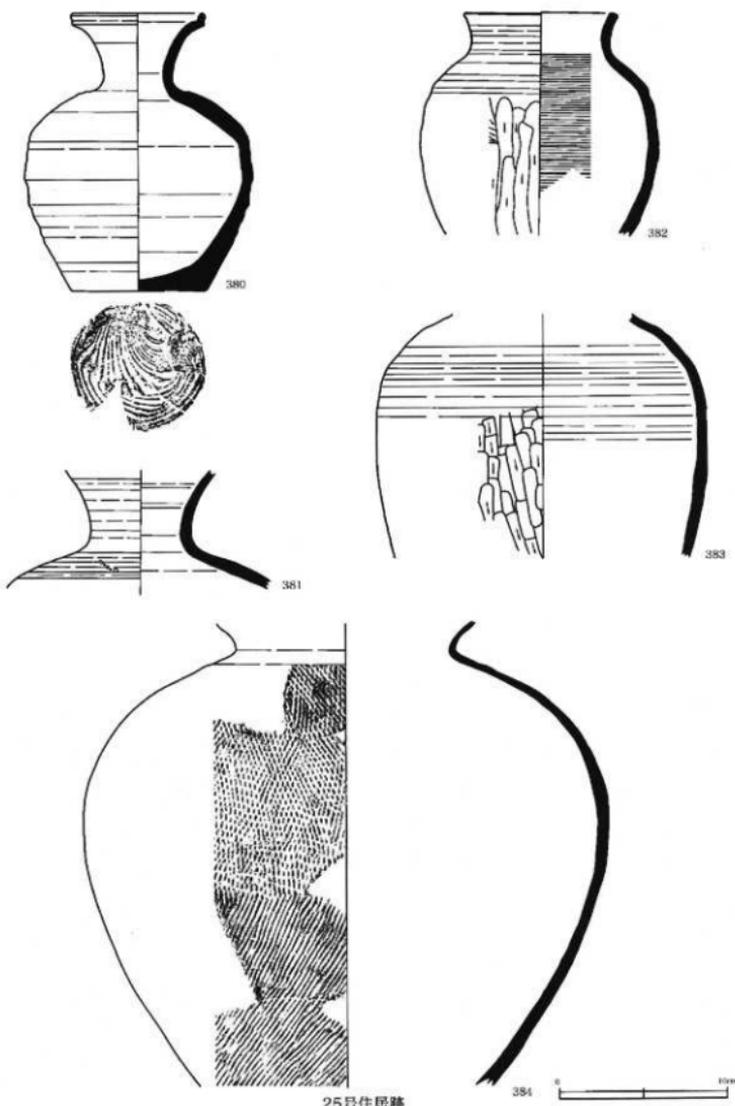


24号住居跡



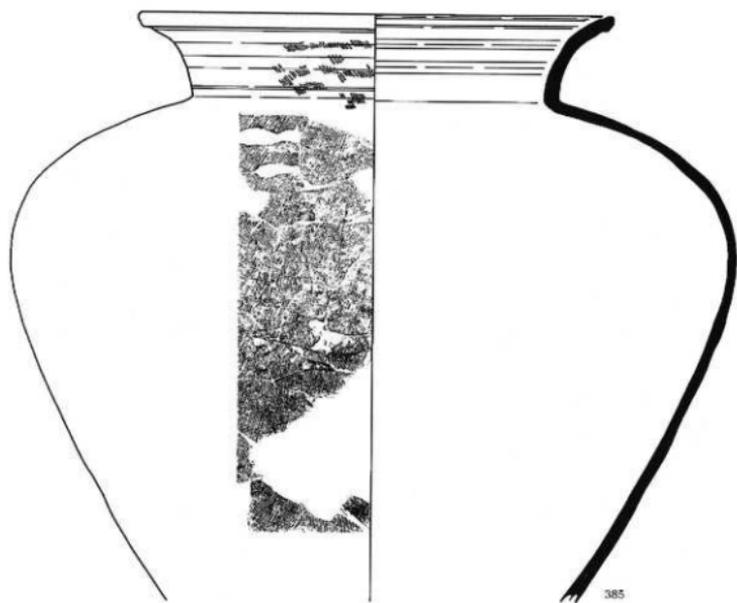
25号住居跡

第128図 住居内出土遺物 (31)

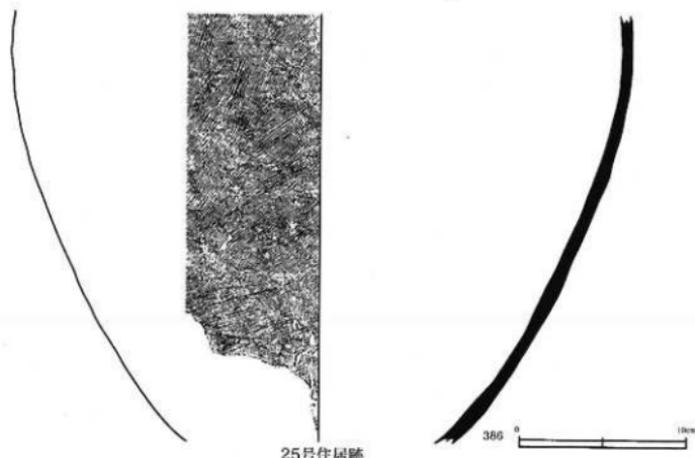


25号住居跡

第129図 住居内出土遺物(32)



385

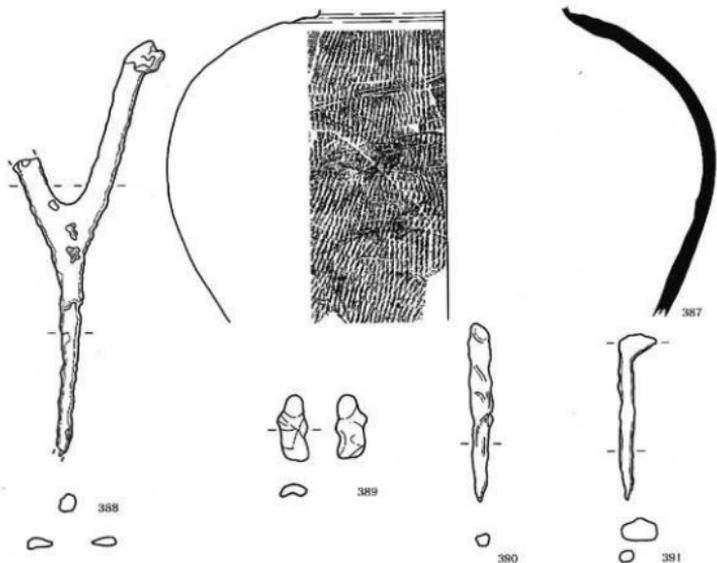


386

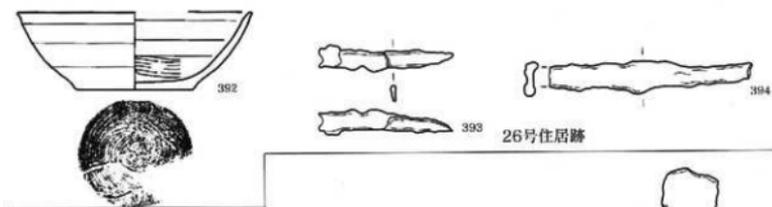


25号住居跡

第130圖 住居内出土遺物 (33)



25号住居跡

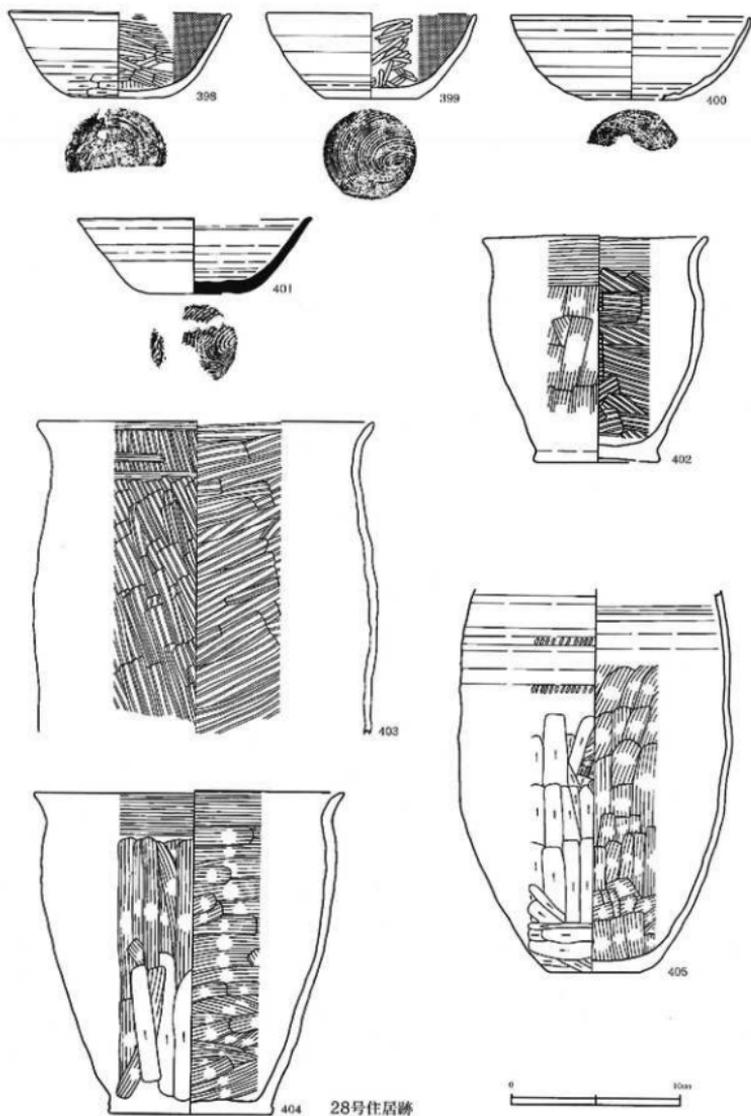


26号住居跡

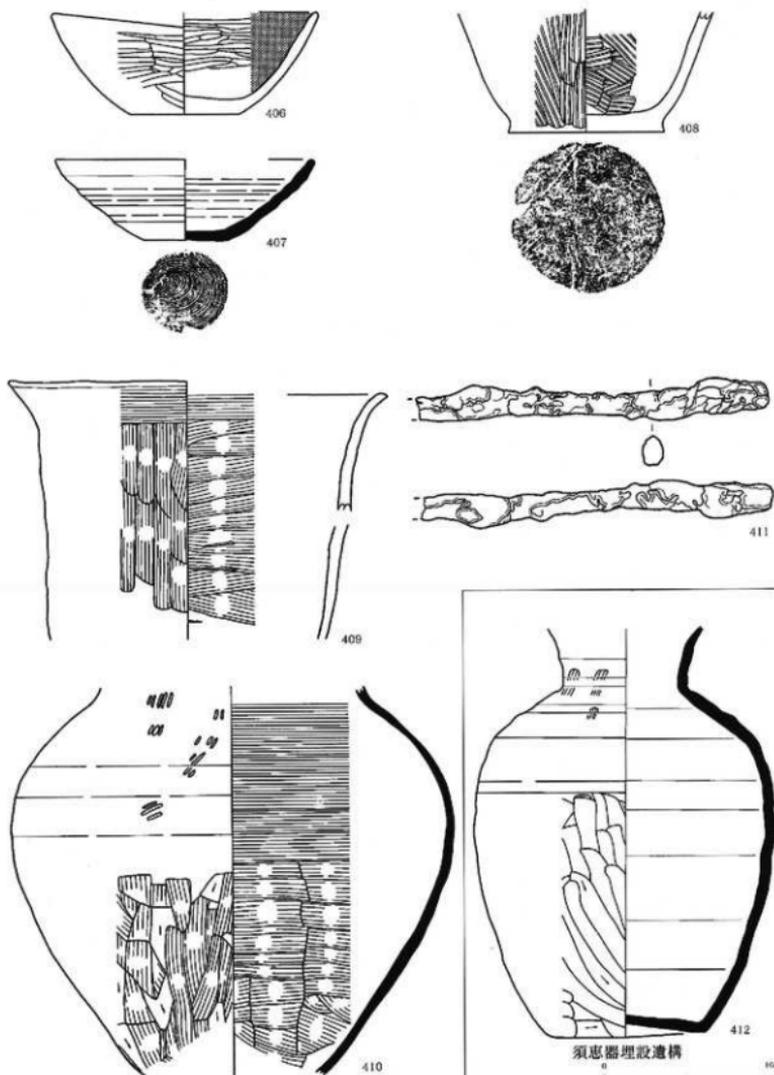


27号住居跡

第131圖 住居内出土遺物(34)

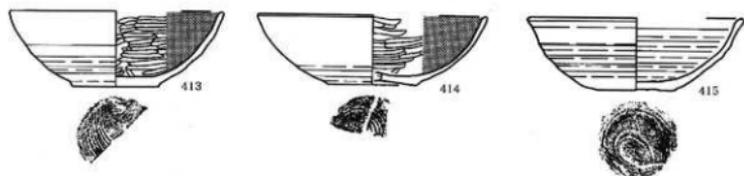


28号住居跡  
 第132图 住居内出土遺物(35)

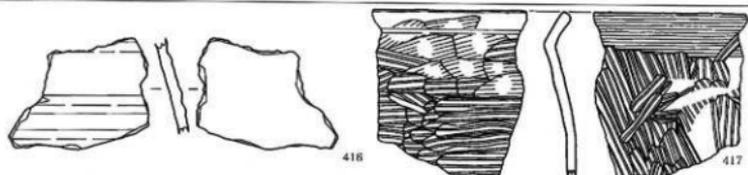


29号住居跡

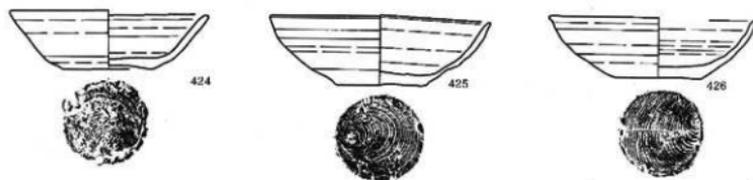
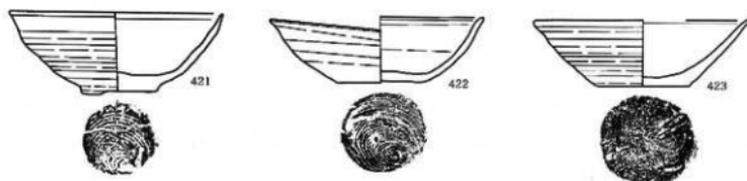
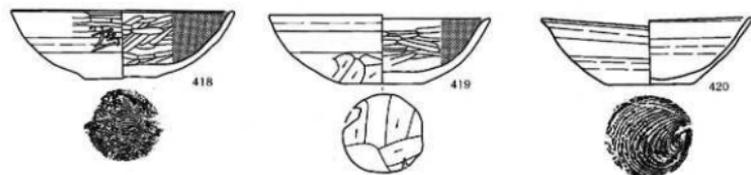
第133図 住居内出土遺物(36)



7号土坑

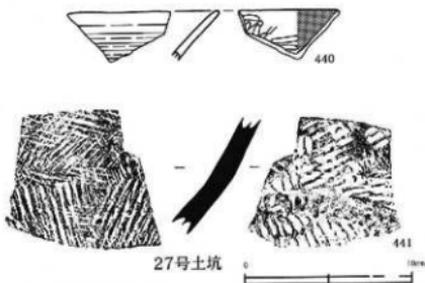
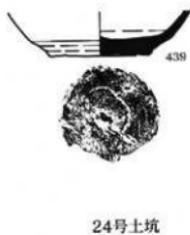
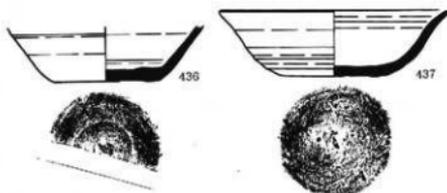
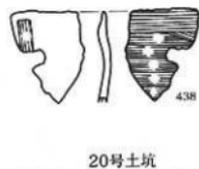
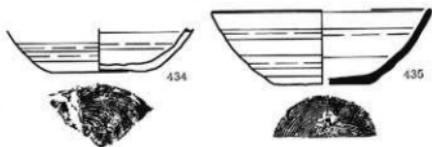
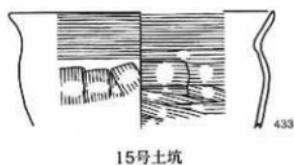
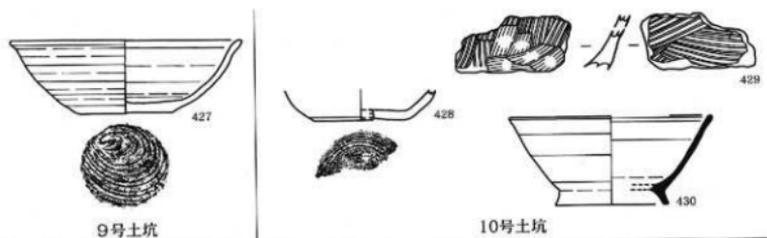


8号土坑

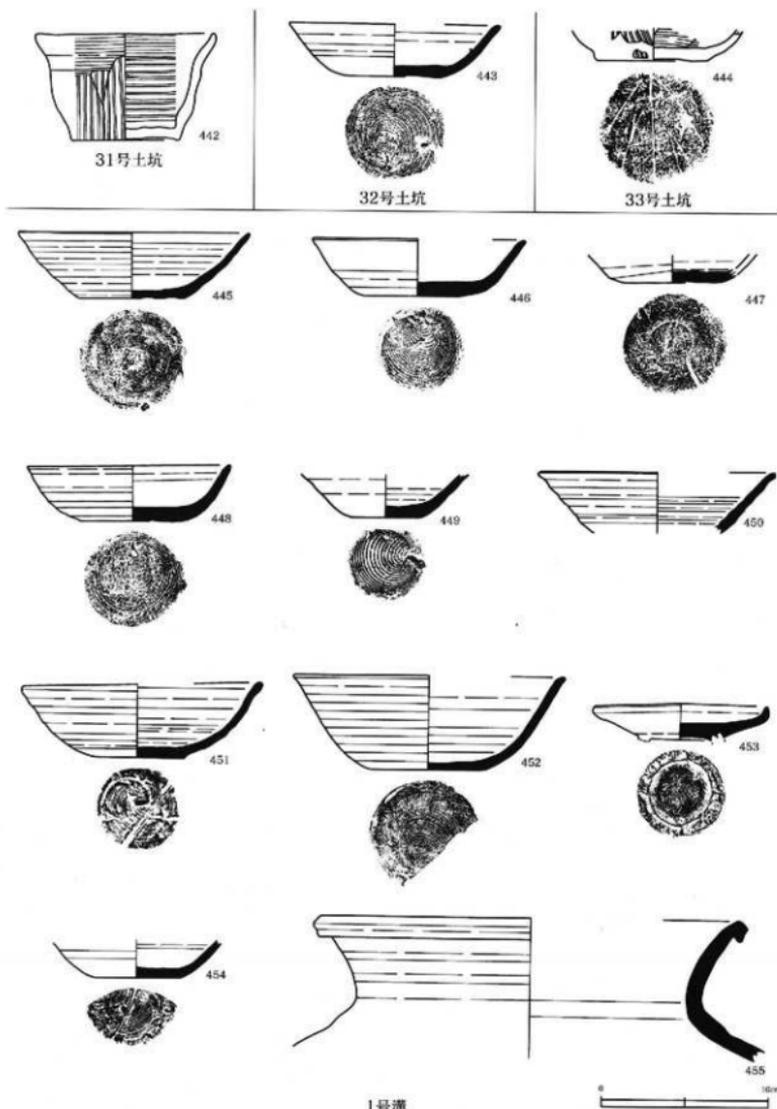


9号土坑

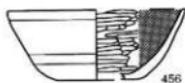
第134图 土坑内出土遗物(1)



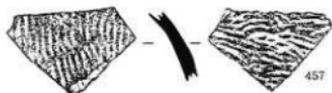
第135图 土坑内出土遺物(2)



第136图 土坑内(3)、溝跡(1)出土遺物



456



457

2号溝



458



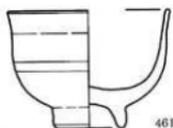
480

8号溝



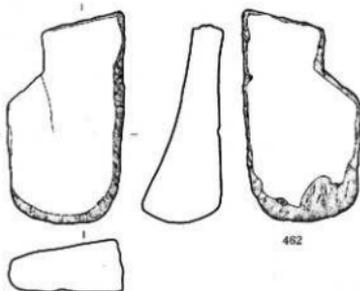
459

3号溝

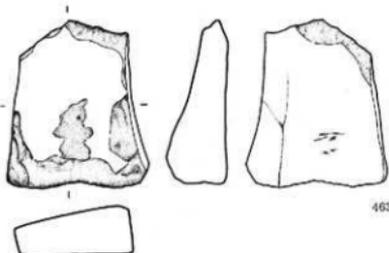


461

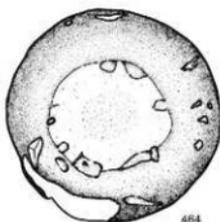
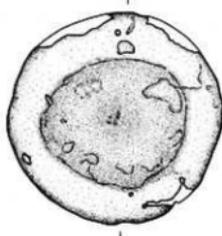
9号溝



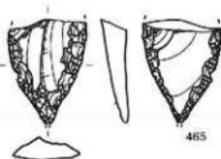
462



463



464

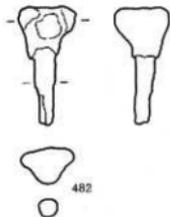
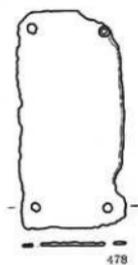
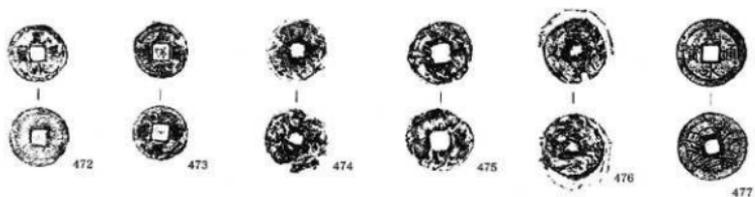
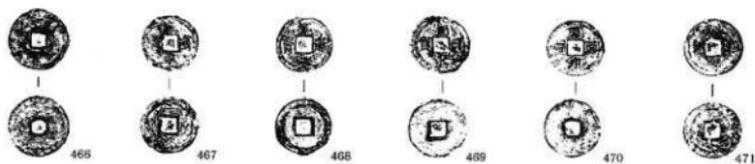


465



遺構外出土遺物

第137圖 溝跡(2)、遺構外出土遺物(1)



第138圖 遺構外出土遺物(2)

遺物観察表

No.	出土地点	器種	口縁部(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	器高	分層	備考	図版	写真
1	1号住棟土中位	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	(15.6)	5.8	6.5	A1a		98	70
2	1号住-P2埋土	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	14.5	5.3	5.3	Allb		98	70
3	1号住-P2埋土	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(14.5)			All	当書文字版	98	70
4	1号住カマド支脚	甕	シク/ウナツ	シク/ト半ナ?	シク/不明→ナ?	19.0	8.0	15.3	AII		98	70
5	1号住上下→床	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		28.1			BI		98	70
7	2号住埋土上土	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	13.6	5.2	4.5	Alla		99	71
8	2号住-1号カマド	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	12.4	6.0	4.1	Alla		99	71
9	2号住-カマド付近	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	13.7	5.8	4.2	Be		99	71
10	2号住深淵→P5埋土	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/下半ナ?	ウナツ/K付ナ	(17.0)	7.8	14.9	Alla		99	71
11	2号住-P3埋土	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(17.6)			All		99	71
13	3号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	13.1	5.0	5.0	Alla		99	71
14	3号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	(14.0)	5.4	5.7	A1a		99	71
15	3号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	(14.0)	6.2	6.1	A1a		99	71
16	3号住-P6埋土上位	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	(14.2)	6.0	5.2	A1z	ウナツ/当文字版	99	71
17	3号住-P5埋土	環		シク/ウナツ	シク/K付ナ?	(5.0)			A1	当書文字	99	71
18	3号住埋土	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	14.3	6.4	5.1	Alla		99	71
19	3号住カマド近.埋土	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	13.2	5.5	5.0	Ba		100	71
20	3号住カマド近.埋土	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	(14.4)	5.8	4.5	Ba		100	71
21	3号住カマド近.埋土	台付甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	12.8	5.0	3.5	Alla		100	71
22	3号住カマド近.埋土	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	(12.4)	5.5	2.0	Ba		100	72
23	3号住埋土	小形甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	(14.9)	6.2	12.3	Allb		100	72
24	3号住埋土	長胴甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(23.2)			Alla		100	72
26	4号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	14.0	6.8	5.4	A1b		100	72
27	4号住カマド近.埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	(12.7)	6.0	5.0	A1z		100	72
28	4号住貼り床	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/下半ナ?	ウナツ/不明→ナ?	(11.2)	(6.0)	4.2	A1z	切り離しは不明	100	72
29	4号住	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/不明→ナ?				Allz	#	101	72
30	4号住貼り床	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(16.0)			A1		101	72
31	4号住埋土上→中位	長胴甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(22.0)			A1		101	72
32	4号住床面	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(19.7)			A1		101	72
33	4号住カマド近.埋土	短頸甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ					BI		101	73
37	5号住	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	12.6	6.0	5.8	A1z		102	73
38	5号住床面	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	13.1	7.0	3.9	Be		102	73
39	5号住貼り床	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	(13.3)	7.0	4.1	Be		102	73
40	5号住	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	14.8	7.0	5.7	Ba		102	73
41	5号住1号カマド	小形甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		8.8	6.3	6.1	A1		102	73
42	5号住貼り床	甕		ウナツ/ウナツ					A1		102	73
43	5号住埋土	甕		ウナツ/ウナツ					A1		102	73
44	5号住	長胴甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		14.0	7.0	16.1	A1		102	73
45	6号住-P1	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ				A1a	内装測かれ?	102	74
46	6号住貼り床	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	15.5	6.0	4.7	Alla		102	74
47	6号住埋土中位	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	(14.4)	(6.6)	6.8	Ba		102	74
48	6号住埋土中位	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(13.4)			All		102	74
49	6号住貼り床	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		(21.4)			All		102	74
50	6号住貼り床	甕	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ		15.6			All		103	74
51	7号住埋土上→中位	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	11.4	5.5	5.2	A1z		103	74
52	7号住床面	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	13.6	5.0	5.8	A1a		103	74
53	7号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	13.4	6.6	5.4	A1z		103	74
54	7号住埋土中位	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	(13.2)	5.6	5.9	A1z		103	74
55	7号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/K付ナ	(12.4)	6.0	4.7	A1a		103	74
56	7号住埋土	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明	(12.4)	(5.4)	5.5	A1a		103	74
57	7号住カマド付近	環	シク/ウナツ	シク/ウナツ	シク/不明→ナ?	(11.2)	(5.2)	5.3	A1z	切り離しは不明	103	74
58	7号住土坑	環	ウナツ/ウナツ	ウナツ/ウナツ	ウナツ/K付ナ	13.7	4.8	4.4	Alla		103	74

No.	出土地点	容積	口縁部(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	高さ	分類	備考	図版	写真
59	7号住居土	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / 0707	13.6	(4.8)	4.3	AIIa		103	75
60	7号住居土下位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(13.8)	6.0	4.5	AIIa		103	75
61	7号住居土中位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(13.3)	6.0	4.5	AIIa		103	75
62	7号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(14.7)	5.4	4.8	AIIa		103	75
63	7号住居土上~中位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(14.6)	(5.2)	5.4	AIIa		103	75
64	7号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	13.6	6.2	4.8	Ba		103	75
65	7号住居土上~中位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(13.6)	6.0	4.6	Ba		104	75
66	7号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	13.9	6.0	4.5	Ba		104	75
67	7号住居土中位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	14.3	6.0	4.5	Ba		104	75
68	7号住居土上~中位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	14.0	6.6	4.5	Bb		104	75
69	7号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	12.7	6.0	4.6	B		104	75
70	7号住居土上~中位	甕		77 / 77		8.4			AJ		104	75
71	7号住居土下位	甕	77 / 77	77 / 77		21.6	9.0	16.6	AII		104	75
72	7号住居土上	甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	19.8			BII		104	75
73	7号住居土上	甕		77 / 77				10.0	BII	72と同一個体?	105	75
74	7号住居土中位	甕	0707 / 0707	77 / 77		(17.4)			BII?		105	75
75	8号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(14.6)	5.6	5.1	AIIa		105	76
76	8号住居土上	高台坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付				AIIa		105	76
172	9号住居カマド	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(15.0)	5.6	5.0	AIIa		108	79
173	9号住居土下位	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(15.0)	5.8	4.7	AIIa		108	79
174	9号住居土下位	甕		77 / 77		12.4			AII?		108	79
175	9号住居カマド	甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / 不明	13.9	(9.0)	14.8	AIIb		108	79
176	10号住居カマド	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	15.2	6.0	4.9	AIIa		108	79
177	10号住居土下位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	13.1	(6.1)	4.3	AIIa		108	79
178	10号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707					B		108	79
179	10号住居カマド	長胴甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / 不明	(23.1)			AIIa		109	79
180	10号住居	長胴甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / 不明	(23.2)			AIIa		109	79
181	10号住居土下位	長胴甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / 不明	(23.0)			AIIa		109	80
182	10号住居土中位	長胴甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / 不明	(22.0)			AIIa		109	80
183	10号住居土上	甕		77 / 77				10.5	不明		109	80
184	10号住居土上	甕	0707 / 0707	77 / 77		(20.8)			AIIa		110	80
185	10号住居土下位	甕		77 / 77					HI		110	80
187	11号住居土上	小形鉢	77 / 77	77 / 77	77 / 割	13.4	6.8	11.0	AII		110	80
188	12号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(13.4)	6.4	5.8	AIf		110	81
189	12号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	12.6	5.8	5.3	AIf		110	81
190	12号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(12.5)	5.2	5.4	AIf		110	81
191	12号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / 不明	(13.8)	(6.0)	4.7	AIf		110	81
192	12号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付		5.8		AIIa		110	81
193	12号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	12.6	5.3	4.7	AIIa		111	81
194	12号住居土下位	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	12.8	6.0	5.4	AIIa		111	81
195	12号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(13.2)	6.0	5.1	Ba		111	81
196	12号住居土上	小形甕	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(16.2)	7.4	13.6	AIIb		111	81
197	12号住居土上	甕	0707 / 0707	0707 / 不明		(25.0)			AII		111	81
198	12号住居土上	長胴甕	0707 / 0707	0707 / 0707		(22.0)			AIIa		111	81
199	12号住居土上	甕	77 / 77	77 / 77		(18.0)			AII		111	82
200	12号住居土上	長胴甕	77 / 77	77 / 77		18.7			AII		111	81
203	13号住居土上	坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	(13.2)	5.0	4.9	AIIa		112	82
204	13号住居土上	白付坏	0707 / 0707	0707 / 0707	0707 / K付	13.9	7.0	6.6	Bb		112	82
205	13号住居土上	長胴甕	0707 / 0707	0707 / 不明		(25.0)			AIIa		112	82
207	14号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	12.7	5.6	5.2	AIf		112	82
208	14号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(14.6)	5.7	5.6	AIIa		112	82
209	14号住居土上	坏	77 / 77	77 / 77	77 / K付	(13.2)	6.6	5.1	AIf		112	82

No.	出土地点	器種	口縁部(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	器高	分類	備考	図版	写真
210	14号住理土中位	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(13.4)	6.0	4.9	A1a		112	82
211	14号住理土上~中位	坏	38°/20°	38°/20°→12°	38°/不彫-K14号	(13.6)	5.6	5.2	A1z		112	82
212	14号住理土上	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(13.4)	5.4	3.9	A1a		112	82
213	14号住理土カマド袖部	坏		38°/20°	38°/K14号	(12.2)	6.0		A1f		113	83
214	14号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(12.9)	(5.6)	5.0	A1b		113	83
215	14号住理土カマド基部	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(12.6)	(6.2)	4.9	A1a		113	83
216	14号住理土	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	13.0	5.8	5.2	A1a		113	83
217	14号住理土カマド基部	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(11.6)	6.0	5.1	A1b	内黒刺がれ	113	83
218	14号住理土カマド袖部	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(13.9)	6.2	4.7	Alle		113	83
219	14号住理土カマド袖部	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(13.4)	5.8	4.6	A11a		113	83
220	14号住理土床	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(12.4)	(7.0)	3.2	It		113	83
221	14号住理土上	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	12.9	7.4	4.5	Ba		113	83
222	14号住理土上~中位	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(13.8)	5.8	5.0	Bb		113	83
223	14号住理土床	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(12.8)	5.5	4.6	Ba		113	83
224	14号住理土床	坏	20°/10°	20°/10°	20°/不彫-K14号	(13.5)	5.7	4.3	Bz	灰リ内調整	113	83
225	14号住理土上	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(14.8)	5.6	5.1	Ba		113	83
226	14号住理土カマド基部	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(12.2)	6.6	3.7	Hf	底面にへら記号	113	83
227	14号住理土上位	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(14.6)	6.0	4.6	Ba		113	83
228	14号住理土上~中位	坏	20°/10°	20°/10°	20°/K14号	(22.6)	6.4	5.0	Be	底面にへら記号	114	83
229	14号住理土床	坏?	20°/10°	20°/10°	20°/S14号	(17.4)	5.4	7.4	Allc		114	83
230	14号住理土上~中位	鉢	20°/10°	20°/10°		(20.2)		9.0	A8b		114	83
231	14号住理土上位	甕	38°/20°	38°/K14号	38°/K14号	23.0	9.8	17.4	A8		114	83
232	14号住理土床	長胴甕	30°/10°	30°/10°		(19.8)			A1		114	84
233	14号住理土上位	小形甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	8.2	6.0	7.3	A1		114	84
234	14号住理土カマド袖部	甕	30°/10°	30°/10°	30°/砂紙	(13.7)	7.6	12.9	A1		114	84
235	14号住理土カマド基部	長胴甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	20.3	(9.2)	26.7	A1		114	84
236	14号住理土カマド基部	長胴甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	19.0	9.6	28.2	A1		114	84
237	14号住理土上位	甕	30°/10°	30°/10°		16.6			A		115	84
238	14号住理土上	甕	30°/10°	30°/10°					B		115	84
239	14号住理土床	甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°				BII		115	85
240	14号住理土上	甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	16.4	10.6	29.5	BII		115	85
241	14号住理土上	甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°				BII		115	85
244	15号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(15.8)	(8.8)	6.4	A1a	表面が強い。	116	85
245	15号住理土カマド基部	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(13.4)	(5.6)	4.9	A1a		116	85
246	15号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	14.4	5.9	4.8	Ba		116	85
247	15号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	14.3	6.4	4.8	Ba	焼きが甘い。	116	85
248	15号住理土カマド基部	長胴甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	22.3	10.9	30.9	A1		116	85
249	15号住理土床	長胴甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	(18.0)			A1		116	86
250	15号住理土上	長胴甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	(22.0)			A1		116	86
251	15号住理土床P1	長胴甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	20.8			A1		116	86
252	15号住理土P2	甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	(16.0)			BII		116	86
253	15号住理土上	甕	30°/10°	30°/10°	30°/10°	17.0			BII		117	86
256	16号住理土P5	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	15.2	6.0	6.2	A1a		117	87
257	16号住理土P5	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	14.3	5.5	6.4	A1a	内黒	117	87
258	16号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	15.3	6.9	5.2	A11a		117	87
259	16号住理土P5	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	14.6	6.2	4.9	Ba		117	87
260	16号住理土上	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	(16.6)		(5.0)	B	黒文字	117	87
261	16号住理土P1	甕	30°/10°	30°/10°	30°/K14号	(13.5)	6.9	12.3	A8b		118	87
262	16号住理土P2	甕	30°/10°	30°/10°	30°/K14号	15.2	6.6	14.6	A8b		118	87
263	16号住理土P1	甕	30°/10°	30°/10°	30°/K14号	14.8	7.4	10.6	A8b		118	87
264	17号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	14.7	6.0	5.1	A1a		118	87
265	17号住理土床	坏	38°/20°	38°/20°	38°/K14号	15.1	5.4	5.5	A1a		118	87

No.	出土地点	器種	口縁部(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	器高	分類	備考	国収	写式
266	17号住	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.8	5.0	5.3	A1a	内黒刺がれ	118	87
267	17号住-P2埋土②	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	15.1	6.0	4.8	A1a		118	87
268	17号住-P2埋土③	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	15.2	5.3	5.2	A1a		118	87
269	17号住-P3底面	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.9	6.5	5.5	A1a		118	87
270	17号住-P3底面	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.7	5.3	5.6	A1a		118	87
271	17号住-P3底面	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.8	5.2	5.3	A1a		118	87
272	17号住-P3底面	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	15.2	5.4	5.0	A1a		118	87
273	17号住-P3底面	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.4	5.0	5.3	A1a		119	88
274	17号住-P2埋土②	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	15.2	6.5	5.6	A1a		119	88
275	17号住-P2埋土③	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.8	4.9	5.2	A1a		119	88
276	17号住-P2埋土④	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.8	5.8	5.5	A1a	内黒刺がれ	119	85
277	17号住-P2埋土①	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	14.1	5.4	4.6	A1a	#	119	85
278	17号住-P2埋土下層	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	14.6	5.2	4.3	A1a	内黒刺がれ	119	88
279	17号住-P3底面	碗	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/不明-ウツリ	17.2	6.4	7.7	A1z	ウツリは手押丸	119	88
280	17号住-P2埋土④	高台环	シキ/シキ	シキ/ウツリ	シキ/不明-ウツリ	16.7	6.2	3.9	A0b	台部欠損	119	88
281	17号住埋土下-下段	高台环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/不明-ウツリ	15.5	6.6	5.2	A1z	台部欠損	119	88
282	17号住-P2埋土①	高台环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/不明-ウツリ	13.1	7.2	4.3	A1z	#	119	88
283	17号住カマド、土壇	高台环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付-ウツリ	16.6	6.2	6.5	A1b	#	119	88
284	17号住-P2底面②	台付碗			シキ/K付-K付		(6.4)		A0b	台部欠損	119	88
285	17号住埋土中-F位	瓦割装	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ			(22.2)		A0a		119	88
286	17号住床面埋設	甕		ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ			12.4	B01		120	89
291	18号住埋土1層①	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	(14.4)	5.4	4.0	A1a	炭化物付着。	121	89
292	18号住埋土1層②	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	(15.1)	5.8	4.4	A1a	#	121	89
293	19号住埋土1層①	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	13.4	5.4	4.3	A1a	#	121	89
294	19号住P1埋土中位	皿?	シキ/シキ	シキ/シキ	シキ/K付ウツリ	9.8	5.8	2.9	A0c	両面黒色処理	121	89
295	19号住P1埋土中位	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	12.8	5.6	4.1	A1a		121	89
296	19号住P1埋土中位	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	12.8	4.5	4.6	A1a		121	89
297	19号住P1埋土中位	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	13.4	5.6	4.7	A1a		121	89
298	19号住P1埋土中位	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/不明-ウツリ	14.0	5.8	5.8	A1z	底面厚減	121	89
299	19号住P1埋土	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付-ウツリ	15.1	7.0	5.8	A1b		121	89
300	20号住	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	ウツリ/K付	12.5	6.4	4.7	A1a		121	89
301	20号住-P1	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ		(10.4)			A1		121	89
302	20号住B-B' 0-7層	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	14.2	(6.9)	5.1	A1a		121	89
303	20号住	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	13.2	6.7	4.9	A1b		121	89
304	20号住-P1	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		(14.4)			A1	黒色土器	121	89
305	20号住B-B' 3層	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	13.7	6.0	4.8	Ba		121	89
306	20号住B-B' 6-7層	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	(15.0)	6.8	5.0	Ba		121	89
307	20号住B-B' 6-7層	甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		(22.6)			A1		122	89
308	20号住	甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/不明-ウツリ		(10.6)		A1		122	89
309	20号住B-B' 5層	甕		ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		9.5		A1		122	90
310	20号住B-B' 5層	長頸甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	24.5			A1		122	90
311	20号住B-B' 5層	小形甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	(13.3)	8.5	13.3	A1		122	90
312	20号住-P1	甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	(16.0)	(10.2)	11.7	A1		122	90
313	20号住-P2	甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		18.5			A1		122	90
314	20号住	甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		19.3			A1		122	90
315	21号住	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	13.2	5.5	5.2	A1a		123	91
316	21号住	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	13.5	6.4	5.3	A1a		123	91
317	21号住B-B' 2層	环	シキ/ウツリ	シキ/ウツリ	シキ/K付	(13.8)	5.5	5.8	A1a		123	91
318	21号住	环	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	(15.0)			A1	黒文字	123	91
319	21号住埋土1層	甕		ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		(11.0)		A1		123	91
320	21号住埋土1層	甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ		(23.0)			A1		123	91
321	21号住B-B' 5-6層	小形甕	ウツリ/ウツリ	ウツリ/ウツリ	ウツリ/K付	(10.9)	5.5	8.1	A0b		123	91

No.	出土地点	器種	口部形(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	器高	分類	備考	图版	写真
322	21号住	甕	3011' / 3011'	11' / 11'		(21.7)			A1		123	91
323	21号住B-B' 6層	甕	3011' / 3011'	11' / 11'		(21.0)			A1		123	91
324	21号住埋土	甕	3011' / 3011'	11' / 11'					BII		123	91
325	21号住B-B' 6層	大甕		3011' / 3011'					BI		124	91
327	22号住A-A' 4層	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'		(14.4)			A1		124	92
328	22号住	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'	30'k / S(1411'-11')		(6.4)		A1d		124	92
329	22号住	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'	30'k / K(1411'-11')		(6.8)		A1b		124	92
330	23号住	坏	30'k / 30'k	30'k / 30'k	30'k / 30'k	(15.8)	(5.8)	4.7	A0z		124	92
331	23号住	坏	30'k / 30'k	30'k / 30'k	30'k / 30'k	14.5	6.6	5.8	A1z		124	92
332	23号住内P	坏	30'k / 3011'	3011' / 30'k	30'k / K(1411')	13.2	5.3	4.7	A1a		124	92
333	23号住-P5	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'	3011' / K(1411')	(12.0)	4.0	4.0	A1a		125	92
334	23号住B-B' 8層	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'	30'k / 30'k	(13.4)			A1z		125	92
335	23号住B-B' 8層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.0	5.1	3.9	A11a		125	92
336	23号住-P5	坏		3011' / 3011'	3011' / K(1411')		5.0		A11b		125	92
337	23号住-P5	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	10.9	5.0	3.4	A11a		125	92
338	23号住B-B' 8層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.0	5.7	3.3	A11a		125	92
339	23号住B-B' 8層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	12.8	5.2	4.0	A11a		125	92
340	23号住B-B' 8層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	12.6	5.7	3.8	A11a		125	92
341	23号住-P5	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.7	4.5	4.0	A11b		125	92
342	23号住	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	(11.9)	4.9	4.1	A11a		125	92
343	23号住A-A' 7層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	(12.6)	(5.0)	4.0	A11a		125	92
344	23号住	高台坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / 11' 台付	(14.0)	(7.0)	5.4	A11z		125	92
345	23号住A-A' 3層	高台甕	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / 11'	13.1	5.5	3.2	A11z		125	92
346	23号住B-B' 8層	高台坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / 11' 台付	15.0	7.8	5.3	A11a		125	92
347	23号住	小形甕	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411'-11')	8.2	5.0	6.2	A11b		125	92
348	23号住-P6	小形甕	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	(5.4)	4.0	6.6	A11b		126	93
349	23号住-埋土器	甕	3011' / 3011'	11' / 11'	3011' / 3011'	22.8			B1		126	93
357	24号住B-B' 4層	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'	30'k / 3011'	14.6	6.5	5.7	A1b		126	93
358	24号住	坏	30'k / 30'k	30'k / 30'k	30'k / 30'k	(13.5)	6.8	5.1	A11z		126	94
359	24号住B-B' 2層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.8	5.6	3.7	A11a		127	94
360	24号住	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.8	6.4	4.0	A11a		127	94
361	24号住	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.7	5.7	3.7	Ba		127	94
362	24号住カマド	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	13.7	7.3	3.6	Be		127	94
363	24号住B-B' 3層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	12.4	6.8	3.4	Ba		127	94
364	24号住カマド	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	12.3	6.0	3.6	Be		127	94
365	24号住B-B' 1層	小形鉢	11' / 11'	11' / 11'	11' / 11'	14.0	7.9	9.0	A1		127	94
366	24号住B-B' 2層	鉢	30'k / 11' 11'k	30'k / 11' 11'k		22.2			A11		127	94
367	24号住	瓦製甕	11'k / 11'k	11'k / 11'k	11'k / 11'k	22.9	10.4	31.2	A1		127	94
368	24号住B-B' 1層	甕	11'k / 11'k	11'k / 11'k	11'k / 11'k		8.9	15.7	A1		127	94
369	24号住カマド	甕	3011' / 11'	11'k / 11'	11'k / 11'	20.0	10.0	19.1	A1		127	94
370	24号住	甕		11' 11'k / 11' 11'k	11' / 11'	(14.6)			A1 ?		128	95
371	24号住カマド	瓦製甕	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / 3011'	4.6	6.4	14.0	B		128	95
372	24号住B-B' 4層	甕	3011' / 3011'	11'k / 11'k		(21.0)			B		128	95
373	25号住貼り鉢	坏	30'k / 30'k	30'k / 30'k	30'k / 30'k	12.0	5.5	4.2	A0z	内面黑色処理	128	95
374	25号住A-A' 6層	坏	30'k / 3011'	30'k / 3011'	30'k / K(1411')	13.3	4.8	4.6	A1a		128	95
375	25号住A-A' 6層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	15.0	6.6	4.4	A11a		128	95
376	25号住A-A' 6層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	(13.4)	5.0	4.8	A11a		128	95
377	25号住A-A' 6層	坏	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	12.6	5.2	3.6	A11a		128	95
378	25号住A-A' 5層	小形甕		11' / 11'	11' / 11'	7.0			A1		128	95
379	25号住	鉢	11' / 3011'	11' / 3011'		(33.0)			A11 ?		128	95
380	25号住	甕?	3011' / 3011'	3011' / 3011'	3011' / K(1411')	8.0	8.0	16.9	B		129	95
381	25号住A-A' 6層	甕?	3011' / 3011'	3011' / 3011'					B		129	96

No.	出上地点	器種	口縁部(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	高さ	分類	備考	図版	写真	
382	25号住	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		12.1		BII		129	96	
383	25号住A-A'6層	甕			㊦/㊦				BII		129	96	
384	25号住埋土	大甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				B I		129	96	
385	25号住埋土	大甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				B I		130	97	
386	25号住埋土	大甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				B I		130	97	
387	25号住A-A'3層	大甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				B I		131	98	
392	26号住	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	14.0	6.8	4.7	AIIIb	底形確認か?	131	98
295	27号住オマクP1	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.6	5.5	4.2	Alla		131	98
396	27号住	甕			㊦/㊦				All		131	98	
398	28号住埋土下位	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	13.4	5.5	5.2	A I z		132	99
399	28号住埋土下位	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	112.6	5.6	5.2	A I a		132	99
400	28号住埋土中～下位	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	14.9	5.6	5.1	Alla		132	99
401	28号住埋土中～下位	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	14.0	5.2	4.6	Ba		132	99
402	28号住埋土下位	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		14.2	6.7	13.9	A I		132	99
403	28号住～P2埋土	長胴甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		20.2		A I		132	99	
404	28号住～P2埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	18.7	9.8	19.7	A I		132	99
405	28号住～P2埋土	長胴甕			㊦/㊦	㊦/㊦		7.2		AIIIa		132	99
406	29号住埋土中位	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	16.0	6.6	6.2	A I z		133	100
407	29号住埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	15.4	5.0	4.9	Ba		133	100
408	29号住埋土	甕			㊦/㊦	㊦/㊦				A I		133	100
409	29号住埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	22.7			A I		133	100
410	29号住上～中位	甕			㊦/㊦	㊦/㊦				BII		133	100
412	土器製造遺構	壺	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				BII		133	100
413	7号土坑～既面	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.8	33.4		BII		134	100
414	7号土坑埋土1層	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.8	5.2	4.6	A I a		134	100
415	7号土坑～既面	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	13.8	5.4	4.3	A I a		134	100
416	8号土坑～既面	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	13.0	4.8	4.4	Alla	破片	134	100
417	8号土坑～既面	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				A I		134	100
418	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	13.4	4.3	4.3	A I a	器面に施す文字	134	101
419	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	13.3	4.8	4.2	A I z	手摺にツツリ	134	101
420	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.7	5.2	4.1	Alla	底みあり	134	101
421	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.9	4.5	5.3	Alla		134	101
422	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.9	5.2	4.0	Alla		134	101
423	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.9	5.6	4.2	Alla		134	101
424	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	11.8	5.6	3.6	Alla		134	101
425	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	13.4	5.4	4.3	Alla		134	101
426	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.4	5.2	3.7	Alla		134	101
427	9号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				Alla		135	101
428	10号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	5.6			AllIb		135	101
429	10号土坑埋土				㊦/㊦					A I		136	101
430	10号土坑埋土	高台环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	112.2	6.8	5.4	B		135	101
431	11号土坑埋土上上位	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				A I		135	101	
432	11号土坑埋土上上位	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				不明		135	101	
433	15号土坑埋土中～下位	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	15.8			A I		135	101
434	17号土坑埋土15層	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	5.7			Alla		135	101
435	17号土坑埋土5層	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				Ba		135	101
436	17号土坑埋土7層	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	6.5			Be		135	101
438	20号土坑埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦						A I		135	101
437	17号土坑埋土6層下部	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	14.1	6.0	3.2	Be		135	101
439	24号土坑	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	6.0			Bf		135	101
440	27号土坑埋土	环	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				A I		135	101
441	27号土坑埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦					B		135	101

No.	出土地点	器種	口縁部(内/外)	胴部(内/外)	底部(内/外)	口径	底径	器高	分類	備考	図版	写真	
442	31号土坑埋土	小形鉢	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	10.5	6.4	6.7	A1		136	101	
443	32号土坑埋土下位	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	(12.6)	5.6	3.2	Ba		136	101	
444	33号土坑埋土	甕									136	102	
445	1号溝-P1埋土4層	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	14.2	6.4	4.2	Be		136	102	
446	1号溝-P3	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	6H/K(1H-㊦)	(12.8)	(5.3)	3.5	Bb		136	102
447	1号溝	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦						136	102	
448	1号溝	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	12.2	6.0	4.7	De		136	102
449	1号溝	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		4.3	Ba		136	102	
450	1号溝	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		(14.4)				136	102	
451	1号溝埋土上~中位	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	14.3	5.3	4.7	Ba		136	102
452	1号溝埋土上~中位	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	(16.4)	6.8	5.7	Ba		136	102
453	1号溝埋土上~中位	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	(5.0)				136	102	
454	1号溝埋土	台付杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦				Bb	底面に施青文字	136	102
455	1号溝P3	甕	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		(26.2)			Ba		136	102
456	2号溝埋土	杯	㊦/㊦	㊦/㊦	㊦/㊦		(10.6)	(4.6)	4.3	A1		137	102
457	2号溝埋土	甕								B1		137	102
458	3号溝埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦			(22.4)			A1		137	102
459	3号溝埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦						B1		137	102
460	B号溝埋土	甕	㊦/㊦	㊦/㊦						B1		137	102

\*単位はすべてcm.

金属器数表

No.	出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考	図版	写真
12	2号住一埋土下部	鈎形針状	6.72	3.21	1.12		99	71
25	3号住一埋土中	刀子	6.39	1.51	0.77		100	72
34	4号住一埋土中	刀子茎	5.1	1.5	0.86		101	73
35	4号住一埋土中位	不明	7.33	1.81	0.4		101	73
36	4号住一埋土中位	鎌	16.94	3.64	1.95		101	73
201	12号住一埋土下部	刀子	1.35	1.63	1.02		111	81
202	12号住一埋土	鎌又鐵	1.33	5.67	0.89		111	81
206	13号住一埋土下部	鎌	20.4	4.44	2.22		112	82
255	15号住一埋土上位	"	23.7	3.93	1.53		117	86
290	17号住-P3埋土中位	紡錘車	23.0	4.89	0.66		120	88
326	21号住一陪床	鋼鉄	2.21	2.21	0.11		124	92
352	23号住陪床-P6	刀子	9.2	1.8	1.0		126	93
353	23号住陪床	刀子	10.95	1.9	1.85		126	93
354	23号住陪床-P6	針	6.2	0.9	0.7		126	93
355	23号住陪床		5.4	1.2	0.5		126	93
356	23号住陪床		7.85	5.2	1.6		126	93
388	25号住陪床-P1	鎌	16.9	6.0	0.7		131	98
389	25号住陪床	金粒					131	98
390	25号住陪床	釘	7.25	1.0	0.9		131	98
391	25号住陪床	"	6.7	1.5	0.9		131	98
393	26号住陪床	刀子	5.4	1.1	0.5		131	98
394	26号住陪床	刀子?	8.1	1.3	0.6		131	98
397	27号住陪床		5.0	2.9	0.7		131	98
411	29号住-P3埋土	不明(棒状)	13.93	1.34	1.26		131	98
466	2号草痕	鉄銭	2.44	2.44	0.12		133	100
467	"	"	1.94	1.94	0.09		138	102
468	"	"	2.3	2.26	0.09		138	102
469	"	"	2.31	2.32	0.08		138	102
470	"	"	2.32	2.32	0.11		138	102

No.	出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	備考	図版	写真
471	2号塚	鉄鏡	2.31	2.31	0.09		138	102
472	"	"	2.35	2.36	0.09		138	102
473	"	"	2.15	2.13	0.08		138	102
474	"	"	2.36	2.41	0.13		138	102
475	"	"	2.65	2.57	0.28		138	102
476	"	"	2.73	2.58	0.57		138	102
477	26号表様	"	2.79	2.78	0.13		138	102
478	不明		8.9	4.25	0.35		138	102
479	"		(8.9)	3.95	0.25		138	102
480	"	釘(銅?)	(8.7)	1.5	1.2		138	102
481	"	釘	6.7	0.4	0.3		138	102
482	"		(4.7)	2.2	1.4		138	102

土製品観察表

No.	出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(θ)	色調	備考	図版	写真
77	8号住一床直	土鉢	3.3	2.3	18.3	7.5YR5/4 浅黄橙		105	76
78	8号住一床直	土鉢	3.9	2.4	21.6	7.5YR8/4 浅黄橙		105	76
79	8号住一床直	土鉢	3.3	2.1	15.8	7.5YR7/3 に近い物		105	76
80	8号住一床直	土鉢	2.2	3.8	19.3	7.5YR8/4 浅黄橙		105	76
81	8号住一床直	土鉢	2.3	3.7	18.1	7.5YR8/3 浅黄橙		105	76
82	8号住一床直	土鉢	2.1	3.1	15.4	7.5YR8/4 浅黄橙		105	76
83	8号住一床直	土鉢	2.1	3.7	18.9	7.5YR8/3 浅黄橙		105	76
84	8号住一床直	土鉢	2.2	3.4	17.1	7.5YR8/3 浅黄橙		105	76
85	8号住一床直	土鉢	2.1	3.1	15.3	7.5YR8/4 浅黄橙		105	76
86	8号住一床直	土鉢	2.1	3.1	15.2	10YR8/3 浅黄橙		105	76
87	8号住一床直	土鉢	1.2	3.5	17.5	7.5YR8/4 浅黄橙		105	76
88	8号住一床直	土鉢	2.2	2.1	15.0	10YR8/3 浅黄橙		105	76
89	8号住一床直	土鉢	2.1	3.4	13.7	10YR8/4 浅黄橙		105	76
90	8号住一床直	土鉢	2.2	3.8	18.0	7.5YR8/3 浅黄橙		105	76
91	8号住一床直	土鉢	2.2	3.4	16.4	10YR8/2 灰白		105	76
92	8号住一床直	土鉢	2.2	3.4	16.2	10YR8/3 浅黄橙		105	76
93	8号住一床直	土鉢	2.2	3.5	16.1	7.5YR8/4 浅黄橙		105	76
94	8号住一床直	土鉢	2.3	3.6	19.1	10YR8/4 浅黄橙		105	76
95	8号住一床直	土鉢	2.2	3.5	16.9	10YR8/4 浅黄橙		105	76
96	8号住一床直	土鉢	2.3	3.4	17.2	10YR8/2 灰白		105	76
97	8号住一床直	土鉢	2.4	3.4	17.3	10YR8/4 浅黄橙		106	76
98	8号住一床直	土鉢	2.2	3.5	16.3	10YR8/4 浅黄橙		106	76
99	8号住一床直	土鉢	2.3	3.6	16.7	10YR8/4 浅黄橙		106	76
100	8号住一床直	土鉢	2.3	3.5	15.2	10YR8/3 浅黄橙		106	76
101	8号住一床直	土鉢	2.2	3.4	15.0	10YR8/3 浅黄橙		106	76
102	8号住一床直	土鉢	2.0	3.4	11.6	10YR8/4 浅黄橙		106	76
103	8号住一床直	土鉢	2.1	3.5	16.5	10YR8/4 浅黄橙		106	76
104	8号住一床直	土鉢	2.2	3.6	14.0	10YR8/4 浅黄橙		106	76
105	8号住一床直	土鉢	1.9	1.9	14.6	10YR8/4 浅黄橙		106	77
106	8号住一床直	土鉢	2.2	3.1	16.8	7.5YR8/3 浅黄橙		106	77
107	8号住一床直	土鉢	2.0	3.2	13.5	10YR8/3 浅黄橙		106	77
108	8号住一床直	土鉢	1.9	4.2	18.9	10YR8/2 灰白		106	77
109	8号住一床直	土鉢	2.1	3.9	13.0	10YR8/3 浅黄橙		106	77
110	8号住一床直	土鉢	2.1	3.5	14.8	10YR8/3 浅黄橙		106	77
111	8号住一床直	土鉢	2.3	3.5	17.3	10YR8/3 浅黄橙		106	77

No.	出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	色調	備考	図版	写真
112	8号住一床直	土罐	2.3	3.1	17.2	7.5YR8/4 浅黄橙		106	77
113	8号住一床直	土罐	2.0	3.2	13.1	10YR8/3 浅黄橙		106	77
114	8号住一床直	土罐	2.2	3.7	17.9	10YR8/2 灰白		106	77
115	8号住一床直	土罐	2.4	3.6	21.8	10YR8/3 浅黄橙		106	77
116	8号住一床直	土罐	2.1	3.7	16.9	7.5YR7/4 にぶい橙		106	77
117	8号住一床直	土罐	2.3	3.4	16.8	10YR8/3 浅黄橙		106	77
118	8号住一床直	土罐	2.2	3.3	16.4	7.5YR8/4 浅黄橙		106	77
119	8号住一床直	土罐	3.1	2.3	16.6	10YR8/4 浅黄橙		106	77
120	8号住一床直	土罐	3.3	2.2	15.2	10YR8/4 浅黄橙		106	77
121	8号住一床直	土罐	3.3	2.2	16.9	10YR8/3 浅黄橙		106	77
122	8号住一床直	土罐	3.2	2.2	16.3	10YR8/4 浅黄橙		106	77
123	8号住一床直	土罐	3.3	2.3	16.1	7.5YR8/4 浅黄橙		106	77
124	8号住一床直	土罐	3.6	2.2	18.8	7.5YR8/4 浅黄橙		106	77
125	8号住一床直	土罐	3.3	2.2	15.3	10YR8/3 浅黄橙		106	77
126	8号住一床直	土罐	2.9	2.2	13.5	10YR8/4 浅黄橙		106	77
127	8号住一床直	土罐	3.0	2.2	14.3	10YR8/2 灰黄褐		106	77
128	8号住一床直	土罐	3.1	2.3	14.9	10YR8/3 浅黄橙		106	77
129	8号住一床直	土罐	3.1	2.0	11.0	10YR8/4 浅黄橙		106	77
130	8号住一床直	土罐	2.3	3.7	18.9	10YR8/3 浅黄橙		106	77
131	8号住一床直	土罐	2.3	3.4	17.9	10YR8/3 浅黄橙		106	77
132	8号住一床直	土罐	2.0	3.2	12.4	10YR8/4 浅黄橙		106	77
133	8号住一床直	土罐	2.3	3.4	15.8	10YR8/3 浅黄橙		107	77
134	8号住一床直	土罐	2.1	3.3	14.9	10YR8/4 浅黄橙		107	77
135	8号住一床直	土罐	2.3	3.2	15.4	10YR8/3 浅黄橙		107	77
136	8号住一床直	土罐	2.2	3.2	15.3	10YR8/3 浅黄橙		107	77
137	8号住一床直	土罐	2.3	3.2	15.5	10YR8/3 浅黄橙		107	77
138	8号住一床直	土罐	2.1	3.3	15.3	10YR8/3 浅黄橙		107	77
139	8号住一床直	土罐	2.3	3.5	18.1	10YR8/3 浅黄橙		107	77
140	8号住一床直	土罐	2.1	3.6	15.3	10YR7/1 灰白		107	77
141	8号住一床直	土罐	2.2	3.2	16.4	10YR8/4 浅黄橙		107	78
142	8号住一床直	土罐	2.1	3.1	14.7	7.5YR7/3 にぶい橙		107	78
143	8号住一床直	土罐	2.4	3.9	21.2	10YR8/3 浅黄橙		107	78
144	8号住一床直	土罐	2.1	3.5	16.9	10YR8/4 浅黄橙		107	78
145	8号住一床直	土罐	2.2	3.2	12.6	10YR8/4 浅黄橙		107	78
146	8号住一床直	土罐	2.2	3.3	16.0	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
147	8号住一床直	土罐	3.1	2.1	14.9	10YR6/1 褐灰		107	78
148	8号住一床直	土罐	3.4	2.2	15.9	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
149	8号住一床直	土罐	3.5	2.2	17.8	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
150	8号住一床直	土罐	3.1	2.3	13.9	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
151	8号住一床直	土罐	3.3	2.2	16.1	7.5YR7/4 にぶい橙		107	78
152	8号住一床直	土罐	3.5	2.2	18.0	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
153	8号住一床直	土罐	3.5	2.2	17.5	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
154	8号住一床直	土罐	2.2	3.3	15.9	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
155	8号住一床直	土罐	2.2	3.9	20.4	10YR5/1 褐灰		107	78
156	8号住一床直	土罐	2.4	3.6	19.9	10YR4/1 褐灰		107	78
157	8号住一床直	土罐	3.1	2.3	14.8	10YR8/3 浅黄橙		107	78
158	8号住一床直	土罐	3.5	2.1	15.3	10YR8/3 浅黄橙		107	78
159	8号住一床直	土罐	3.6	2.2	17.3	10YR8/3 浅黄橙		107	78
160	8号住一床直	土罐	3.6	2.2	16.8	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
161	8号住一床直	土罐	3.1	2.3	16.1	10YR8/3 浅黄橙		107	78
162	8号住一床直	土罐	3.3	2.2	15.2	10YR8/3 浅黄橙		107	78
163	8号住一床直	土罐	3.2	2.2	16.2	10YR8/3 浅黄橙		107	78

No.	出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	色調	備考	図版	写真
164	8号住一床直	土罐	3.4	2.1	15.3	10YR8/3 浅黄橙		107	78
165	8号住房跡	土罐	3.3	2.2	16.4	10YR8/3 浅黄橙		107	78
166	8号住一床直	土罐	3.3	2.3	16.9	10YR8/3 浅黄橙		107	78
167	8号住一床直	土罐	2.4	3.4	12.6	2.5YR8/2 灰白		107	78
168	8号住一床直	土罐	2.3	4.1	11.9	7.5YR8/4 浅黄橙		107	78
169	8号住一床直	土罐	2.4	3.1	13.8	7.5YR8/4 浅黄橙		108	78
170	8号住一床直	土罐	2.3	3.7	(9.6)	10YR8/1 灰白	1/2欠損	108	78
171	8号住一P5	柄状土製品	12.5	4.6	112.1	10YR3/1 黒褐		108	78
186	10号住房跡	耳皿	6.8	4.6	82.2	10YR3/1 黒褐		110	80
287	17号住一床直	耳皿	6.1	3.9				120	88

石器調査表

No.	出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	重量(g)	備考	図版	写真
6	1号住房跡	磨石	4.7	2.2		747.8		98	103
242	14号住房跡	磨石	8.9	4.2		344.8		115	103
243	14号住房跡	砥石				107.8		115	103
254	15号住房跡	磨石	8.8	8.4		182.9		117	103
288	17号住房跡	砥石	6.7	5.0		205.2		120	103
289	17号住房跡	砥石	12.1	6.9		503.8		120	103
350	23号住房跡	石錘	6.9	9.6		373.3		125	103
351	23号住房跡	砥石	6.7	1.5		632.8		125	103
462	17号住房跡	砥石				379.6		137	103
463	HK-II層	砥石	7.2	1.0		363.1		137	103
464	IOM区I層	凹石	5.4	1.1		870.5		137	103
465	20L-II層	石錘	22.1	7.5		6.7		137	103

陶器調査表

No.	出土地点	器種	器類	口径	底径	器高	備考	図版	写真
461	9号溝	磁甕	甕					137	102

## VI. まとめ

### (1) 遺構

#### 竪穴住居跡

今回の調査で検出された住居跡（住居状含む）は31棟で時期は古代29棟、中世2棟である。

〈占地〉調査区内における住居の立地は古代の住居が東側、中世の住居跡が西側に位置するのが特徴である。

〈規模〉各住居跡の床面積を図1にグラフで示した。最大で71.8㎡、最小で5.9㎡、平均値19.9㎡であるが70%以下はこれより低い値で10～20㎡の住居跡が半分を占める。

〈建て替え（拡張）〉今回検出した住居跡で2カ所にカマドが設置されているものが2・5・12・14・15・22号住居跡の6棟ある。このうち2号住居跡はカマドの新旧関係がなく同時期に使用されていた可能性がある。5号住居跡は泥水地による条件の悪さから床面の状況はあまり明確に把握できなかったが、住居そのものでなく、カマドのみ作り替えが行われたと思われる。また12号住居跡は床面からカマドの残りと思われる焼土が検出されたが壁や床面の変化、攪乱による遺構の破損により旧遺構と重複関係にあるのか拡張のための建て替えかの判別はつかなかった。これら2棟以外で上記にあげた4棟は壁面や床面の変化から明らかに住居の拡張が行われ、それに伴ってカマドを作り替えている。14号住居跡は当初、北壁面中央付近にカマドが設けられ、住居の拡張に伴い東側方向以外の壁面を削り、床面を掘り込んで持ち込みの黒褐色土混じりの褐色土を貼って固めた跡が窺える。この際カマドを東側に移して構築している。15号住居跡は最初、カマドを北壁面中央付近に設けられ、住居の拡張に伴い全方向の壁面を削り、床面を掘り込んで持ち込みの黄褐色土混じりの黒色土を貼って固めた跡が窺える。この際カマドを移し替えているか同じ北壁面に旧カマドの袖を芯材に使用しているため、壁面中央部よりやや西側に設けられている。8号住居跡は拡張したあとが窺えるがカマドの作り替えはない。

〈軸方向〉カマドをもつ壁に直交する線と座標軸との角度を軸方向とした。図2は住居軸方向の分布図でこれによると大きく北方向（N群）、東方向（E群）、南方向（S群）の3つのままとりに分けることができ、N群には7・11・15・24・27号住居跡、E群には1・3・4～6・9・10・12～14・17・19・20・22号住居跡、S群は2・8・16号住居跡が属する。軸方向の反軸方向に対する比率（軸方向÷反軸方向）は図3のようなグラフにすると各群によって若干数値が異なることが判る。すなわちN群の比率は最大1.07、最小0.86、平均値0.96、E群は最大1.06、最小0.76、平均値0.923、S群は2棟のみであるが平均値0.932である。これらの値から住居の形状についてN群は主軸方向のやや長い方形～正方形、E群は正方形～幅広い形状のものが多い傾向が見られる。

〈カマド〉カマドをもつ住居は22棟でN群住居は壁面中央、E群は壁面中央より南寄りに設けられている。

〈時期〉住居の時期については14号住居のカマドの建て替えからN群住居→E群住居の順が存在するのは確かで、出土遺物から検討してもこの傾向は裏付けられる。S群住居は出土遺物からN群住居と時期的に重複せずE群期の後期～その後まで存在する。

#### 陥し穴状遺構

67基が検出された。このうち約7割が東西に軸線を持っている。同じ軸線を持つものを結んでいくと北-南方向や北東-南西方向に2～9基の遺構が並んでいる事がわかる。等間隔のものや間隔が密であったり粗であったり様々である。

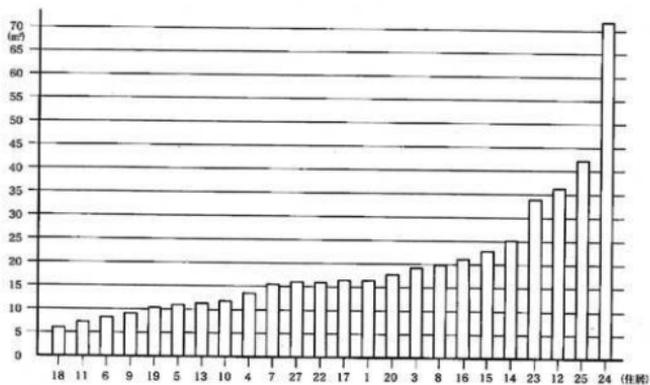


圖1 住居跡床面積分布圖

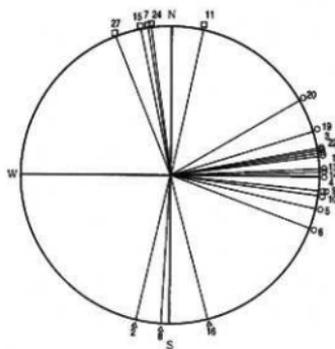


圖2 住居跡主軸分布圖

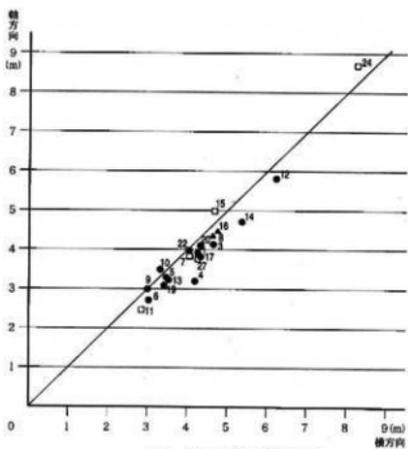


圖3 住居跡軸比率分布圖

遺構が検出された位置を大別すると、道路西側調査区北部、道路東側調査区西部、道路東側調査区東部の3つに分ける事ができ、調査区の西から東、北上川方面にいくに従って、遺構の密度が濃くなっている。

数基の陥し穴状遺構は他の遺構と重複関係にある。1・2号土坑との重複関係は陥し穴状遺構の方が新しい、他の遺構との重複関係は陥し穴状遺構の方が古い。住居跡と重複関係にあるものは、住居の貼り床部分を除去した後に陥し穴状遺構が検出されている。

遺物は出土していないが、形状や検出状況からすべて縄文時代の遺構と考えられる。

また周辺の遺跡では本遺跡から北西約1.5kmにある石持1遺跡から平成10・11年度の調査で陥し穴状遺構が約310基検出されており、北上川右岸に隣接するこの地域一帯が貯留場として利用されていたものと思われる。

## 土坑

41基検出された。本文中にあるように調査区のほぼ全域で検出されているが、約8割は道路東側調査区からである。

このうち出土遺物・検出状況等から時期が特定できるのは縄文時代の土坑が5基、平安時代が13基、古代～中世が2基、近世が1基で他は不明である。

縄文時代に属する1号土坑の断面形はフラスコ状を呈する。また古代に属する9号土坑からは土師器の坏が2・3枚ずつ重なって計9枚出土している。このうち1枚には竈で文字の書かれた土師器が含まれていたがこれだけが内面に黒色処理が施されており、他はロクロナデ無調整の坏である。また口縁部の一部が欠けているものがあつた。埋土の状況は、初めピーカー型に大きく掘込んだ後、黄褐色土を埋め戻したと考えられる。土師器は保管、あるいは埋納した可能性もある。他に遺構の性格は不明であるが、12号土坑、13号土坑、15号土坑は異なる平面形・規模であるが、土坑内のほぼ全面に薄い接合不能の土師器片と炭化物を多量に含むという共通性を持つ。15号土坑は11号住居跡と重複関係にあり本遺構の方が新しい。36号土坑は円形で、壁はやや外傾し、上部ほど広がる井戸状の土坑である。検出面からおよそ1.3m付近に地下水位があつたためその付近の精査は困難であつたが、そこより深くなる事はなく、出土遺物もないことから井戸と断定は出来なかつた。

## 焼土遺構

14基検出された。いずれも形状は皿状を呈し、焼土は遺構の端部からレンズ状に堆積し、その下に炭化物が堆積する状況からカマドの機能をしていたものと考えられるが出土遺物はなく、詳細は不明である。

## 墓塚

2基検出された。いずれも不整な長方形形状を呈し、2号墓塚からは古銭が11枚出土している。本文中の記述にあるように、この墓は、江戸時代～昭和初期にこの土地を所有していた小野崎氏ゆかりの墓ではないかと考えられ、時期は江戸時代後期～明治時代初期頃と推測される。

## 竪穴状遺構

3基検出された。1号竪穴状遺構は平面形の長方形を呈し、床面は非常に固く、20cm前後の礫が点在する。遺構の性格は小屋的なもので時期は近世に属すると思われるが、出土遺物がなく詳細は不明である。

## 溝状遺構

13条検出された。このうち1号溝、2号溝が古代に属する。1号溝は道路東側調査区と道路西側調査区に検出されたものを埋上や断面等から同一のものと判断した。南東-北西方向に走行し、13Mグリッドで緩やかに湾曲して南南東-北北西方向に走行している。18Oグリッドでは18号土坑と重複関係を持ち、溝の方が新しい。

7・8号溝は西北西-東南東方向に走行し13Pグリッドで屈曲して北北西-南南東方向に走行する。7号溝は8号溝より新しい。12Pグリッドでは7号溝は27号土坑と、8号溝は28号土坑と重複関係を持つがいずれも上坑の方が新しい。

## (2)遺物

今回の調査で大コンテナ約40箱分の遺物が出土した。ほとんどが遺構内からの出土で土師器、須恵器、陶磁器、石器、鉄器、金粒、土製品などが出土している。

### (a)分類

土器の分類に当たっては、器種と焼成方法、調整技法によって細分した。

器種には坏、高台付坏、皿、甕、壺、鉢などがある。これらを坏類・甕類の2つに大きく分けた。このうち酸化炎焼成のものをA群、還元炎焼成のものをB群に大別し、さらに坏類は底部の切り離し技法、甕類は器面調整の方法の違いで細分した。

### 坏類（坏、高台坏、大形坏、皿、台付皿）

A群：ロクロにより成形された酸化炎焼成の土器群。

○群：ロクロにより成形され、両面にヘラミガキ調整と黒色処理が施された酸化炎焼成の土器群。

Ⅰ群：ロクロにより成形され、内面ヘラミガキ調整と黒色処理が施された酸化炎焼成の土器群。

Ⅱ群：ロクロにより成形され、酸化炎焼成されているものでロクロ以外の調整が施されない土器群。

B群：ロクロにより成形された還元炎焼成の土器群。

### （底部切り離し技法）

a類：回転系切りで、再調整が施されないもの。

b類：回転系切りで、再調整が施されるもの。

c類：静止系切りで、再調整が施されないもの。

d類：静止系切りで、再調整が施されるもの。

e類：回転ヘラ切りで、再調整が施されないもの。

f類：回転ヘラ切りで、再調整が施されるもの。

z類：再調整による摩滅、欠損のため不明なもの。

(外面調整)

1. ロクロナア以外の調整が施されないもの。
2. ヘラミガキ調整が施されるもの。
3. ヘラケズリ調整が施されるもの。体部下～底部にかけてヘラケズリ調整が施されるものが多い。手持ちヘラケズリ調整がほとんどだが、回転ヘラケズリ調整の認められるものもある。

(坏形土器)

今回の調査で出上し、図化・掲載した坏形土器は194点である。このうちA0群の酸化炎焼成の両面黒色坏は3点(1.5%)、A I群の酸化炎焼成の内黒坏は80点(41.2%)、A II群の酸化炎焼成の非内黒坏60点(31.0%)、B群の還元炎焼成坏51点(26.3%)で極少量のO群以外の出土量の比率は約4:3:3でI群の景がやや多い。

底部の切り離し技法の観察が可能な個体は183点でA I群78点、A II群57点、B群48点で内訳は観察表のとおりである。

土器構成表

遺跡名	坏形土器																					
	A0	A I (78点)						A II (57点)						B群 (48点)								
		a	b	c	d	e	f	z	a	b	c	d	e	f	z	a	b	c	d	e	f	z
1号住居跡	1							1														
2号住居跡								2												1		
3号住居跡	3							1	1							2						
4号住居跡		1						1						2								
5号住居跡								1							1					2		
6号住居跡	1							1							1							
7号住居跡	3							4	6						4	1						
8号住居跡	1																					
9号住居跡	2																					
10号住居跡								2														
11号住居跡																						
12号住居跡	2	1					2	1	1							1				1	2	1
13号住居跡								1														
14号住居跡	5	3					2	1	1					1		4	1					
15号住居跡	2															2						
16号住居跡	2								1							1						
17号住居跡	15																					
18号住居跡								3														
19号住居跡	1							2	1					1								
20号住居跡	1							1	1						2							
21号住居跡	1	3																				
22号住居跡	1		1		1																	
23号住居跡	1	2						2	7	2												
24号住居跡			1							2											1	
25号住居跡	1								3													
26号住居跡										1												
27号住居跡									1													
28号住居跡	1							1	1						1							
29号住居跡								1							1							
7号土坑	2								1													
9号土坑	1							1	8													
10号土坑										1												
17号土坑															1						2	
24号土坑																						1
32号土坑	3															1						
1号溝															5	1				2		
合計		49	7		1		4	14	46	7				1	3	32	3			9	3	1

また住居跡の軸方向（カマド構築場所）の違いによる坯の分類は図4のようであるが、これによると住居N群では坯AⅠ・AⅡ・B群土器の出土量はほぼ同じである。住居E群ではAⅠ:AⅡ:B群の比率は2:1:1となり、内黒土器群の割合が増加する。（住居S群は出土遺物が8点と少ないため参考外とした。）底部の切り離し技法は圧倒的に回転系切りが多く、回転系切りは少ない。底面に切り離し後再調整が施される割合はAⅠは22点で28.2%、AⅡは10点で17.5%、B群は7点で14.6%となっている。AⅠの坯における再調整の割合は住居N群、住居E群ともに約50%と変わりはない。坯AⅡにおける再調整の割合は住居N群は再調整が0%、住居E群が22.2%、B群の坯における再調整の割合は住居N群は再調整が9%、住居E群が23.5%と違いが見られることから、内面内黒坯AⅠには住居形態による成形の違いはAⅡ、B群ほど見られない。しかし、17号住居跡（焼失住居）から一括出土した14点の坯AⅠには再調整が全くないことから住居E群の中では時期的な成形による相違がみられる。

次に器高に対する口径・底径の分散値（半転による推定値を除く）をグラフにした。図5ではAⅠ環形土器の器高に対する口径、図6では底径の対比率を示した。これによると器高は4.1~6.4cm、口径は12.5~15.2cm、底径は4.8~6.8cmの範囲にあり、器高による口径、底径の長さの違いは見られない。各住居ごとでは住居S群である16号住居跡出土の坯は器高が最も大きく、口径も14.3cm、15.2cmと住居E群の中で口径14.1~15.2cmと最も長い17号住居跡と同じ範囲にある。

図9では坯AⅡの器高に対する口径、図10では底径の対比率を示した。これによると器高は3.7~5.8cm、口径は12.4~15.5cm、底径は4.5~7.0cmの範囲にあり、大まかではあるが、器高値と口径値は比例する傾向にある。住居ごとでは住居N群出土の坯の器高値が3.7~4.4cmと低いのが特徴である。

図7ではB群土器の器高に対する口径、図8では底径の対比率を示した。これによると器高は3.4~5.7cm、口径は12.3~14.8cm、底径は5.5~7.4cmの範囲にあり、器高・口径の値や器高値に対し、口径値が（B群は明確に）比例する特徴もAⅡ土器に類似する。

結果、AⅠには器高値の変化による口径・底径の値は一定の傾向になく、AⅡ→B群になるに従い、特に器高値に対する口径値の比例は明確になる。

#### 〈大形坯〉

2点出土した。243は14号住居跡の貼り床土、294は17号住居跡のP3底面からそれぞれ出土した。294はI群に属するか同住居跡から出土したAⅠ群の坯15点すべてが回転系切り無調整(a類)であるのに対し、底部切り離し後、手持ちヘラケズリ調整が施されていることから坯と異なる器種と判断した。

#### 〈高台坯〉

11点出土した。内訳はA群O類1点、A群I類0点、A群II類7点、B群I点である。底部の切り離し技法は回転系切りで高台を接合後、その部分を再調整が施されている。

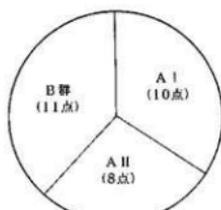
焼失住居跡である17号住居からは4点（A群O類1点、A群II類3点）が出土している。

#### 〈皿、台付皿〉

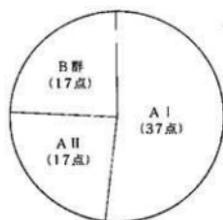
皿類は6点出土した。このうち台付は4点で底部の切り離し技法は回転系切りで台付のものには再調整によって切り離し技法が不明なものもある。



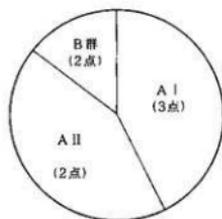
住居内出土环



住居N群

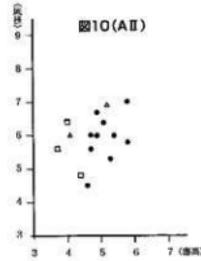
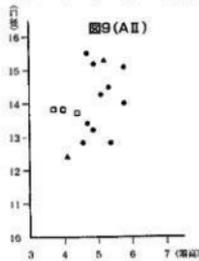
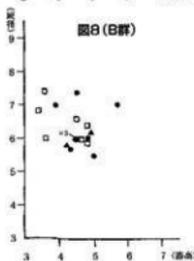
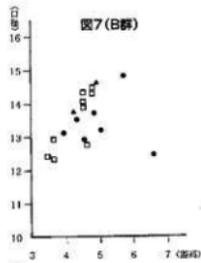
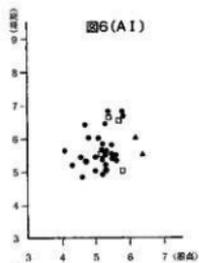
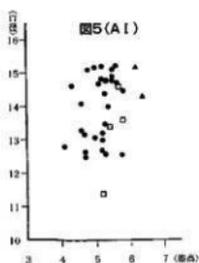


住居E群



住居S群

图4



环形土器分散图

甕類 (甕、鉢、壺)

(甕)

A群：酸化炎焼成による土器群。

I類：非ロクロ成形の土器群。器面の調整は口縁部はヨコナテ、胴部は外面はナテ、内面はハケメによる調整が主に施される。

II類：ロクロにより成形され、内面ヘラミガキ調整と黒色処理が施された酸化炎焼成の土器群。

III類：ロクロにより成形され、酸化炎焼成された非内黒の土器群。

a種：器面の調整にロクロナテ成形後に体部下半にナテ、ケズリによる再調整が施されるもの。

b種：器面の調整にロクロ以外の調整が施されない土器群。

B群：還元炎焼成による土器群。

I類：口縁部のみロクロ成形で胴部は非ロクロの成形によるもの。

II類：全面ロクロナテ成形後に体部下半にナテ、ケズリによる再調整が施されるもの。

III類：器面の調整にロクロ以外の調整が施されない土器群。

今回の調査で出土し、図化・掲載した甕類は119点である。このうち酸化炎焼成の非ロクロ成形の甕A Iは52点 (43.7%)、A IIの酸化炎焼成内黒甕は5点 (4.2%)、ロクロ成形で酸化炎焼成の甕A IIIは29点 (24.3%)、B群の還元炎焼成の甕類は33点 (27.8%) で極少量のA II以外の出土量の比率は約4 : 3 : 3でO群の量がやや多い。

B群ではI類とII類がほぼ半々である。

出土遺構ごとの観察表は以下のとおりである。

遺構名	A群								遺構名	B群									
	A I	A II	A III			B I	B II	B III		不明	A I	A II	A III			B I	B II	B III	不明
			a	b	不明								a	b	不明				
1号住居跡		1				1			22号住居跡										
2号住居跡			1	1					23号住居跡										
3号住居跡			1	1					24号住居跡	5	1		2		1		1		
4号住居跡	3							1	25号住居跡	1				1	4	2	1	1	
5号住居跡	4								26号住居跡										
6号住居跡					3				27号住居跡	1									
7号住居跡	1	1						3	28号住居跡	3	1								
8号住居跡									29号住居跡	2							1		
9号住居跡				1	1				土器埋設								1		
10号住居跡			5					1	8号土坑	1			1						
11号住居跡	1								11号土坑	1									
12号住居跡	2		1	1	1				15号土坑	1									
13号住居跡				1					20号土坑	1									
14号住居跡	5	1		1				1	27号土坑									1	
15号住居跡	4							2	31号土坑	1									
16号住居跡				3					33号土坑	1									
17号住居跡				1				1	1号溝										
18号住居跡									2号溝	1									
19号住居跡									3号溝	1							1		
20号住居跡	9								8号溝									2	
21号住居跡	3	1		1				4	合計	52	5	11	10	8	11	15		5	

この表から見た特徴を述べると、次の通りである。

1. 酸化炎焼成の非ロクロ成形甕(A I)と還元炎焼成の非ロクロ成形甕(B I)は共伴する。
2. 酸化炎焼成の非ロクロ成形甕(A I群)と還元炎焼成のロクロ成形甕(B II)は共伴する。
3. 酸化炎焼成のロクロ成形内黒甕(A II群)と酸化炎焼成の非ロクロ成形甕(A I)は共伴する。
4. 住居S群からは酸化炎焼成(A群)の甕はIII類のみ出土する。

### (3) おわりに

以上の結果から今回の調査で似内遺跡で明らかになった遺構・遺物の時期的位置や特徴は以下の通りである。

1. 回転ヘラキリ無調整坯と酸化炎焼成の非ロクロ成形器が共存する出土状況や内黒坏には底部に切り離し後再調整が施される土器と無調整の土器が共存する特徴や14号住居跡の建て替えによる住居N群→E群の移行などから住居N群とE群の混在時期あり、その時期は9世紀前半と想定される。
2. 住居E群である17号焼失住居一括土器の内黒坏は底部の切り離しがすべて回転系切り後、無調整であり、口径値は1に述べた再調整土器と共存する土器群の口径値が概ね13cm前後であるのに対し、14.1～15.1cmと大きい値をもつ。またこの住居からはAⅡ・B群の坏は全く出土してない。住居E群の中でも明らかな時期差が存在する。
3. 住居S群出土の酸化炎焼成の甕はロクロ成形のA群Ⅲ類のみである。S群の時期的な判断の資料不足のため不明であるが、隣接する上似内遺跡から検出された住居内ではE群→S群のカマドの作り替えが確認されている。住居S群の時期については出土遺物から9世紀後半に属すると考えられる。(ただし住居S群の時期的範囲の下限については近隣の庫理遺跡の調査結果で10世紀初頭の住居が確認されている。)  
また、上記以外にも類似性のある事項も認められるが、今回の調査結果のみで判断されるべきではなく周辺遺跡を含めた総合的な検討が必要なのは明らかであり、西北西に近接する石持1遺跡や南東に隣接する上似内遺跡の調査報告がまたれる。

#### <引用・参考文献>

- ・花巻市教育委員会 1999 『花巻市内遺跡発掘調査報告書』(久田野Ⅱ遺跡・本館Ⅱ遺跡・似内遺跡)
- ・花巻市教育委員会 2000 『庫理遺跡発掘調査報告書』
- ・岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1999 『庫理遺跡発掘調査報告書』  
(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第302集)
- ・岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1996 『小堀遺跡第4次発掘調査報告書』  
(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第265集)
- ・八木光則 1992 『古代新羅群と爾後時代の土器様相』第18回古代城壙官衙検校会
- ・杉本尚次 1969 『日本民家の研究』ミネルヴァ書房
- ・石原憲治 1978 『日本農民建築の研究』南洋堂書店
- ・坪井洋文 1985 『日本民族文化大系 10 家と女性—暮らしの文化史—』  
『第3章 住民の原感覚—喜怒哀楽の共有感覚—』小学館
- ・大河直幹 1986 『住まいの人類学』平凡社
- ・草野和夫 1995 『近世民家の成立過程』中央公論美術出版
- ・藤井恵介／玉井哲雄 1995 『建築の歴史』中央公論社
- ・秋田県教育委員会 1973 『秋田県の民家』
- ・岩手県教育委員会 1978 『岩手の古民家』
- ・岩手県教育委員会・日本国有鉄道盛岡工事事務局 1979 『八幡遺跡』(現在は「矢沢八幡遺跡」に名称変更)『東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書—Ⅱ—』  
(岩手県文化財調査報告書 第34集)
- ・岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1997 『白井坂Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書』  
(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第248集)

・高橋與右衛門 1981 「岩手県に於ける中・近世の掘立柱建物跡 —選跡紹介を中心として—」『紀要1』

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

・高橋與右衛門 1993 「掘立柱建物跡から見た南部「曲り屋」出現期の一試案」『紀要XⅢ』 岩手県文化振興事業

団埋蔵文化財センター

## VI. 分析・鑑定

### 花巻市似内遺跡出土炭化材の樹種

高橋利彦 (木工舎「ゆい」)

#### 1. 試料

試料は18点 (NO.1-10,11-19であるが、NO.5・6・8・18・19の5点は種実であったためこれをく13点を同定対象とした。種実については後述する。試料は平安時代(9世紀)のものと思われる焼失住居跡(4号住・17号住・18号住)と時期不明の1号坑土遺構から検出されたものである(表1参照)。

遺跡は標高76m前後の河岸段丘上に立地している。

#### 2. 方法

同定作業には発掘担当者によって採取されていた炭化材の中から1片を任意に選んで用いた。採取した試料を室内で自然乾燥させたのち、試料の木口(横断面)・柃目(放射断面)3断面を作成し、実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡(SEM、加速電圧 10kV)で観察・同定した。併せて各分類群1点の電子顕微鏡写真図版を作成した(図版1・2)。SEM観察にあたっては(株)ニッテツ・ファイン・プロダクツ釜石試験分析センターのご協力をいただいた。記して感謝いたします。なお、ネガ・フィルムと残った炭化材は木工舎「ゆい」に保管されている。

#### 3. 結果

試料は以下の4分類群(ここでは属・種の異なった階級の分類単位を総称している)に同定された。試料の主な解剖学的特徴や一般的な性質は次のようなものである。なお、科名・学名・和名およびその配列は「日本の野生植物 大本1」(佐竹ほか 1989)にしたがい、一般的性質については「木の事典 第4巻」(平井 1980)も参考にした。

・クリ (*Castanea crenata*) ブナ科 No.1,2,3,7,10,13,15,16,17

環孔材で孔圍部は多列、孔圍外で急激に管径を減じたのち漸減しながら火炎状に配列する。大道管は単独、横断面では円形～楕円形、小道管は単独および2-3個が斜(放射)方向に複合、横断面では角張った楕円形～多角形。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では柵状～網目状となる。放射状組織は同性、単(-2)列、1-15細胞高。柔組織は周圍状、短接線状。年輪界は明瞭。

No.15は小枝のように見えたが、大径材を丸棒状に削りだした加工材であった。

クリは北海道南西部から九州の山野に自生し、また横裁される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、耐朽性が高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材、楕木などに用いられる。

・ケヤキ (*Zelkova serrata*) ニレ科 No.9

環孔材で孔圍部は1-2列、孔圍外で急激に管径を減じたのち漸減し、塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。大道管は横断面では円形～楕円形、単独。小道管は横断面では

多角形で複合管孔をなす。道管は単穿孔をもち、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-10細胞幅、1-60細胞高でしばしば結晶を含む。柔組織は周囲状。年輪界は明瞭。

ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また厚敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにもなる。材はやや重硬で、強度は大きい。加工は困難でなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途に用いられ、国産広葉樹材の中で最良のものの一つにあげられる。

・コクサギ (*Orixa japonica*) ミカン科 NO.12

紋様孔材で、道管は複合し火炎状やX字状に配列する。道管は横断面では多角形、単穿孔をもち、壁孔は交互状~対列状に配列する。放射組織は異性、単(1-2)列、1-20細胞高。柔組織はターミナル状。年輪界は明瞭。

コクサギは本州・四国・九州の丘陵地に生育する落葉低木で、石灰岩地では群生する。低木であるため材の用途は特に知られていない。

・ススキ類似種 (*Miscanthus cf. sinensis*) イネ科 No.4,14

中実の桿の基本組織の中に維管束が散在する不斉中心柱をもつ。試料の桿は中空に見えるが、炭化の過程で焼失したもので本来は中実であると判断した。河川敷などに生育する同属のオギ (*M. sacchariflorus*) の可能性もあるため類似種としておく。

以上の同定結果を検出遺構などとともに一覧表で示す(表1)。

表1 似内遺跡出土炭化材の樹種

試料番号	検出遺構・層位など	種名
1	1号焼土 埋土	クリ
2	4号住 床上	クリ
3	18号住 床上	クリ
4	17住 南東部	ススキ類似種
7	17住	クリ
9	17住 南東隅壁際	ケヤキ
10	17住 P1	クリ
12	17住 P1	コクサギ
13	17住 P1	クリ
14	17住 P1	ススキ類似種
15	17住 P1	クリ
16	17住 サンプル1	クリ
17	17住 サンプル2	クリ

#### 4. 考察

同定対象とした試料は、3住居跡と1焼土遺構から検出されたものであるが、いずれの

遺構からもクリが認められた。また、試料数の多い17号住居出土試料（10点）からはクリ（6点）・ケヤキ（1点）・コクサギ（1点）の本木と、草本のススキ類似種（2点）が認められている。

県内で試料と同時期とされる住居跡出土の炭化材の樹種が検討された例は、筆者の知る範囲ではない。筆者が検討したものでは、盛岡市台太郎遺跡の3住居跡（8点）からクリ(4)のほかマツ属・ブナ属・モクレン属・カエデ属が認められている例<sup>1)</sup>や、木山村芋田II遺跡の2住居跡（13点）からコナラ節(5)・ヤナギ属(3)・クリ(2)・ケンボナシ(2)・ケヤキが認められた例<sup>2)</sup>、宮古市島田II遺跡のS114からクリ（2）が認められている例<sup>3)</sup>がある。

青森県では、八戸市根城跡の4住居跡（4点）からコナラ（2）・ケヤキ・ケンボナシが（嶋倉 1983）、同市和野前山遺跡の2住居跡（10点）からコナラ(7)・ヤチダモ(2)・スギが（嶋倉 1984）、三沢市小田内沼遺跡の5住居跡（10点）からコナラ（7）・クリ・カエデ・カツラが認められている例（嶋倉 1988）などがあり、クリよりコナラ節が多い傾向が窺える。

また、宮城県仙台市沼原A遺跡の1号住居跡（3点）からはクリ(2)とブナ属(2)<sup>4)</sup>が認められている（光谷 1983）。

ところで、低木のコクサギが報告された例はほとんどなく、県内では、平泉町柳之御所跡（12世紀）の自然木の中に1点ある（能城 1995）だけであろう。また、宮城県仙台市畜沢遺跡第30次調査の古墳時代とされる水田用水路に伴う杭材の中にコクサギが多数認められている例がある（パブリコ・サーヴェイ株式会社 1991）。住居の構築材では、本遺跡からは約370km南方に位置しているが、群馬県渋川市中筋遺跡の古墳時代（6世紀前半）の名山二ツ岳から噴出した火砕流に飲み込まれた住居跡からコナラ節などとともにコクサギ・ムラサキシキブ属が検出された例（高橋 1988）がある。

## 5. 炭化種実

試料は5点で、いずれも17号住居から検出されたものである。なお、No18は木堅とされていたが、同定試料としたものは種子の塊が炭化したものであった。

試料は以下の3分類群に同定された。

- ・オニグルミ (*Juglans mandshurica* var. *sachalinensis*) 核 クルミ科  
オニグルミは北海道から九州の川沿いなどに生育する落葉高木である。

- ・クリ (*Castanea crenata*) 子葉 ブナ科

試料は、果皮（殻）・種皮（渋皮）のない食用となる子葉部分のみであった。これらは炭化の過程で焼失したものではなく、「皮むき」したのちに炭化したものと推定している。クリの熟した総（イガ）の中には1-3個の堅果が入っているが、1個のみが大きく熟し他の2個は「しいな」状に小さいままであることも多い。試料の中にはこの「しいな」状のものも少なからず含まれていた。

- ・コムギ (*Triticum aestivum*) 種子 イネ科

現在の栽培品種と比較すると、粒形の変異が大きい。一部に（殻）の残るものもあったが大半は種子のみであった。

コムギは中国から伝えられ、その渡来年代は明らかにされていないが、奈良時代以前とされている。なお、オオムギ (*Hordeum vulgare* var. *hexastichon*) 可能性もある。

No.18はエノコログサ属 (*Setaria*) などにも似ているが互いに溶融・合着していて同定できなかった。

以上の同定結果を一覧表で示す(表2)。併せて写真図版(図3)も作成した。試料は(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに返却された。

表2

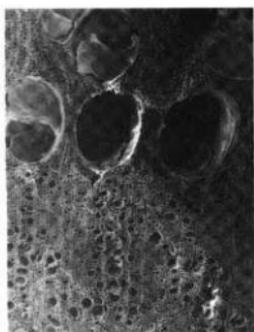
試料番号	検出層位など	種名
5	カマド煙道部埋土中～下位	クリ 子葉
6	中央部床面	オニグルミ 核
8	床面	コムギ 種子
18	床面上	イネ科草本 種子
19	床面	コムギ 種子

(注)

- 1) 既報の「台太郎遺跡出土炭化材樹種同定報告」(木工舎「ゆい」1998)を参照のこと。
- 2) 既報の「芋田II遺跡出土炭化材樹種同定報告」(木工舎「ゆい」1998)を参照のこと。
- 3) 既報の「島田II遺跡出土炭化材樹種同定報告」(木工舎「ゆい」2000)を参照のこと。
- 4) 1試料からクリとブナ属が認められているため合計は試料数より多くなっている。

#### 引用文献

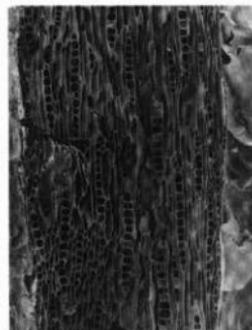
- 平井信二 1979-1982「木の事典 第1巻～第7巻」,かね書房
- 光谷祐実 1983 沼原A・嶺山C・梨野A各遺跡出土炭化材樹種同定結果,「仙台市文化財調査報告書第45集 茂庭 茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告 梨野A遺跡・沼原A遺跡・沼原B遺跡・沼原C遺跡・嶺山A遺跡・嶺山B遺跡・嶺山C遺跡」,仙台市教育委員会・仙台市開発局,425-455.
- 佐竹義輔・原 寛・戸理俊次・富成忠夫(編)1989 「日本の野生植物 大木I・II」,平凡社,321,305pp
- 高橋俊彦 1988 中筋遺跡出土炭化材の樹種,「茨川市発掘調査報告書第18集 中筋遺跡第2次発掘調査概要報告書」,群馬県茨川市教育委員会,42-47.



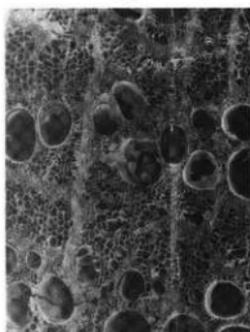
1a



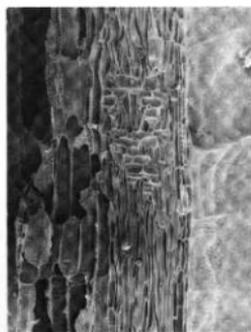
1b



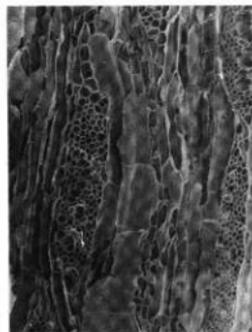
1c



2a



2b



2c



3a

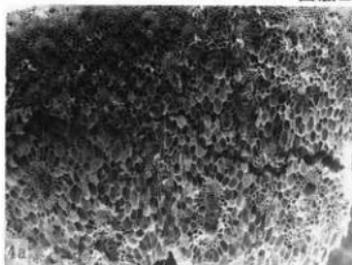


3b



3c

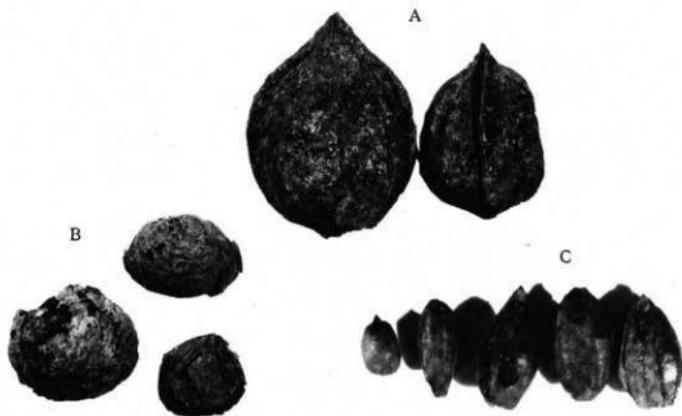
図版2



図版1 1. クリ NO.3  
2. ケヤキ NO.9  
3. コクサギ NO.12

図版2 4. ススキ類似種 NO.4

a: 木口  $\times 40$  b: 柀口  $\times 100$  c: 板目  $\times 100$   
樹木の肥大生長方向は木口では画面下から上へ、柀目では左から右。



A: オニグルミ核 No.6 $\times$ 1.3  
B: クリ子葉 No.5 $\times$ 1.2  
C: コムギ種子 No.8 $\times$ 4.8 粒径は大・細・長・短さまざまで、  
現在栽培されているものに比べて変異が大きい。

# 写 真 图 版





遺跡遠景（上か南）



調査区両側近景（98年度分 北から）

写真図版1 空中写真①



調査区東側近景 (98年度調査分 上が南)



調査区近景 (99年度調査分 上が南)

写真図版2 空中写真②

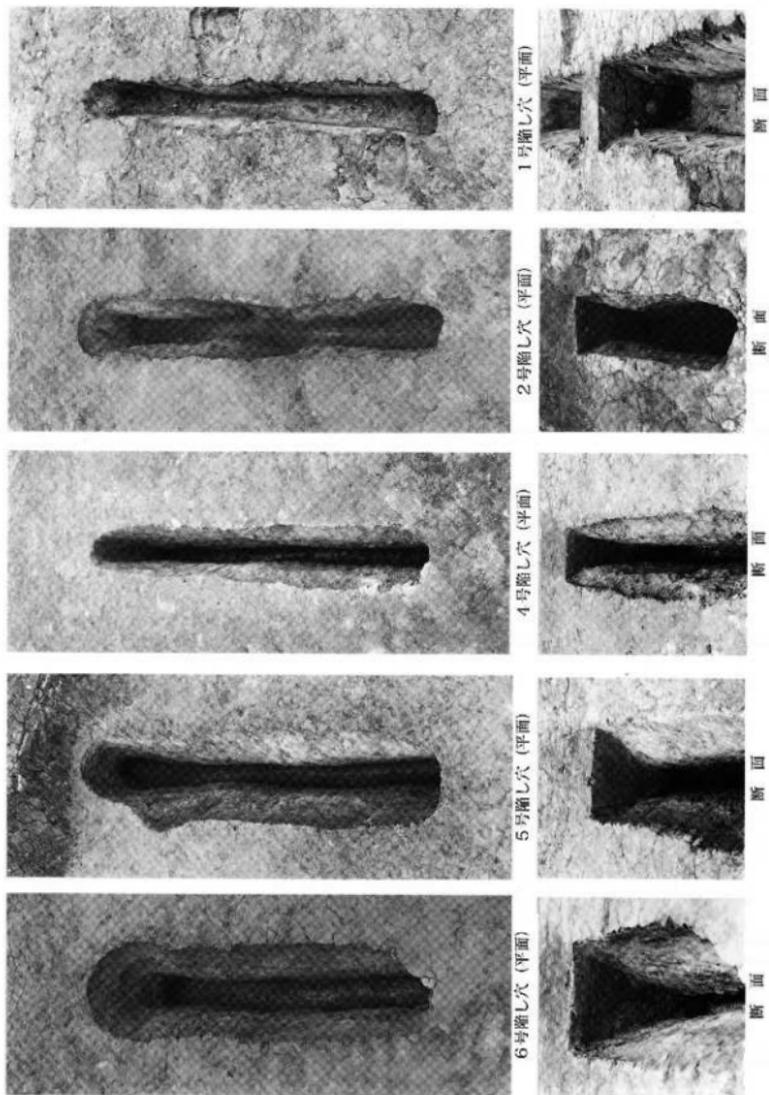


基本土層 (調査区西端)

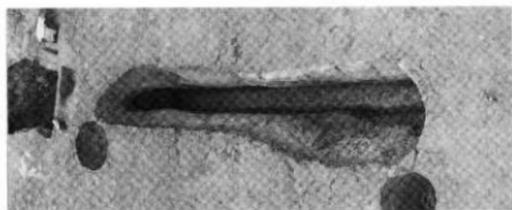


基本土層 (調査区東側)

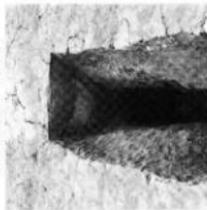
写真図版3 基本土層



写真図版4 1・2・4～6号陥し穴



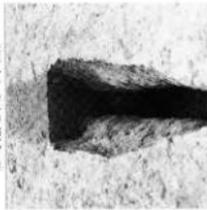
7号陥し穴 (平面)



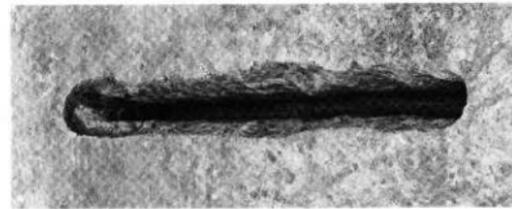
断面



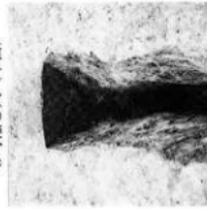
8号陥し穴 (平面)



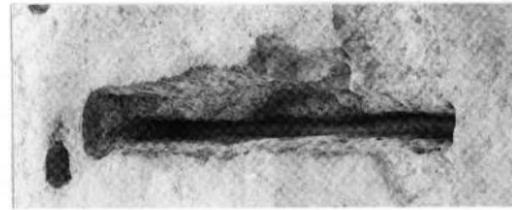
断面



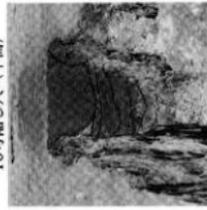
9号陥し穴 (平面)



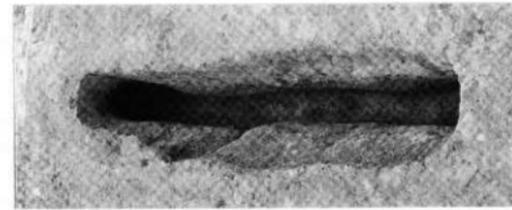
断面



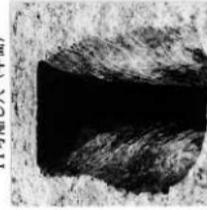
10号陥し穴 (平面)



断面



11号陥し穴 (平面)



断面

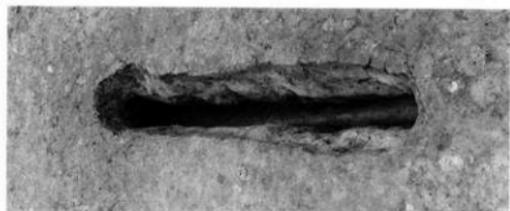
写真図版5 7~11号陥し穴



12号陥し穴 (平面)



断面



13号陥し穴 (平面)



断面



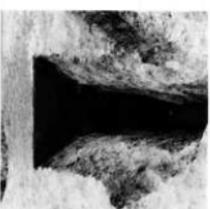
14号陥し穴 (平面)



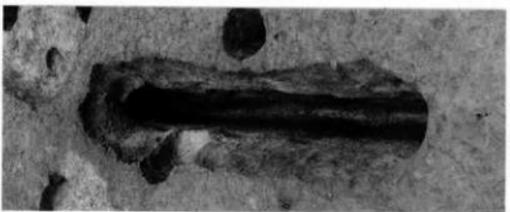
断面



15号陥し穴 (平面)



断面



17号陥し穴 (平面)

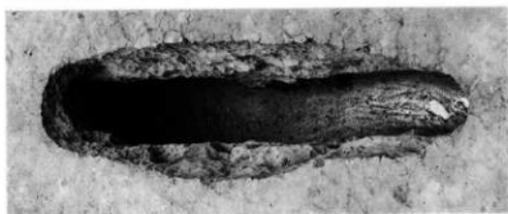


断面

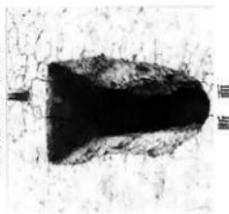
写真図版6 12~15・17号陥し穴



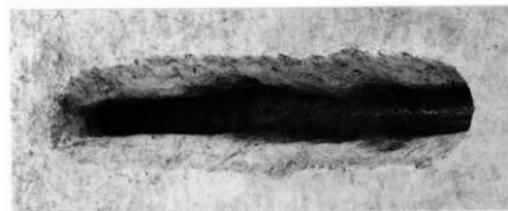
18号陥し穴 (平面)



19号陥し穴 (平面)



20号陥し穴 (平面)



21号陥し穴 (平面)



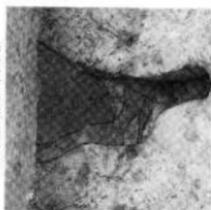
22号陥し穴 (平面)



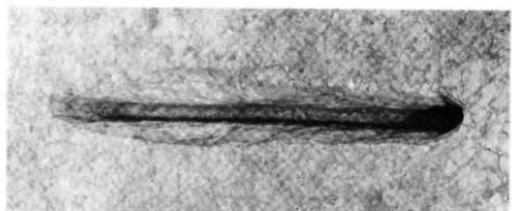
写真図版7 18~22号陥し穴



23号陥し穴 (平面)



断面



24号陥し穴 (平面)



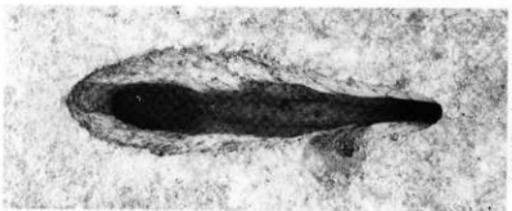
断面



25号陥し穴 (平面)



断面



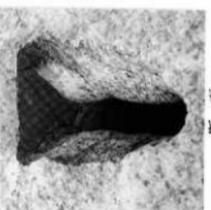
26号陥し穴 (平面)



断面

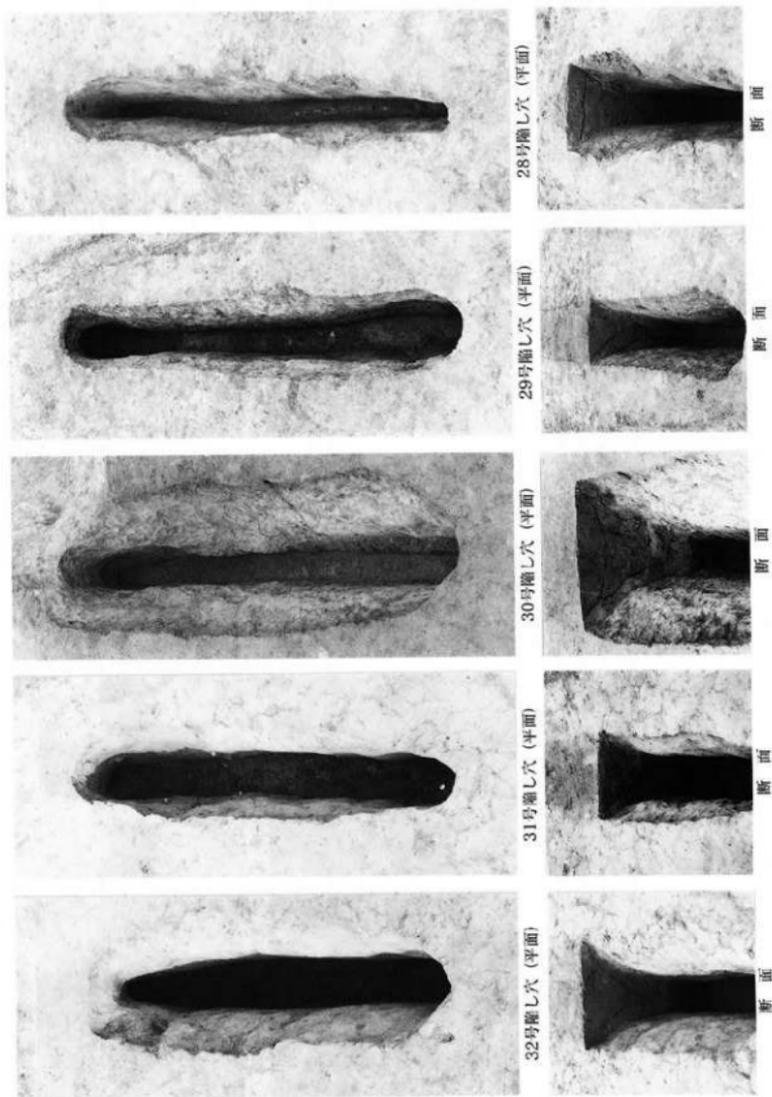


27号陥し穴 (平面)

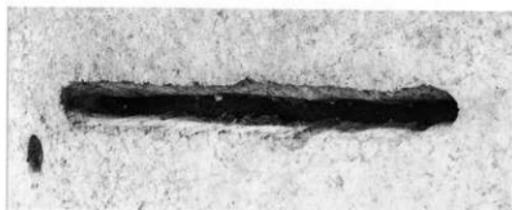


断面

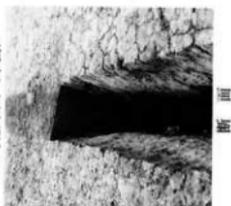
写真図版8 23~27号陥し穴



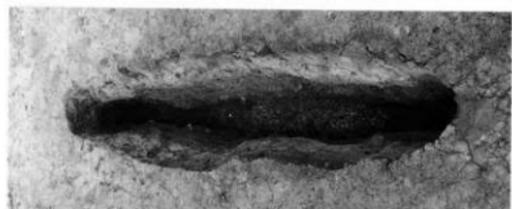
写真図版9 28~32号陥し穴



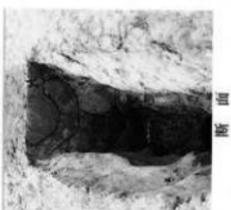
33号陥し穴 (平面)



断面



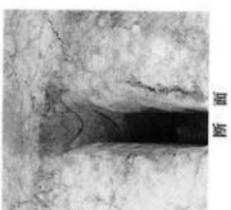
34号陥し穴 (平面)



断面



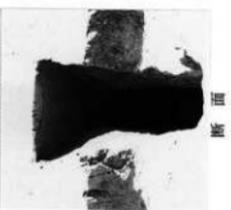
35号陥し穴 (平面)



断面



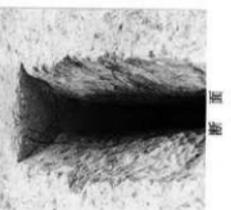
36号陥し穴 (平面)



断面



38号陥し穴 (平面)



断面

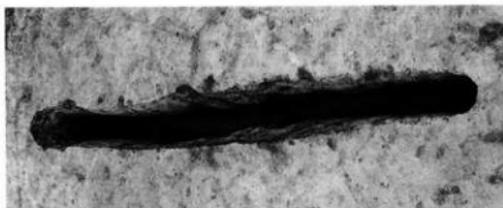
写真図版10 33~36・38号陥し穴



39号陥し穴 (平面)



断面



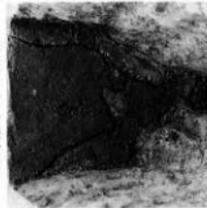
40号陥し穴 (平面)



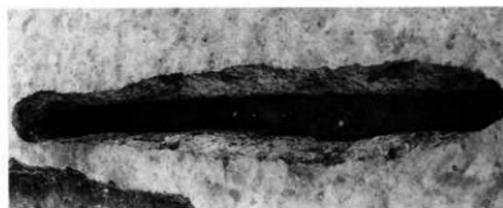
断面



41号陥し穴 (平面)



断面



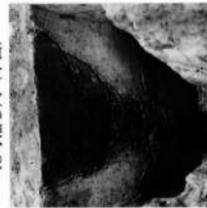
42号陥し穴 (平面)



断面



43号陥し穴 (平面)



断面

写真図版11 39~43号陥し穴



44号陥し穴 (平面)



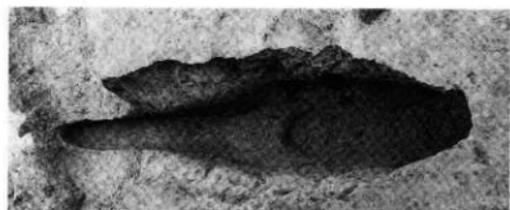
断面



45号陥し穴 (平面)



断面



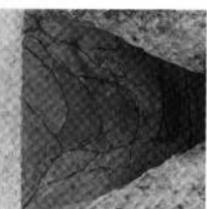
46号陥し穴 (平面)



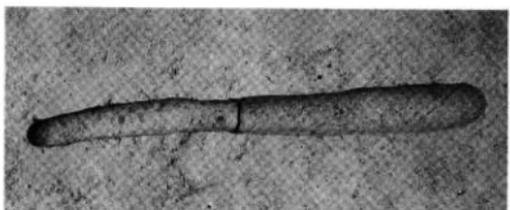
断面



47号陥し穴 (平面)



断面

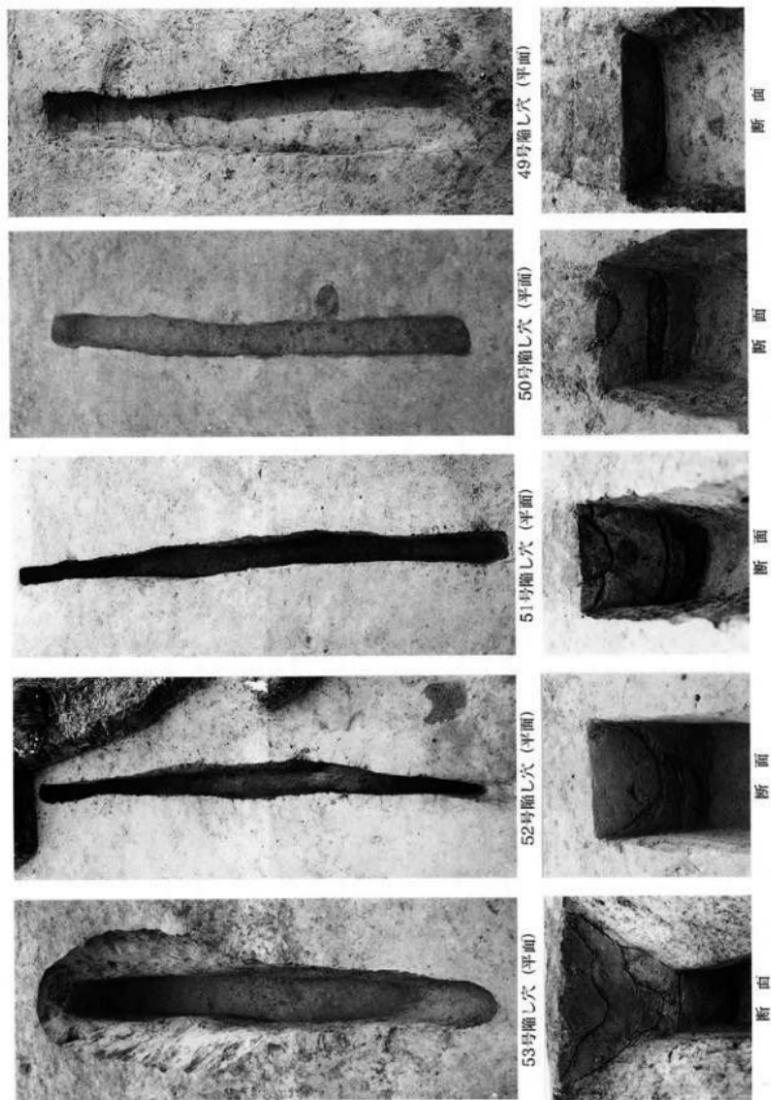


48号陥し穴 (平面)



断面

写真図版12 44~48号陥し穴



写真図版13 49~53号陥し穴



54号陥し穴 (平面)



断面



55号陥し穴 (平面)



断面



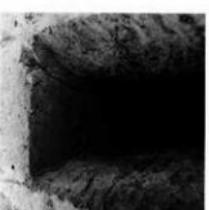
56号陥し穴 (平面)



断面



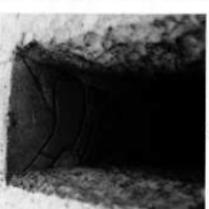
57号陥し穴 (平面)



断面

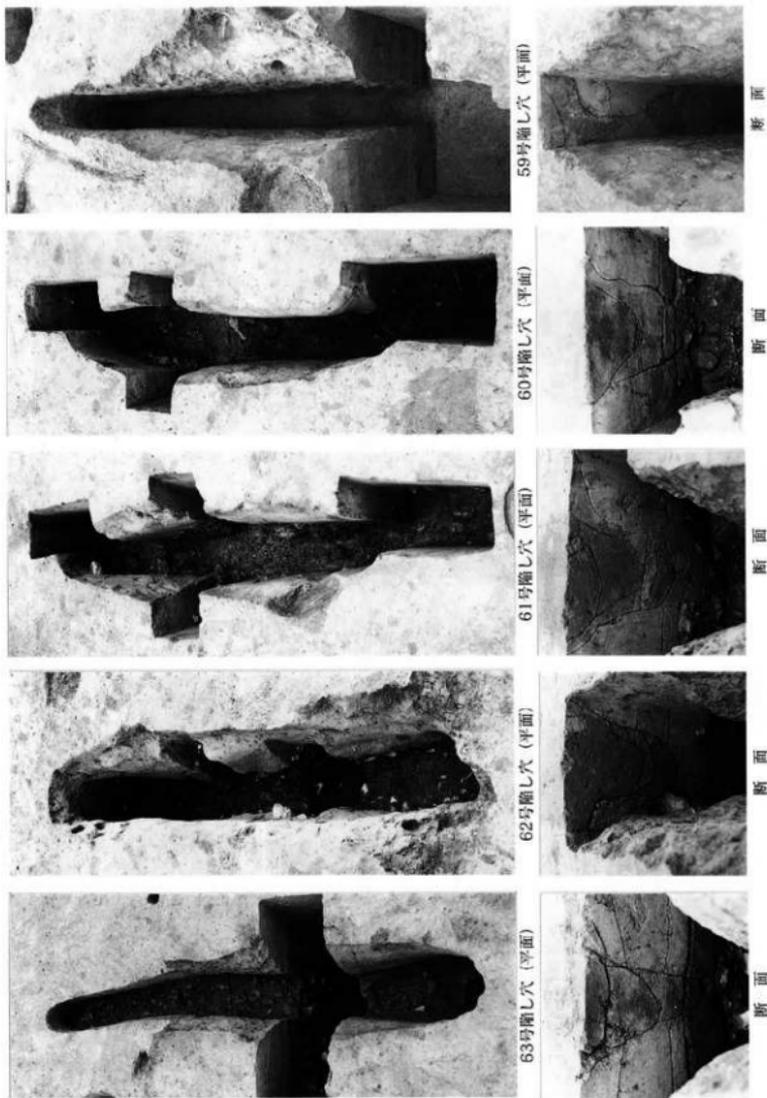


58号陥し穴 (平面)



断面

写真図版14 54~58号陥し穴



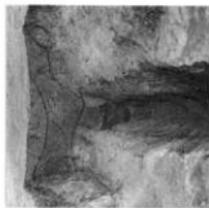
写真図版15 59~63号陥し穴



3号陥し穴 (断面)



16号陥し穴 (断面)



37号陥し穴 (断面)



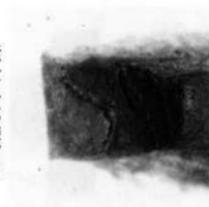
67号陥し穴 (平面)



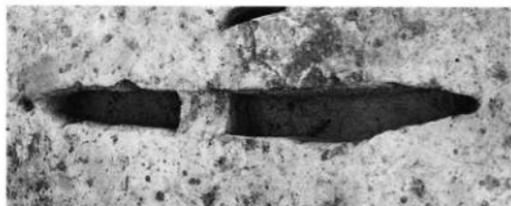
断面



66号陥し穴 (平面)



断面



65号陥し穴 (平面)



断面



64号陥し穴 (平面)



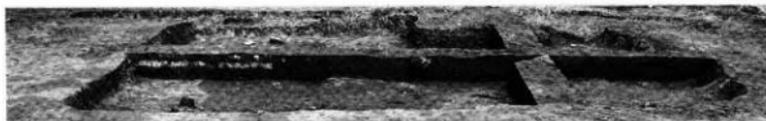
断面



1号住居跡 (平面)



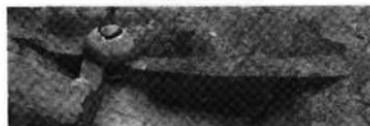
埋土断面 (W-Eベルト)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド煙道部 (断面)



カマド燃焼部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)

写真図版17 1号住居跡



2号住居跡 (平面)



埋土断面 (W-Eベルト)



2号カマド (平面)



1号カマド (平面)



2号カマド袖部・燃焼部 (断面)



1号カマド袖部・燃焼部 (断面)

写真図版18 2号住居跡



3号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



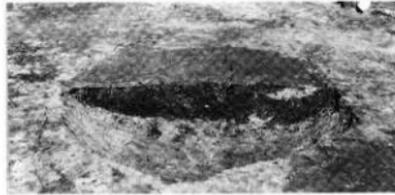
カマド (平面)



カマド袖部～燃焼部 (断面)



カマド煙道部 (断面)



土坑 (P3)

写真図版19 3号住居跡



4号住居跡 (平面)



埋上断面 (N-Sベルト)



カマド平面



カマド煙道部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)

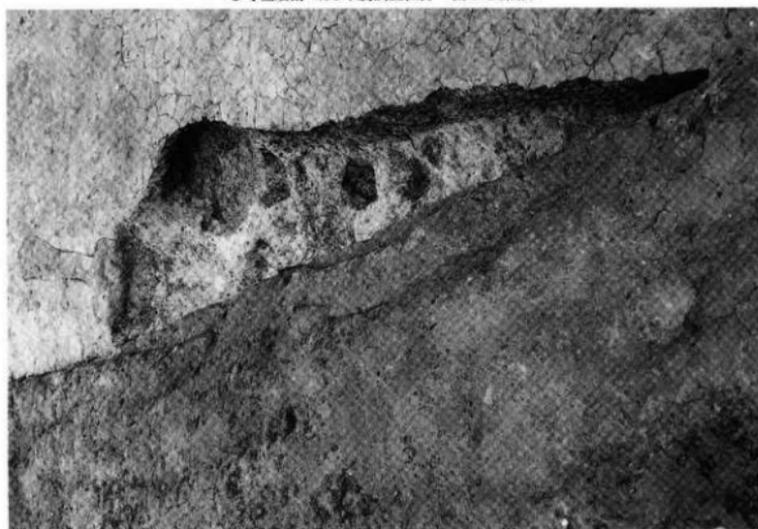


カマド燃焼部 (断面)

写真図版20 4号住居跡



5号住居跡 (99年度調査区分 西から撮影)



5号住居跡 (98年度調査区分 北から撮影)

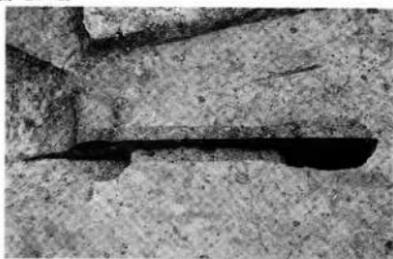
写真図版21 5号住居跡



埋土断面 (N-S)



1号カマド (平面)



1号カマド煙道部 (断面)



1号カマド (平面)



2号カマド袖部・燃焼部 (断面)



2号カマド煙道部 (断面)

写真図版22 5号住居跡



6号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド煙道部 (断面)



カマド燃焼部覆土 (断面)

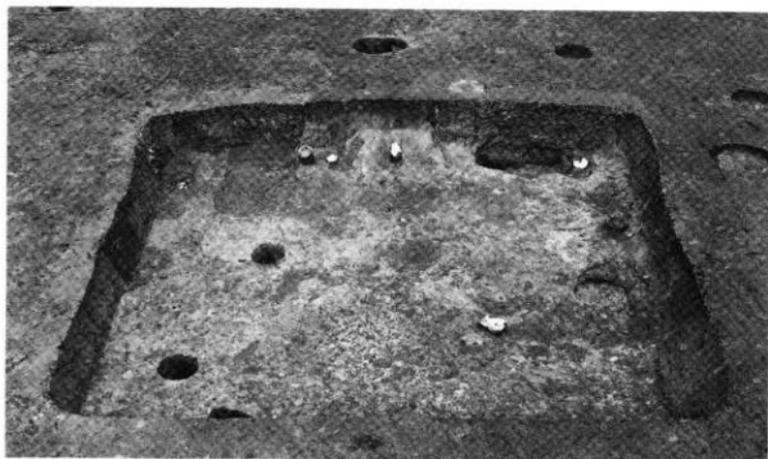


カマド袖部～燃焼部 (断面)



カマド燃焼部 (断面)

写真図版23 6号住居跡



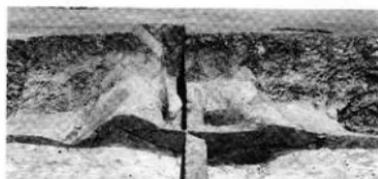
7号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド煙道部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)

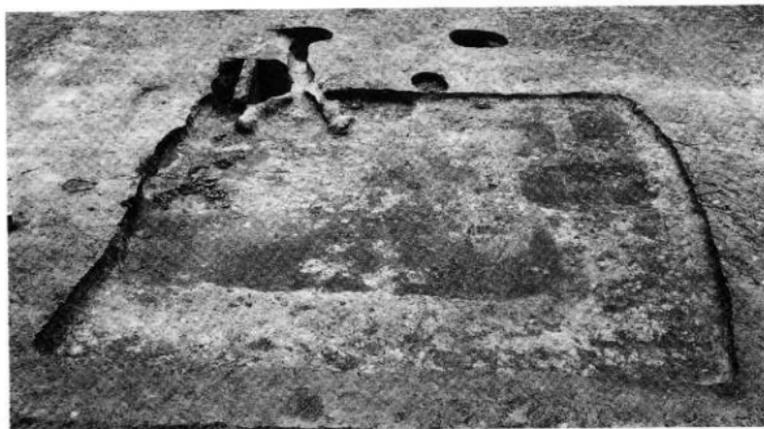


カマド燃焼部 (断面)



遺物出土状況

写真図版24 7号住居跡



8号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド (平面)



土鋪出土状況



カマド煙道部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)

写真図版25 8号住居跡



9号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-S)



カマド (平面)



カマド燃焼部 (断面)

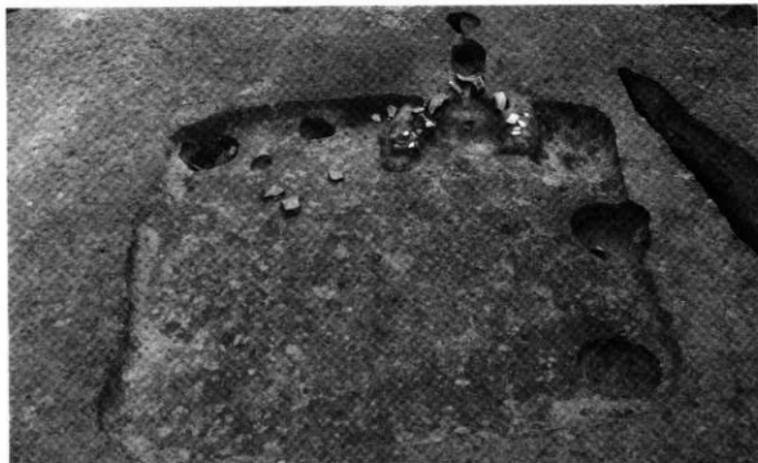


カマド煙道部 (断面)

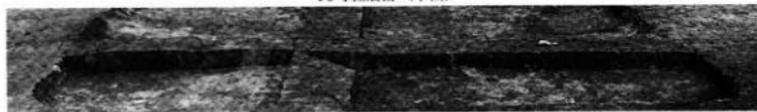


土坑 (断面)

写真図版26 9号住居跡



10号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド (平面)



カマド燃焼部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)



土坑3 (平面)

写真図版27 10号住居跡



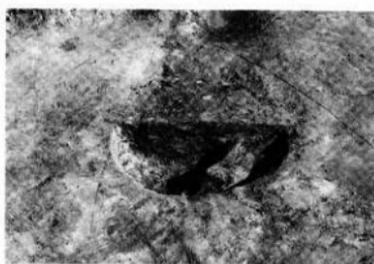
11号住居跡 (平面)



埋土断面 (W-E)



カマド (平面)



カマド燃焼部 (断面)

写真図版28 11号住居跡



12号住居跡 (平面)



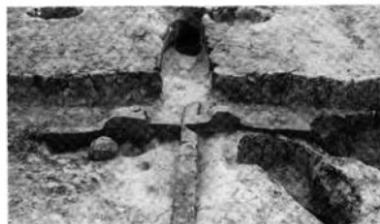
埋土断面 (E-Wベルト)



カマド (平面)



カマド煙道部 (断面)

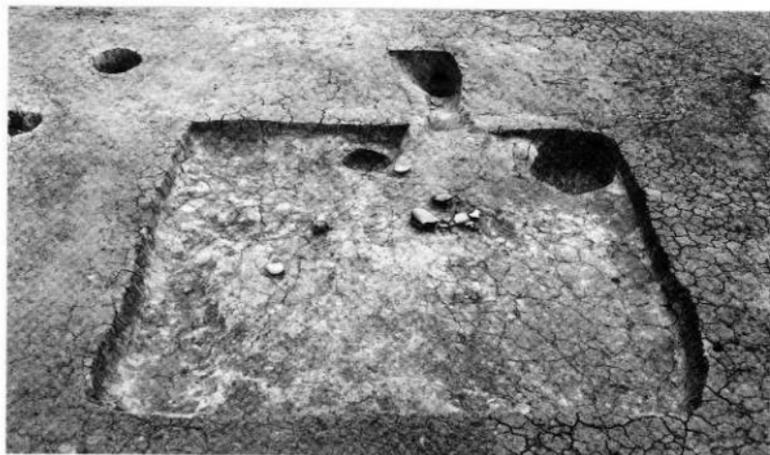


カマド袖部・燃焼部 (断面)



旧住居跡-カマド燃焼部 (断面)

写真図版29 12号住居跡



13号住居跡 (平面)



埋土断面 (E-Wベルト)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド煙道部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)

写真図版30 13号住居跡



14号住居跡 (平面)



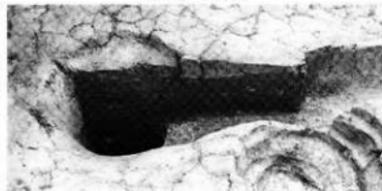
埋土断面 (N-S)



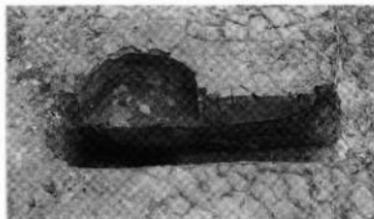
カマド (平面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)



東側カマド (断面)

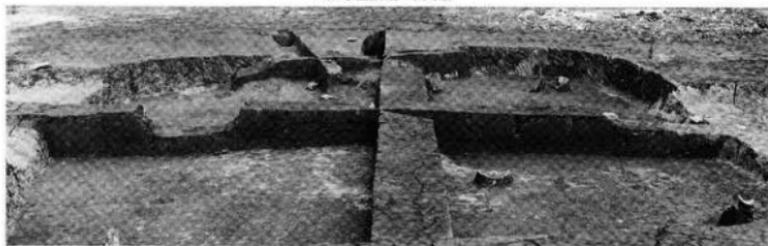


北側カマド (断面)

写真図版31 14号住居跡



15号住居跡 (平面)



埋土断面 (W-Eベルト)

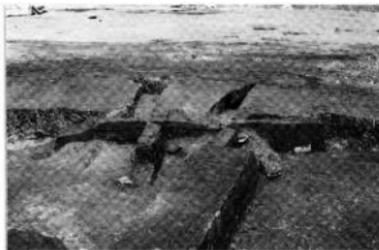


埋土断面 (N-Sベルト)

写真図版32 15号住居跡



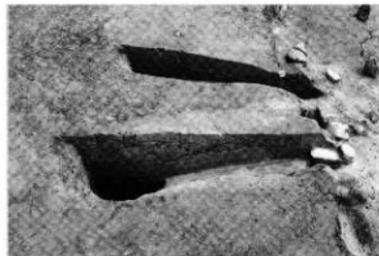
カマド (平面)



カマド燃焼部 (断面)



1号カマド煙道部 (断面)



2号カマド煙道部 (断面)



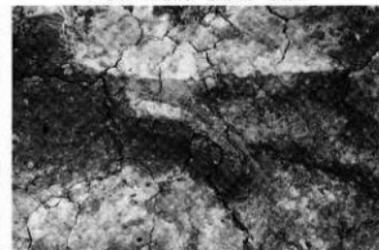
2号カマド燃焼部 (断面)



2号カマド袖部・燃焼部 (断面)



土器出土状況



鉄製品出土状況

写真図版33 15号住居跡



16号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



カマド煙道部 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)



カマド燃焼部 (断面)



住居内土坑-P1 (断面)

写真図版34 16号住居跡



17号住居跡（平面）



埋土断面（N-Sベルト）



埋土断面（W-Eベルト）



カマド（平面）



カマド煙道部（断面）

写真図版35 17号住居跡



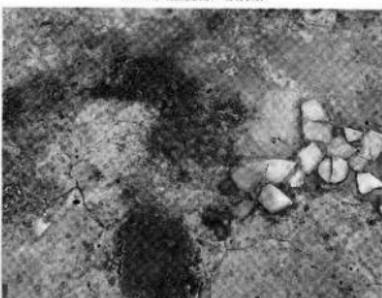
カマド袖部・燃焼部 (断面)



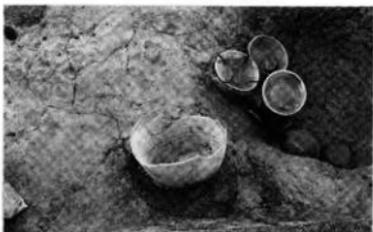
カマド燃焼部 (断面)



住居内土坑-P2 (平面)



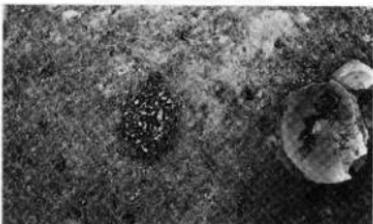
炭化物 (胡桃) 出土状況



須恵器甕出土状況 (平面)



須恵器甕出土状況 (断面)



炭化物 (種子) 出土状況①



炭化物 (種子) 出土状況②

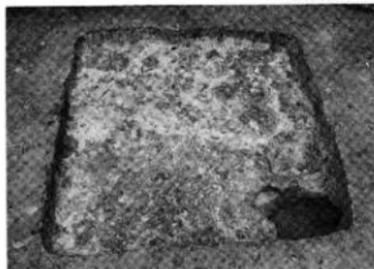
写真図版36 17号住居跡



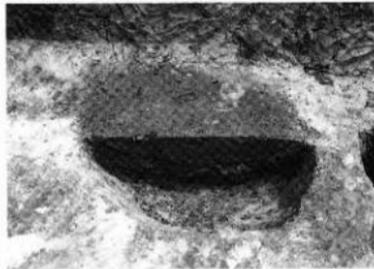
30号住居跡 (平面)



埋土断面 (W-Eベルト)



完掘

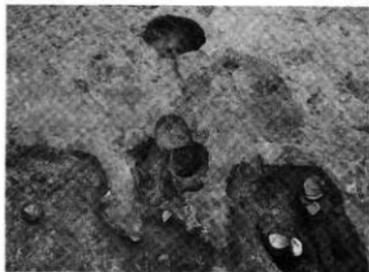


住居内土坑-P1 (断面)

写真図版37 18号住居跡



19号住居跡 (平面)



カマド (平面)



カマド煙道部 (断面)

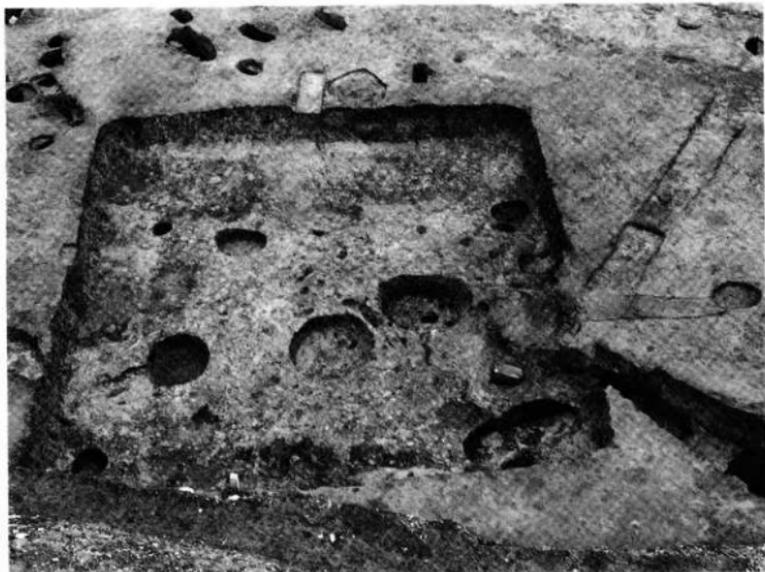


住居内土坑-P1 (断面)



カマド袖部・燃焼部 (断面)

写真図版38 19号住居跡

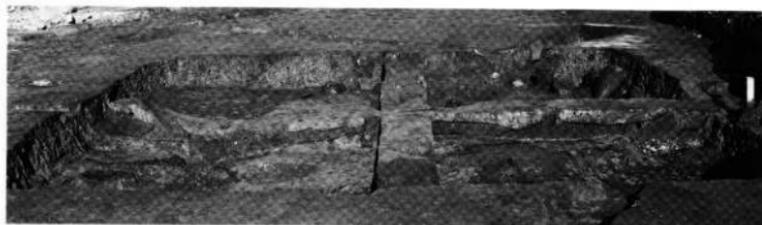


20号住居跡 (平面①)



20号住居跡 (平面②)

写真図版39 20号住居跡



埋土断面 (N-Sベルト)



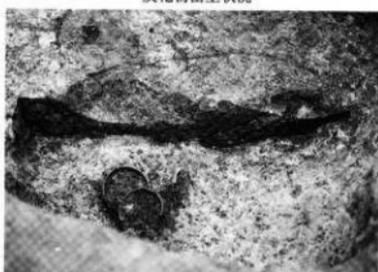
カマド (平面)



炭化物出土状況



遺物出土状況



土坑 (P1) 断面

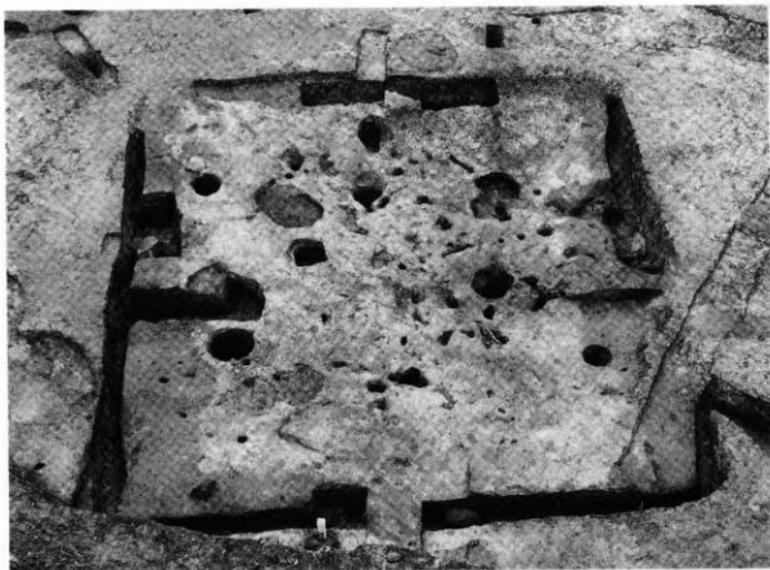


カマド燃焼部 (断面)



カマド燃焼部 (断面)

写真図版40 20号住居跡



21号住居跡 (平面)



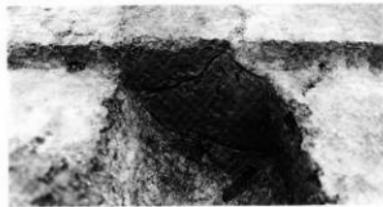
断面 (E-Wベルト)



断面 (N-Sベルト)

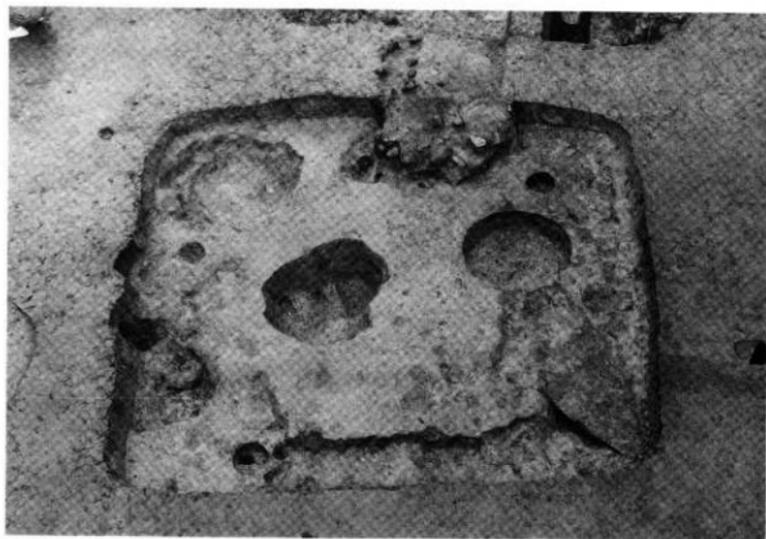


跡 (1)



跡 (2)

写真図版41 21号住居跡



22号住居跡 (平面)



カマド煙道部 (断面)



カマド袖部～燃焼部 (断面)

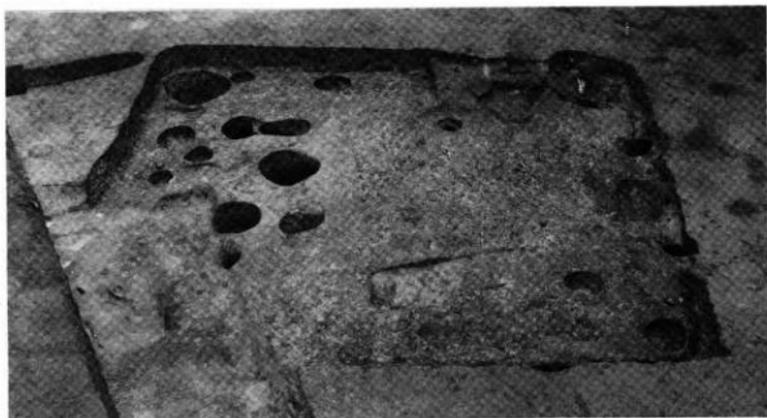


カマド (平面)



住居内土坑P1-2 (断面)

写真図版42 22号住居跡



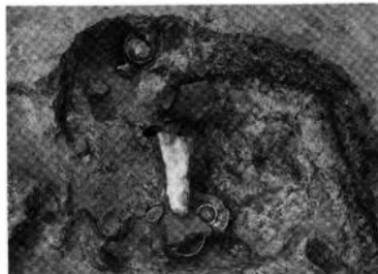
23号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-S)



埋土断面 (W-E)



カマド



カマド燃焼部 (断面)

写真図版43 23号住居跡



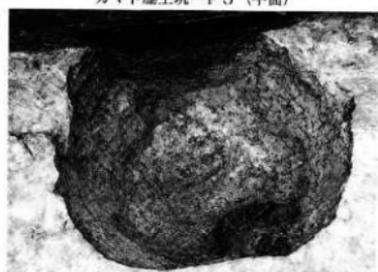
カマド燃焼部 (断面)



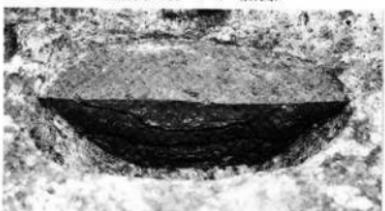
カマド竈土坑-P5 (平面)



住居内土坑-P4 (断面)



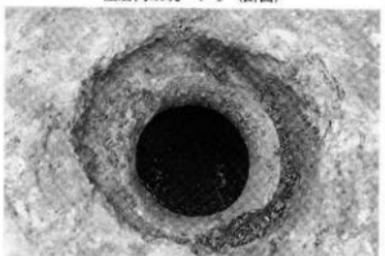
住居内土坑-P6 (平面)



住居内土坑-P1 (断面)



住居内土坑-P5 (断面)



住居内埋設土器 (検出)



住居内埋設土器 (断面)

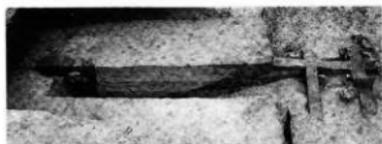
写真図版44 23号住居跡



24号住居跡 (平面)



埋土断面 (S-Nベルト)



カマド煙道部 (断面)



カマド燃焼部 (断面)



カマド煙出し部 (断面)



カマド (平面)

写真図版45 24号住居跡



25号住居跡 (平面)



埋土断面 (N-Sベルト)



住居内土坑-P1 (断面)



住居内土坑-P3 (断面)



住居内焼土-P6 (断面)



住居内土坑-P2 (断面)

写真図版46 25号住居跡



26号住居跡 (平面)



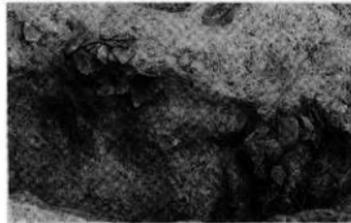
埋土断面 (W-Eベルト)



埋土断面 (N-Sベルト)

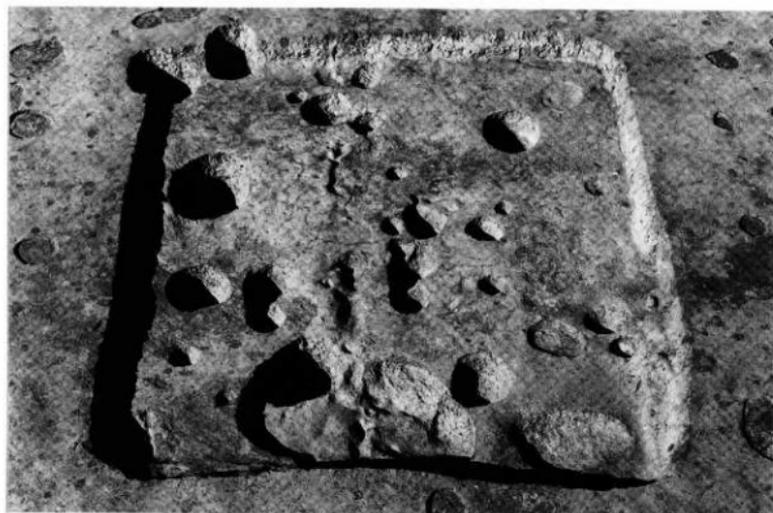


住居内土坑-P1 (断面)



土器出現状況

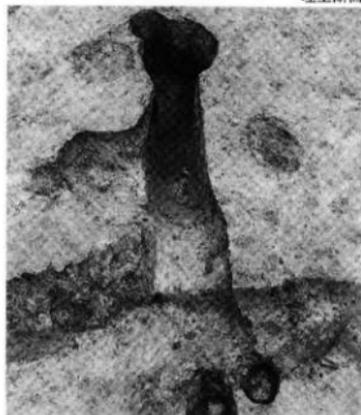
写真図版47 26号住居跡



27号住居跡



埋土断面 (W-Eベルト)



カマド (平面)



カマド煙道部 (断面)



住居内土坑-P2 (断面)

写真図版48 27号住居跡



28号住居跡（平面）



埋土断面（S-Nベルト）



住居内土坑-P3（断面）



住居内土坑-P1（断面）

写真図版49 28号住居跡



29号住居跡 (平面)



埋土断面 (W-Eベルト)



P1 (断面)



P2 (断面)



P3 (断面)

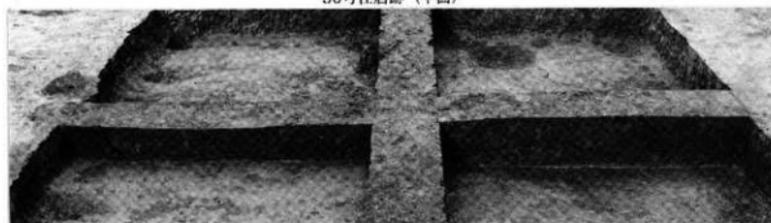


P4 (断面)

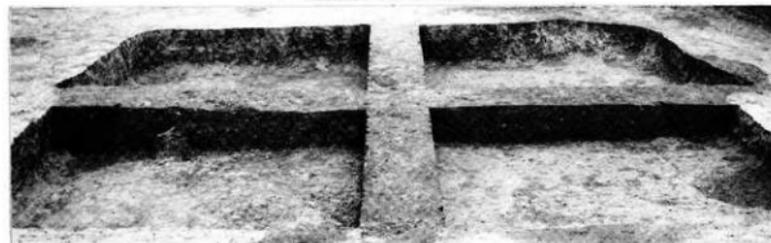
写真図版50 29号住居跡



30号住居跡 (平面)



埋土断面 (W-Eベルト)



埋土断面 (N-Sベルト)

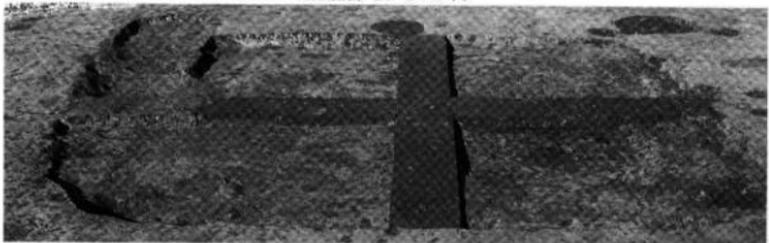
写真図版51 30号住居跡



31号住居跡 (平面)

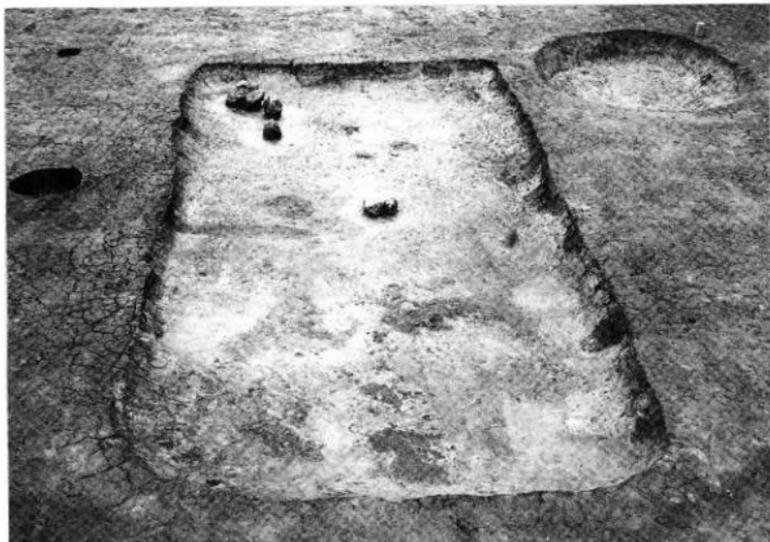


埋土断面 (N-Sベルト)

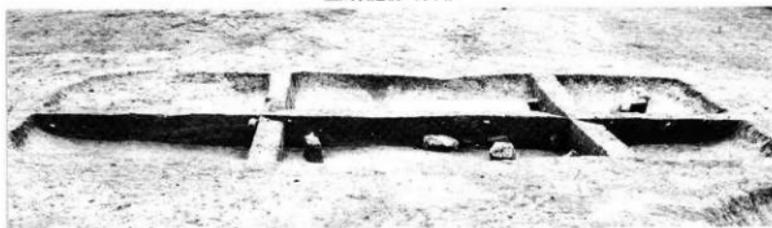


埋土断面 (W-Eベルト)

写真図版52 31号住居跡



竪穴状遺構 (平面)



埋土断面 (S-Nベルト)

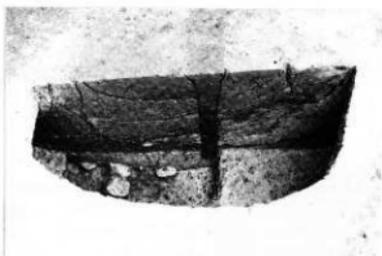


埋土断面 (W-Eベルト)

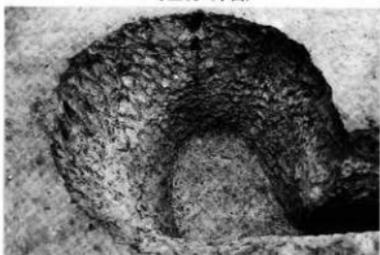
写真図版53 1号竪穴状遺構



1号土坑 (平面)



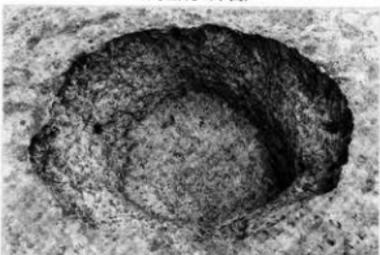
断面



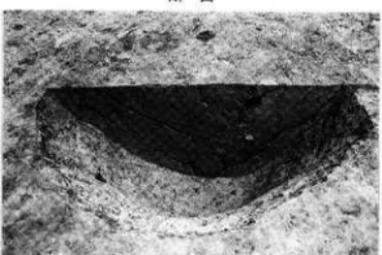
2号土坑 (平面)



断面



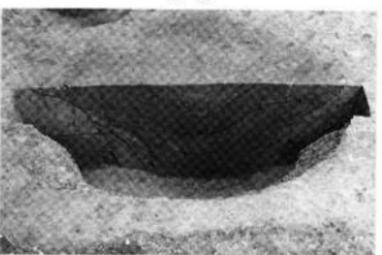
3号土坑 (平面)



断面



4号土坑 (平面)



断面

写真图版54 1~4号土坑



5号土坑 (平面)



断面



6号土坑 (平面)



断面



7号土坑 (平面)



断面



8号土坑 (平面)



断面

写真图版55 5~8号土坑



9号土坑 (平面)



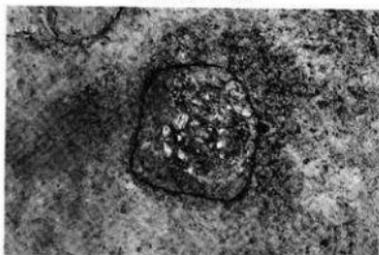
断面



10号土坑 (平面)



断面



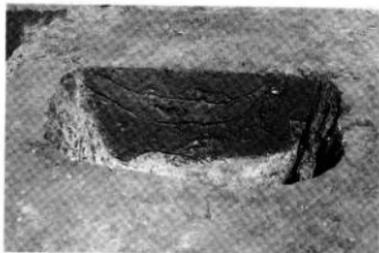
13号土坑 (平面)



断面

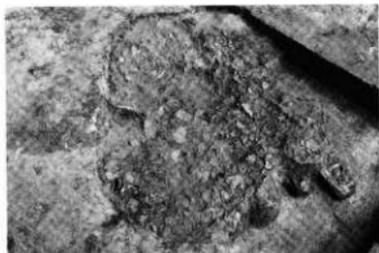


14号土坑 (平面)

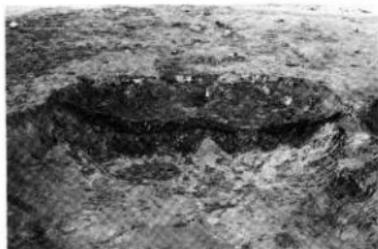


断面

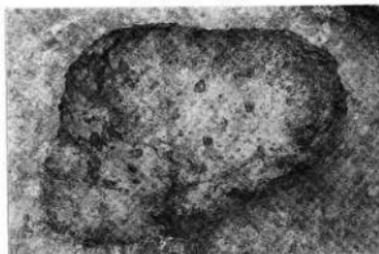
写真图版56 9·10·13·14号土坑



15号土坑 (平面)



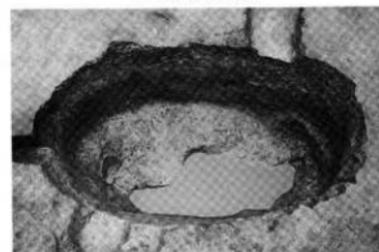
断面



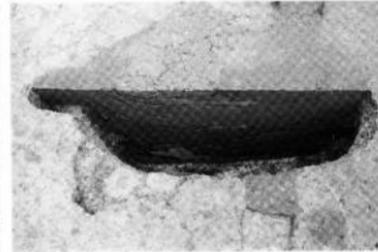
16号土坑 (平面)



断面



17号土坑 (平面)



断面

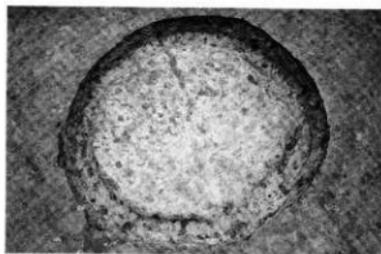


18号土坑 (平面)



断面

写真图版57 15~18号土坑



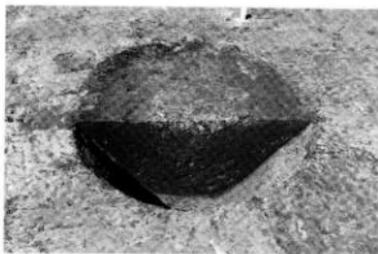
19号土坑 (平面)



断面



20号土坑 (平面)



断面



22号土坑 (平面)



断面



23号土坑 (平面)



断面

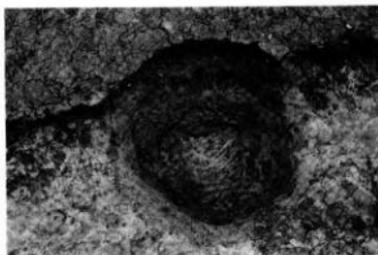
写真图版 58 19·20·22·23号土坑



24号土坑 (平面)



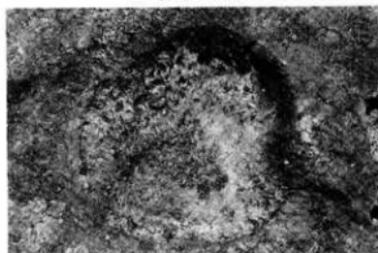
断面



27号土坑 (平面)



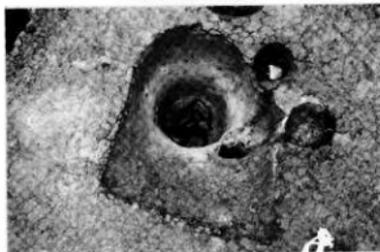
断面



28号土坑 (平面)



断面

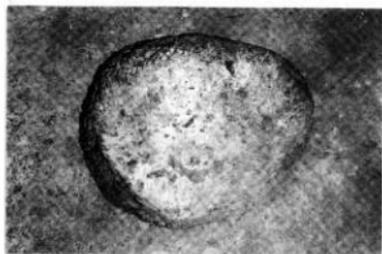


29号土坑 (平面)



断面

写真图版59 24·27~29号土坑



30号土坑 (平面)



断面



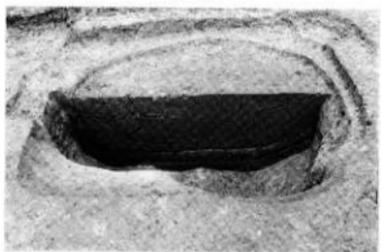
31号土坑 (平面)



断面



32号土坑 (平面)



断面



33号土坑 (平面)



断面

写真图版60 30~33号土坑



34号土坑 (平面)



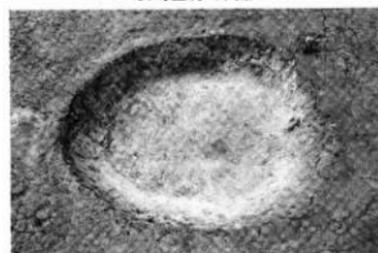
断面



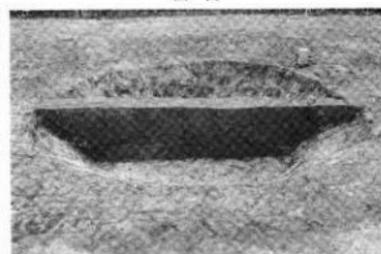
37号土坑 (平面)



断面



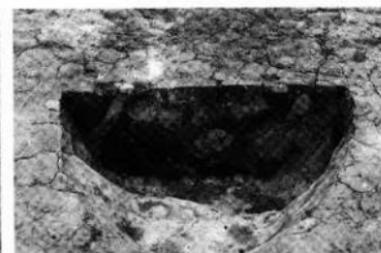
38号土坑 (平面)



断面



39号土坑 (平面)



断面

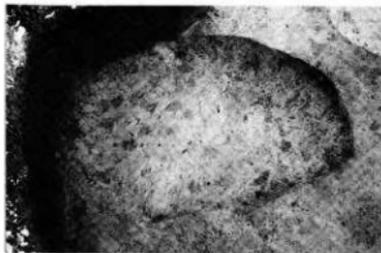
写真图版61 34·37~39号土坑



40号土坑 (平面)



断面



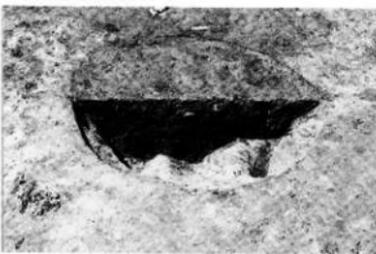
41号土坑 (平面)



断面



36号土坑 (平面)

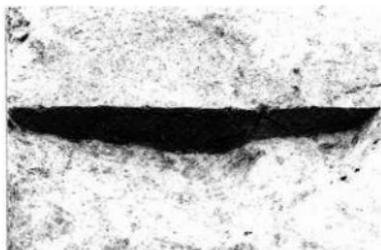


11号土坑 (断面)



12号土坑 (断面)

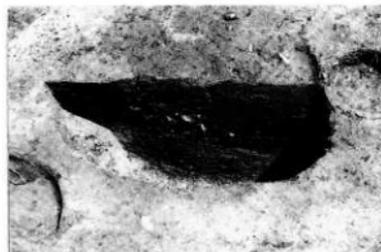
写真图版62 11·12·36·40·41号土坑



21号土坑 (断面)



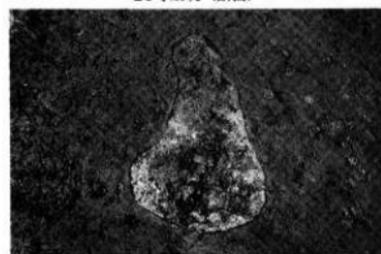
25号土坑 (断面)



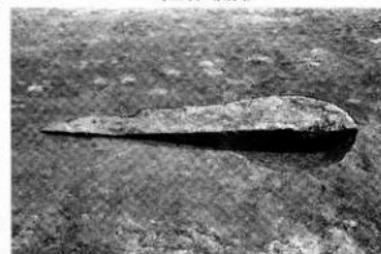
26号土坑 (断面)



35号土坑 (断面)



1号烧土 (平面)



断面

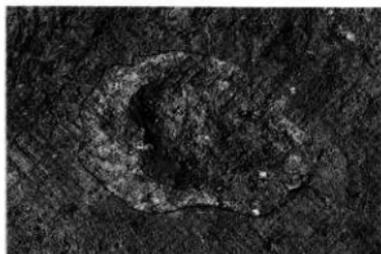


2号烧土 (平面)



断面

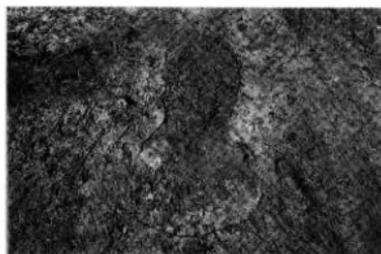
写真图版63 21·25·26·35号土坑、1·2号烧土



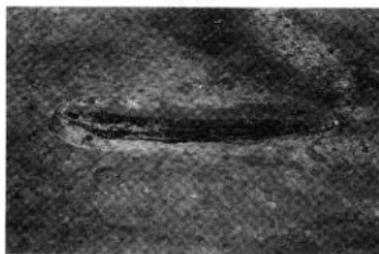
3号烧土 (平面)



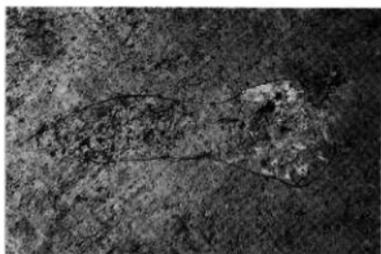
断面



4号烧土 (平面)



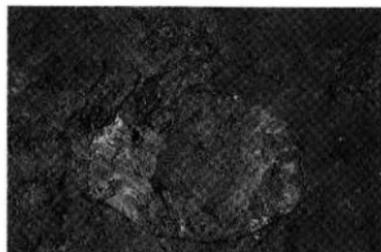
断面



5号烧土 (平面)



断面

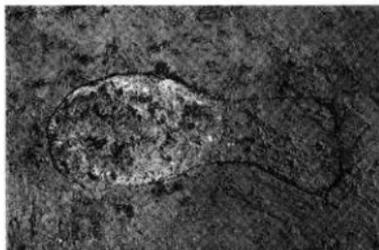


6号烧土 (平面)



断面

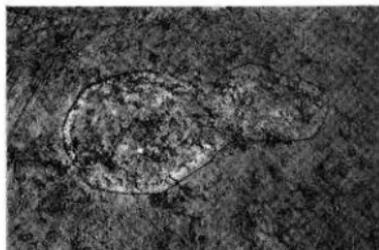
写真图版64 3~6号烧土



7号烧土 (平面)



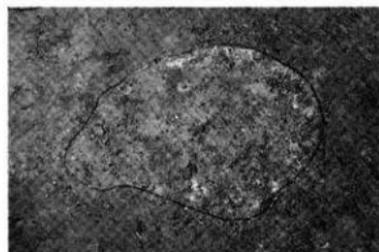
断面



8号烧土 (平面)



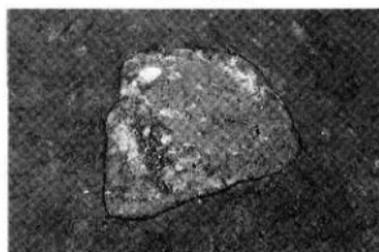
断面



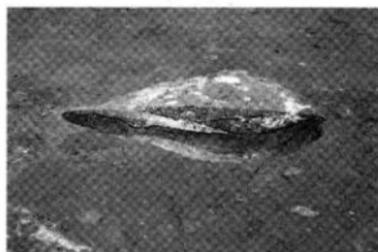
9号烧土 (平面)



断面

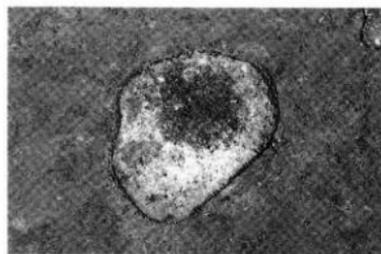


10号烧土 (平面)

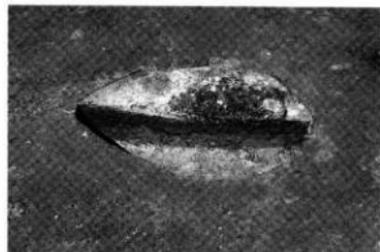


断面

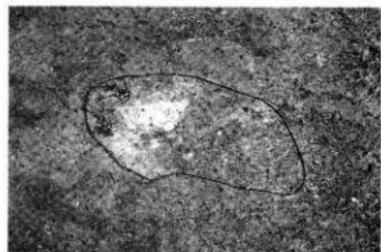
写真图版65 7~10号烧土



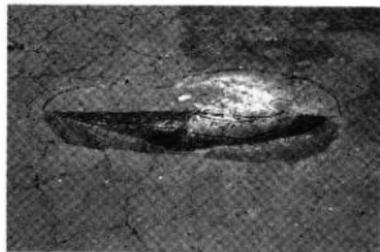
11号烧土 (平面)



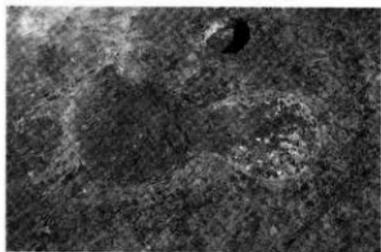
断面



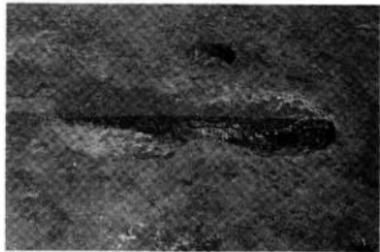
12号烧土 (平面)



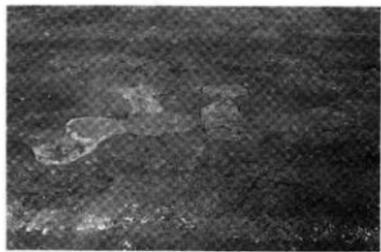
断面



13号烧土 (平面)



断面



14号烧土 (平面)



断面

写真图版66 11~14号烧土



須惠器埋設遺構 (検出状況)



断面



1号溝・西側 (平面)



1号溝・東側 (平面)



西側断面



東側断面

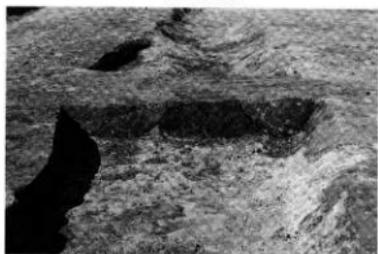
写真図版67 須惠器埋設遺構、1号溝



5·6号溝 (平面)



5号溝 (断面)



6号溝 (断面)



7·8号溝 (平面)



7·8号溝西側 (断面)



7·8号溝東側 (断面)

写真図版66 5~8号溝



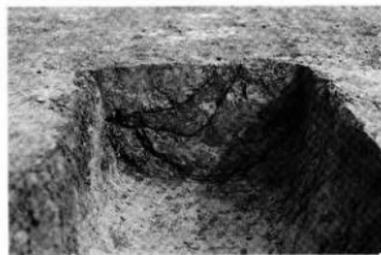
2·3号沟 (平面)



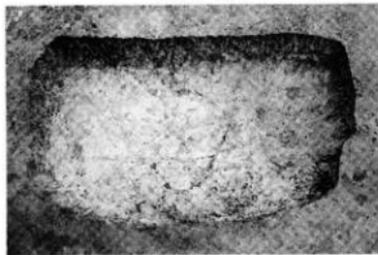
11号沟 (平面)



2·3号沟 (断面)



11号沟 (断面)

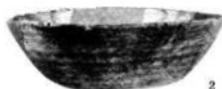


1号墓坑 (平面)

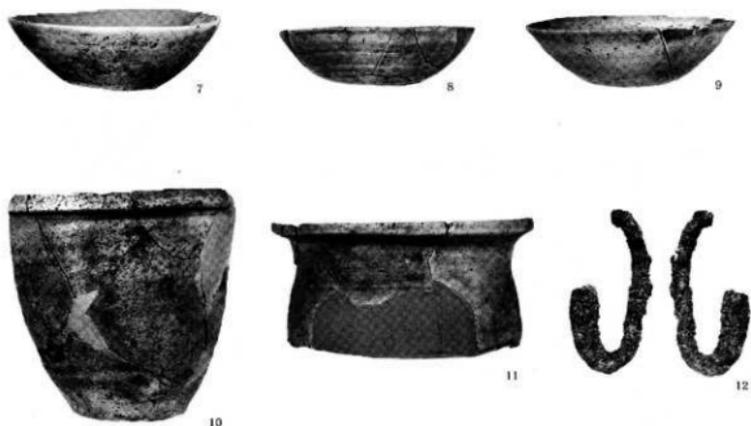


2号墓坑 (平面)

写真图版69 2·3·11号沟、1·2号墓坑



1号住居跡  
写真図版70 遺構内出土遺物(1)



2号住居跡

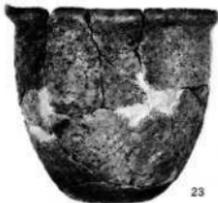


3号住居跡

写真図版71 遺構内出土遺物(2)



22



23



24



25

3号住居跡



26



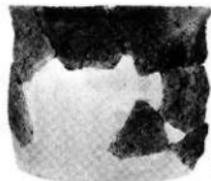
27



28



29



30



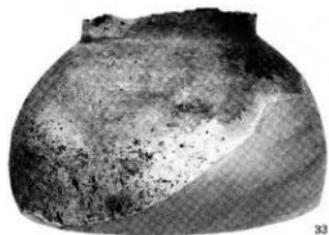
31



32

4号住居跡

写真図版72 遺構内出土遺物(3)



33



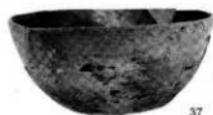
34



35



36



37



37

4号住居跡



39



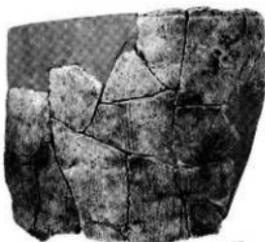
40



41



42



43



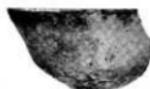
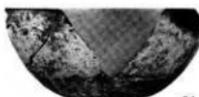
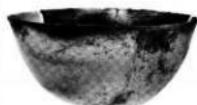
44

5号住居跡

写真図版73 遺構内出土遺物(4)

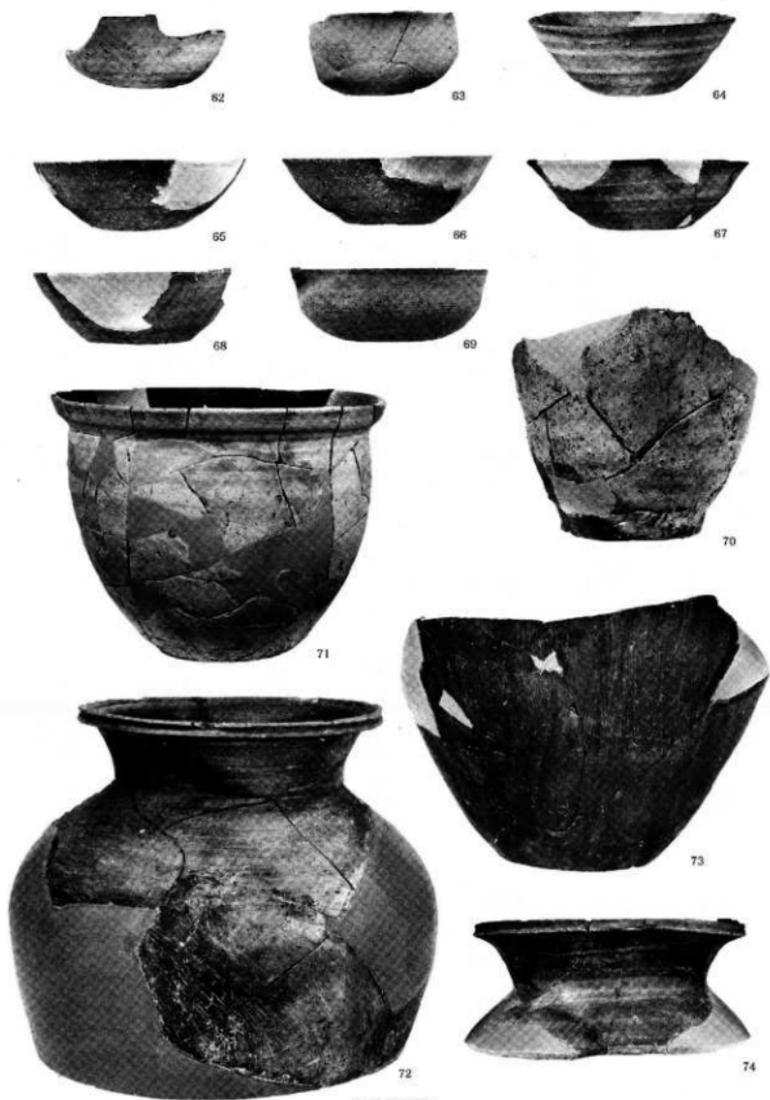


6号住居跡



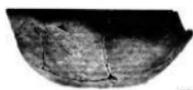
7号住居跡

写真図版74 遺構内出土遺物(5)



7号住居跡

写真図版75 遺構内出土遺物(6)



75



76



77



78



79



80



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90



91



92



93



94



95



96



97



98



99



100



101



102



103



104

8号住居跡

写真図版76 遺構内出土遺物(7)



8号住居跡

写真図版77 遺構内出土遺物(8)

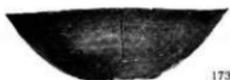


8号住居跡

写真図版7B 遺構内出土遺物(9)



172



173



174



175

9号住居跡



176



177



178



179



180

10号住居跡

写真図版79 遺構内出土遺物(10)



181



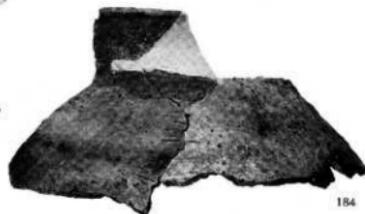
182



183



186



184



185

10号住居跡



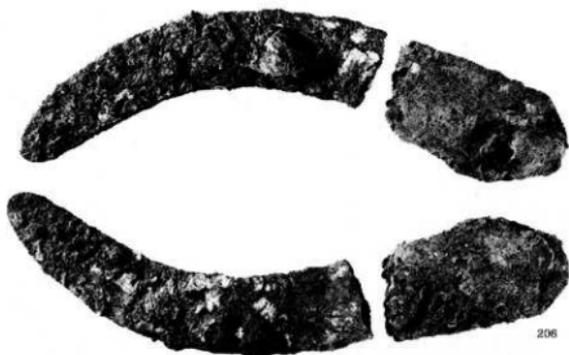
187

11号住居跡

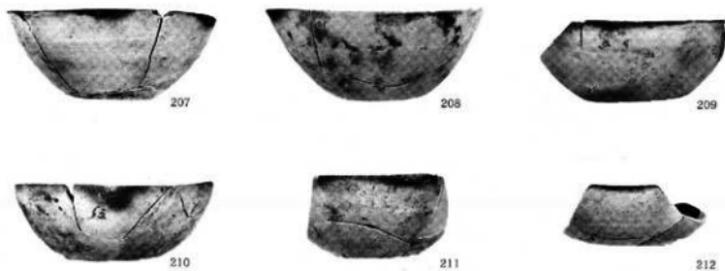
写真図版80 遺構内出土遺物(11)



写真図版81 遺構内出土遺物(12)

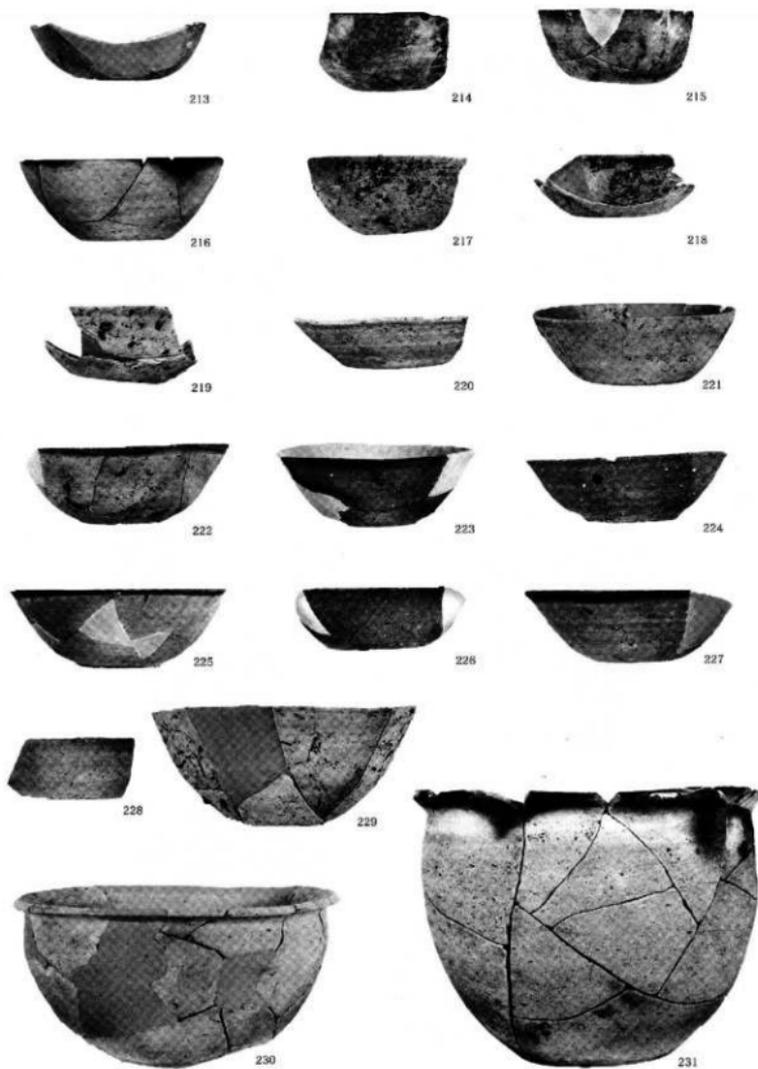


13号住居跡



14号住居跡

写真図版82 遺構内出土遺物 (13)



14号住居跡

写真図版83 遺構内出土遺物(14)



232



233



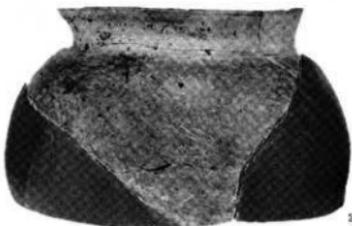
234



235



236



237



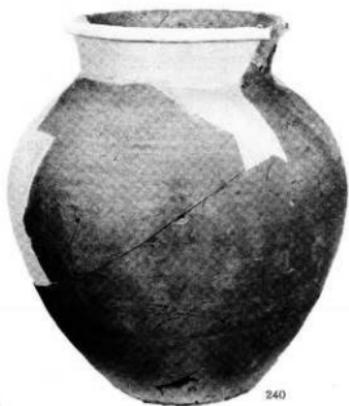
238

14号住居跡

写真図版84 遺構内出土遺物(15)



239

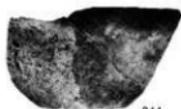


240



241

14号住居跡



244



245



246



247



248

15号住居跡

写真図版85 遺構内出土遺物(16)



249



250



252



251



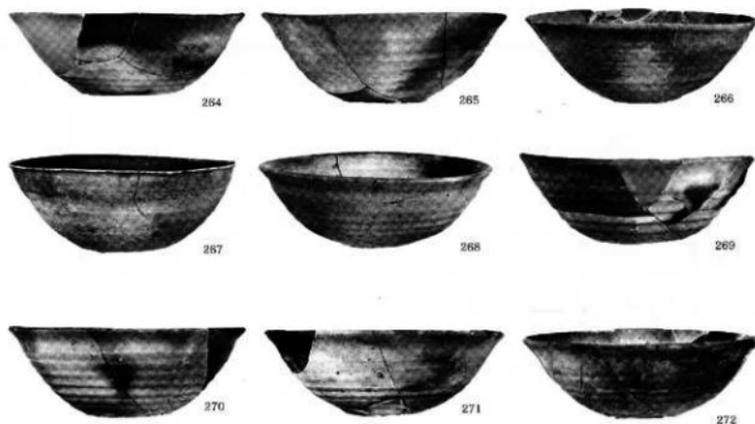
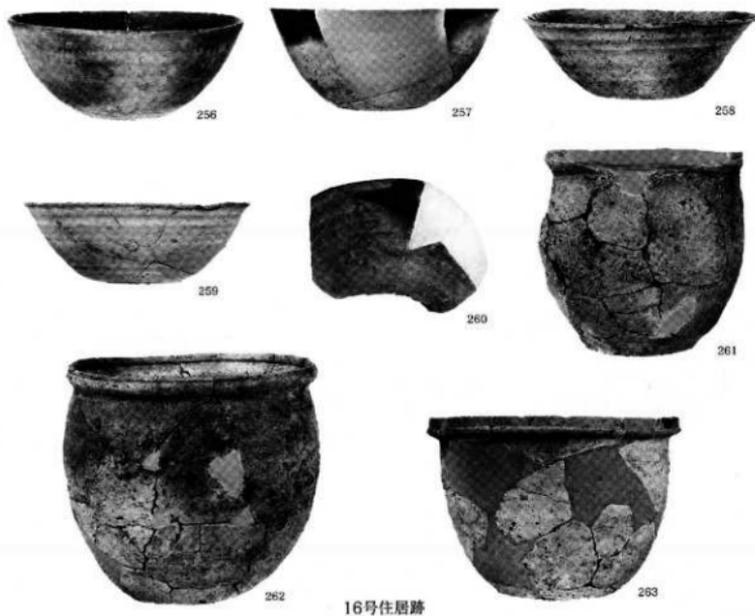
253



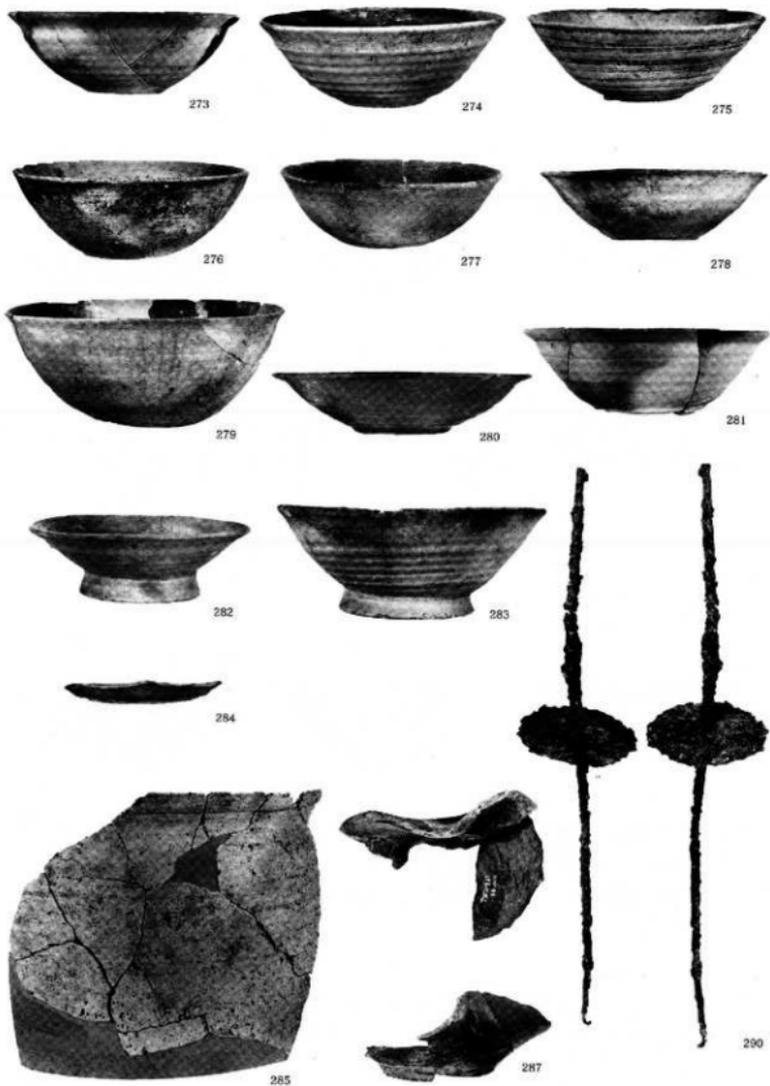
255

15号住居跡

写真図版86 遺構内出土遺物(17)



写真図版87 遺構内出土遺物 (18)



17号住居跡

写真図版88 遺構内出土遺物 (19)



288

17号住居跡



291



292

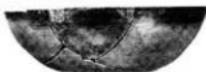


293

18号住居跡



294



295



296



297

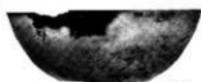


298



299

19号住居跡



300



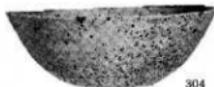
301



302



303



304



305



306



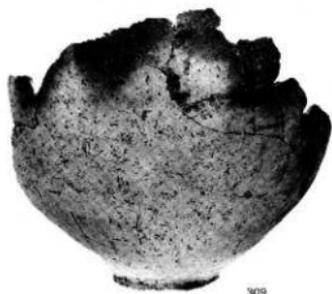
307



308

20号住居跡

写真図版89 遺構内出土遺物 (20)



309



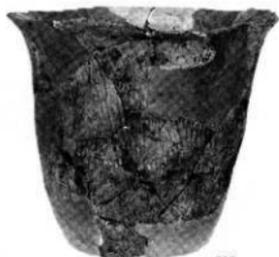
310



311



312



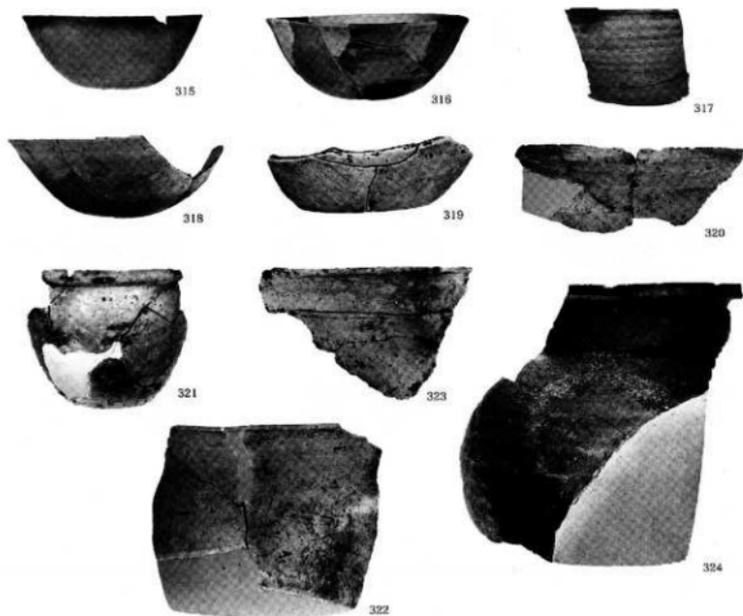
313



314

20号住居跡

写真図版90 遺構内出土遺物(21)



21号住居跡  
写真図版91 遺構内出土遺物(22)



326

21号住居跡



327



328



329

22号住居跡



330



331



332



333



334



335



336



337



338



339



340



341



342



343



344



345



346



347



348

23号住居跡

写真図版92 遺構内出土遺物 (23)



349



352



353

23号住居跡



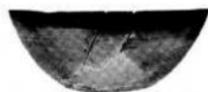
354



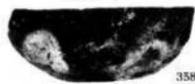
355



356



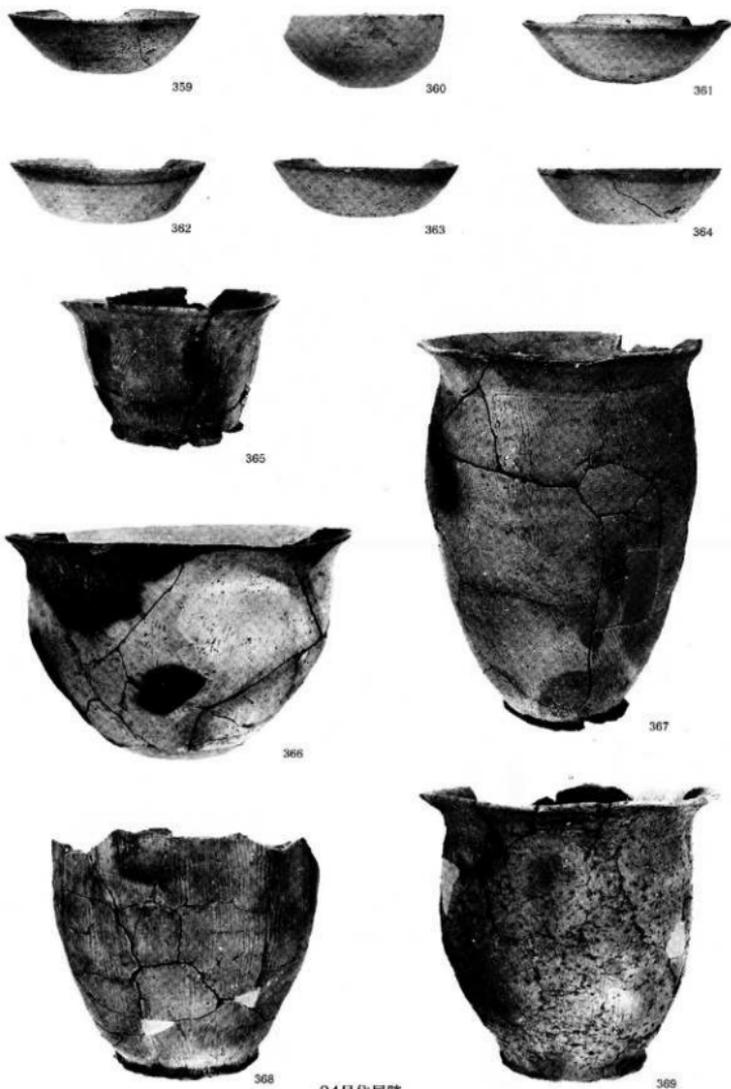
357



358

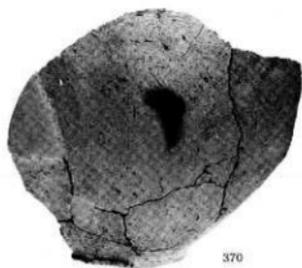
24号住居跡

写真図版93 遺構内出土遺物(24)



24号住居跡

写真図版94 遺構内出土遺物 (25)



370



371

24号住居跡



372



373



374



375



376



377



378



379



380

25号住居跡

写真図版95 遺構内出土遺物(26)



381



382



383



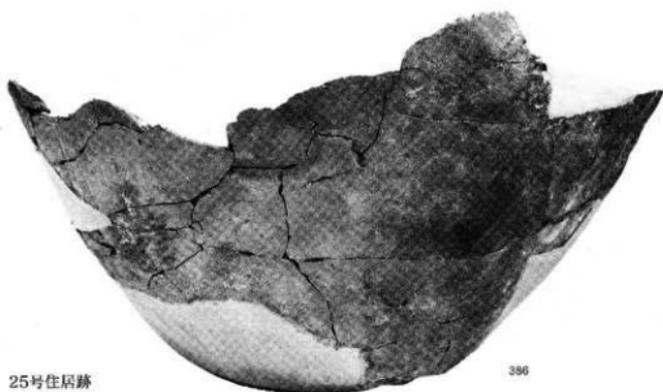
384

25号住居跡

写真図版96 遺構内出土遺物(27)



385



386

25号住居跡

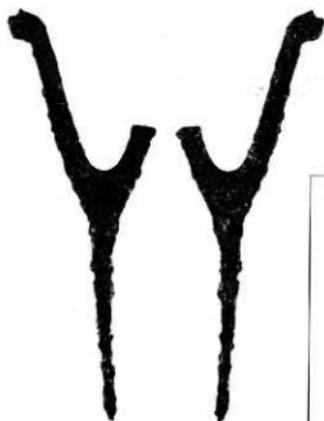
写真図版97 遺構内出土遺物(28)



387



389



368



390

391

25号住居跡



392



393



394

26号住居跡



395



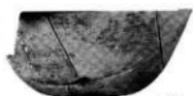
396



397

27号住居跡

写真図版98 遺構内出土遺物(29)



398



399



400



401



402



403



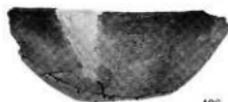
404



405

28号住居跡

写真図版99 遺構内出土遺物(30)



406



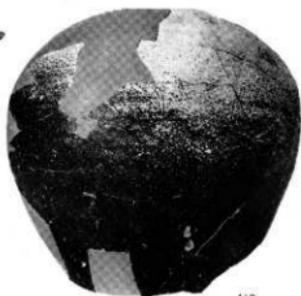
407



408



409



410



411

29号住居跡



412

須志器埋藏遺構



413



414



415

7号土坑



416



417

8号土坑

写真図版100 遺構内出土遺物(31)



418



419



420



421



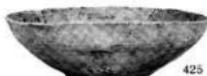
422



423



424



425



426

9号土坑



427



428



429



431



430



432

10号土坑

11号土坑



433

15号土坑



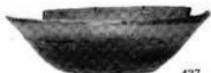
434



435



436



437

17号土坑



438

20号土坑



439

24号土坑



443

32号土坑



440



442

31号土坑



444

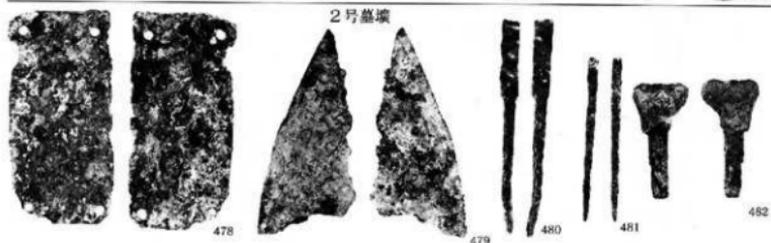
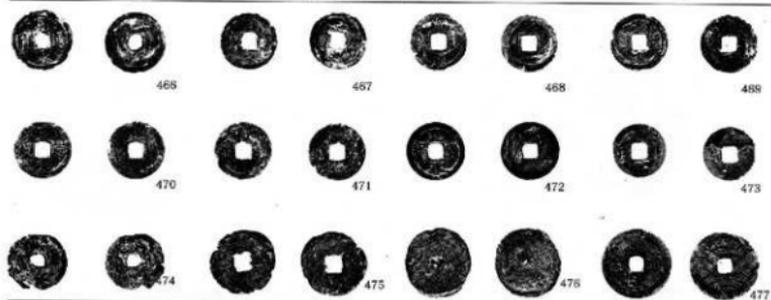
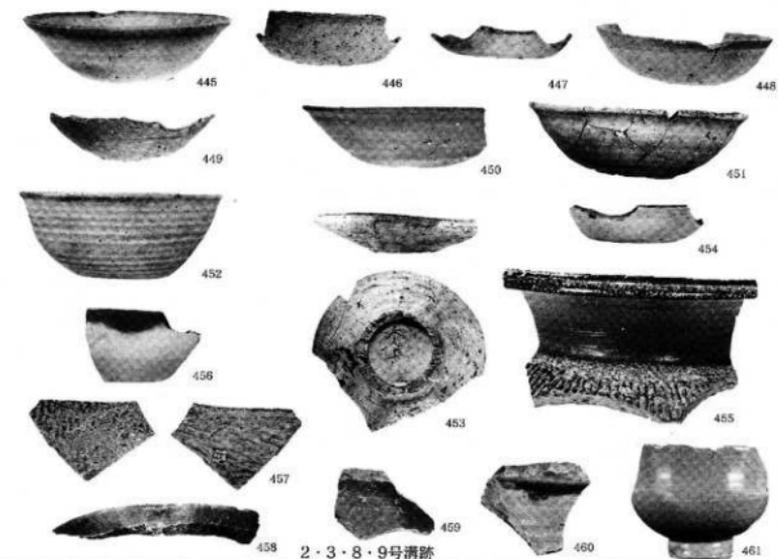
33号土坑



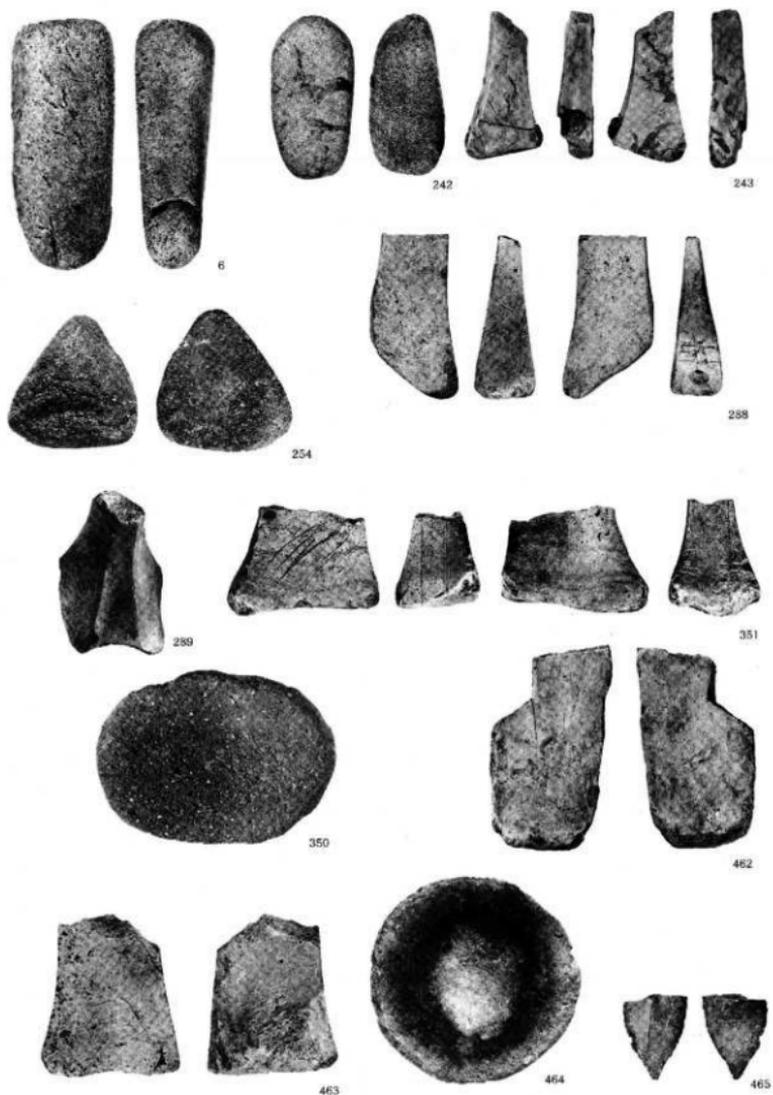
441

27号土坑

写真图版101 遺構内出土遺物(32)



写真図版102 遺構内・遺構外出土遺物(33)



写真図版103 遺構内・遺構外出土遺物 (34)

## 報告書抄録

ふりがな	にたないいせきはつくちようさほうこくしよ							
書名	似内遺跡発掘調査報告書							
副書名	東北横断自動車道路関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財報告書							
シリーズ番号	第344集							
編著者名	溜 浩二郎・金子昭彦・熊谷佳恵・松川由次							
編集機関	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL(019)-638-9001							
発行年月日	西暦2000年10月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° / ′	° / ′			
似内遺跡	いわてひらほなまし 岩手県花巻市 ゆめがにのちやうちの 上似内第10地割 66-1ほか	03205	ME16-2299	39度 24分 21秒	141度 08分 27秒	1998. 8.7~11.13 1999. 4.14~10.7	2,560㎡ 7,853㎡	「東北横断自動車 道路建設事業」に 伴う緊急発掘調 査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
似内遺跡	集落跡	縄文時代 平安時代 " " " " 中世以降 " " " " " " " "	陥し穴状遺構 土坑 竪穴住居跡 須恵器埋設遺構 埴土遺構 溝状遺構 獨立柱建物跡 柱穴列 竪穴状遺構 墓域	67基 41基 31棟 1基 14基 13条 21棟 15 3基 2基	土師器(坏、甕) 須恵器(坏、甕) 鉄製品(鎌、鋏、刀子、 古銭など) 石器(砥石、磨石、 石錐) 土製品(土釜、耳皿) 金粒	・平安時代9世紀代の 集落跡 ・住居(状)遺構の埋 土から金粒出土		

平成12年度(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿

【職員】

所長	伊藤民也	副所長	櫻田次男
【管理課】			
管理課長	川浪清徳	嘱託	千藤芳夫
管理課長補佐	山崎善光	〃	藤島恵子
主査	立花多加志	〃	新田々木
主事	口影睦夫	〃	佐々木光重
【調査第一課】		【調査第二課】	
調査第一課長	佐々木勝	調査第二課長	高橋與右衛門
調査第一課長補佐	佐々木清文	調査第二課長補佐	中川重紀
主任文化財専門調査員	小山内透	主任文化財専門調査員	高橋義知
文化財専門調査員	赤石登	文化財専門調査員	金子迪孝
〃	吉田充	〃	中工藤道貞
〃	小笠原真一郎	〃	古部尾藤眞芳
〃	小金野健	〃	松尾幸徹
〃	鳥居達昭	〃	工藤彦計
〃	金東海林淳美	〃	前岩測坂悟宏
〃	阿羽部榮直	〃	演安藤由紀
〃	野原寺正	〃	高木葉正彦
〃	小智原克	〃	千藤武一
〃	長瀬浩池二貴	〃	佐藤澤昭
〃	瀧菊村上	〃	半杉沢昭
〃	本多準一	〃	中村直美
〃	北村山志浩	〃	(星雅之)
〃	丸村山木浩		
〃	小江林弘	期限付専門職員	鈴木聰
期限付専門職員	小江藤卓	〃	吉川徹
〃	藤原賢徳	〃	北田田
〃	菊池上信賢	〃	吉出里
〃	井川又晋	〃	原美津
〃	吉田真山	〃	藤麻紀
		〃	島原弘
		〃	子征

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第344集

## 似内遺跡発掘調査報告書

東北横断自動車道建設事業関連遺跡発掘調査

印刷 平成12年10月26日

発行 平成12年10月31日

発行 (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 盛岡市下飯岡11-185  
TEL (019)638-9001

印刷 杜陵高速印刷株式会社  
〒020-0811 盛岡市川口23-1  
TEL (019)651-2110

